

ITU-R SG8関連会合報告書

資料番号	題 名
資料1-移17-2-1	ITU-R SG8 WP8A 第19回会合報告書
資料1-移17-2-2	ITU-R SG8 WP8B 第19回会合報告書
資料1-移17-2-3	ITU-R SG8 WP8D 第21回会合報告書
資料1-移17-2-4	ITU-R SG8会合報告書
資料1-移17-2-5	ITU-R SG8 WP8F 第21回会合報告書

ITU-R SG8 WP8A 第19回会合 報告書

1 WP8A

ITU-R SG8 WP8AはIMT-2000を除く陸上移動業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会議の概要

WP8A第19回会合は、2006年9月6日(水)から9月14日(木)までの11日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には27カ国から約120名が参加し、日本からは別紙のとおり14名が出席した。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、Working Partyのもとに6 Working Group、2 Ad-hoc Groupを設置し(表1参照)、89件の寄与文書(日本からの寄与文書4件)について審議が行われた。

表1 WP8Aの審議体制

	担務内容	議 長
WP8A		Jose Costa (カナダ)
WG-1	Amateur services	Paul Rinaldo (米国)
WG-2	Intelligent transport system	Paul Najarian (米国)
WG-3	Public protection, trunking and paging	Alan Jamieson (ニュージーランド)
DG8A3-1	PPDR	Suneil Kanjeekal (カナダ)
Ad-hoc	PDN Revision of ITU-R Report M. 2014	Amy Sanders (米)
WG-4	Interference and sharing	Sanders Amy (米) (議長Bruno Espinosa(仏)の代行)
DG8A4-BWA	PDNReport M. [LMS. CHR-BWA]	Justine Sider (カナダ)
DG8A4-ENG	Rec723 (WRC-03)	中山 稔啓(日本)
DG8A4- VHF. UHF/CELL	PDNR M. [LMS. CHAR. VHF-UHF] PDNR M. [LMS. CHAR. CELL]	Thomas. Weilacher (独)
Ad-hoc METH. SH AR. LMS	Sharing Methodology	Kimberly. Baum (米), Justine Sider(カナダ)
WG-5	New technology and services	吉野 仁(日本)
DG8A5-1	PDNR Report M. [LMS. SDR]	Reema Hafez (カナダ)
DG8A5-2	PDNR M. [IP CHAR]	吉野 仁(日本)

WG-7	Wireless LAN	Steve Bond (英国)
DG8A7-1	M. 1450-2	Justine Sider (カナダ)
DG8A7-2	PDNR M. [8A/BWA]	Thomas Weilacher (ドイツ)
LMH	Land Mobile Handbook	Reema Hafez (カナダ)
VOC	Vocabulary	Jean-Jacques Guitot (フランス)
Joint WRC 07 1.13	Draft CPM Text AI 1.13	Pekka Lansman (フィンランド)

2 審議の内容

2.1 WG1(アマチュア業務及びアマチュア衛星業務)

WG1はPaul Rinaldo (米国)を議長として、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務の審議を行った。WRC-07議題1.15に関するCPMテキスト案、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務に関するハンドブック、災害救援時におけるアマチュア無線の役割に関する作業文書、275 GHz以上の周波数帯におけるアマチュア業務の周波数要求、国際モース符号に関する勧告の移管及びWG1関連のWP8Aテキストの見直しについて、5本の入力文書の審議を行い、WRC-07議題1.15に関するCPMテキスト案を含む3本の出力文書を作成した。

また、WRC-07議題1.13関連について、WP8B、WP9C及びWP6Eとともに合同で検討を行い、議題1.13に関するCPMテキスト案を完成した。

入力文書：8A/322R、384、387、388、389、390R1、399R1、400、405、406、411、425、427、428、429、436、440、(8B/486、496、539、548、6E/425)

出力文書：8A/TEMP/218、219 (Rev. 1)、225、241、(8B/TEMP/244、245)

2.1.1 WRC-07 議題1.15に関するCPMテキスト素案

入力文書：8A/389 (IARU)

出力文書：8A/TEMP/219 (Rev. 1)

Method数を減らすことに鑑み、脚注による分配のMethodを残すか検討したが、カナダの要望により現行のテキストのままCPMテキスト素案とした。なお、プレナリーでExecutive Summaryの部分について体裁が修正され、NOCの脚注については記載を削除することで承認された。

2.1.2 アマチュア業務及びアマチュア衛星業務に関するハンドブック

入力文書：8A/425 (RUS)

出力文書：なし (継続検討)

アマチュア業務及びアマチュア衛星業務に関するハンドブックについてロシアから

一部修正及びテキストの追加提案があり、若干の修正後、盛り込むことで合意された。また、ITUの勧告等の参照が多いので、電子版の方が利便性が高くCD-ROMで作成することが合意された。なお、これらの修正等をハンドブック作成のラポータであるWG1議長が次回会合までに行うこととなった。

2.1.3 災害救援時におけるアマチュア無線の役割に関する作業文書

入力文書：8A/411 (IARU)

出力文書：8A/TEMP/218

災害時におけるアマチュア無線の活用成果についてのITU-R報告文書案がIARUより入力され、若干の文書体裁の修正が加えられたのち承認され、SG8へ新報告書案[AM-DISCO]として送付された。

2.1.4 275 GHz以上の周波数帯におけるアマチュア業務の周波数要求

入力文書：8A/387 (IARU)

出力文書：なし

WRC-10の暫定議題となっている275～3,000 GHz の周波数利用について、アマチュア及びアマチュア衛星業務の選択周波数帯に関するPDNR案がIARUより入力された。WRC-10の議題が決定されていない現時点でPDNR化するのは時期尚早との意見があり、PDNRへの作業文書(TEMP/217)とすることでWG1では合意された。しかし、プレナリーで英国が反対したためWG1議長は文書を取り下げた。また、この文書は作業文書としてWP8A議長報告に付されることもなくなった。

2.1.5 国際モールス符号に関する勧告の移管について

入力文書：なし

出力文書：8A/TEMP/225

ITU-Tの勧告F1にあった国際モールス符号に関する勧告がITU-Rに移管され、昨年M.1677として採択されたことを知らせる簡単な連絡文書を作成し、承認された。

2.1.6 WP8Aテキスト見直し

入力文書：8A/440 (CAN)

出力文書：なし

WP8Aテキストに関する見直しについてWG1関係を確認したが、特段の対処は必要ないと再確認された。

2.1.7 WRC-07 議題1.13に関するCPMテキスト素案

WRC-07議題1.13関連については、WP8A、WP8B、WP9C及びWP6Eの合同会議 “Joint WRC 07 1.13” が設置された。議長はMr. P. Lansman (FIN) が担当し、17件の入力文書について審議を行い、2件の出力文書を作成した。

入力文書： 8A/322R, 384, 388, 390R1, 399R1, 400, 405, 406, 427, 428, 429, 436,
(8B/486, 496, 539, 548, 6E/425)

出力文書： 8A/TEMP/241 (8B/TEMP/245) (WRC-07 議題1.13 CPMテキスト改定案)
8B/TEMP/244 (4-10MHz帯共用に関する暫定新報告案)

(1) WRC-07議題1.13CPMテキスト改訂案

2006年7月に開催されたWP9Cからのリエゾンバック文書(8A/399R)をベースに、米国からの文書(8A/427)を反映させる方法で全体の取りまとめが行なわれた。

特に、5260～5410kHzを世界的にアマチュア業務への2次分配を行うこととするMethod 6について、5MHz帯の固定業務及び移動業務へ妨害を与えること、及びアマチュア業務と固定業務間での周波数適応システムの両立性が確認されていないため固定業務のうち24時間運用しているシステムに重大な影響を与える恐れがあることをディズアドバンテージとして記述し、全体として下記のMethodが取りまとめられた。

- ・ Method 1 (決議第729 - Issue A&B) : RR第5章の周波数分配に変更を加えない。
- ・ Method 2 (決議第351 - Issue C) : 海上移動業務に新MF/HFデジタル技術を導入し、付録第17号の周波数表を改訂する。
- ・ Method 3 (決議第544 - Issue D) : 放送業務に250-800kHzの追加分配を行う (Example: 350kHz)
- ・ Method 4 (決議第544 - Issue D) : 放送業務に追加分配を行わない。
- ・ Method 5 (Issue E) : 固定・陸上移動・海上移動業務の周波数利用の効率化・共用により、放送業務への追加分配と既存業務の保護を両立させる。
- ・ Method 6 (Issue E) : 5260～5410kHzについて、世界的にアマチュア業務への2次分配を行う。
- ・ Method 7 (Issue E) : 7200～7300kHzについて、第1地域と第3地域のアマチュア業務への1次分配を行う。
- ・ Method 8 (Issue E) : どの業務へも追加分配をせず、4-10MHz帯の業務間共用の追加も行わない。

今回修正したCPMテキスト案は、合同会議で承認されたものであるとして、WP8Aプレナリーでは審議せずにチャプター・ラポータへ送付されることとなった。

(2) 4-10MHz帯共用に関する暫定新報告案

4-10MHz帯共用に関する暫定新報告案は、2003年から2007年の研究期間における報告を集約する形で取りまとめられた。内容としては、下記のAnnex 1からAnnex 6で構成されている。

- ・ Annex 1 4-10MHz帯における異業務間での周波数共有に関する情報
- ・ Annex 2 第1地域でのモニタリングキャンペーンのスペクトラム結果
- ・ Annex 3 4-10MHz帯における周波数共用条件の分析
- ・ Annex 4 HF両立性
- ・ Annex 5 WRC-07議題1.13に関連した周波数共用の検討
- ・ Annex 6 同一バンドにおける固定・移動業務への一次分配とアマチュア業務への二次分配に関する検討

本暫定新報告案も、合同会議で承認されたものであるとして、WP8Aプレナリーでは審議せずにチャプター・ラポータへ送付されることとなった。

2.1.8 その他

WP8A議長より選出の依頼があった「WP8Aの災害通信に関するラポータ」については、WG1議長が務めることとなった。

2.2 WG2 (ITS)

WG2は、Paul Najarian (米)を議長とし、ITS(Intelligent Transport Systems)について3件の入力文書を審議し、2件の出力文書を作成した。出席者はEugene Tonkikh(露), Bernd Wolf(独), Mourad Baouche(ベルギー), Gabriel Owen(オランダ), Paul Marrangoni, Joanne Wilson(米), Jose Cista, Reema Hafez (カナダ), Jong Taek Oh(韓), Siew Yoon Tan(英)、小山、藤瀬、住吉(日本)の14名。前回のWP8A会合とほぼ同じメンバーであった。

入力文書: 8A/396(米), 8A/431(日本), 8A/439(英)

出力文書: 8A/TEMP/244, 8A/TEMP/248

2.2.1 ミリ波ITS通信

入力文書: 8A/376 Annex. 4(WP8A議長報告), 8A/431(日本), 8A/439(英)

出力文書: 8A/TEMP/244

前回会合に続いて、日本からミリ波ITS通信に関する勧告を目指した作業文書(8A/431)を入力した。今回の寄書は前回までの出力文書を念頭に置いて勧告素案を作業文書として提案したものである。英国からはミリ波帯(63-64GHz)ITS通信技術報告に関する入力となされた(8A/430)。この寄書は、前回会合で非公式に入力された内容に関するものである。

WG2議長の提案を基に、次の作業方針が確認された。

- ・ 今回合合では日本からの寄与文書を基にPDNR文書を作成する。
- ・ 2007年6月の次回合合では勧告文を収録したDNRと、関連の技術情報を集めた Technical Reportへの2分割化を検討する。

WG2合合における合意に基づき、会期中に暫定新勧告(PDNR) (8A/TEMP/244)を作成した。

2.2.2 Land Mobile Handbook (LMH)

入力文書: 8A/451 (Rapporteur, LMH Ad-hoc)、8A/396(米),

出力文書: 8A/TEMP/253 (Rapporteur, LMH Ad-hoc)

LMH全体のラポータはMs. Reema Hafez(カナダ)である。LMH Ad-hocの作業課題として Vol.4 (ITS)があり、そのエディタはJT Oh氏(韓国)である。

前回合合で完成したドラフト最終版について、2006年5月末締め切りでコメント提出を求められたが、締め切り間際になり、ArrayCom(米国)からISO TC204 WG16で検討中のCALMに関して大量のテキスト入力となされたことから、その採否を巡って混乱し、今回のWP8A合合で再審議することになった。

今回合合では米国(実態はArrayCom)と米国入力に対して否定的な各国との対立となった。主な論点は次の通りであった。

(1) CALM Architecture

- ・ ISO TC204が出版予定の“CALM Handbook”の内容を重複してLMHへ掲載することの可否

合合中にWP8A議長からカウンセラーにした結果、重複可能性があるテキストはLMHには含めないことが確認された。

- ・ CALM Architectureと既収録テキストとの整合性
矛盾点を削除または修正。
- ・ CALMの安全運転支援システムへの適用可否
関連表現は削除。
- ・ CALMのみが今後のITSのアーキテクチャであるかどうかという検討
IEEE802.21などの存在について配慮し、CALMをアーキテクチャの一案と位置づけた。

結論として、CALM ArchitectureについてはAnnex Dとし、文書量を米国寄書(8A/396)として入力された23ページから3ページへ大幅縮小して収録することになった。

(2) ACN (Automatic Crash Notification)

ACNに関してはEditorがテキストを書き直し、一般論だけを本編に収録することになった。また、特定の企業名を削除した。

最終的にLMH Ad-hoc会合でページ毎の確認が行われ、完成した。完成までに約7年を要したが、LMH Vol.4 ITSは承認され、出版待ちとなった。

なお、最終ドラフトはLMH FTPサーバーからダウンロード可能である。

2.2.3 研究課題と勧告の見直し

次期WP8A研究期間に向けて、前回WP8A会合では今回会合までにWG2に関係する現行研究課題(Q.51-3, Q.205-3)と関連勧告(M.1310, M.1451, M.1452, M.1453-2)の内容が現状に合致しているかどうかに関して確認を行うことになっていた。WG2では議長から勧告M.1451 “TICS Functionalities” の削減を含む案が提示され、次回WP8A会合までに結論を出すこととした。

しかしながら、最終総会でWG2議長から提出された議長報告に記載された削減案について、WP8A議長はその場で削減を決定したため、日本からこの決定に対して勧告削減の前に検討期間が与えられるべきであるとして、異議を申し立てた。この異議に対してWP8A議長は「一旦決定した削除は撤回できない。異議はSG8会合の場合へ提起するように。」と回答した。

その後、日本関係者間で対応策を検討の結果、勧告M.1451は時代にそぐわないことを確認し、削除に合意することになったため、SG8会合への異議申し立ては行わないこととした。

2.2.4 用語集

入力文書: 8A/376(WP8A議長)

出力文書: 8A/TEMP/220 - Rev.1

用語集に関してWP8A会合で承認された。承認後、第2章のITS関係の中のVICSのブルスペリングに誤りがあることが判り修正した。(Vehicle information and control systemのcontrolをcommunicationに修正)

2.2.5 参考情報

入力文書: 8A/450(オランダ)

欧州からの入力されたRegion 1 からの報告でITS関係についても次の報告がなされている。

(1) 76-77GHz 自動車レーダー機器

ETSI EN 301 091を現在見直し中である。

(2) 63-64GHz ITS

CEPT/CENはITSと無線標定などのシステムやサービスとの干渉について2007年2月までを目標に検討を行っている。

(3) 5GHz ITS

CEPTでは5GHz帯における重要安全アプリケーション用途についてITSや広帯域防災、広帯域FWAの干渉について2007年中を目標に検討中である。

2.3 WG3(公共保安、トランキング、ページング)

WG3では、Alan Jamieson(ニュージーランド)が議長を担当し、入力文書6件の審議及びPPDRにおける技術検討の報告などを行った。会議は「公共保安及び災害救援(PPDR)のための調和の取れた周波数チャネル計画」に関するDG及び「緊急通信のための効率的周波数活用を行う移動体通信システム」のAd hocグループを作成して審議した。

DG1の議長はカナダ(Suneil Kanjeekal氏)が担当した。PPDRの周波数に対して具体的なチャネル間隔の提案が前回会合でカナダからあり、今回会合において、PDNRへ向けたWorking Documentsとしてカナダ、アメリカ、ドイツからそれぞれの寄書があった。Region1においてはロシアからは周波数全体に対しての自国の軍用周波数と近接しているとして反対があり、また、日本からは4.9GHz帯の周波数配置についてAWFなどRegion3で既に審議されている別途勧告との不整合が懸念される旨の指摘を行った。これらのコメントは文書化されておらず文書に記載するには時期尚早であるとして、コメントとして議長レポートに付記するものの、寄書自体はPDNRとして提出し、次回必要に応じてDNRの段階で改定案を提出するというWG3内の結論となり、プレナリーへと望んだ。プレナリーの場合においては、これらのPDNRに対してエディトリアルな修正の他、シリア、オランダからPPDRの周波数配置勧告案としては複数の文書に分割されている事に懸念があり、VHF/UHFなどの文言にはバンドとしての明確性が不足しているなどとの指摘があった。また、シリアからは「some administration」という各Region内の例外国を示す文言の具体化が指摘された。WG3議長の判断として、これらの文書の統合とタイトルの変更を次回審議するとして、再度Working Documentsとして議長レポートに添付し、次回、統合とタイトルの再検討を行うとしてキャリーオーバーすることとなった。

また、Ad-hocグループでの審議として、ITU-R Report M.2014(dispatch trafficのための陸上デジタル移動通信の周波数効率)の改訂について検討を行った。当該Reportは1998年にSG8で承認されているが、その後“dispatch and fleet management”において、種々のシステムの進化があったため、Reviseする必要があるとして前回会合において米国レポート改訂案の提案があり、今回米国自身がそれを改訂したPDNReport案を寄稿した。Ad hocグループ内での審議及び、プレナリーでの審議においても、エディトリアルな指摘に終始し、PDNReportとして了承された。

また、PPDRの技術的な検討に関しての情報交換があり、ドイツからCEPTの活動報告

として4.9GHzのRegion2/3でのPPDRバンド及び5GHz帯の無線LAN周波数をPPDRとして運用する方向で検討していることが報告された。

カナダから、公共安全（Public Safety）用途の無線通信のInteroperabilityに関する周波数から運用手順までの多角的な検討の開始に関する情報文書が提出され、紹介された。

さらに、前回の議長報告（Annex3-Section3）に記載されているように、古い勧告等の削除等見直しが計画されていたが、実質審議は今回まで無かった。次回会合は本会期の最終となるので、結論を出せるようコメント等の準備の依頼の発言がWG議長からあった。

出席者は、B.Kimberly、A.Sandors（米）、O.Harald（独）、Y.Averochkina、T.Wasilewski（露）、S.Kanjeekal（カナダ）、M.Baouche（ベルギー）、E.D'Amico（オーストリア）、G.Wardle（オーストラリア）、G.Owen（オランダ）、D.Tongshan（中）、G.Jean-Jacques（仏）、上村、矢野、酒井原（日）など、WG3議長を含めて合計15名であった。

入力文書：8A/412、413（カナダ）、419、421（米国）、444（蘭）、447（独）

出力文書：8A/TEMP/242、234Rev1、235Rev1、245（WG3議長報告）

2.3.1 新勧告案「公共保安及び災害救援（PPDR）のための調和の取れた周波数チャンネル計画」の審議

入力文書：8A/412（カナダ）、8A/419（米国）、8A/447（独）

出力文書：8A/TEMP/234Rev1、235Rev1、8A/TEMP/245（WG3議長報告）

カナダが（8A/412）にて、Region2における、PPDR用周波数746-806MHzに関しての具体的なチャンネル計画の記載を提案。内容は前回の議長レポートに添付されたAnnex6/7と同じもので今回PDNR案として提出。前回の会合ではドイツがこれに対して、その意義を問いつけたが、今回は特にそのような発言は無かった。逆にこれに改訂をかける形でドイツ（8A/447）が746-806MHz周波数に加えRegion1における380-399.9MHzの周波数に関しても勧告化を提案した。なお、Annex1に記載されたこの帯域の情報はM.2508からの抜粋であるとの説明があり、出展の明確化のためにNoteとして記載することとなった。この勧告案はTETRAの運用周波数などを含んでおり、意義があるとフランスが賛同した。ロシアは意義はあるが、自国の周波数との整合性が取れていないため、認めるのは難しいとコメントした。結果noteとして「WRC-03では帯域を決めたのみであり、実運用においてはそれぞれの国の条件により制限される」を追記することとなった。また、日本における746-806MHzは既に別途の用途が決まっており、Discussionの中には「some country in Region3」の記述があるが、Recommendationの中はRegion3と明言しているため「some administration in Region3」の記述に変更を提案して了承された。またタイトル末尾をITU-R M.[LMS.PPDR.VHF/UHF]と変更した。他に指摘は無く、積極的にPDNRを提出すること

で合意された。

同様に(8A/412)においてカナダが4.9GHz帯においても、上記と同じくRegion2における、PPDR用周波数4,940-4,990MHzに関しての具体的なチャンネル計画をPDNR案として提出。米国がこれにRegion3を含み、かつ、前回の周波数が全帯域1MHz間隔であったのに対して両端の5MHzのみ1MHz間隔の周波数とし、他の部分は5MHz間隔という案に改訂してPDNRを提出した。これに対して、日本はAWFなどで既に勧告化されている仕様と不整合があるとして、タイトルをExsampe channeling Plan(AWFの勧告内のAnnexタイトルと同様)またはRegion2に限定する形にしてはどうか提案したが、勧告を目標としているドキュメントにExampleを付けるのは目的に合わないとして米国が発言し、カナダがこれをサポートした。また、今回はPDNRであり、必要があれば再度日本などRegion3は検討してDNRの段階で改定案を提出すべきであるとし、現状での修正は時期尚早であるとされ、日本もこれを了承した。またタイトル末尾をITU-R M.[LMS.PPDR.4.9GHz]と変更した。

WG3では上記の内容で出力文書を作ったが、プレナリーの場合においてこれらのPDNRに対して、エディトリアルな修正の他に、シリア・オランダからPPDRの周波数配置勧告案としては複数の文書に分割されている事に懸念があり、VHF/UHFなどの文言にはバンドとしての明確性が不足しているなどとの指摘があった。また、シリアからは「some administration」という各Region内の例外国を示す文言の具体化が指摘された。WG3議長判断として、これらの文書の統合とタイトルの変更を次回審議するとして、再度Working Documentsとして議長レポートに添付し、次回、統合とタイトルの再検討を行うとしてキャリーオーバーすることとなった。

2.3.2 勧告改訂案「緊急通信のための効率的周波数活用を行う移動体通信システム」の審議

入力文書：8A/421（米国）、444（蘭）

出力文書：8A/TEMP/242

ITU-R M.2014(dispatch trafficのための陸上デジタル移動通信の周波数効率)は1998年にSG8で承認されているが、その後“dispatch and fleet management”において、システムの進化がいろいろとあったため、Reviseする必要があるとして前回提出され、検討不足であるとして議長レポートに添付された改定案をPDNRとして米国が提出(8A/421)。改めてAnnex1にEDACSとCDMA-PAMRを追記し、Appendix8としてCDMA-PAMRの詳細情報付加したものとして説明があった。また、オランダは、この改定案にTEDS(TETRA enhanced dataservice)を追記し、従来のTETRAとの誤解を避けるためにTABLEの TETRAの部分をTETRA1として改訂したPDNR(8A/444)を提出した。この文書の説明においても特段の指摘はなかった。プレナリーにて、Appendixの数や番号に対するエディトリアルな修正とタイトルからの「Spectrum efficient」が不要であるとの指摘に対しての削除変更があったのみで了承されSG8に送られることとなった。

2.3.3 その他の技術的報告

入力文書：8A/413(カナダ)

出力文書：8A/TEMP/245 (WG3議長報告)

カナダが公共安全(Public Safety)用途の無線通信のInteroperabilityの検討を周波数から運用手順まで多角的に始めたというインフォメーションレポートを提出し紹介された。

ドイツは欧州のPPDR通信システムの検討に関する活動について、前回に引き続き広帯域PPDR通信システムの為にCEPTが検討を行っており、その途中報告をした。今回その内容が書面で配布された(別添) 世界的な視点でのコンパチビリティ、PPDR機器の世界的移動、コストなどから、380-430MHzの周波数帯に対してTETRAの新規格TEDS(TETRA enhanced dataservice)が有効であるとするとともに、新たに5GHz帯をPPDR周波数として検討されていると報告した。4.9~6GHz内の50MHzを候補として検討しているが、具体的な周波数に関しては詳細未定であるとしたが、今回は具体的に4940-4990MHz/5150-5250MHz/5470-5725MHz/5725-5825MHzが検討のバンドとして示された。実運用に関しては周波数共用の課題は解決しておらず更なる検討が必要であるとしている。

2.3.4 Land Mobile Handbook Rapporteur ReportのSection9のレビュー

(前回の議長レポートのAnnex3-Section3と連動)

同ドキュメントはLand Mobile Handbook Rapporteur Report「Guide to the use of itur texts related to the land mobile services」でSection9はTrunked Systemsに関する記述。参照記載されている勧告の内容が古いため、レガシー規格(1980'sと1990'sの勧告)削除の検討を継続。最新の情報源としてはVolume 3 “Dispatch and Advanced Messaging Systems” of the Land Mobile Handbook published by the ITU-R in 2005.。古い規格を削除、バージョンアップ、レポート作成の三つのカテゴリで作業を継続すると前回方針を決めたが、実際活動や提案は無かった。次回会合は本会期の最終となるので、結論を出せるようコメント等の準備をお願いしたいとの議長からの発言があった。審議される勧告やレポートは以下の通り。

- ・Recommendation M.539-3(Paging systems)
- ・Recommendation M.584-2(Paging systems)
- ・Report M.499-5(Paging systems)
- ・Report M.900-2(Paging systems)
- ・Report M.741-3(Trunked systems)
- ・Report M.901-2(Trunked systems)

2.4 WG4(干渉保護条件及び共用研究)

- (1) 議長 : Bruno Espinosa (仏)のActing ChairmanとしてMs. Sanders Amy(米)
- (2) 主要メンバー : T. Weilacher、B. Wolf (独)、J.Costa、R. Sider、R. Hafez (加)、Kim Daejung(韓)、K.Baum(米)、S.Bond、J.Dixon (英)、A.Jamieson (NZL)、D. Terry、J. Wilson (米Arraycomm)、J.Ragsdale (米Ericsson)、C.Rush (米Qualcomm)、R. Arefi (米Intel)、D. Jayasuriya (WiMaxフォーラム)、M. Goldhamer(イスラエル)、住吉、中山、藤本、上野、上村、須永(日)など約30名。

23件の入力文書を審議し、9件の出力文書を作成した。

- (3) 入力文書 : 8A/376 Annex 8,9,10 (WP8A議長), 8A/377 (WMO), 8A/378 (WP4A), 8A/379 (WP8B), 8A/380 (WP4A), 8A/381(WP8B), 8A/382(WP8B), 8A/383 (WP8B), 8A/393(Israel), 8A/394(WP9D), 8A/395 (WP9D), 8A/401 (WP9D), 8A/402 (WP9D), 8A/415(Canada), 8A/417(NTT Docomo et. al.), 8A/418(USA), 8A/422(USA), 8A/423(USA), 8A/434 (Japan), 8A/443(Canada), 8A/446(Germany), 8A/452(ARIB), 8A/455(ARIB) , 8A/463 (WP7C)
- (4) 出力文書 : 8A/TEMP/221R1, 8A/TEMP/227R1, 8A/TEMP/232R1, 8A/TEMP/231, 8A/TEMP/237R1, 8A/TEMP/246R1, 8A/TEMP/247R1, 8A/TEMP/251, 8A/TEMP/257,
- (5) 審議概要

WG4は、干渉保護条件及び共用研究について審議するWGである。本WGは今会合中3回開催され23件の入力文書を表1に示す3つのドラフティンググループ(DG)と一つのAdHocを設置して審議し、共用検討のためのパラメータ決定、干渉保護条件、干渉計算の方法論の作成、これらに関連するWP7D, 8B, 8F等への3つのリエゾン文書を含め9件の出力文書を作成した。

2.4.1 議長報告 8A/376 Annex 8, 9 VHF, UHF/Cell Land Mobile System Characteristics

(1) 入力文書

PDNR M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] : 8A/415 (カナダ), 8A/422 (米), 8A/446 (独)

PDNReport M.[LMS.CHAR.CELL]: 8A/415 (カナダ), 8A/417 (NTT DoCoMo et al.),
8A/418 (USA), 8A/446 (独) and 8A/452 (ARIB)

(2) 出力文書

DNR M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] : 8A/TEMP/246R1

PDNReport M.[LMS.CHAR.CELL] : 8A/TEMP/247R1

(3) 審議概要

出力されたDNR、PDNRepは、Questions ITU-R 3/8 toITU-R7 5/8に基づくものであり、干渉保護条件及び共用研究のためにパラメータを勧告化あるいは報告するものである。8/446 (独) により、Systemが重複する可能性があることからこれらをマージすべきとの提案があり、マージの可能性を探るためにこれら2つを1つのDGで審議することとなった。しかしながら、完成度に差がありM. [LMS. CHAR. VHF-UHF] は早期に勧告化すべきという米・加の要求もあり表現や単位を出来る限りそろえることで別々に取り扱うこととなった。

2.4.1.1 DNR, M. [LMS. CHAR. VHF-UHF]

8A/415 (加) 及び 8A/422 (米) に基づきアップデートするとともに、用語の統一、計算法の確認をおこなった。8A/422 (修正提案) での干渉基準I/Nについては通常-6dB、PPDRのような特別考慮が必要な場合-10dBを適用できるとする案で決着。Table内の各枠の記載について調整が繰り返された。主な変更項目は Channel bandwidth (kHz)、Output power (W)、ERP (dBW)、Necessary bandwidth (kHz)、Sensitivity (dBm)、Antenna gain (dBd)、Total loss (dB)等。

WP8Aプレナリーにおいて日本よりラジオマイクなどLMSに分類されている放送事業用無線局についてはそのReportを参照するとするNoteの追加提案を行い、承認され、また若干のエディトリアル修正の後、DNReport昇格が決定した。

2.4.1.2 PDN Report M. [LMS. CHAR. CELL]

PDCのパラメータについてARIB標準にあるものは8A/452で入力、ARIB標準にないものは8A/417 (NTT DoCoMo et al.) で入力されていたことから、ARIB寄書が当初の検討対象から抜けており、また、8A/452が8A/417に記入ある部分を“n/a”とされる等の混乱を招き、第一回目のDGでは実質審議できなかった。DG議長より次回DGまで

に2本の寄書を日本でまとめるよう依頼され、8A/452と8A/417をマージしてDG議長へ提出し、PDNReportへPDCパラメータが反映された。

アメリカの寄与文書8A/418（修正提案）に基づくTIA-95, HRPDを含むCDMA2000(1X)の改訂でのERPの算出式を修正する提案部分について、Cable LossをTotal Lossという名称に変更した上で、 $ERP = TX\ Power + Ant\ Gain(dBd) - Total\ Loss$ とすることで決着。また、空中線系パラメータをSystem欄に移し整理するとともにフットノート等、幾つかの点について修正したが、レポートの構成においても十分審議されておらず、Tableの値について計算法を含めそのアップデート等が必要であることから、次回会合でDNReport化を予定しキャリーオーバーされることとなった。

2.4.2 議長報告 8A/376 Annex 10 PDNReport M. [LMS. CHAR-BWA]

- (1) 入力文書 : 8A/438 (日), 8A/455 (ARIB).
- (2) 出力文書 : 8A/TEMP/251
- (3) 審議概要

周波数共用検討、干渉検討のための陸上移動BWAシステムの技術特性を列挙するもの。また、WP8Fでの2.5GHz帯IMT-2000とその他のBWAシステムとの周波数共用検討に使用されることも想定されている。今回は、Next Generation PHSの詳細パラメータとBWAの範疇にあるRLANのHiSWANaを組み込み、DNRに昇格させることが目的であった。

2.4.2.1 Next Generation PHS及びTableに記載されているシステムについて

Tableに各パラメータが組み込まれたもので審議。日本からのTDD Activity Ratioの記入法においてdB表示よりUL:DL表記のほうが好ましいとの提案をきっかけに既入力パラメータの再確認提案があり、Tableの値について詳細審議することになった。主な議論は以下のとおり。

- ・ HC-SDMA にはあるが Next Generation PHS では空欄である Active interference selectivity (dB)値については Next Generation PHS 欄は“Not Specified”で決着。
- ・ TDD activity factor (dB)表示にもどされた。1:1のときは3dBという表現になる。
- ・ IEEE 802.16 については 2.5GHz に限っていたことから、6GHz 未満としていたのを 2.5GHz に限定することになった。
- ・ 共存検討で重要なパラメータである ACLR, ACS において 16e の値が非常に高い値であることの指摘があったことから、日本より、これらの値は IEEE 802.16e 標準になく WiMAX Forum が決めたものである旨指摘した
- ・ その結果、再度 SDO に問い合わせすべきとする独、エリクソン、クアルコム等と Intel、WiMAX Forum、米国、英国の間で紛糾。また、日本より、FCC の Spectrum Mask 等を

引き合いに IEEE802.16e の値は Industry に支持されているのか問い合わせたところ、IEEE802.16e については米国の 2.5G 帯の値であるとし、各国の規定により異なる等の Foot Note が書き加えられた。

- ・しかし Foot Note に重要なことが書かれることとなったため、Foot Note から本文に移す、あるいは共用検討に使えるパラメータでなければならないなど基本的な事柄に発展し再度紛糾。
- ・議論の結果、IEEE802.16e の ACLR、ACS 値は米国 2.5G 帯に限ること、WiMAX の ACS 値は他システムと比べ非常に高い値であることなどが FootNote に記載され、広く共用検討に使えるパラメータとすべきというコメントに対しては WG7 で作成した BWA 勧告を参照させることで収束。再度 SDO に問合せずWG4メンバでコレスポンスグループを構成し対応することとなった。

2.4.2.2 RLAN HiSWANa 組み込みについて

- ・ ARIB 入力文書の Table には n/a 項が多く、このままでは共用などで参照すべき情報が無いに等しいことからこのままでは組み込めず、欄を埋めるべきであるとの指摘が DG 議長を含めて複数あったため、現地で計算により埋めれるものは埋め、ARIB に内容の確認と、残った ACS 値を埋めることを依頼した。
- ・ ARIB より、短時間では確認できず、また、IEEE802.11 等他の RLAN の入力が無かったことから、HiSWANa のみの記載は適当ではないこと等の理由により寄書の取り下げ依頼があったため、WG 議長に下記を理由として入力寄書の取り下げを申し入れ、Table から削除された。
 1. n/a項のFill upには時間がかかる見込みであること。
 2. WP8Aからの要請に基づきLAN Systemの情報を入力したが、WG7作成のBWA 勧告にある他の無線LANの入力が無く、このままではバランスを欠いたものとなる。今後他の無線LANの入力があれば、必要に応じて再度提出する。
- ・ 本PDNRIにLAN typeの情報はふさわしくないとの発言があったため、DG議長より、改訂中の勧告M.1450に共用検討パラメータを書き込むことになる場合、SDOに情報入力を要請するが、ARIBはそれで問題無いかどうか質問あり、ARIBを代理して日本から問題ない旨回答した。
- ・ RLAN Characteristics の記載については、HiSWANa に関する寄書を取り下げた経緯から日本の判断に委ねられ、M.1450 を参照することで決着した。

2.4.2.3 DNRReport 化について

- ・ DNR 化を要求する米国、英国と、内容がまだ乏しく記載されている IEEE802.16e のパラメータが Immature であることなどを理由として PDNReport にとどめようとする独、エリクソン、クアルコムが鋭く対立。

- ・ NZL より PDNR のまま次回会合へキャリーオーバーするものの、Sharing Study を進めるために本 PDNR を WP8F 等に提出する提案があった。当面の課題である WP8F での IMT-2000 との共存検討を進めることが出来ることから英国、オーストラリアが NZL 案を支持。
- ・ 米国は今会合でこれまで合意したことについては次回寄書が無い限り蒸し返さないこと、次回 DNReport 化のために協力することを議長報告に書き込むことを条件に合意。
- ・ これに伴いタイトルの“Some BWA system”の“Some”を削除し“frequency sharing and interference analysis”から“to be used for frequency sharing studies”に変更となった。

2.4.3 Rec. 723、WRC-07関連 議題1.2

2.4.3.1 Rec.723

(1)入力文書:8A/395(WP9D), 8A/402(WP9D), 8A/434(Japan)

(2)出力文書:8A/TEMP/227R1, 8A/TEMP/231, 8A/TEMP/232R1

(3)審議概要

今会合では、勧告 723 に関する、移動運用の ENG システム特性に関する日本からの入力文書 8A/434(J)と、WP9D で作成された固定運用の ENG のシステム特性に関する勧告案完成のリエゾン文書 8A/395(WP9D)、及び、WP9D で固定運用の ENG システム特性に関する勧告案から削除した移動運用の ENG の記述に関するリエゾン文書 8A/402(WP9D)をあわせて審議し、出力文書として、「移動運用の ENG の新勧告草案」、「WP9D へのリエゾンバック」、及び「各セクターメンバーへの情報提供要請のリエゾン」の3種類の文書を出力することとなった。

2.4.3.1.1 PDNR ITU-R M.[ENG](8A/TEMP/232rev1)

- ・ WP9D からのリエゾンに関しては、そのほとんどが日本提案文書 8A/434(J)でカバーされていることから、日本入力文書 8A/434(J)をベースに審議した。
- ・ 米国より、2.5GHz 帯でBASを運用しており、他の業務との共用などの問題があるため、慎重に検討したいとのコメントがあり、また、同時に他の主官庁の情報を入れたほうが良いとのコメントがあった。そのため、新勧告案としての提案を新勧告草案とし、次回の WP8A 会合に入力された情報を持って、勧告とすることとした。
- ・ 豪州より、「共用の為の新勧告草案を匂わせると、様々なアプリケーションで ENG が運用されている周波数との共用を考えているサービスとの深刻な衝突が起こる可能性がある」と指摘されたが、日本から、「その際の共用検討を容易にする為にも、SG9 で承認された新勧告案と同様な勧告が SG8 でも必要ではないか？」とコメントし、豪州から、「既存業務のシステム特性を勧告にするのは当たり前のことなので、『共用検討の為の』という言葉を取ったほうが許容されやすいのではないか。」との提案があったため、

勧告のタイトル、本文中から「共用検討の為の」フレーズを削除することとなった。

2.4.3.1.2 WP9D その他関連WPへのリエゾンバック(8A/TEMP/231)

- ・ WP9D からのリエゾンに関しては、そのほとんどが日本提案文書 8A/434(J)でカバーされていることから、日本入力文書 8A/434(J)をベースに審議した。
- ・ WP9D で成立した固定運用の ENG システムの勧告と同様、移動運用の ENG のシステムパラメータの新勧告草案の作成を開始し、次回会合で新勧告案とする WP8A での検討状況を WP9D、WP6J、及び、関連する WP に返信した。

2.4.3.1.3 各セクターメンバーへの情報提供の為のリエゾン文書(8A/TEMP/227R1)

EBU、NABA、アラブ放送ユニオン、ABUに、次回会合に、移動運用の ENG の情報の入力を求めるリエゾンを作成して送付した。

2.4.3.2 WRC-07 関連 議題 1.2

(1) 入力文書 : 8A/377(WMO), 401(WP9D), 463(WP7C)

(2) 出力文書 : 8A/TEMP/221R1

(3) 審議概要

WRC-07 議題 1.2 に関する CPM テキスト案が WP7C で完成した後の会合であり、WP8Aとしては、議題 1.2に関する CPM テキスト案に対して変更を提案する等の実効的な対応を取る事ができず、SWG8A4 議長が、直接 WP8A から WP7C に対して、リエゾンを作成する事となった。

リエゾンの内容は、現在の最大送信電力値である-3dBW から 14dB もの送信電力の減力が共用の為に必要との WP7C 作成の CPM テキスト案に対して、「将来の 10.6-10.68GHz を利用する移動業務に対して重大な負荷をかけ、この周波数帯での移動業務の運用を禁じるものである。」とする WP8A の見解である。

2.4.4 議長報告 8A/277 Annex 6 PDNR M. [METH. SHAR. LMS]

(1) 入力文書 : 8A/423 (米国), 8A/443 (カナダ).

(2) 出力文書 : 8A/TEMP/237R1

(3) 審議概要

陸上移動業務に関する周波数共用検討を行うための方法に関する新勧告案で、検討の基本となるパラメータは列挙されているが、計算方法等が未だ空欄となっている。前回会合において寄書は無かったが、今回会合において米国、カナダからの寄書があり、双方でAdHoc DGを構成して検討が進められた。必要となるパラメータの追加、エディトリアルな修正の後、次回にキャリーオーバーされた。

なおWG4議長(代理)より、Mitigation技術や干渉計算テンプレートなどに関する寄書

を強く望むとのコメントがあった。

2.4.5 その他のWRC-07関連 議題1.5 (Res. 230) 1.6、1.14、1.17、7.2

(1) 入力文書 : 議題1.5関連: 8A/377 (WMO), 8A/381(WP8B)

議題1.6関連: 8A/377 (WMO), 8A/383(WP8B) 議題1.14関連: 8A/382(WP8B)

議題1.17関連: 8A/377 (WMO) 議題7.2関連: 8A/377 (WMO)

(2) 出力文書 : なし

(3) 審議概要

それぞれのリエゾンは情報入力のみであり、WG4としてNoteした。

2.5 WG5(New Technology and Service)

(1) 議長 : 吉野 仁 (日本)

(2) 主要メンバー : B. Wolf (独)、G. Wardle (豪)、M. Baoocche (ベルギー)、J. Lewis (ブルネイ)、J. Costa、R. Hafez (加)、L. Shan (中)、KH. Lee、JT. Oh (韓)、P. Najarian、P. Marrangoni、L. Patnaik、E. Schimmel (米)、E. Tonkikh (露)、S.S. Guitot (仏)、H. Mazar (イスラエル)、A. Jamieson (ニュージーランド)、G. Owen (蘭)、S.W. Tan (英)、J. Magesa (タンザニア)、M. Goldhamer (イスラエル Alvarion)、J. Ragsdale (米 Ericsson)、P. Martingne (仏 テレコム)、R. Arefi、J. Hoffmeyer (米 Intel)、住吉、酒井原、須永、檜木、小山、矢野、吉野(日) など約30名

(3) 入力文書 : 8A/376 Annex 12, Annex 14, Annex 15 (WP8A議長), 8A/437 (韓), 8A/458 (加), 8A/459 (WP8F), 8A/465 (WP4B), 8A/414 (加), 8A/430 (IEEE), 8A/433R1 (日), 8A/456 (WP8F), 8A/457 (WP8F), 8A/378 (WP4A), 8A/461 (WP8F), 8A/440 (加), 8A/386 (SG9)

(4) 出力文書 : 8A/TEMP/222, 8A/TEMP/223R1, 8A/TEMP/239, 8A/TEMP/240R1, 8A/TEMP/243

(5) 審議概要

WG5は、ソフトウェア無線(SDR: Software Defined Radio)、移動通信のIPアプリケーション、コグニティブ無線のような新技術やサービスについて審議するWGである。本WGは今会合中9回開催され、14件の入力寄与文書を審議し、5件の出力文書を作成した。

WG5では、移動システムにおけるIPアプリケーションに関するレポート草案作業文書[IP CHAR]とそれに関するWP8Fへのリエゾン文書の作成、コグニティブ無線に関する新研究課題案の作成、統合されたソフトウェア無線レポート草案への寄与を要請するWP8B, 8D, 8Fへのリエゾン文書の作成を行った。また、WG5に関連する

ITU-Rの既存の勧告およびレポートの見直しを行い、2007年のSG8会合に対して削除/維持の提案をするかを議論しリストを作成した。

2.5.1 移動通信システムのIPアプリケーション（レポート草案作業文書[IP CHAR]）

入力文書：8A/376 Annex 12 (WP8A議長), 8A/437 (韓), 8A/458 (加), 8A/59 (WP8F), 8A/465 (WP4B)

出力文書：8A/TEMP/222 (レポート草案 M.[IP CHAR]作業文書),
8A/TEMP/223R1 (ITU外部機関およびITU-T SG13とSG19へのリエゾン),
8A/TEMP/254 (WG5議長報告案)

WP8AとWP8Fで共同して作業を進めているIPアプリケーション作業文書について、WP8F側は、その予定成果物をレポートとすべきであるとの見解をリエゾンで示した。カナダは、WP8Fデンバー会合(2006年8月)での結論を支持し、レポートとすることを強く主張した。これに対して特に勧告草案作成を支持する意見は出されなかったため、WP8Aにおいてもレポート作成を進めることとし、勧告草案作業文書の作成は中止することとした。

レポート草案作業文書については、WP8Fから送付された作業文書(Doc.8A/459)をベースライン文書として、これに、韓国が提案するテキスト(第6.3節アドレス管理と第6.5節マルチキャスト/ブロードキャスト)を反映させた。さらに、文書の完成度を上げるために、作業文書全体を1ページずつ精査し、細部の記述の修正およびエディトリアル修正を行った(Doc. 8A/TEMP/222)。その結果、作成された作業文書はほぼ完成し、次回のWP8Fカメルーン会合(2007年1月)および次回のWP8A会合(2007年6月)でエディトリアル修正を行い最終化する予定であり、エディトリアルな修正に関する寄書の入力を要請する旨を記述したリエゾン文書をIPアプリケーション関連するITU外部機関およびITU-T SG13とSG19に送付した(Doc.8A/TEMP/223R1)。

次回会合では内容に関する議論を行わず完成の予定である。

2.5.2 コグニティブ無線

入力文書：8A/376 (ANNEX 15、議長報告)、8A/414(カナダ)、8A/430(IEEE)、8A/433R1 (日本)、8A/456(WP8F)

出力文書：8A/TEMP/239(DNQの提案)、8A/TEMP/254(WG5議長報告案)

コグニティブ無線に関しては、新研究課題草案 (PDNQ ITU-R M. [8A/CR])、並びに日本の研究開発の活動状況を紹介する寄与文書についての審議があった。

PDNQについては、本年3月の第18回会合でキャリアフォワードされたカナダからの寄書に基づき、コグニティブ無線に関する新研究課題草案が審議された。今回会合では、カナダが前回会合の審議を踏まえた若干の修正を行った寄与文書を提出し、IEEEからは

大幅な変更を行った寄与文書が提出され、この2つの文書をまとめることが、主たる作業となった。両者の概要を簡単に総括すると、カナダは総論的な書き方、IEEEは細かな検討事項まで入れ込まれている。日本からは「コグニティブ無線は極めて複雑で、定義も人により、また国・組織により異なるので、Questionは簡単な方が良い」とのコメントを出した。IEEEの寄書に関しては、米国がその内容をIEEEに代わって説明するなど米国が全面的な支持をしていた。

審議においては、まず、題名について、IEEEの提案する「functionality」という言葉が入るかどうかで議論になり、結局は、研究課題の第2項目に入れることで妥協された。また、「some Administrations have already started regulatory procedures」という文書がIEEE案にあり、日本から「どこのAdministrationか?」、「日本ではスタートしていない」旨の質問・コメントを行った。検討を開始しているのは、米国のみのようであった。

IEEEの担当は、実質議論の場には出席せず、代わりに米国が出席・発言した。予想通り、カナダと米国との議論となり、その間に日本、フランステレコム、ドイツなどがコメントを入れた。また、議論の初日は、IEEEが提案する項目に対する削除・変更にも米国は強硬に反対したが、2日目以降は、米国内で対処案が検討され、修正提案についても反対無く受け入れられ、カナダ提案に近い文書が作成され、WG5内で承諾された。

また、コグニティブ無線関連の検討事項にソフトウェア無線を含めることに対しては、ドイツが強硬に反対し、ソフトウェア無線を含める場合は新研究課題案の今会合での成立に反対する旨の発言を行ったため、研究項目2(decidesの2項目目)から「ソフトウェア無線」という記述は削除された。

最終的には、WP8Aのプレナリーでも承認された(Doc. 8A/TEMP/239)。

なお、日本の研究開発の活動状況を紹介する寄与文書(8A/433R1)については、ソフトウェア無線を含めて広くコグニティブ無線の関連技術を取り扱いたい米国より、このような寄与文書作成に感謝するという発言もあり、一時は議長報告への添付で合意される機運となったが、カナダおよびドイツから詳細な技術事項を現時点で議論するのは時期尚早というコメントがあり、最終的に次回会合にキャリーフォワードされることになり、その旨が議長報告に記載された(Doc. 8A/TEMP/254)。

2.5.3 SDRレポート案([IMT. SDR]及び[LMS. SDR]の統合レポート)

入力文書:8A/376(ANNEX 14、議長報告)、8A/457(WP8F)

出力文書:8A/TEMP/240R1(WP8B,8D,8Fへのリエゾン)、8A/TEMP/254(WG5議長報告案)

ソフトウェア無線レポートに関しては、WP8Fからのリエゾンのみが入力された。WP8Fのリエゾンでは、WP8Aでのレポートの作成方法に賛同すること、レポート草案の精査をWP8Fは次回会合でしたいこと、将来のレポート改訂に備えてレポートの各章の責任WP

を明記することを述べていた。WG5では、前回会合においてリエゾンによりWP8B及びWP8Dに要請していたテキストの入力がWP8B及びWP8Dから無かったため、SDRレポートの作成作業は行わないこととし、議長報告8A/376 Annex 14を次回会合にキャリーフォワードすることとした。そして、WP8B及び8Dに対して、関連する章節のテキストを次回WP8A会合までに入力することを要請するリエゾンを作成し、WP8B, 8D及び8Fに送付することとした(Doc. 8A/TEMP/240R1)。WP8Fからの要請事項に関しては、次回のSG8会合(2007年6月)までにWP8A会合が1度しか開催されないことから、WP8Fで精査してもその結果をWP8A側で反映できないとして、単に最終的なレポート案を送付することとし、その旨をWP8B, 8D及び8Fへのリエゾンに記載した(Doc. 8A/TEMP/240R1)。

また、次回WP8A会合においてWP8B及び8Dからのテキストを反映させて、レポート草案の完成承認をさせることで合意した。

2.5.4 ITU-Rテキスト(既存勧告およびレポート)の見直し

入力文書:8A/440(カナダ)

出力文書:8A/TEMP/254(WG5議長報告案)

前回のWP8A会合において、ITU-Rテキストの削除に関する案が議長報告に示されていたが(Doc. 8A/376 Annex 3、第5.6節)、これに対して、カナダはWG5に関する既存勧告およびレポートの精査を行い、削除可能な勧告レポートのリストを作成し提案した。これに対して、日本は、削除は他の勧告やレポートに影響を及ぼす可能性があり、拙速な削除に反対した。米国は、自国内で十分な精査ができていないとして今会合中にWP8Aで既存勧告およびレポートの削除リストを作成し、SG8会合に提案することに反対した。その結果、議長は、カナダ寄書に沿って削除リストを作成して議長報告に添付し(Doc. 8A/TEMP/254 Attachment 1)、次回WP8A会合において、この削除リストに掲載された既存勧告およびレポートに対して維持すべきとの寄書入力による提案が無い場合はそのままWP8Aの意見としてSG8に削除提案を行うという折衷案を示し各国が合意した。次回WP8A会合では、勧告レポートの削除の最終判断が行われる予定である。

2.5.5 WRC-07議題1.4関連のWP4Aからのリエゾン

入力文書:8A/378(WP4A)

出力文書:なし

WP4AからWP8Fへのリエゾンの写しとしてWP8Aへの寄書入力があった。内容として、3400-4200MHzおよび4200-4800 MHzがIMTのようなシステムに適さないという主張が書かれている。

WP8Aでは、このリエゾンを審議したが、何もアクションをとらないことで合意した。

2.5.6 ANTSに関するITU-Tリエゾン、

入力文書: 8A/461 (WP8F)

出力文書: 8A/TEMP/243 (ITU-T SG15へのリエゾン)

WP8FからITU-T SG15へのANTS (Access Network Transport Standardization)に関するリエゾンの写しがWP8Aへも寄書入力された。WP8Aでは、リエゾンの内容を審議し、WP8Fと同様に、ITU-T SG15に対してWP8Aに関連する勧告(勧告ITU-R M. 1073-2を含む)及び勧告草案についての情報をリエゾンとして送ることとした(Doc. 8A/TEMP/243)。

2.5.7 デジタルHFシステムの新研究課題成立に関するSG9リエゾン)

入力文書: 8A/385 (SG9), 8A/461

出力文書: なし

SG9よりデジタルHF固定システムに関する新研究課題 (Question ITU-R 240/9) が成立した旨のリエゾンが入力された。WP8Aでは審議をしたが、特段アクションをとらないことで合意した。

2.7 WG7 (RLAN, BWA)

(1) 議長: S. Bond氏 (英)

(2) 主要メンバー: J. Costa, J. Sider (加), K. Baum (米), T. Weilacher (独), D. Jayasuriya (WiMAX Forum), R. Arefi (米 Intel), M. Goldhamer (Alvarion), J. Ragsdale (Ericsson)、住吉、吉野、藤本、矢野、上村、上野(日)など約60名

(3) 入力文書: 8A/376 Annex 16, Annex 17 (WP8A議長), 8A/386 (WP8F), 8A/392 (ETSI), 8A/397 (WP9B), 8A/398 (WP9B), 8A/403 (ETSI), 8A/404 (ETSI), 8A/407 (TIA), 8A/408 (MOTOROLA, Lucent Technologies, Ericsson, TELECOM ITALIA, Siemens, Nokia), 8A/409 (IEEE), 8A/410 (ATIS), 8A/420 (米), 8A/424 (韓国), 8A/432 (日本), 8A/435 (WMO), 8A/438 (PHS MoU), 8A/442 (Canada), 8A/445 (独), 8A/449 (IEEE), 8A/453 (ARIB), 8A/454 (ARIB), 8A/460 (WP8F)

(4) 出力文書: 8A/TEMP/233R1, 8A/TEMP/236, 8A/TEMP/243, 8A/TEMP/249, 8A/TEMP/250, 8A/TEMP/258

(5) 審議概要

WG7は、無線LAN (RLAN: Radio Local Area Network)、BWA (Broadband Wireless Access) のような高速ワイヤレスアクセスシステムについて審議するWGである。本WGは今会合中11回開催され、22件の入力文書を審議し、6件の出力文書を作成した。

WG7では、表1に示す2つのドラフティンググループ (DG) を設置し、それぞれ、BWA

勧告の作成、無線LAN勧告M.1450の改訂案の作成及びそれらに関するWP9Bへのリエゾン文書の作成を行った。

2.7.1 BWA(Broadband Wireless Access)について

入力文書：8A/376Annex17(議長報告), 386(WP8F), 392(ETSI), 397(WP9B), 404(ETSI), 407(TIA), 408(Motorola, Lucent, Ericsson, TELECOM ITALIA, Siemens, Nokia), 409(IEEE), 410(ATIS), 424(韓国), 432(日本), 438(PHS MoU), 445(独), 454(ARIB), 460(WP8F)

出力文書：8A/TEMP/233R1

前回会合でNBWAとBWAの2つのPDNRに向けた作業文書がマージされて一本化されたPDNRになり、既存勧告からの参照規格として無線LAN, IMT-2000も加わり、また日本から提案された次世代PHSも反映された。付記されるシステムは、Annex 1 (RLAN規格 IEEE802.11, HiperLAN2, HiSWANa)、Annex 2 (IMT-2000規格)、Annex 3 (IEEE802.16e, HiperMAN)、Annex 4 (ATIS WTSC規格)、Annex 5 (次世代PHS)であり、最後にAnnex 6 (特性比較表)が添付された。今回会合までに、IEEE, ETSI, TIA等の各標準化団体から各システムの情報が入力され、主要パラメータが更新された。今回会合で、日本からは次世代PHSの詳細諸元を拡充し、また、ARIBからの情報の入力によりHiSWANaに関する記載を更新した。

- (1) DGでは、それぞれの入力文書を全て作業文書に盛り込むことで進めた。
- (2) BWA勧告のAnnex 1の無線LAN部分の記述について、EricssonからIEEE802.11とHiperLAN2はまとめるようにというコメントがあったが、Intelが日本のHiSWANaもあり個々に記述した方が良いと意見し、議長も支持したため、これまで通りの個別の記述となった。
- (3) 日本がAnnex 1の無線LAN規格を勧告M.1450で参照する文に、ガイダンスを含めた表現を含めるように主張したが、ドイツが反対した。カナダがガイダンスでもなく排他的でもない中立的な表現を提案し、「Broadband RLAN standards is included in Rec. M.1450」との表現になった。また、Intelの提案でJapan ARIB HiSWANaのJapanは削除された。
- (4) Annex 2 の 1.2項「IMT-2000 CDMA Multi-Carrier」について、クアルコムの提案に基づき、全体的なバランスからボリューム削減を行った。
- (5) Annex 3のタイトルは、「Harmonized IEEE and ETSI radio interface standards, for broadband wireless access (BWA) systems including mobile and nomadic applications in the mobile service」となった。また、全体的なバランスからAnnex 3の詳細部分を削除し、ボリューム削減を行った。
- (6) Annex 5の次世代PHSの表記内容については、各システムの比較はAnnex 6で行うことから、次世代PHSと他システムを比較した表現を削除した。その他エデ

ィトリアルな修正を実施して、ほぼ提案の内容で了承された。

- (7) Annex 6 特性比較表の最大伝送レートでは、MIMOの有無が混在していたが、最終的には、MIMOの数値を表記することになった。
- (8) PDNR ITU-R M.[8A/BWA]がDNR化されることがWP8Aプレナリーミーティングで承認され、SG8に提出された（8A/TEMP/233R1）。

2.7.2 無線LAN勧告M.1450の改訂

入力文書：8A/361 (IEEE), 398 (WP9B), 403 (ETSI), 420 (米), 424 (韓国), 442 (カナダ), 449 (IEEE), 453 (ARIB)

出力文書：8A/TEMP/250

前回会合においてIEEEからの勧告M.1450の改訂提案（8A/361）についてDGで審議し、WG7議長Bond氏から、WRC03の決議229において勧告M.1450が参照されていることを理由に、改訂には慎重であるべき、との意見が表明された。また、IEEEからの当該改訂提案において不正確な記述があり、IEEEに対して質すことになり（8A/TEMP/199）、また、ETSIとMMACに対して各無線LANシステムの情報について照会することになった（8A/TEMP/200）。さらに、WP9Bに対して見解を求めるリエゾン文書を発出した（8A/TEMP/207）。

今回会合においては、計4回のDG審議が行われ、WP9Bからの入力（8A/398）により、勧告M.1450のRecommend 6 で勧告F.1244の参照を新レポートF. [BWA-REQ]に変更すること、また、勧告M.1450の修正では、「ガイダンス的性格」を維持して更新することが提案された。米国もWP9Bの主張を支持することを表明した（8A/420）。一方、カナダは、新レポートF. [BWA-REQ] は、recommendsではなく、notingとして加えることを主張した（8A/442）。

- (1) 新レポートF. [BWA-REQ]の参照箇所について、米国が主張するrecommendsとするか、カナダが主張するnotingするかは、結論が出ず、次回会合に審議持越しとなった。
- (2) カナダが提案した新しいrecommendsでは、これまでのfor guidanceの語句が削除されており、日本は、ガイダンス的性格を明示することを主張したが、カナダの反対があった。そのため、日本から具体的な代替案として、recognizingで本勧告と決議229で引用されていることに言及し、NOTEに他の無線LANシステムも含めた表現をすることを提案した。ガイダンス性について一定の理解が得られたが、表記方法については審議中であることの説明文をエディターノートに残すことで今回の結論とした。
- (3) 米国とカナダの提案により、これまでの勧告のAnnex 1 は残し、Annex 2とAnnex 3は削除することとなった。IEEEが提案した、IEEEとETSIの無線LANシステム規格が手に入るURLの紹介の記述が新Annex 1に、以前のAnnex 1が新Annex 2にな

った。

- (4) 新Annex2 (General guidance for broadband RLAN system design) の冒頭に、当該AnnexはRLANの一般的記載であり、当該Annexの記載が技術／規格を制限するものでないことを、エディトリアルノートにて記載した。
- (5) 日本からの提案により、Table中のARIB HiSWANaのInterference Mitigation項目に、LBT (Listen Before Talk) を追加した。
- (6) 審議の結果、次回会合への改訂作業文書として出力された (8A/TEMP/250) 。

2.7.3 5GHz帯のレーダと無線アクセスシステムの共用技術 (DFS: Dynamic Frequency Selection) について

入力文書：8A/377 (WMO), 8A/435 (WMO)

出力文書：なし

世界気象機関 (WMO) から5GHz帯無線LANから気象レーダへの干渉事例について報告があった。議長がWMOにDFSの試験方法を審議しているコレスポンデンスグループへの参加の示唆があり、当該事例についてはコレスポンデンスグループにおいて審議することとなった。なお、今回会合ではDFSの試験方法に関する審議は無かった。

2.7.4 リエゾン文書の作成

入力文書：8A/397 (WP9B), 398 (WP9B)

出力文書：8A/TEMP/236, 243, 249

移動業務に関するITU-Rテキストの利用ガイドに関して、WP9Bから、旧JRG8A-9Bで作成したFシリーズ勧告の修正及び追加すること、さらにこのWeb情報はWP8AのサイトのみでなくWAS (Wireless Access System) のサイトにも掲載することが提案された (8A/398)。この提案に基づいて修正を反映させた (8A/TEMP/236)。

また、ANTS (Access Network Transport Standards)に関連するITU-T SG15へのリエゾン文書を作成し、BWA勧告のDNR化、勧告M. 1450の更新などについて状況を報告した (8A/TEMP/243)。

さらに、WP9Bへのリエゾン文書を作成し、BWA勧告のDNR化、勧告M. 1450の改訂では、勧告F. 1244の参照を変更したが、最終的な結論に達していないことについて状況を報告した (8A/TEMP/249)。

3 今後の審議予定

次回WP8A会合において検討を行う事項は以下のとおり。

3.1 WG1

- (1) アマチュア及びアマチュア衛星業務ハンドブック作成を完了させる

- (2) 研究課題・勧告・報告の見直し
- (3) その他

3.2 WG2

【2004-2007年 WP8Aにおける審議課題】

WG2議長から以下の活動と議題と進捗状況について報告があった。

- (1) 次世代ITS無線通信システムに関する作業項目の完了（継続）
- (2) LMH Vol.4 ITSの完成（完了）
- (3) DSRC-ASLの勧告化（勧告改訂済：ITU-R M.1453-2）
- (4) ミリ波ITS通信に関する勧告化の推進（今回WP8A会合でPDNRを出力）
- (5) 79GHz車載統合システム（レーダー・通信）に関する調査（(4)項に含めて検討）
- (6) 5850-5925MHzの干渉検討（必要に応じて）（継続）
- (7) 国際標準化機関（APT（ASTAP）、ETSI、CITEL、IEEE等）とのリエゾンの推進（継続）

3.3 WG3

WP8Aの次回会合でWG3が審議する主な課題は以下のようなものである。

- (1) 今回保留となったPPDRにおける周波数計画の勧告化に関する審議。
- (2) WRC-03の議題1.3 PPDRのために纏めたITU-R レポートM.2033のアップデート。
- (3) Land Mobile Handbook Rapporteur ReportのSection9のアップデート。
- (4) 決議646（WRC-03）に記載されている、今後のPPDR通信システムに関する技術的研究。

3.4 WG4

- (1) PDNReport M. [LMS. CHAR-BWA] 及びPDNR M. [LMS. CHAR. CELL] の完成度を高めるため、これらの作業を継続する。特にM. [LMS. CHAR-BWA] は次回DNRに昇格させるべく作業を継続する。
- (2) PDNR ITU-R M. [ENG] を、次回WP8AでDNRとすべく、作業を継続する。

3.5 WG5

- (1) 移動通信におけるIPアプリケーションレポート草案については、次回会合で最終の精査をおこなう。
- (2) コグニティブ無線に関しては、新研究課題の成立を受けて、レポート草案作業文書の作成などを開始する。
- (3) ソフトウェア無線に関する統合レポート草案については、WP8Bおよび8Dからの関連章節のテキスト入力を受けて、完成承認を目指す。関連テキストの入力がない場合は、関連章節を削除下のち、完成承認を目指す。

- (4) ITU-Rテキスト(既存勧告およびレポート)の見直しに関しては、WG5議長報告の添付文書に上げられているテキストの削除を行うかの議論を予定。特に維持すべきとの寄書入力がない場合は自動的に削除テキストとしてSG8へ提案する予定である。

3.7 WG7

- (1) ITU-R勧告M. 1450改訂について継続審議する。特に、ガイダンス性についての表記方法について、及び新レポートF. [BWA-REQ]の参照方法について審議する。
- (2) DFSの試験方法に関する文書について、コレンスポンデンスグループで議論を行い、次回会合で報告する。出力文書の勧告化／レポート化について審議する。
- (3) 次回会合においてWG7に関連する作成から時間の経過した研究課題について見直す。

4 次回会合のスケジュールについて

次回(第20回)WP8A会合は、2007年6月12日～20日にジュネーブ(スイス)にて開催される予定。

表2 日本入力文書の審議結果

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
8A/431	Proposed modification to the working document toward a preliminary draft new Recommendation on millimetre wave Intelligent Transport Systems (ITS) radiocommunication systems	新勧告草案(PDNR integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems)として承認。次回会合において継続検討。	8A/TEMP/244
8A/432R1	Proposed modification to the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]	新勧告案(DNR M.[8A/BWA])に盛り込まれ、承認。SG8へ提出。	8A/TEMP/233R1
8A/433R1	Proposed attachment to working document towards development of Report and/or Recommendation concerning the cognitive radio	次回会合へ持ち越し、継続検討。	8A/TEMP/254
8A/434	Proposed Draft New Recommendation of Reference parameters for the sharing studies between ENG system deployed under the mobile service and other services	新勧告草案(PDNR M.[ENG])として承認。次回会合にて継続検討。	8A/TEMP/232R1 8A/TEMP/227R1

その他、日本のセクタメンバまたは外部機関から以下の表の文書の入力を行った。

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
8A/417 (NTT DoCoMo Inc., KDDI Corporation, Vodafone K.K.)	Additional information regarding parameter of pdc for technical and Operational Characteristics Of Digital Cellular Land Mobile Systems to be used in sharing studies	新レポート草案(PDNReport M.[LMS.CHAR.CELL])に盛り込まれ、承認。次回会合において継続検討。	8A/TEMP/247R1
8A/438 (PHS MoU Group)	Input of information from PHS MoU Group to Working Party 8A in response to liaison statement to Working Party 8F and External Organisations	新レポート草案(PDNReport M.[LMS.CHAR-BWA])に盛り込まれ、承認。次回会合において継続検討。	8A/TEMP/251

8A/452 (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL]" – Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies	新勧告草案(PDNReport M.[LMS.CHAR.CELL])として承認。次回会合において継続検討	8A/TEMP/247R1
8A/453 (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Revision of Recommendation ITU-R M.1450-2" – Characteristics of broadband radio local area networks	勧告M.1450の勧告改訂草案のための作業文書に盛り込まれ、次回会合において継続検討	8A/TEMP/250
8A/454 (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Annex 17 to WP 8A Chairman's Report – Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]" – Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	新勧告案(DNR M.[8A/BWA])に盛り込まれ、承認。SG8へ提出。	8A/TEMP/233R1
8A/455 (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Annex 10 to WP 8A Chairman's Report – Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA]" – Characteristics of broadband wireless access systems operating in the mobile service for frequency sharing and interference analyses	寄書取り下げにより組み込まれず。	–

表3 WP8A入力文書一覧表

文書番号	提出元	題目	担当 WG	出力文書
8A/376	WP8A 議長	Report of the eighteenth meeting of Working Party 8A	—	—
8A/377	WMO	Preliminary WMO position on World Radiocommunication Conference 2007 agenda	WG4	8A/TEMP/221rev1 (WG4)
8A/378	WP4A	Liaison statement to Working Parties 8F, 6E, 8A, 8B and 8D – Frequency-related matters for IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 agenda item 1.4	WG4 WG5	確認のみ
8A/379	WP8B	Liaison statement to WP 6E (copy to WP 9D and WP 8A) – Proposals on coordination trigger values in relation to preparation for RRC-06	WG4	—
8A/380	WP4A	Liaison statement to Working Party 7B and copy to Working Parties 9D and 8A for information – “Proposed draft CPM text for WRC-07” agenda item 1.2 (Resolution 746 (WRC-03), 18 GHz)	WG4	—
8A/381	WP8B	Liaison statement to WPs 8A and 9D – Compatibility studies between aeronautical mobile telemetry and other primary radiocommunication services in bands identified as candidates for further study	WG4	—
8A/382	WP8B	Liaison statement to Working Parties 8A, 8D and 3K, the International Maritime Organization (IMO), International Association of Maritime Aids to Navigation and Lighthouse Authorities (IALA), and Comite International Radio-Maritime (CIRM)	WG4	—
8A/383	WP8B	Liaison statement to Working Party 8A – Working document towards a preliminary draft new Report on AM(R)S sharing feasibility in portions of the 960–1 164 MHz Band	WG4	—
8A/384	Coordinator of the Coord. Group for AI 1.13	Report from the Coordination Group for WRC-07 Agenda item 1.13 to ITU-R Working Parties 6E, 8A, 8B and 9C	WG1 (Joint WRC 07 1.13)	確認のみ
8A/385	SG9	ITU-R STUDY GROUP 9 Question to be brought to the attention of Working Parties 8A and 8B	WG5	確認のみ
8A/386	WP8F	Liaison statement to external organizations dealing with	WG7	8A/TEMP/233R1

		Recommendation ITU-R M.1457		
8A/387	IARU	Preliminary draft new Recommendation – Preferred frequency bands above 275 GHz for the amateur and amateur-satellite services	WG1	8A/TEMP/217
8A/388	IARU	Draft element for CPM text on Agenda item 1.13 related to a spectrum requirement in vicinity of 5 MHz for the amateur service	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/389	IARU	Draft CPM text on Agenda item 1.15 related to a secondary allocation to the amateur service in the frequency band 135.7–137.8 kHz	WG1	8A/TEMP/219
8A/390R1	オランダ	CEPT proposals for CPM on agenda item 1.13	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/391	WP8F	Liaison statement to BDT SG 2 Q.18/2 & Working Parties 7C, 8A, 8D and 9B – Use of IMT systems in case of natural disasters	WG1	–
8A/392	ETSI	Input for the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/393	Israel	Protection of land mobile systems from terrestrial digital video and audio broadcasting systems in the VHF and UHF shared bands; follow up by WP 8A (WP 8F and 6E)	WG4	May be submitted as a proposed PDNR
8A/394	WP9D	Liaison statement to WP's 1A, 1B, 4A, 4–9S, 6E, 6M, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D and 8F and TG 1/9, and to JTG 6–8–9 – Revision of Recommendation ITU-R F.1336	WG4	–
8A/395	WP9D	Liaison statement to Working Parties 6J, 4B, 6E, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B, JTG 6–8–9 and ITU-T Study Group 9 System characteristics for use in sharing studies with television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the fixed service	WG4	8A/TEMP/231
8A/396	米国	US views and proposed edits to the Land Mobile Handbook – Volume 4 on Intelligent Transport Systems	WG2	8A/TEMP/253
8A/397	WP9B	Liaison statement to ITU-T Study Group 15, copy to ITU-R Working Parties 8A and 8F – Access network transport standardization (ANTS) plan and work plan	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/398	WP9B	Liaison statement to WP 8A (for information to ITU-T SG 9) – Broadband wireless access systems in the fixed service	WG7	8A/TEMP/250

8A/399R1	WP9C	Liaison statement to WP's 6E, 8A and 8B – Revised Draft CPM text on Agenda item 1.13	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/400	WP9C	Liaison statement to WP's 8A and 8B (for information to WP 6E) – The development of a Draft New Report information relating to the fixed and mobile services in the 4–10 MHz band	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8B/TEMP/244
8A/401	WP9D	liaison statement to Working Party 7C For Action and to Working Parties 6J and 8A for information Studies relating to Agenda item 1.2 and draft CPM Report text	WG4	8A/TEMP/221R1
8A/402	WP9D	Liaison statement to Working Party 6J and copy to Working Party 8A for information Spectrum usage and operational characteristics of television outside broadcasting (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP)	WG4	8A/TEMP/231
8A/403	ETSI	Liaison statement to ITU-R WP 8A regarding Recommendation ITU-R M.1450	WG7	8A/TEMP/250
8A/404	ETSI	Liaison statement to ITU-R WP 8A regarding radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/405	CPM Chapter 5 Rapporteur	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/406	CPM Chapter 5 Rapporteur	Further reduction of text on 1.13 in the CPM Report	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/407	TIA	Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/408	MOTOROLA, Inc. , Lucent Technologies , Ericsson , TELECOM ITALIA S.p.A. , Siemens A.G. , Nokia Corporation	Response on radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/409	IEEE	Broadband wireless access standards in the mobile service	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/410	ATIS	Liaison response to PDNR M.[BWA] radio interface standards for Broadband	WG7	8A/TEMP/233R1

		Wireless Access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz		
8A/411	IARU	Preliminary draft new Report ITU-R M.[AM-DISCO] – Role of the amateur and amateur-satellite services in support of disaster mitigation and relief	WG1	8A/TEMP/218
8A/412	カナダ	Preliminary draft new Recommendations ITU-R M.[LMS.700] and ITU-R M.[4.9GHz]	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report) (8A/TEMP/234rev1) (8A/TEMP/235rev1)
8A/413	カナダ	Canadian consultation paper on radio interoperability	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report)
8A/414	カナダ	Preliminary Draft New Question on Cognitive Radio	WG5	8A/TEMP/239
8A/415	カナダ	Draft new Recommendations ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] and ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL]	WG4	8A/TEMP/246R1 8A/TEMP/247R1
8A/416	Region 3 Rapporteur	Region 3 activities	–	報告のみ
8A/417	NTT DoCoMo Inc., KDDI Corporation, Vodafone K.K.	Additional information regarding parameter of PDC for technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies	WG4	8A/TEMP/247R1
8A/418	米国	Proposed modifications to Preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [LMS.CHAR.CELL]	WG4	8A/TEMP/247R1
8A/419	米国	Harmonized frequency channel plan for broadband public protection and disaster relief operations at 4 940–4 990 MHz	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report) (8A/TEMP/234rev1) (8A/TEMP/235rev1)
8A/420	米国	Considerations related to modification of Recommendation ITU-R M.1450	WG7	8A/TEMP/250
8A/421	米国	Proposed revisions to Working Document toward a Preliminary Draft Revision of Report ITU-R M.2014	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report) 8A/TEMP/242rev1
8A/422	米国	Proposed modifications to Doc. 8A/376, Annex 8, Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF]	WG4	8A/TEMP/246R1
8A/423	米国	Proposed modifications to a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS]	WG4	8A/TEMP/237R1
8A/424	韓国	Liaison statement to Working Party 8A regarding radio interface standards for	WG7	8A/TEMP/233R1 8A/TEMP/250

		broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz		
8A/425	RUS	Proposals to amendments for a draft new Handbook for the amateur and amateur-satellite services	WG1	次回会合で継続審議
8A/426	RUS	Russian translation of some terms for land mobile communications (the proposed changes to Annex 18 to Document 8A/376 – Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB])	VOC	8A/TEMP/220
8A/427	米国	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.13	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/428	米国	Working document toward preliminary draft new Report – Consideration of sharing conditions in the 4-10 MHz band	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8B/TEMP/244
8A/429	仏	Agenda Item 1.13, Resolution 351	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/430	IEEE	Proposed changes to preliminary Draft New Question on Cognitive Radio Systems in the Mobile Services	WG5	8A/TEMP/239
8A/431	日本	Proposed modification to the working document toward a preliminary draft new Recommendation on millimetre wave Intelligent Transport Systems (ITS) radiocommunication systems	WG2	8A/TEMP/244
8A/432	日本	Proposed modification to the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/433R1	日本	Proposed attachment to working document towards development of report and/or recommendation concerning the cognitive radio	WG5	8A/TEMP/254
8A/434	日本	Proposed draft new Recommendation of reference parameters for the sharing studies between ENG system deployed under the mobile service and other services	WG4	8A/TEMP/232rev1
8A/435	WMO	Interference from 5 GHz RLAN to meteorological radars	WG7	確認のみ
8A/436	カナダ	Consideration of Agenda Item 1.13 method 6 (Issue E)	WG1(Joint WRC 07 1.13)	8A/TEMP/241
8A/437	韓国	Proposed Modification of working document towards a Preliminary Draft New Report ITU-R M.[IP CHAR]	WG5	8A/TEMP/222
8A/438	PHS MoU Group	Input of information from PHS MoU	WG7	8A/TEMP/233R1

		Group to Working Party 8A in response to liaison statement to Working Party 8F and External Organisations		
8A/439	英国	Proposed addition to Document 8A/376 (Annex 4) – Working document toward a preliminary draft new Recommendation on integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	WG2	8A/TEMP/244
8A/440	カナダ	Revision of WP8A Texts regarding new technologies and services	WG1・WG5	WG1 部分 : 次回会合で 継続審議 WG5部分: 8A/TEMP254
8A/441	カナダ	Progression of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC. LAND.MOB.] – Vocabulary of terms for the land mobile service	VOC	8A/TEMP/220
8A/442	カナダ	Revision of Recommendation ITU-R M.1450-2 – Characteristics of broadband radio local area networks	WG7	8A/TEMP/250
8A/WG4	カナダ	Methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service	WG4	8A/TEMP/237R1
8A/444	オランダ	Input for working document a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2014	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report) 8A/TEMP/242rev1
8A/445	ドイツ	Proposal regarding PDNR ITU-R M.[8A/BWA]: "Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz"	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/446	ドイツ	Proposal regarding PDNR ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] and PDNR ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] – Technical and operational characteristics of land mobile systems to be used in sharing studies	WG4	8A/TEMP/246R1 8A/TEMP/247R1
8A/447	ドイツ	Proposal regarding working document towards a PDNR ITU-R M.[LMS.700] – "Harmonized frequency channel plan for public protection and disaster relief operations in the range 746-806 MHz"	WG3	WP8A 議長報告 8A/TEMP/425(WG3 Chairman's Report) (8A/TEMP/234rev1) (8A/TEMP/235rev1)
8A/448	Liaison Rapporteur for Region 2	Region 2 activities	–	確認のみ
8A/449	IEEE	Clarification on the revision of Recommendation ITU-R M.1450	WG7	8A/TEMP/250
8A/450	Region 1 Rapporteur	Update on several activities in Region 1	WG2	確認のみ

8A/451	Land Mobile Handbook Rapporteur	Report of the activities on Land Mobile Handbook	WG2	8A/TEMP/253
8A/452	Director, BR (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL]" – Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies	WG4	8A/TEMP/247R1
8A/453	Director, BR (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP8A on "Revision of Recommendation ITU-R M.1450-2"	WG7	8A/TEMP/250
8A/454	Director, BR (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP8A on "Annex 17 to WP8A Chairman's report –Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]"	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/455	Director, BR (ARIB)	ARIB's response to liaison statement sent out by WP 8A on "Annex 10 to WP 8A Chairman's Report – Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA]" – Characteristics of broadband wireless access systems operating in the mobile service for frequency sharing and interference analyses	WG4	8A/TEMP/251
8A/456	WP8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on Cognitive Radio Systems (Copy for information to ITU-R WP 8B and WP 8D)	WG5	8A/TEMP/239
8A/457	WP8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on Software Defined Radio	WG5	8A/TEMP/240R1
8A/458	カナダ	IP Applications over mobile systems	WG5	8A/TEMP/222
8A/459	WP8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on the joint development of a PDN Report ITU-R M.[IP_CHAR]"Key Technical and Operational Characteristics for Access technologies to support IP applications over mobile systems" in response to Question ITU-R 223-1/8	WG5	8A/TEMP/222 8A/TEMP/223R1
8A/460	WP8F	Liaison Statement to Working party 8A on the PDNR "Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz"	WG7	8A/TEMP/233R1
8A/461	WP8F	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS	WG5	8A/TEMP/243
8A/462	WP8F	Liaison statement to ITU-D SG2 Q.18/2 & ITU-R Working Parties 7C, 8A,	WG1	–

		8D and 9B – Use of IMT systems in case of natural disasters		
8A/463	WP7C	liaison statement to Working Party 8A Studies relating to Agenda item 1.2 and draft CPM Report text	WG4	8A/TEMP221R1 (WG4 議長名)
8A/464	BR Study Group Department	List of documents issued	–	–
8A/465	WP4B	on the development of a PDN Report ITU-R M.[IP_CHAR]”Key Technical and Operational Characteristics for Access technologies to support IP applications over mobile systems”	WG5	8A/TEMP/222 8A/TEMP/223R1

表4 WP8A出力文書一覧表

文書番号	題 目	入力文書	処理
8A/TEMP/217	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION* Preferred frequency bands above 275 GHz for the amateur and amateur-satellite services	8A/387	取り下げ
8A/TEMP/218	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[AM-DISCO] Role of the amateur and amateur-satellite services in support of disaster mitigation and relief	8A/411	WP8Aプレナリーで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/219R.1	DRAFT CPM TEXT ON AGENDA ITEM 1.15 RELATED TO A SECONDARY ALLOCATION TO THE AMATEUR SERVICE IN THE FREQUENCY BAND 135.7-137.8 kHz	8A/389	WP8Aプレナリーで承認、チャプターラポーターへ送付
8A/TEMP/220R1	[preliminary] draft new recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB] Vocabulary of terms for the land mobile service	8A/376 (Annex18) 8A/426 8A/441	WP8Aプレナリーで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/221R1	Liaison statement to Working Party 7C – Result of the Studies relating to Agenda item 1.2 and draft CPM Report text	8A/463	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/222	Preliminary Draft New Report ITU-R M.[IP CHAR] Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems	8A/437 8A/458 8A/459	WP8Aプレナリーで議長 報告への添付承認 (継続審議)
8A/TEMP/223R1	Draft liaison statement to relevant external organizations and ITU-T Study Group 13 and 19 (Copy to WP4B, WP8D and WP8F) On the development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] “Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems” in response to Question ITU-R 223-1/8	8A/437 8A/458 8A/459 8A/465	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/224	Report of the Convener of Ad Hoc Vocabulary Group	なし	VOC議長報告
8A/TEMP/225	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 2	なし	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/226R1	Working Group 8A1, CONTRIBUTION TO WP8A CHAIRMAN’S REPORT	-	WG1議長報告
8A/TEMP/227R1	LIAISON STATEMENT TO ARAB STATES BROADCASTING UNION, ASIA PACIFIC BROADCASTING UNION, EUROPEAN BROADCASTING UNION, AND NORTH	8A/395 8A/402 8A/434	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付

	<p>AMERICAN BROADCASTERS ASSOCIATION</p> <p>System Characteristics of television outside broadcast(TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the Mobile Service</p>		
8A/TEMP/228	<p>Liaison statement to Arab States Broadcasting Union – System characteristics of Television Outside Broadcast (TVOB), Electronic News Gathering (ENG) and Electronic Field Production (EFP) in the mobile service</p>	<p>8A/395 8A/402 8A/434</p>	取り下げ
8A/TEMP/229	<p>Liaison statement to the European Broadcasting Union – System characteristics of Television Outside Broadcast (TVOB), Electronic News Gathering (ENG) and Electronic Field Production (EFP) in the mobile service</p>	<p>8A/395 8A/402 8A/434</p>	取り下げ
8A/TEMP/230	<p>Liaison statement to North American Broadcasters' Association – System characteristics of Television Outside Broadcast (TVOB), Electronic News Gathering (ENG) and Electronic Field Production (EFP) in the mobile service</p>	<p>8A/395 8A/402 8A/434</p>	取り下げ
8A/TEMP/231	<p>Liaison Statement Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B and ITU-T Study Group 9</p> <p>System Characteristics of television outside broadcast(TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the Mobile Service</p>	<p>8A/395 8A/402 8A/434</p>	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/232R1	<p>PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M ITU-R M.[ENG]</p> <p>System Characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the Mobile Service</p>	<p>8A/434</p>	WP8Aプレナリーで承認 (継続審議)
8A/TEMP/233R1	<p>Draft New Recommendation ITU-R M.[8A/BWA]</p> <p>Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz</p>	<p>8A/386 8A/392 8A/397 8A/404 8A/407 8A/408 8A/409 8A/410 8A/432 8A/438 8A/445 8A/454</p>	WP8Aプレナリーで承認 SG8に提出(8/167)

		8A/460	
8A/TEMP/234R1	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R M.2014 Spectrum efficient digital land mobile systems for dispatch traffic(Question ITU-R 37/8	8A/412 8A/447	一部修正のうえ承認、WG3 議長報告に Working Document として添付。
8A/TEMP/235R1	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M.[LMS.4.9GHZ] Harmonized frequency channel plans for public protection and disaster relief operations at 4940-4990 MHz	8A/412 8A/419	一部修正のうえ承認、WG3 議長報告に Working Document として添付
8A/TEMP/236	Amendments to the guide to the use of ITU-R texts related to the land mobile service	8A/398	WP8Aプレナリーで承認
8A/TEMP/237R1	Working document towards a preliminary draft new Recommendation [METH.SHAR.LMS] on methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service	8A/423 8A/443	WP8Aプレナリーで承認 (継続審議)
8A/TEMP/238	List of WP 8A contacts for liaison and collaboration with other organizations under Resolution ITU-R 9-2	-	WP8Aプレナリーで確認
8A/TEMP/239	PROPOSED DRAFT NEW QUESTION ON COGNITIVE RADIO	8A/414 8A/430	WP8Aプレナリーで承認 SG8へ送付
8A/TEMP/240R1	Draft liaison statement to Working Parties 8B and 8D Development of a consolidated Report on Software Defined Radio (Copy to WP8F)	8A/457	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/241	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13 – Executive summary of CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13	6E/385, 8A/399, 8B/464, 9C/135 Annex4(Rev.1)	Joint WRC 07 1.13で承認、チャプターラポーターへ送付
8A/TEMP/242	DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R M.2014 Digital land mobile systems for dispatch traffic	8A/421 8A/444	WP8Aプレナリーで一部修正のうえ承認。SG8へ入力
8A/TEMP/243	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP8F and WP9B)	8A/140 8A/141	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付

8A/TEMP/244	Preliminary draft new Recommendation integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	8A/376 Annex.4, 8A/431, 8A/439	WP8Aプレナリーで議長報告への添付承認 (継続審議)
8A/TEMP/245	CHAIRMAN'S REPORT OF WORKING GROUP 3	8A/412 8A/413 8A/419 8A/421 8A/444 8A/447	WG3議長報告
8A/TEMP/246R1	[PRELIMINARY] DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] Technical and operational characteristics of conventional and trunked land mobile systems operating in the mobile service allocations below 960 MHz to be used in sharing studies	8A/415 8A/422 8A/446	WP8Aプレナリーで承認 SG8へ送付
8A/TEMP/247R1	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies (Questions ITU-R 1-3/8 and ITU-R 7-5/8)	8A/415 8A/417 8A/418 8A/446 8A/452	WP8Aプレナリーで承認 (継続審議)
8A/TEMP/248	Chairman's Report of Working Group 8A-2 (Intelligent transport systems - ITS)	-	WP8Aプレナリーで承認
8A/TEMP/249	Draft liaison statement to WP9B (for information to ITU-T SG9) Wireless access systems in the mobile service	8A/398	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/250	Working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2	8A/398 8A/403 8A/420 8A/424 8A/442 8A/449 8A/453	WP8Aプレナリーで承認 (継続審議)
8A/TEMP/251	Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA] Characteristics of broadband wireless access systems operating in the mobile service to be used in frequency sharing studies.	8A/438 8A/455	WP8Aプレナリーで承認 (継続審議)
8A/TEMP/252	Chairman's Report of Ad hoc LM Handbook	-	WP8Aプレナリーで承認

8A/TEMP/253	Land Mobile Handbook (including wireless access) volume 4: Intelligent Transport Systems	8A/451 8A/396	WP8Aプレナリーで承認 され発行
8A/TEMP/254	WG 5 CHAIRMAN' S REPORT	—	WP8Aプレナリーで承認
8A/TEMP/255	Liaison statement to Working Party 8F – Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA].	—	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/256	Liaison statement to external organizations – Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA]	—	WP8Aプレナリーで承認 リエゾンとして送付
8A/TEMP/257	Contribution to the WP 8A Chairman' s Report	—	WP8Aプレナリーで承認
8A/TEMP/258	Report of Working Group 7: Wireless access systems, including RLANs	—	WP8Aプレナリーで承認

ITU-R SG8 WP8A第19回会合 日本代表团

	氏 名	所 属
団長	住吉 宏一	総務省総合通信基盤局電波部移動通信課システム開発係長
	上野 衆太	日本電信電話(株) NTTアクセスサービスシステム研究所ワイヤレスプロジェクト
	岡 誠一	(社)日本アマチュア無線連盟 総務部 部長付(国際問題担当)
	小山 敏	(株)日立製作所トータルソリューション事業部 ITSソリューションセンター 担当部長
	檜木 勘四郎	KDDI(株) 技術開発本部メディア技術開発部コグニティブグループ 次長
	上村 治	(株)ウィルコム 電波企画部 課長
	小坂 克彦	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
	酒井原 邦彦	松下電器産業株式会社 パナソニックシステムソリューションズ社 技術本部 開発センター ユビキタスソリューショングループ 「ネットワークプラットフォーム1チーム」 チームリーダー
	須永 輝巳	三菱電機(株) 無線通信技術部 信号処理チーム 専任
	中山 稔啓	(株)フジテレビジョン 技術局技術開発室企画開発部 主任
	藤瀬 雅行	(独)情報通信研究機構横須賀無線通信研究センター主管
	藤本 芳宣	日本電気(株) モバイルワイヤレスネットワーク事業部ワイヤレスアクセス技術プロフェッショナル
	矢野 陽一	(株)ウィルコム 電波企画部長
	吉野 仁	(株)NTTドコモ 総合研究所 研究推進グループ 主幹研究員

ITU-R SG8 WP8B 第19回会合 報告書

1 WP8B

WP8Bは、国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第8研究委員会(SG8:移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連する衛星業務)の作業部会であり、GMDSSを含む海上移動業務、航空移動業務、及び無線測位業務を扱っている。

1.1 会議の概要

WP8B第19回会合は、2006年9月5日(火)から13日(水)までの7日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には、30の主管庁、4の認められた私企業等から計198名が参加し、日本からは表1に示す9名が出席した。

議長は、T.EWERS氏(独)が担当し、WPのもとに表2に示す8B1から8B3までの3つのサブワーキンググループ(SWG)と議題1.13に関するWP8A/8B/9C/6E合同会議を設置し、117件の寄与文書(Doc.8B/441-557:日本からの寄与文書はなし)について審議を行い、新研究課題案1件、改定研究課題案1件、新勧告案2件、改訂勧告案4件、暫定新勧告案6件、暫定改訂勧告案1件、新報告案2件、暫定新報告案4件、作業文書5件、リエゾン文書9件、CPMテキスト案8件、その他の文書1件、合計44件の出力文書(TEMP Doc.)を作成した。なお、表6に入力文書一覧、表7に出力文書一覧を示す。

表1 日本からの出席者

氏 名	所 属
芦澤 宏和	総務省 総合通信基盤局電波部 衛星移動通信課 国際係長
小坂 克彦	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
古山 賢二	日本無線(株) 海上機器事業部 部長
新 博行	(株)NTTドコモ 電波部電波企画担当課長
小松 裕	ボーダフォン(株)モバイルネットワーク統括本部 ネットワーク統括部 無線ネットワーク部 電波部 課長
礪 琢己	(株)NTTドコモ 電波部電波企画担当
前田 裕昭	NEC東芝スペースシステム(株) 測位システム開発室
三留 隆宏	新衛星ビジネス(株) 周波数調整室 部長代理
有竹 信夫	(社)電波産業会 研究開発本部 航空海上通信グループ 主任研究員

2 審議の内容

表2 WP8Bの審議体制

グループ	担務内容	議 長
WP8B	GMDSSを含む海上移動業務、航空移動業務、及び無線測位業務	Mr. T. EWERS(独)
SWG8B-1	無線標定	Mr. D. Reed(米)
8B1a	議題1.3、決議747(WRC-03)関係	Mr. D. Franc(米)
SWG8B-2	航空移動業務	Mr. J. Mettrop(英)
8B2a	AMT関連Report	Mr. D. Jablonski(米)
8B2b	AMT関連Recommendation	Mr. H. Balliencourt(仏)
8B2c	議題1.5 CPMテキスト案	Mr. J. Mettrop(英)
8B2d	その他(議題1.12及び108MHz以下の放送業務との共用)	Mr. S. Parry(英)
8B2e	議題1.6 CPMテキスト案	Mr. M. Biggs(米)
SWG8B-3	海上移動業務	Mr. J. Turban(米)
8B3a	AIS関連	Mr. A. Steward(英)
8B3b	WRC-07議題1.14、1.16関連	Mr. S. Ward(米)
8B3c	HF Email関連	Dr. B. Reinhold(米)
8B3d	DSC関連及びその他	Mr. J. Turban(米)
AI 1.13	議題1.13 CPMテキスト案	Mr. P. Lansman(フィンランド)

2 審議の内容

2.1 SWG-8B1(無線測位関連)

SWG8B1では、D. Reed氏(米)が議長を担当し、無線測位レーダ関連の入力文書について検討を行い、合計15件の出力文書を作成した。

SWG8B1では、WRC-07議題1.3(決議747関係)を審議するドラフティンググループ(DG8B1A)を設置し、その他の議題についてはSWG8B1で審議を行った。

入力文書: 8B/4, 220, 221, 367, 441 (Annex 7, Annex 10, Annex 15, Annex 16, Annex 17, Annex 20, Annex 22, Annex 23,) 442, 451, 453, 454, 467, 473, 474, 475, , 477, 478, 481, 486, 492, 493, 494, 508, 509, 510, 512, 513, 515, 525, 526, 528, 530, 534, 543, 551, 552, 557
(8B/441より前は、前回会合より前に入力された文書で今回会合へキャリーオーバーされた文書)

出力文書: 8B/TEMP/201+Add.1, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 216, 217,

表3 WP8B1の審議体制

グループ	検 討 事 項	議 長
DG8B1A	議題1.3、決議747(WRC-03)関係	D. Franc (米)

2.1.1 WRC-07議題1.3関係(DG8B1A)

WRC-07議題1.3及び決議747(WRC-03)に関する審議を行った。Reportの作成については次の来年6月の次回会合でも間に合うので、今回の会合ではCPMテキストの作成とWP7Cへのリエゾンの作成が最優先で行われた。議長はDavid FRANC氏(米)。

入力文書: 8B/220, 221,367, 441 (Annex 23), 442, 467, 473, 477, 486, 509, 528, 534, 543, 557

出力文書: 8B/TEMP/205, 220Rev.1+Add.1, 221

米国が中心となってまとめたWP7Cの議題1.3のCPMテキスト案を基に仏国(8B/534)とカナダの入力文書(8B/543)を加味してWP8BのCPMテキスト案の作成に取りかかった。

WP7Cよりのリエゾン(8B/557)にてSRS ACTIVEでEESSと同じ様なシステムを使うときは共用検討無しにできないかとの意見が述べられており、WP7Cよりのテキスト案もそれに沿って作成されていた。検討の結果、ReportのないIssue Dを除いて受け入れることになった。

RLSの一次格上げに関し、Method 1/Method 2のところでAdvantage/DisadvantageのRNSの保護に関するFoot Noteの扱いについてどうするか、関係者で打ち合わせを行い一度は削除することになったが、ICAO/IMOの方針に反していると指摘し、[]付きとし、SWG8B1で両団体の意見を聞くことになった。

本件に対し、SWG8B1においてMethod 1のDisadvantageにある他の帯域でFoot Note無しで共用を行っているという内容をMethod 2のAdvantageにMethod 2のDisadvantageにあるIMO/ICAOがFoot Noteを要求しているという内容をMethod 1のAdvantageに入れることで合意された。

EESSの周波数帯の200MHz拡張に対してはロシアが9800-10000MHz帯に拡張するMethod 2の削除を要求したが、今回の会合ではMethodの削除は行わないとの議長の方針により受け入れられなかった。一方、韓国はMethod 2を支持する内容の文書(8B/528)を入力していたがその理由について米国より検討済みで問題はないことになっているとのコメントが行われた。

Method 2のDisadvantageについて、ロシアが主張したもののうち共用検討が十分ではないとのものについては、WP7Cで行った共用検討に対して疑問を差し挟むことになるので採用できないとのこととなった。さらに、Disadvantageにあった“このMethodは主要な手法ではない”との項目が

Method 2の頭に[]付きでコメントの形で挿入することに変更された。

本件に対し、SWG8B1において、我が国より共用検討を行ったWP9DのWP7Cへのリエゾン文において本手法は9500-9300MHz帯への拡張が受け入れられない時のみ選択するようコメントされていることを指摘し、その結果として、Disadvantageに再び入れられることになった。

結果として我が国はMethodに対しての意見を表明したことになり、会合後、韓国代表からAPG会合の時の見解から変わっているが理由は何かと説明を求められた。9800-10000MHz帯については今回の議論にもあったように主要な手法と見なしていないので、共用について我が国では十分検討ができていないためと説明した。APG2007-4会合での意見集約が難しくなるかもしれない。

本CPMテキストは、WP8BのPlenaryにてEESSの狭帯域時と広帯域時についての干渉を受ける度合いについての説明文が追加され承認された。

WP7Cへのリエゾン回答について、求められた気象レーダとの共用についても入れた案が関係者で取りまとめられ、SWG8B1で配布された了解を得た。WP8B Plenaryで一部修正の上承認された。

米国からの入力文書8B/509は各種レーダとEESSとの共用について、妨害除去技術なしで検討したもので、エディトリアルな修正後DNRとして認められ、WP8B Plenaryで承認された。

2.1.2 WRC-07議題1.4関連(IMT-2000及びIMT-Advanced)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、議事次第ADM/52の中の議題4.2として審議された。WP8Fからの入力文書のプレゼンの後、リエゾンバックがオフラインの関係者会合で作成され、SWGの場に提出された。リエゾンは、3つの周波数帯に分かれて議論された。

入力文書: 8B/453, 454, 475, 512, 513, 526, 530, 551, 552

出力文書: 8B/TEMP/206, 228, 229

①450-470MHz帯:

WP8Fで新たに検討を開始した450-470MHzにおける共用検討において隣接レーダとの共用検討パラメータの提供を求めるリエゾン(8B/551)に関しては、今会合で関連する入力文書が無いこと、次回のWP8Bは2007年6月でWP8Fの次回会合(2007年1月)、次々回会合(2007年5月)に間に合わないため、RCGに検討を依頼し、その結果をWP8Bのメール・リフレクタを使ってリエゾン案を紹介し、反対が無ければWP8Fに送ることが合意された。

その方針に基づいたリエゾンバック案が、米(Mitchell氏)により作成され、8B1及びWP8B Plenaryで承認された(8B/TEMP/206)。

②2700-2900MHz帯:

WP8Fからの入力文書(8B/453,552)に対するリエゾン案が、米(Zichy氏)及び瑞(Lejerkrans

氏)らにより、8B/512(米)に8B/526(WMO)、8B/530(仏)の内容を反映させ、「多くの検討結果が共用不可と示している。2700-2900MHz帯はIMT-Advanced候補周波数とすべきでない」として提示された。

スウェーデンの提案による「WRC-2000にて2 700-2 900 MHzをIMT-2000候補帯域から外した」との表現の削除などのエディトリアルな修正が行われ、8B1及びWP8B Plenaryで承認された(8B/TEMP/229)。

③3400-3700MHz帯:

WP8Fからの入力文書(8B/4534,552)に対するリエゾン案が、8B/513(米)に基づいて、日米のオフライン会合(Ramsey、Nasser、新、堀、小松)で議論された。初回のオフライン会合は、他のWPに参加していた日本のレーダ関係者も交えて行われ、今後WP8FでDFS機能やACLRの詳細な実現性、根拠の提示を求めるリエゾンバックとする方向で合意された。

しかし、その後作成されたリエゾン案に「Analysis1の結論のnot feasibleに合意」として記載されていたため日本が強く反対し、何度かオフライン会合を繰り返し、「Analysis1の全ての検討シナリオでレーダ許容値を超える。この検討には干渉回避技術の適用を含まない」の表現で合意を得、8B1及びWP8B Plenaryで承認された(8B/TEMP/228)。

RCG(Radar Correspondence Group):

WP8Fへの450-470MHz帯のリエゾンバックに関し、今後WP8Bが開かれられないので、検討をRCG依頼しその結果をWP8Bのメール・リフレクタを使ってLS案を紹介し、反対が無ければWP8Fに送ることが合意された。そのためにJRGの日程を1日早め、RCGを11月16日、17日の2日に延長することになった。(2700-2900MHz帯、3400-3700MHz帯の扱いは不明だが、Contribution Drivenで入力文書があれば、議論される可能性がある。)

2.1.3 HFレーダの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/493, 494

出力文書: 8B/TEMP/201+Add.1, 203

現時点では周波数割り当ても無くあくまでも実験の扱いになっているので、将来的には正式な運用ができるようWRCの議題としてとりあげられることを期待している。各国からの現状報告を期待してDNQとPNDRのまま議長報告に入れる。

WP8B Plenaryで一部修正の上承認された。

2.1.4 地上設置気象レーダの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/441 (Annex 15), 474

出力文書: 8B/TEMP/202

気象レーダについての理解を促進するために作成した。WDとして議長報告へ載せる。

WP8B Plenaryで承認された。

2.1.5 ウインドプロファイルレーダの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/478

出力文書: 8B/TEMP/204

ウインドプロファイルレーダについては、現在記載が4つの勧告に分かれており分かりにくいのでそれをまとめて一つの勧告にまとめなおした。その場合、元の勧告の記述部分と情報が重なるため記載を削除するだけでなく適切な参照を行う必要がある。WDとして議長報告に載せる。

WP8B Plenaryで承認された。

2.1.6 統計的側面を考慮したレーダの保護

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/441 (Annex 22)

出力文書: なし

入力がないのでキャリーフォワードとする。

2.1.7 海上航行レーダの技術特性(勧告改訂案ITU-R M.1313-1)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/4(英)

出力文書: なし

8B/4船舶レーダに関するものだが第1回からキャリーオーバーしている。扱いをどうするか提出国の英国またはIMOの関係者と相談した上で扱いを決める。

2.1.8 5250-5850帯のレーダの技術特性(PDNRに向けた作業文書ITU-R M.1638)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/441 (Annex 16)

出力文書： なし

入力がないのでキャリーフォワードとする。

2.1.9 RLANの5 GHz帯気象レーダへの干渉

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/525

出力文書： なし

8B/525 RLANと気象レーダの共用についてDFSの有効性の報告、旧仕様のDFSはうまく行かないとの報告があり、新仕様のものについて引き続き報告を受ける。

2.1.10 30-300MHz帯のレーダの技術特性(PDNRに向けた作業文書ITU-R M.XXX)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/441 (Annex 17)

出力文書： 8B/TEMP/222Rev.1+Add.1

前回会合にロシアから30-300 MHz帯のレーダについての勧告作成のために入力されたもの、提出国ロシアがWDからDNRへの格上げを要求していたが、一種類のレーダしか記載されていないのでWDからPDNRに議長の見解で格上げし各国の入力を即すとしたが、改めて、ロシアから提出された文書案がDNRとなっていたため、取り扱いをどうするか迷い[P]DNRとしてPlenaryへ出すことになった。

WP8B PlenaryでDNRとして承認された。

2.1.11 645-862 MHz帯のレーダの技術特性(PDNR ITU-R M.XXX)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/441 (Annex 10)

出力文書： なし

本文所はRRC-6の検討様に作成したものを勧告にすることを目的としている。ロシアのシステムしか記載されていないので、他に645-862 MHzを航空航法業務に使用している国からの入力を即すためPDNRのままキャリーフォワードすることでロシアも納得した。

2.1.12 3 100-3 700 MHz帯のレーダの技術特性の改訂(PDRR ITU-R M.1465)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/508

出力文書: 8B/TEMP/208

8B/508 Item IはRRに記載されている内容なので削除した、Table 1のレーダの出力を改訂、これらのレーダは移動体に搭載されているので世界の何処でも使用可能である必要がある、米国の希望でDRとしてあげることになる、WP8Fへもリエゾン

WP8B PlenaryでDRRとして承認された。

2.1.13 EESS(受動)とレーダ間の両立性検討(WRC-07議題1.20及び決議738(WRC-03)関係)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/492

出力文書: なし

8B/492はWP8Bで行ったLバンドでレーダと衛星の受動センサの共用についての測定の結果を勧告ITU-R SM. Rec. 1633/Annex 3の改訂に反映させるためにTG 1-9に働きかけるためのもの。来週のTG 1-9へ入力する。

2.1.14 1215-1300MHz帯におけるレーダの追加特性の要求

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/441 (Annex 7, Annex 20), 481, 515

出力文書: 8B/TEMP/216, 217+Add.1

8B/441(Annex 7), 8B/515は1 215-1 400 MHz帯の新しいレーダシステム3種をITU-R Recommendation M.1463に追加するもの。前回不足していたデータを追加しDRRとする。

WP8B PlenaryでDRRとして承認された。

8B/441 (Annex 20), 481はロシアが提案し、衛星航法業務が無線標定業務に与える影響についてのWD-PDNR、今回5つのAnnexをまとめたAnnex 6を追加し他国からの入力を即すためキャリーフォワードとなった。

2.1.15 ITU-R M.824-2の改訂に向けてのPDRR

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/510

出力文書: 8B/TEMP/207

8B/510船舶用のRACONの勧告の改訂、ユーザ切換式RACONの部分(Annex2)を削り、DRRとした。

WP8B PlenaryでDRRとして承認された。

2.2 SWG-8B2(航空移動業務関連)

SWG8B2では、Mr. J. Mettrop (英)が議長を担当し、航空移動業務と他システムとの周波数共用並びにWRC-07議題1.5及び議題1.6のCPMテキスト案等、37件の入力文書を審議し、9件の出力文書を作成した。

SWG8B2では、更に5つのドラフティンググループ(DG8B2a:AMTに関する報告案の検討、DG8B2b:AMTに関する勧告案の検討、DG8B2c:議題1.5CPMテキスト案、DG8B2d:議題1.12及び108MHz以下の放送業務との共用並びにその他、DG8B2e:議題1.6関係)を立ち上げ、作業を行った。

入力文書: 8B/350, 429, 433, 441(Ann6, 12, 13, 14, 19, 22, 24, 25), 442, 444, 446, 448, 449, 466, 469, 472, 476, 479, 480, 487, 488, 489, 490, 491, 497, 498, 507, 511, 514, 521, 522, 529, 531, 532, 533, 535, 536, 541, 542, 544, 549, 550, 553
(Doc.8B/441より前は、前回会合以前に入力された文書で今回会合へキャリーオーバーされた文書)

出力文書: 8B/TEMP/218(LS), 225R1(AI1.6 CPM Report), 232(AI1.5 CPM Report), 233(CPM ES), 234(PDNR), 235(WD), 236(WD), 237(CPM ES), 238(DNR), 239(LS), 240(DNR), 241(WD), 242(PDNR), 243(PDNR)

表4 WP8B2の審議体制

グループ	検 討 事 項	議 長
8B2a	AMT関連Report	Mr. D. Jablonski(米)
8B2b	AMT関連Recommendation	Mr. H. Balliencourt(仏)
8B2c	議題1.5 CPMテキスト案	Mr. J. Mettrop(英)
8B2d	その他(議題1.12及び108MHz以下の放送業務との共用)	Mr. S. Parry(英)
8B2e	議題1.6 CPMテキスト案	Mr. M. Biggs(米)

2.2.1 WRC-07議題1.5関係

WRC-07議題1.5の候補周波数帯に関する技術的検討を行うために3つのドラフティンググループ(DG8B2a:AMT関連報告案の検討、DG8B2b:AMT関連勧告案の検討、DG8B2c:議題1.5CPMテキスト案の検討)を設置して、審議を行った。

議題1.5のCPMテキスト案については、前回会合において、構成がCPMのフォーマットと異なるこ

とが指摘され、構成を見直すための特別会合の開催(WPの前日)が合意されていた。特別会合(議長は、SWG8B2議長であるMr. J. Mettrop(英))では、各国から提出された寄与文書をベースに統合案が作成され、WPIに提出(8B/553)された。

2.2.1.1 AMTに関する報告案の検討(DG8B2a)

WRC-07議題1.5の候補周波数帯である4400-4940MHz帯、5030-5250MHz帯及び5925-6700MHz帯における航空移動テレメトリ(AMT)と既存他業務との両立性に関する報告案について、DGを設置して検討を行い、2件の暫定新報告案及び1件の作業文書を作成した。

(1) 4400-4940MHz帯及び5925-6700MHz帯におけるAMTと他の一次業務との共用に関する暫定報告案[4/6GHz]

入力文書: 8B/441Ann6(議長報告), 448(WP8A), 466(WP9D), 497(米), 511(米), 536(仏), 550(WP7D)

出力文書: 8B/TEMP/242

WRC-07議題1.5に関連する4400-4940MHz帯及び5925-6700MHz帯におけるAMTと他の一次業務との共用に関する暫定報告案として、前回会合から継続審議とされていたもの。米国(Doc.8B/511)及び仏国(Doc.8B/536)から本報告案に対する改定案が提案されており、米国提案を元に検討が行われた。

審議では、今会合における成立を目指す米国と本報告で対象としている帯域(4400-4940MHz帯及び5925-6700MHz帯)は議題の対象外であり更なる検討を行うためにWDに戻すべきとの仏国が対立。露国も仏国を支持したが、審議の結果、米国提案に基づく修正を行った上で、ステータスの変更はせずに次回会合で継続審議することとなった。

(2) 5091-5150MHz帯におけるAMSシステムとFSSとの共用に関する暫定報告案[AMS-FSS]

入力文書: 8B/441Ann19(議長報告), 479(米), 488(米), 529(仏), 535(仏)

出力文書: 8B/TEMP/240

議長報告に添付された5GHz帯(5091-5150GHz)におけるAMSとFSSとの共用に係る暫定報告案について、米国(Doc.8B/479)及び仏国(Doc.8B/535)から改定案が提案された。

時間的制約から本文書の検討は次回会合で行うこととされ、2つの文書からなるTEMP文書が策定された。

(3) AMTとMLSとの共用に関する暫定報告案[AMT-MLS]のための作業文書

入力文書: 8B/441Ann13(議長報告), 549(仏)

出力文書: 8B/TEMP/241

議題1.5で提案されている新決議ITU-R M.[AMT-5GHz]で求める離隔距離内にMLSの受信機がある場合の二国間調整の例に関する報告案。仏国から、WP8Bで検討されている暫定新勧告案M.[AMS-MLS]のAnnex3に基づく計算例を盛り込む改定案が提案されており、提案に基づく修正を行った上で、継続審議とされた。

2.2.1.2 AMTに関する勧告案の検討(DG8B2b)

WRC-07 議題1.5の候補周波数帯である4400-4940MHz帯、5030-5250MHz帯及び5925-6700MHz帯における航空移動テレメトリ(AMT)と既存他業務との両立性に関する勧告案について、DGを設置して検討を行い1件の暫定新報告案を作成したほか、議長報告に添付されていた2件の文書について次回会合への先送りを行った。

(1) 他業務保護のための5GHz帯AMTの技術及び運用要件に関する暫定新勧告案M.[AMT 5030-5250 MHz]

入力文書: 441 Ann22(議長報告)、8B/444(WP4A)、446(WP8A)、449(WP4A)、531(仏)

出力文書: 8B/TEMP/243(PDNR)

前回会合において策定された5150-5250MHz帯における航空移動テレメトリ送信用航空機局の技術要件に関する暫定新勧告案のための作業文書について、WP4A及びWP8Aからのリエゾンバックを元に作成された仏国提案(Doc.8B/531)をベースに修正を行ったもの。

対象となる帯域を、AMTの追加分配が検討されている5030-5250MHz帯に広げるとともに、MLS及びAM(R)Sとの共用についての記述の追加等が行われた。

また、本文書の検討の前提となっているワーストケースシナリオ(1チャンネル当たりAMT送信局20局)について、米国等から更に検討する必要がある旨意見が出された。

本文書は継続検討とされ、議長報告に添付された。

2.2.1.3 議題1.5 CPMテキスト案(DG8B2c)

入力文書: 8B/350(ICA0)、441 Ann24(議長報告)、446(WP8A)、448(WP8A)、466(WP9D)、469(米)、472(仏)、476(露)、480(Eurocontrol)、488(米)、498(SWG8B2 議長)、533(SWG8B2 議長)、541(仏)(350については、前回会合からキャリアオーバーされたもの)

出力文書: 8B/TEMP/232(CPMテキスト案)、TEMP/233(CPMテキスト案サマリー)

議題1.5のCPMテキスト案については、前回会合において、構成がCPMのフォーマットと異なることが指摘され、構成を見直すための特別会合の開催(WPの前日)が合意されていた。特別会合(議長: Mr. J. Mettrop(英))では、各国から提出された寄与文書の内容を正しいフォーマットで編集した統合案が作成され、WPIに提出(8B/553)された。

Doc.8B/533は各国の提案を[]でまとめた状態の文書であり、内容についてDGで検討すると議論がまとまらない可能性があることから、提案各国による非公式グループにおいて、特別会合から提出された統合案を元にした素案を作成することとなった。

また、CPMテキスト案の検討に当たっては、時間的な制約並びにCPM及びWRCにおける各国の選択肢を残すという趣旨から、Methodの削除は行わないとの基本方針が議長から示され、承認された。

Issue Aについては、米国から4400-4940MHz帯及び5925-6700MHz帯への追加分配を検討するMethodが提案され、仏国からは、Issue AはRRの変更を求めるものではないとのMethodが提案されていた。露国も仏国の提案を支持したが、Methodが増えすぎってしまうためNo ChangeというMethodは作成しないという議長の方針に基づき、Methodとしては米国提案に基づくもののみを記

載し、仏国提案の主旨は、Disadvantageに記載されることとなった。

Issue Cについては、各国から提案が出されており、議論が紛糾した。

5030-5091MHz帯については、ICAOから、MLSをAMTから保護するための離隔距離について、数百kmが必要との記述を盛り込むよう提案があり、露国からも500km程度は必要であるとして、これを支持した。仏国からは、これらの根拠となる新たな研究は示されていないとの意見が出され、結果として、具体的な数値は盛り込まず、MethodのDisadvantageに上記見解を盛り込むこととなった。

5091-5150MHz帯については、各国から提案されたMethodの統合が行われ、最終的に3つのMethodが策定された。仏国からは、勧告による送信機に対する出力制限を行うMethodが提案されたが、米国等から試験機の台数が多い場合には有害な干渉を与える可能性があるとの指摘がなされ、Disadvantageに盛り込まれることとなった。一方、coordinationによるMethodについては、仏国から複雑になりすぎるとの指摘があり、Disadvantageに盛り込まれた。

5150-5250MHz帯については、仏国からの出力制限のMethodと露国からの脚注9.21による調整を行うMethodの2つのMethodが策定された。

Executive Summaryについては、議長が作成した案について審議を行い、エディトリアルな修正の後、承認された。

なお、Methodについては、複数のMethodを選択することが可能であることが改めて確認された。

2.2.2 その他(議題1.12及び108MHz以下の放送業務との共用)(DG8B2d)

(1) WRC-07議題1.12 決議86に係る衛星調整

入力文書: 8B/497(米), 514(米)

出力文書: 8B/TEMP/218(LS)

議題1.12について、米国からCPMテキスト案の改定案がWP4Aに提出されており、WP8Bに対しても、これらの改定案(Doc.497及び514)が情報として入力された。

これらの文書に基づき、WP4Aに対し、WP4Aから提案された調整距離に同意する旨を記載したリエゾンが作成され、送付された。

(2) 108MHz以下の放送業務とGBASとの両立性の検討

入力文書: 8B/441 Ann14(WP8B 議長), 433(WP6E)

出力文書: 8B/TEMP/238(DNR), 239(LS)

WP8Bでは、議題1.6に関連して、108MHz以下の音声放送とVHF帯のAM(R)Sとの共用について、新勧告案を作成していた。

今会合では、前回議長報告に添付された暫定新勧告案のための作業文書(8B441 Ann14)及び本勧告案に対するWP6Eからのリエゾン(8B/433)について検討が行われ、本勧告案に対する継続検討を求めるWP6Eからの要請を踏まえ、暫定新勧告案として議長報告に添付し継続審議とするとともに、WP6Eに対し、本暫定勧告案への最終的なコメントを求めるリエゾンを送付した。

2.2.3 議題1.6関係(DG8B2e)

WRC-07議題1.6については、DG(8B2e:議長はM. Biggs氏(米))が設置され、CPMテキスト案、関連勧告案及び関連報告案の審議が行われた。

CPMテキスト案については合意されたが、CPMテキスト案で参照しているITU-R勧告及び報告に

については継続検討とされ、次回会合での最終化を図ることとなった。

(1) 議題1.6 CPMテキスト案

入力文書：8B/350(ICA0), 441 Ann25(議長報告), 480(Eurocontrol), 490(米), 521(ICA0), 542(仏), 544(加)(350については、前回会合からキャリーオーバーされたもの)

出力文書：8B/TEMP/225R1(CPMテキスト案)、237(CPMテキスト案サマリー)

CPMテキスト案の審議に当たり、CPMテキスト案に関する各国の寄与文書を候補帯域毎にまとめた作業ペーパーがDG議長から提示され、審議方針についての検討が行われた。CPMテキスト案の作成を優先するため、候補周波数帯の絞り込みは行わず、同一の帯域の中で意見が異なるものについてはそれぞれの意見をVIEWとして記載することが議長から提案され合意された。また、提案国(米、仏、露、ICA0、Eurocontrol)によるスモールグループを設置し、意見が分かれた部分については、スモールグループでの調整後にDGで再度検討することとなった。

なお、各国から提案された候補周波数帯と寄与文書の関係は、以下のとおり。

① VHF帯(Method 1)

(ア) 112-117.975MHz: 8B/521(ICA0), 8B/542(仏) …VIEW1(1a)

(イ) 116-116.975MHz 8B/490(米), 8B/544(加) …VIEW2(1b)

② L帯(Method 2)

(ア) 960-1024MHz: 8B/490(米), 8B/544(加) …VIEW1(2a)

(イ) 960-1164MHz: 8B/521(ICA0), 8B/542(仏) …VIEW2(2b)

③ 5000-5010MHz及び5010-5030MHz帯(Method 3)

(ア) 分配あり: 8B/350(ICA0), 8B/480(Eurocontrol), 8B/490(米)

(イ) 分配なし: 8B/542(仏)

④ 5091-5150MHz(Method 4a)

(ア) 分配あり: 8B/350(ICA0), 8B/480(Eurocontrol), 8B/490(米), 8B/544(加)

⑤ 5030-5150MHz(Method 4b)

(ア) 分配あり: 8B/542(仏)

Methodについては、結果として、各国からの提案を基に、上記に5091-5150MHz帯をAS(Aeronautical Security)にも分配するというMethodを加えた合計9つのMethodが策定された。Method 3(5000-5030MHz帯)については、当初、①NIBによるものと②調整(決議で規定)によるもの、仏国の提案による③当該帯域に分配を行わないとの3つのMethodが記載されていたが、検討の結果、③を削除し、2つのMethodが策定された。

VHF帯及びL帯においては、提案を基に改定案が作成され、検討が行われた。研究結果の分析の項において、露国からL帯にEditor's noteとして[]付きで記載されていた内容(第一地域においては、非ICA0標準のシステムが使用されている)を盛り込むよう提案が出され、特段の意見なく合意された。非ICA0システムの保護については、仏国から決議[AM(R)S 960]のconsidering e)は別の帯域の話なので削除すべきとの意見が出されたが、露国が反対し、議論が紛糾した。決議[AM(R)S 960]については、スモールグループで調整が行われ、非ICA0システムの保護についての記述は維持されることとなった。

5000-5030MHz帯への追加分配については、仏国から、RNSSとAM(R)Sとの共用には大きな離隔距離が必要であり、5000-5030MHz帯を候補から外すよう提案が出されたが、認められなかった。

5091-5150MHz帯におけるFSSの保護については、当初の決議案を2つに分けるよう英国が提案し、仏国が支持したことから、承認された。また仏国から、複雑な問題なので調整は困難、シングルエントリーリミットの提案を行っており、CPMテキスト案に反映させるよう意見が出され、FSSの保護のための干渉許容量である $\Delta T/T3\%$ についても、決議に盛り込むよう提案が行われた。米国からより一般的な表現にすべきとの意見が出され、議論が紛糾したが、検討の結果、 $\Delta T/T3\%$ の記載と共に詳細を関連勧告で規定することで合意された。

(2) 5000-5030MHz帯のRNSS及び4990-5000MHz帯のRASとAM(R)Sとの両立性に関する暫定新報告案のための作業文書

入力文書: 8B/487(米), 489(米)

出力文書: 8B/TEMP/236

前回会合において、ICAOから5000-5030MHz帯にAM(R)SIの新規分配を行う新たなMethodの提案が行われたことを受け、米国から、5000-5010MHz帯及び5010-5030MHz帯のRNSS及び4990-5000MHz帯のRASと提案されている新たなAM(R)Sとの両立性に関する暫定報告書案のための作業文書(Doc.8B/487)及び5GHz帯のRNSSサービスリンクを航空アプリケーションに使用するに当たっての潜在的な技術事項に関する文書(Doc.8B/489)が提案された。

これらの文書については、時間的制約から、次回会合に検討が先送りとなり、Doc.8B/487に基づくTEMP文書が作成され、議長報告に添付された。

(3) 5091-5150MHz帯のAM(R)S及びAS(Aeronautical Security)の技術要件に関する暫定新勧告案M.[AM(R)S/AS 5091-5150 MHz]

入力文書: 8B/532(仏), 533(仏), 535(仏)

出力文書: 8B/TEMP/234

仏国から、5030-5150MHz帯におけるASを含むAM(R)Sと既存業務との共用検討の結果に関する文書(Doc.8B/532)、5091-5150MHz帯におけるASアプリケーションの利用に関する暫定勧告案(Doc.8B/533)及び5091-5150MHz帯におけるAMSとFSSとの共用に関する報告案(Doc.8B/535)の提案が行われた。

仏国は、FSSの提供地域で、AM(R)SとASを共用するための方法として、航空側に $\Delta T/T$ で3%のeirpリミットを提案。また、AMTとAMRSとASの3つのサービス間の調整についてはICAOで検討すべきとした。米国からは、AM(R)SとASとの共用については、離隔距離を取ることや異なる周波数帯で使用することも考慮すべきとの意見が出され、検討の結果、 $\Delta T/T3\%$ については、CPMテキスト案に盛り込むことが合意された。

勧告案については、英国等から更なる検討が必要との意見が出され、時間的制約から今会合での検討は行わず、Doc.8B/533をTEMP文書として議長報告に添付し、次回会合で検討することとなった。

(4) AM(R)Sの周波数要件の評価に関する暫定新報告案のための作業文書

入力文書: 8B/491(米), 522(ICAO)

出力文書：8B/TEMP/235

議題1.6の候補周波数帯における新たなAM(R)Sサービスの検討状況及び検討された周波数要件について、米国から報告案のための作業文書の提案(Doc.8B/491)が行われた。また、ICAOからは将来の航空通信システムに対するACPの検討状況について情報提供(Doc.8B/522)が行われた。時間的制約から、これらの文書の検討は次回会合に先送りとなり、Doc.8B/491に基づくTEMP文書が作成され、議長報告に添付された。

(5) その他

入力文書：8B/429(仏), 442(WMO), 449(WP4A), 507(米)

出力文書：なし

文書の紹介のみ。特段の意見はなかった。

2.3 SWG8B3(海上移動業務関連)

SWG8B3議長はMr. J. Turban (米) が担当し、38件の入力文書について審議を行い、12件の出力文書を作成した。

入力文書：8B/302(Rev.1), 339, 388, 392, 447, 452, 456, 458, 459, 460, 461, 468, 482, 483, 484, 485, 486, 495, 499, 500, 501, 502, 503, 504, 505, 506, 519, 520, 523, 524, 537, 538, 540, 545, 546, 547, 554, 556

出力文書：8B/TEMP/209(Rev.1), 210, 211(Rev.1), 212(Rev.1), 213, 214(Rev.1), 223(Rev.1), 224, 226, 227(Rev.1), 230(Rev.1), 231(Rev.1)

SWG8B3は更に4つのドラフティンググループを立上げ、各々表3に示す議長の下で担当議題を審議して出力文書案を作成した。

表3 WP8B3の審議体制

グループ	検 討 事 項	議 長
8B3a	AIS関連	Mr. A. Steward (英)
8B3b	WRC-07議題1.14、1.16関連	Mr. S. Ward (米)
8B3c	HF及びVHFデータサービス関連	Mr. A. Haktorsen (ノ)
8B3d	その他	Mr. J. Turban (米)

2.3.1 WRC-07議題1.14関連(GMDSS)

【議題1.14の検討項目と今期WP8Bでの検討結果】

この議題については下記の項目が具体的な検討項目となっている。

- ① 旧遭難安全システムからGMDSSへの移行に関し、前者で使用されてきた周波数とその技術、並びにそれらを規定するRR付録第13号の扱いをどうするか？
- ② インテリジェント化された機器の導入、熟練通信士の減少、書類の電子化などを考慮してRR付録第16号の扱いをどうするか？
- ③ 海上移動における高速データ通信など新たな需要に対しVHFチャネル配置を規定するRR付

録第18号の扱いをどうするか？

今期会合では、前回会合の議長報告(8B/441 Annex 27)をベースにCPMテキスト案のまとめが行われた。

入力文書：8B/302(Rev.1), 339, 388, 392, 441 Annex 27, 458, 459, 460, 461, 468, 483, 485, 486, 495, 503, 537, 538, 540, 545, 546

出力文書：8B/TEMP/230(Rev.1) (議題1.14 CPMテキスト案 – WRC-07議題1.14のためのCPMテキスト要旨)

検討項目①に対しては、メソッドA (Issue A; GMDSSへの移行完了)として、付録第13号のVHF無線電話遭難安全通信手順をRR 第七章へ統合するため、第32条に遭難通信、第33条に緊急・安全通信に関する手順と通信内容の追加・修正が行われた。特に、最初の遭難呼出がDSCで行われた後の無線電話通信にはMMSIも伝達することとした。これに関連する決議・条項の見直しとして、決議第18、第331、RR第5条、第15条、第30条、第31条、第34条、第41条、第47条、第51条、第52条、第57条から付録第13号、モールス通信等の記述の削除などの修正が行われた。また、2182kHz無線電話遭難安全通信手順については、新決議を作成することとしており、その新決議案(Resolution [2182kHz])が作成された。内容としては、主管庁要求による2182kHz、4125kHz、6215kHzの聴守が盛り込まれているが、聴守している海岸局を海岸局リストに載せる必要があり、マスタープランの海岸局リストに聴守周波数を記述して欲しい旨のリエゾンをIMOへ送付することとなった。

検討項目②に対しては、船上備付書類の簡素化や電子媒体の使用を認める付録第16号の改定案が作成された。

検討項目③に対しては、Method A (Issue B; VHFのデジタル化)として、RR付録第18号の複数チャンネルを束ねて高速データ伝送を行う提案がTelenor社(諾)からあったが、米国からAISチャンネルへの干渉等が懸念されるため更なる検討が必要であるとして次回持ち越しとなった。しかし、付録第18号のチャンネル割当表について、CH6、CH16、CH70、AIS1、AIS2のチャンネルは、搜索救助活動時に航空機でも使用でき、またAIS1、AIS2は海上移動衛星業務(地上から宇宙)で受信できる旨の脚注修正が行われた。

上記内容は、CPMテキスト案(8B/TEMP/230 Rev1)として取り纏められ、一部エディトリアル修正の上、WP8Bで承認された。

2.3.2 WRC-07議題1.16関連(MMSI)

【議題1.16の検討項目と今期WP8Bでの検討結果】

この議題については下記の項目が具体的な検討項目となっている。

- ① AISの導入に伴う新たな要求として、SAR航空機、航行支援装置(ブイなど)、基地局など船舶搭載設備以外の無線設備に対し、無線局識別について規定するRR第19条の扱いをどうするか？
- ② MMSIの割当方法を示すITU-R勧告M.585の扱いをどうするか？

今期会合では、前回会合の議長報告(8B/441 Annex 28)をベースにCPMテキスト案のまとめが行われた。

入力文書： 8B/441 Annex 28, 486, 547

出力文書： 8B/TEMP/227(Rev.1) (議題1.16 CPMテキスト案 – WRC-07議題1.16のため
のCPMテキスト要旨),
8B/TEMP/224 (ITU-R勧告 M.585-3改定案)

検討項目①に対しては、Method A (Issue B)として ITU-R勧告M.585の改定を考慮してRR第19条を改定するとしており、その修正案が作成された。内容としては、航空機、航法支援、母船の付随船にもMMSIを割当てられると修正された他、具体的なMMSI体系として、航空機には111MIDXXX、航法支援には99MIDXXXXを、母船の付随船には98MIDXXXXが追加された。また、メソッドB (Issue B)として ITU-R勧告 M.585を参照として取り込んでRR第19条を改定するとしており、将来M.585の改定があっても第19条の改定を必要としないことを利点としている。従って、具体的なMMSI体系は記述せず、ITU-R勧告 M.585を参照するとした記述となっている。

上記内容は、CPMテキスト案(8B/TEMP/227 Rev1)として取り纏められ、一部エディトリアル修正の上、WP8Bで承認された。

検討項目②に対しては、ITU-R勧告M.585-3の改訂案(8B/TEMP/224)が取り纏められた。内容としては、Annex 1 ~ Annex 5 のタイトルが修正された他は、前回会合で作成されたものと同一で、WP8Bで承認された。

2.3.3 勧告・報告案関連(海上移動)

(1) 海上移動業務識別(MMSI)に関する勧告改訂案

入力文書： 8B/441 Annex 8(議長報告)

出力文書： 8B/TEMP/224 (ITU-R勧告M.585-3 改定案)

前回会合で、搜索救助を行う航空機、航行支援(AtoN)、母船の付随船等の搭載機器に対して海上移動業務識別(MMSI)が割当可能となるように ITU-R勧告M.585-3の改定案(8B/441 Annex 8)が作成された。今期会合では、それをベースに更に検討を行なった結果、内容的な変更は発生しなかったが、Annex 1~Annex 5 のタイトルの修正等を行い、WP8Bで承認された。

(2) AISに関する勧告改訂案

入力文書： 8B/393(IALA), 441 Annex 2/Annex 3/Annex 4 (議長報告), 482(WP8B Rapporteur), 484(IMO), 504(米), 519(米)

出力文書： 8B/TEMP/210 (AISメッセージの長距離受信に関する暫定新報告案)

8B/TEMP/214 Rev.1 (AISメッセージの衛星検出に関する暫定新報告案)

8B/TEMP/226 (ITU-R勧告M.1371-2 改訂案)

前回会合でAISに関するITU-R勧告 M.1371-2の改訂作業文書(8B/441 Annex 3)が作成された。その後、本年6月のIALA TWGとの合同会議でM.1371-2改定案が完成し、今期会合に寄与文書(8B/482)として入力された。主な改訂内容は、12.5kHzチャネルでの運用要件の削除、DSCポーリング応答要件の削除、低減送信電力を1Wに変更、Annex 2にはSOTDMA技術のみを記述、Annex 7にCSTDMA技術を記述、Annex 8に全てのメッセージを集約、Annex 9に略語を集約、等である。今期会合では更に技術的な検討と修正を行なって ITU-R 勧告M.1371-2改訂案(8B/TEMP/226)が作成され、WP8Bで承認された。

また、AISメッセージの衛星検出に関して、前回会合で暫定新報告案(8B/441 Annex 2)が作成された。今回、米国より隣接チャネル干渉についての追加検討結果を盛り込んだ寄与文書(8B/519)が入力され、検討した結果、特に修正もなく、暫定新報告案としてWP8Bで承認された。

更に、AISメッセージの長距離検出に関して、前回会合で、石油プラットフォームや気象ブイにAIS受信機を装備する方法、対流圏散乱波やダクト伝播を使用する方法についての暫定新報告案(8B/441 Annex 4)が作成された。今回、米国より他業務との同一チャネル干渉パラメータの一部を修正した寄与文書(8B/504)が入力されたが、今回は十分な審議時間が取れず、そのまま暫定新報告案(8B/TEMP/210)として次回持ち越しとなった。

(3) HFデータ通信に関する新勧告案

入力文書: 8B/441 Annex 5/Annex 9(議長報告), 500(Telenor), 502(Telenor), 520(スイス)

出力文書: 8B/TEMP/213 (ITU-R新勧告案M.XXX — 海上移動業務におけるデジタルデータと電子メール通信のためのHF無線装置の特性)

前回会合で、デジタルデータと電子メール通信のためのHF無線装置の動作特性に関する新勧告案(8B/441 Annex 9)と HFデータサービス—特性とモデムプロトコルに関する暫定新報告案(8B/441 Annex 5)が作成された。これらには、現在HFデータ通信に使用されているOFDM方式、PACTORⅢ方式、及びPACTORⅢを使用したGlobal Link Networkの技術特性について記述されているが、今期会合では、その両者の改定案がTelenor社(諾)(8B/500、502)及びスイス(8B/520)から寄与文書として入力された。特にスイスからは、Global Link Networkのシステム構成の詳細が紹介されており、これらの寄与文書を1つに統合してITU-R M.XXX 新勧告案が作成され、WP8Bで承認された。

(4) VHFデータ通信に関する暫定新勧告案

入力文書: 8B/146(Telenor), 501(Telenor), 524(Telenor)

出力文書: 8B/TEMP/212 Rev.1 (ITU-R暫定新勧告案M.XXX — RR付録第18号チャネルにおけるデータ及び電子メール交換のためのVHF無線システム及び装置の特性)

VHF帯において高速データ通信を行なうために、RR付録第18号の複数チャネルを束ね、4値GMSK変調方式、TDMA通信方式を使用するTelenor社(諾)からの寄与文書(8B/146、501、524)を検討し、新勧告案(8B/TEMP/212 Rev.1)を作成した。欧州各国は、VHF帯の高速データ通信を早期に導入すべきという立場をとったが、米国は、送信スペクトルが広がっており、AISチャンネル(AIS1、AIS2)に干渉する可能性があるとして慎重な立場をとったため、次回持ち越しとなった。

2.3.4 リエゾン文書、覚書関連(海上移動)

(1) HF聴守関連のリエゾン

入力文書: なし

出力文書: 8B/TEMP/231 Rev.1 (遭難呼出周波数の可聴聴守に関するIMOへのリエゾン)

WRC-07 議題 1.14 に関連して、2182kHz 無線電話遭難安全通信手順について新決議案 (Resolution [2182kHz]) が作成されたが、その内容には主管庁要求による 2182kHz、4125kHz、6215kHz の聴守が盛り込まれている。しかし、その海岸局がどの周波数を聴守しているかを海岸局リストに載せる必要があるため、マスタープランの海岸局リストに聴守周波数を記述して欲しい旨の IMO へのリエゾン。

(2) HF データ通信関連のリエゾン

入力文書: 8B/441 Annex 9 (議長報告), 499(Telenor), 500(Telenor), 502(Telenor), 520(スイス), 523(米)

出力文書: 8B/TEMP/211 Rev.1 (MF/HF 帯における NBDP の代替に関する IMO へのリエゾン)

2.3.3 項(3) のとおり、HF データ通信のための ITU-R 新勧告案 M.XXX (8B/TEMP/213) が WP8B で承認されたが、これを NBDP の代替手段として検討して欲しい旨の IMO へのリエゾン。

(3) AIS-SART 関連のリエゾン

入力文書: 8B/410(IMO)

出力文書: 8B/TEMP/223 Rev.1 (AIS-SART に関する IMO へのリエゾン)

2006 年 2 月～3 月に開催された IMO COMSAR 小委員会で、AIS-SART に関する性能基準案が作成され、WP8B へコメントを求めるリエゾンが入力された。これを受けて今期会合で検討した結果、性能基準案には基本的に同意するが、VHF Data Link の健全性を確保するために、受信機を持つ必要性が考えられること、ユニーク ID が必要であること、現行の Class-A、Class-B AIS との通信互換性が必要であること、等のコメントを IMO へフィードバックするためのリエゾン。

2.4 WP8A/8B/9C/6E 合同会議 (WRC-07 議題 1.13 関連)

WRC-07 議題 1.13 関連については、WP8A、WP8B、WP9C 及び WP6E の合同会議 “Joint WRC 07 1.13” が設置された。議長は Mr. P. Lansman (フィンランド) が担当し、15 件の入力文書について審議を行い、3 件の出力文書を作成した。

入力文書: 8B/450, 455, 457, 464, 465, 470, 471, 486, 496, 516, 517, 518, 527, 539, 548

出力文書: 8B/TEMP/215 Rev.1 (RR 付録第 17 号の変更に関する暫定新報告案)

8B/TEMP/244 (4-10MHz 帯共用に関する暫定新報告案)

8B/TEMP/245 (WRC-07 議題 1.13 CPM テキスト改定案)

(1) WRC-07 議題 1.13 CPM テキスト改訂案

2006 年 7 月に開催された WP9C からのリエゾンバック文書 (8B/464) をベースに、米国からの文書 (8B/516) を反映させる方法で全体の取り纏めが行なわれた。

特に、5260～5410kHz を世界的にアマチュア業務への 2 次分配を行うとするメソッド 6 について、5MHz 帯の固定及び移動業務への妨害を与えること、及びアマチュア業務と固定業務間での周波数適応システムの両立性が確認されていないため固定業務の 24 時間運用に重大な影響を与える

恐れがあることをディズアドバンテージとして記述し、全体として下記のメソッドが取り纏められた。

- ・ メソッド1 (決議第729 - Issue A&B): RR第5章の周波数分配に変更を加えない。
- ・ メソッド2 (決議第351 - Issue C): 海上移動業務に新MF/HFデジタル技術を導入し、付録第17号の周波数表を改訂する。
- ・ メソッド3 (決議第544 - Issue D): 放送業務に250-800kHzの追加分配を行う (Example:350kHz)
- ・ メソッド4 (決議第544 - Issue D): 放送業務に追加分配を行わない。
- ・ メソッド5 (Issue E): 固定・陸上移動・海上移動業務の周波数利用の効率化・共用により、放送業務への追加分配と既存業務の保護を両立させる。
- ・ メソッド6 (Issue E): 5260～5410kHzについて、世界的にアマチュア業務への2次分配を行う。
- ・ メソッド7 (Issue E): 7200～7300kHzについて、第1地域と第3地域のアマチュア業務への1次分配を行う。
- ・ メソッド8 (Issue E): どの業務へも追加分配をせず、4-10MHz帯の業務間共用の追加も行わない。

今回修正したCPMテキスト案は、合同会議で承認されたものであるとして、WP8Bプレナリーでは審議せずにSG8へ送付されることとなった。

(2) RR付録第17号の変更に関する暫定新報告案

RR付録第17号の周波数割当の見直しに関する米国提案(8B/496)をほぼそのまま使用する形で暫定新報告案が取り纏められた。内容としては、NBDPの減少に対しHFデータ通信需要の増加対応、GMDSS用周波数やA4海域でのNBDP周波数の保護、十分な音声通信チャンネルの維持等を考慮し、より効率的な周波数使用を提案している。

本暫定新報告案も、合同会議で承認されたものであるとして、WP8Bプレナリーでは審議せずにSG8へ送付されることとなった。

(3) 4-10MHz帯共用に関する暫定新報告案

4-10MHz帯共用に関する暫定新報告案は、2003年から2007年の研究期間における報告を集約する形で取り纏められた。内容としては、下記のAnnex 1からAnnex 6で構成されている。

- ・ Annex 1 4-10MHz帯における異業務間での周波数共有に関する情報
- ・ Annex 2 第1地域でのモニタリングキャンペーンのスペクトラム結果
- ・ Annex 3 4-10MHz帯における周波数共用条件の分析
- ・ Annex 4 HF両立性
- ・ Annex 5 WRC-07議題1.13に関連した周波数共用の検討
- ・ Annex 6 同一バンドにおける固定・移動業務への一次分配とアマチュア業務への二次分配に関する検討

本暫定新報告案も、合同会議で承認されたものであるとして、WP8Bプレナリーでは審議せずにSG8へ送付されることとなった。

4 今後の予定

次回WP8B会合	2007年6月13日(水)から6月21日(木)まで(スイス・ジュネーブ)
次回SG8会合	2007年6月25日(月)、26日(火)まで(スイス・ジュネーブ)
RA-07会合	2007年10月15日(月)から10月19日(金)まで(スイス・ジュネーブ)

表6 WP8B入力文書一覧

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
441	Chairman, WP 8B	Report of the 18th meeting of WP 8B - Geneva, 22-31 March 2006	—	—
441 Ann1	Chairman, WP 8B	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.824-2 – Technical parameters of radar beacons (racons)	8B1	207
441 Ann2	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report on satellite detection of automatic identification system messages	8B3	214R1
441 Ann3R 1	Chairman, WP 8B	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1371 – Technical characteristics for a universal ship borne automatic identification system using time division multiple access in the VHF maritime mobile band	8B3	—
441 Ann4	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report on long-range reception of AIS messages using terrestrial techniques	8B3	210
441 Ann5	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report ITU-R M.XXX – HF maritime data services, characteristics and modem protocols	8B3	211R1, 213
441 Ann6	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report – Compatibility between aeronautical mobile telemetry systems in the mobile service and systems of other co-primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	242
441 Ann7	Chairman, WP 8B	Working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R M.1463 – Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 1 215-1 400 MHz	8B1	216
441 Ann8	Chairman, WP 8B	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M. 585-3 – Assignment and use of maritime mobile service identities	8B3	—
441 Ann9	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-M.XXX - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	8B3	211R1, 213
441 Ann10	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation - Technical characteristics and protection criteria of aeronautical radionavigation service systems in the 645-862 MHz frequency band	8B1	—
441 Ann11	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report – Information relating to the mobile service	—	—
441 Ann12	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AMS-MLS] – Method for determining [coordination] distances, in the 5 GHz band, between the international standard microwave landing system (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry	8B2	—
441 Ann13	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report – Examples of [coordination] distance	8B2	241

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		determination in the 5 GHz band, between the international standard microwave landing system (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry		
441 Ann14	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] – Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and new aeronautical mobile (R) services in the band 108-117.975 MHz	8B2	238, 239
441 Ann15	Chairman, WP 8B	Working document towards a PDNR on technical and operational aspects of ground based meteorological radars	8B1	202
441 Ann16	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1638 – Characteristics of and protection criteria for sharing studies for radiolocation, aeronautical radionavigation and meteorological radars operating in the frequency band between 5 250 and 5 850 MHz	8B1	—
441 Ann17	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[XXX] – Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	8B1	222R1
441 Ann18	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report – Software defined radio in the maritime mobile service	—	—
441 Ann19	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report ITU-R M.[AMS-FSS] – Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed satellite service in the 5 091-5 150 MHz band	8B2	240
441 Ann20	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report and/or Recommendation on studies regarding the impact of the radionavigation satellite service (RNSS) into radiodetermination service systems receivers	8B1	217
441 Ann21	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report – Key technical and operational requirements to support IP applications over systems of maritime mobile services	—	—
441 Ann22 A1	Chairman, WP 8B	Working document towards preliminary draft new [Report/Recommendation] on the use of statistical and operational aspects for protection of radiodetermination service radar systems	8B1 8B2	243
441 Ann23	Chairman, WP 8B	Draft CPM text for Chapter 1, AI 1.3	8B1	205, 220R1, 221
441 Ann24	Chairman, WP 8B	Draft CPM text for Chapter 1, AI 1.5	8B2	232, 233
441 Ann25	Chairman, WP 8B	Draft CPM text for Chapter 1, AI 1.6	8B2	225R1, 237
441	Chairman,	Draft CPM text for Chapter 5, AI 1.13	8B3	—

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
Ann26	WP 8B			
441 Ann27	Chairman, WP 8B	Draft CPM text for Chapter 5, AI 1.14	8B3	230R1
441 Ann28	Chairman, WP 8B	Draft CPM text for Chapter 5, AI 1.16	8B3	227R1, 224
441 Ann29	Chairman, WP 8B	Consolidated list of liaison statements	—	—
441 Ann30	Chairman, WP 8B	List of input documents	—	—
441 Ann31	Chairman, WP 8B	List of output documents (TEMPORARY documents)	—	—
441 Ann32	Chairman, WP 8B	Long-term WP 8B work programme	—	—
442	WMO	Preliminary WMO position on World Radiocommunication Conference 2007 agenda	8B1 8B2	205, 220R1, 221
443	WP 8A	Liaison statement to WP 6E (copy to WP 8B and WP 9D) - Proposals on coordination trigger values in relation to preparation for RRC-06	—	—
444	WP 4A	LS to WP 8B - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 150-5 250 MHz	8B2	243
445	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 8F, 6E, 8A, 8B and 8D - Frequency-related matters for IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 agenda item 1.4	—	—
446	WP 8A	Liaison statement - Technical and operational requirement for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 150-5 250 MHz	8B2	232, 233, 243
447	WP 8A	Liaison statement to WPs 8B, 8D and 8F - The study of cognitive radio systems in the mobile services	—	—
448	WP 8A	Liaison statement to WP 8B (Copy to WP 9D) - Compatibility studies between aeronautical mobile telemetry and the mobile service in the 4 400-4 940 MHz and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	232, 233, 242
449	WP 4A	Liaison statement to Working Party 8B - Sharing of aeronautical mobile systems with FSS networks (WRC-07 agenda items 1.5 and 1.60 - Key points from discussions with sub-Group 8B-2 in March 2006	8B2	243
450	Coordinator of the Coord. Group for AI 1.13	Report from the Coordination Group for WRC-07 Agenda item 1.13 to ITU-R Working Parties 6E, 8A, 8B and 9C	8B3	215R1, 244, 245
451	TG 1/9	Liaison statement to WP 8B - Compatibility analysis between the Earth exploration-satellite (passive) service systems operating in the 1 400-1 427 MHz band and radiolocation service systems operating in the 1 350-1 400 MHz band	—	—

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
452	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 9 Question to be brought to the attention of Working Parties 8A and 8B	—	—
453	WP 8F	Liaison statement to Working Party 8B - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Sharing study between systems beyond IMT-2000 and radiolocation services in the 3 400-3 700 MHz band	8B1	206, 228, 229
454	WP 8F	Liaison statement to Working Party 8B - Frequency-related matters for the future development of IMT 2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Sharing study between systems beyond IMT-2000 and radars in the ARNS and meteorological service in the 2 700-2 900 MHz band	8B1	206, 228, 229
455	International Amateur Radio Union (IARU)	Draft element for CPM text on Agenda item 1.13 related to a spectrum requirement in vicinity of 5 MHz for the amateur service	8B3	215R1, 244, 245
456	International Amateur Radio Union (IARU)	Draft CPM text on Agenda item 1.15 related to a secondary allocation to the amateur service in the frequency band 135.7-137.8 kHz	—	—
457R1	Netherlands (Kingdom of the)	CEPT proposals for CPM on agenda item 1.13	8B3	215R1, 244, 245
458	Finland	Information relating to GMDSS procedures in the Radio Regulations	8B3	230R1
459	Finland	Revised draft CPM text on Agenda item 1.14	8B3	230R1
460	Finland	Draft executive summary of CPM text for WRC-07 Agenda item 1.14	8B3	230R1
461	Finland	CPM text on Agenda item 1.14 - Appendix 18 of the Radio Regulations	8B3	230R1
462	WP 9D	Liaison statement to WP's 1A, 1B, 4A, 4-9S, 6E, 6M, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D and 8F and TG 1/9, and to JTG 6-8-9 - Revision of Recommendation ITU-R F.1336	—	—
463	WP 9D	Liaison statement to WP's 6J, 4B, 6E, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B, JTG 6-8-9 and ITU-T SG9 - System characteristics for use in sharing studies with television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the fixed service	—	—
464R1	WP 9C	Liaison statement to WP's 6E, 8A and 8B - Revised Draft CPM text on Agenda item 1.13	8B3	215R1, 244, 245
465	WP 9C	Liaison statement to WP's 8A and 8B (for information to WP 6E) - The development of a Draft New Report	8B3	215R1, 244, 245

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		information relating to the fixed and mobile services in the 4-10 MHz band		
466	WP 9D	Liaison statement to WP 8B - Studies of sharing between aeronautical mobile telemetry and the fixed service in the bands 4 400-4 940 MHz and 5 925-6 700 MHz	8B2	232, 233, 242
467	WP 9D	Liaison statement to WP 8B - Draft CPM Report text for (WRC-07) Agenda item 1.3, Resolution 747, (in particular noting resolves 4 and further resolves 2)	8B1	205, 220R1, 221
468	Germany (Federal Republic of)	WRC-07 Agenda item 1.14 - Radiocommunications procedures for the maritime mobile service	8B3	230R1
469	USA	Revision to Agenda item 1.5 CPM text	8B2	232, 233
470	CPM Chapter 5 Rapporteur	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13	8B3	215R1, 244, 245
471	CPM Chapter 5 Rapporteur	Further reduction of text on 1.13 in the CPM Report	8B3	215R1, 244, 245
472	France	Amendments to the draft CPM text of the WRC agenda item 1.5	8B2	232, 233
473	USA	Further analysis of potential interference from the Earth exploration-satellite service (EESS) (active) into ground-based meteorological radars in the 9 300-9 500 MHz band	8B1	205, 220R1, 221
474	USA	Proposed text for the working document towards a PDNR on technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	8B1	202
475	USA	Compatibility between the radiolocation service and IMT-Advanced systems operating in the mobile service in the 3 400-3 700 MHz band	8B1	206, 228, 229
476	Russian Federation	Proposals for the text of draft CPM Report for WRC-07 Agenda item 1.5	8B2	232, 233
477	USA	Proposed revisions to draft CPM text on WRC-07 Agenda item 1.3, Resolution 747	8B1	205, 220R1, 221
478	USA	Preliminary draft new Recommendation (PDNR) - Technical and operational characteristics of wind profiler radars operated in bands in the vicinity of 50 MHz, 400 MHz, 1 000 MHz and 1 300 MHz	8B1	204
479	USA	Draft new Report ITU-R M.[AMS-FSS] - Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 150 MHz band	8B2	240
480	Eurocontrol Agency	Towards a resolution of issues concerning the band 5 000-5 250 MHz in respect of WRC-07 Agenda items 1.5 and 1.6	8B2	225R1, 232, 233, 237
481	Russian Federation	Proposal for a preliminary draft new Report ITU-R - Radionavigation satellite service effect on receivers in the radiodetermination systems in the 1 215-1 300	8B1	217

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		MHz frequency band		
482	WP 8B Rapporteur & IALA AIS TWG	Report on cooperative effort between the IALA AIS TWG and ITU-R WP 8B on the preliminary draft revision of ITU-R M.1371-2	8B3	226
483	Telenor, Norway	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Radio call sign availability after transition to GMDSS	8B3	230R1
484	International Maritime Organisation	Maintenance and administration of AIS binary messages	8B3	—
485	Telenor, Norway	WRC-07 Agenda Item 1.14, Appendix 16 - Renewing and revitalizing the maritime ITU service publications	8B3	230R1
486	IMO	IMO position on WRC-07 agenda items concerning matters relating to maritime services	8B1 8B3	205, 215R1, 220R1, 221, 224, 227R1, 230R1, 244, 245
487	USA	Working document towards a preliminary draft new Report - Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in 4 990-5 000 MHz band	8B2	236
488	USA	Analysis of interference from aeronautical mobile telemetry into mobile-satellite service feederlinks operating in the 5 150-5 250 MHz band	8B2	232, 233, 240
489	USA	Potential technical issues with aviation use of RNSS service links in the 5 GHz band	8B2	236
490	USA	Revised draft text towards Chapter 1 of the draft CPM Report, Agenda item 1.6	8B2	225R1, 237
491	USA	Working document towards a preliminary draft new Report - Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	8B2	235
492	USA	Proposed revisions to working document: Compatibility analysis between the EESS (passive) systems operating in the 1 400-1 427 MHz band and radiolocation service systems operating in the 1 350-1 400 MHz band	8B1	—
493	USA	Proposed preliminary draft new Question - Technical and operational characteristics and spectrum requirements of high-frequency surface wave radar systems operating in the frequency range 3 to 50 MHz	8B1	201, 203
494	USA	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-Radar] - Technical and operational characteristics of high-frequency surface wave radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	8B1	201, 203
495	USA	CPM text on agenda item 1.14 - Proposed	8B3	230R1

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		modifications to Annex 27 of the WP 8B Chairman's report		
496	USA	Preliminary draft new Report - Frequency and channelling arrangements in the high-frequency bands for the maritime mobile service	8B3	215R1, 244, 245
497	USA	Working document toward draft CPM text for Agenda item 1.12 - Coordination distances for cases involving ground-based earth stations and aircraft terrestrial stations	8B2	218, 242
498	Chairman, Drafting Group 8B2 (Aeronautical)	Agenda item 1.5 Compilation of proposals for CPM text	8B2	232, 233
499	TELENOR AS	Draft liaison statement to IMO COMSAR - Replacement for the use of NBDP (radio telex) for maritime distress and safety communications in maritime MF/HF bands	—	—
500	TELENOR AS	Draft new Recommendation ITU-R M.XXX - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	8B3	211R1, 213
501	TELENOR AS	Draft new Recommendation ITU-R M.XXX - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and e-mail on maritime Appendix 18 channels	8B3	211R1, 212R1
502	TELENOR AS	Draft new Report ITU-R M.XXX - HF maritime data services, characteristics and modem protocols	8B3	211R1, 213
503	TELENOR AS	Revised draft CPM text on Agenda item 1.14 - Proposed changes to the draft text	8B3	230R1
504	USA	Draft new Report - Long range detection of automatic identification system (AIS) messages using terrestrial techniques	8B3	210
505	USA	Draft modification of Question ITU-R 96-1/8	8B3	—
506	USA	Discussion paper - The use of a third AIS channel for satellite detection	8B3	—
507	USA	Analysis of interference from aeronautical security transmissions into mobile-satellite service feederlinks operating in the 5 150-5 250 MHz band	8B2	—
508	USA	Revised draft Recommendation ITU-R M.1465	8B1	208
509	USA	Draft new report - Test results illustrating compatibility between representative radionavigation systems and radiolocation and EESS systems in the band 8.5-10 GHz	—	—
510	USA	Revision to preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.824-2	8B1	207
511	USA	Revisions to preliminary draft new Report - Sharing between aeronautical mobile telemetry systems and systems of other co-primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz band	8B2	242

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
512	USA	Proposed liaison statement to WP 8F and copied to Study Group 8 - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda Item 1.4	8B1	206, 228, 229
513	USA	Proposed liaison statement to WP 8F and copied to Study Group 8 - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda Item 1.4	8B1	206, 228, 229
514	USA	Working document toward WP 4A draft CPM text	8B2	218
515	USA	Proposed Revision to working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R M.1463	8B1	216
516	USA	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.13	8B3	215R1, 244, 245
517	USA	Working document toward preliminary draft new Report - Consideration of sharing conditions in the 4-10 MHz band	8B3	215R1, 244, 245
518	France	Agenda Item 1.13, Resolution 351	8B3	215R1, 244, 245
519	USA	Draft new report - Satellite detection of automatic identification system messages	8B3	224R1
520	Switzerland (Confederation of)	Preliminary draft new Report ITU-R M.XXX - HF maritime data services, characteristics and modem protocols	8B3	211R1, 213
521	ICAO	Proposed allocations to the aeronautical mobile (R) service in the bands 108-117.975 MHz and 960-1164 MHz	8B2	225R1, 237
522	ICAO	AM(R)S spectrum requirements in the bands 960-1164 MHz and 5 000-5 150 MHz	8B2	235
523	USA	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.XXX - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	8B3	211R1
524	Telenor AS	Preliminary draft new Report ITU-R M.XXX - Maritime VHF data network	8B3	211R1, 212R1
525	WMO	Interference from 5 GHz RLAN to meteorological radars	8B1	—
526	WMO	Sharing study between systems beyond IMT-2000 and radars in the ARNS and meteorological service in the 2 700-2 900 MHz band	8B1	206, 228, 229
527	Canada	Consideration of Agenda Item 1.13 method 6 (Issue E)	8B3	215R1, 244, 245
528	Korea	Comments regarding WRC-07 Agenda Item 1.3, Resolution 747	8B1	205, 220R1, 221
529	France	Sharing study in the band 5 030-5 250 MHz between high bit-rate aeronautical telemetry and services currently allocated or studied to be allocated at WRC-07	8B2	240
530	France	Sharing study between systems beyond IMT-2000 and radars in the ARNS and meteorological service in the 2	8B1	206, 228, 229

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		700-2 900 MHz band		
531	France	Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 030-5 250 MHz	8B2	243
532	France	Sharing study in the band 5 030-5 150 MHz between AM(R)S/AS and services currently allocated	8B2	234
533	France	Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz	8B2	232, 233, 234
534	France	Proposals to update the draft CPM text for Agenda item 1.3	8B1	205, 220R1, 221
535	France	Draft new Report ITU-R M.[AMS-FSS] - Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 150 MHz band	8B2	234, 240
536	France	Working document towards a preliminary draft new Report - Compatibility between aeronautical mobile telemetry systems in the mobile service and systems of other co-primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	242
537	UK	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Review of Appendix 18	8B3	230R1
538	UK	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Rationalisation of ship station call signs and related revisions to the CPM text	8B3	230R1
539	UK	WRC-07 Agenda Item 1.13 - HF spectrum considerations for the maritime mobile service CPM text	8B3	215R1, 244, 245
540	UK	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Revised acknowledgement procedure for substitution in Article 32	8B3	230R1
541	France	Amendments to the draft CPM text of the WRC Agenda Item 1.5	8B2	232, 233
542	France	Annex 25 to WP 8B Chairman's Report - Revised draft text towards Chapter 1 of the draft CPM report, Agenda Item 1.6	8B2	225R1, 237
543	Canada	Proposed revisions to draft CPM text for Agenda item 1.3	8B1	205, 220R1, 221
544	Canada	Proposed revisions to draft text towards Chapter 1 of the draft CPM report, Agenda Item 1.6	8B2	225R1, 237
545	Canada	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Satellite Detection of AIS	8B3	230R1
546	Canada	WRC-07 Agenda Item 1.14 - Proposed revisions to Article 33 of the Radio Regulations for consideration in the draft CPM text on Agenda Item 1.14 and in the proposed Preliminary draft new Report supporting draft CPM text on this agenda item	8B3	230R1
547	Canada	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.16	8B3	224, 227R1
548	British	Views concerning the development of a draft new	8B3	215R1,

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
	Broadcasting Corporation(BBC)	Report information relating to the fixed and mobile services in the 4-10 MHz band		244, 245
549	France	French proposals to update the report giving example of compatibility distances between the MLS receivers and the AMT aeronautical stations	8B2	241
550	WP 7D	Liaison statement to Working Party 8B - Compatibility between the radio astronomy service and aeronautical mobile telemetry systems operating in the band 4 825-4 835 MHz	8B2	242
551	WP 8F	Liaison statement to Working Party 8B - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda Item 1.4	8B1	206, 228, 229
552	WP 8F	Liaison statement to WP 8B - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda Item 1.4 - Sharing study between IMT-Advanced systems and radars in the 2 700-2 900 MHz band and the 3 400-3 700 MHz band	8B1	206, 228, 229
553	Chairman, CPM 1.5 ad hoc	Agenda item 1.5 CPM text	8B2	—
554	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on Cognitive Radio systems	—	—
555	BR Study Group Department	List of documents issued	—	—
556	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on software defined radio	—	—
557	WP 7C	Reply liaison statement to WP 8B on WRC-07 agenda item 1.3, Resolution 747 (WRC-03)	8B1	205, 220R1, 221

表7 WP8B出力文書一覧

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
201	Draft new Question - Technical and operational characteristics, and spectrum requirements of high-frequency surface wave radar systems operating in the frequency range 3 to 50 MHz	493	DNQとして承認 (8/169)
202	Proposed text for a PDNR on technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	474	PDNRとして承認 議長報告に添付(Annex 15)
203	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency surface wave radar operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	494	WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 13)
204	Working document towards a preliminary draft new Recommendation (PDNR) - Technical and operational characteristics of wind profiler radars operated in bands in the vicinity of 50 MHz, 400 MHz, 1 000 MHz and 1 300 MHz	478	WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 14)
205	Reply Liaison statement to WP 7C concerning compatibility between EESS (active) and meteorological radars	473, 557	WP7Cへのリエゾンとして承認 (7C/266)
206	Liaison statement to Working Party 8F - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	551	WP8Fへのリエゾンとして承認 (8F/1066)
207	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.824-2 - Technical parameters of radar beacons (racons)	510	PDRRとして承認 (8/175)
208	Draft revised Recommendation ITU-R M.1465 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 3 100-3 700 MHz	508	DRRとして承認 (8/173)
209R1	Draft modification of Question ITU-R 96-1/8 - Improved efficiency in the use of the band 156-174 MHz by maritime safety and port security stations in the maritime mobile service	505	DRQとして承認 (8/171)
210	Preliminary draft new Report - Long range detection of automatic identification system (AIS) messages using terrestrial techniques	441Ann4, 504	PDNRとして承認 議長報告に添付(Annex 17)
211R1	Liaison statement to IMO COMSAR - Replacement for the use of NBDP (radio telex) communications in maritime MF/HF bands	441Ann9, 449, 500, 502, 520, 523	IMOへのリエゾンとして承認。

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
212R1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[VHF DATA] - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail on maritime Appendix 18 channels	146, 501, 524	PDNRとして承認 議長報告に添付(Annex 12)
213	Draft new Recommendation ITU-R M.XXX - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	441Ann5, 441Ann9, 500, 502, 520	DNRとして承認 (8/161)
214R1	Draft new Report ITU-R M.[SAT_DET_AIS] - Satellite detection of automatic identification system messages	441Ann2, 519	DNRとして承認 (8/176)
215R1	Preliminary draft new Report - Proposed modifications of Appendix 17 (Frequencies and channelling arrangements in the high-frequency bands for the maritime mobile service) for a possible solution of agenda item 1.13 (Resolution 351) during WRC-03	450, 455, 457, 464, 465, 470, 471, 486, 496, 516, 517, 518, 527, 539, 548	PDNRとして承認 (8/162)
216	A draft Revision of Recommendation ITU-R M.1463 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 1 215-1 400 MHz	515	DRRとして承認 (8/172)
217R1	Working document towards a preliminary draft new Report and/or Recommendation on studies regarding the impact of the radionavigation-satellite service into radiodetermination service systems receivers	441Ann20	WDとして承認 議長報告に添付(Annex 16)
218	Draft liaison statement to WP 4A - Coordination distances for cases involving ground-based earth stations and aircraft terrestrial stations	497, 514	WP4Aへのリエゾンとして承認 (4A/394)
219	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] - Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and new aeronautical mobile (R) services in the band 108-117.975 MHz	441Ann14	TEMP/238+C1 参照
220R1	Draft CPM Text on WRC-07 – Agenda item 1.3, Resolution 747	447, 534, 543, 557	CPMテキスト案 として承認
221	Draft new Report – Test results illustrating compatibility between representative radionavigation systems and radiolocation and EESS systems in the band 8.5-10 GHz	509	DNRとして承認 (8/160)
222R1	Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	441Ann17	承認 SG8 に 送 付 (8/177)
223R1	Liaison statement to IMO (COMSAR) – AIS search and rescue transmitter (AIS-SART)	410	IMO 及び IALA へのリエゾンと して承認

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
224	Draft revision of Recommendation ITU-R M.585-3	441Ann8, Ann28, 486, 547	DRRとして承認 (8/156)
225R1	Draft text towards Chapter 1 of the draft CPM Report, Agenda item 1.6	350, 441Ann25, 480, 490, 521, 542, 544	CPMテキスト案 として承認
226	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-2 – Technical characteristics for a universal shipborne automatic identification system using time division multiple access in the VHF maritime mobile band	393, 441Ann3,4 82, 484	DRRとして承認 (8/178)
227R1	Draft CPM text on Agenda item 1.16 – Executive summary of CPM text for WRC-07 Agenda item 1.16	441Ann28, 486, 547	CPMテキスト案 として承認
228	Proposed liaison statement to WP 8F and copied to Study Group 8 – Frequency-related matters for the future development of IMT 2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4 – Sharing study between IMT- Advanced systems and radars in the 3 400-3 700 MHz band	475, 513, 552	WP8Fへのリエ ゾンとして承認 (8F/1067)
229	Liaison statement to Working Party 8F – Liaison statement to Working Party 8F on frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4		WP8Fへのリエ ゾンとして承認 (8F/1068)
230R1	Draft CPM Text on Agenda item 1.14 – Executive summary of CPM Text for WRC-07 Agenda item 1.14	441Ann27, 458, 459, 460, 461, 468, 483, 485, 486, 495, 503, 537, 538, 540, 545, 546	CPMテキスト案 として承認
231R1	Draft liaison statement to the International Maritime Organization – Aural listening watch on distress calling frequencies		IMOへのリエゾ ンとして承認
232	Agenda item 1.5 CPM Text	350, 441Ann24, 446, 448, 466, 469, 472, 476, 480, 488, 498, 533, 541	CPMテキスト案 として承認

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
233	Agenda item 1.5 – Executive summary	350, 441Ann24, 446, 448, 466, 469, 472, 476, 480, 488, 498, 533, 541	CPMテキスト案 として承認
234	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AM@S/AS 5 091-5 150 MHz]	532, 533, 535	PDNRとして承認 議長報告に添 付(Annex 7)
235	Working document towards a preliminary draft new Report – Initial estimate of new aviation AM@S spectrum requirements	491, 522	WDとして承認 議長報告に添 付 (Annex 9)
236	Working document towards a preliminary draft new Report – Compatibility between proposed new aeronautical mobile @ service (AM@S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	487, 489	WDとして承認 議長報告に添 付 (Annex 8)
237	Agenda item 1.6 – Executive Summary	350, 441Ann25, 480, 490, 521, 542, 544	CPMテキスト案 として承認
238	Draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] – Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and new aeronautical mobile @ services in the band 108-117.975 MHz	441Ann14, TEMP/219	DNRとして承認 (Annex 11)
238C1	Draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] – Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and new aeronautical mobile @ services in the band 108-117.975 MHz	—	(TEMP/238 に 置き換え)
239	Draft liaison statement to WP 6E	433	WP6Eにリエゾ ンとして送付 (6E/448)
240	Combined reports on sharing with AMT at 5 GHz	441Ann19, 479, 488, 529, 535	承認 議長報告に添 付 (Annex 6)
241	Proposals to update the report giving example of compatibility distances between the MLS receivers and the AMT aeronautical stations	441Ann13, 549	承認 議長報告に添 付 (Annex 3)

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
242	Revisions to preliminary draft new Report – Sharing between aeronautical mobile telemetry systems and systems of other co-primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	441Ann6, 448, 466, 497, 511, 536, 550	PDNRとして承認 議長報告に添付(Annex 4)
243	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AMT 5 030-5 250 MHz] – Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 030-5 250 MHz	441Ann22, 444, 446, 449, 531	PDNRとして承認 議長報告に添付(Annex 1)
244	Preliminary draft new Report M.[HF-SHARING] – Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	450, 455, 457, 464, 465, 470, 471, 486, 496, 516, 517, 518, 527, 539, 548	PDNRとして承認(8/159)
245	Revised draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13 – Executive summary of CPM text for WRC-07 Agenda item 1.13	450, 455, 457, 464, 465, 470, 471, 486, 496, 516, 517, 518, 527, 539, 548, 6E/385, 8A/399, 9C/135Ann 4	CPMテキスト案として承認

ITU-R SG8 WP8D 第 21 回会合 報告書

1 WP8D

WP8Dは、移動業務を扱う第8研究委員会(SG8)の作業グループであり、移動衛星関係を所掌している。

1.1 会議の概要

WP8D第21回会合は、2006年9月11日(月)から15日(金)までの5日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には、29の主管庁、4の認められた私企業等から合計121名が参加し、日本からは表1に示す11名が出席した。

議長は、水池氏(日)が担当し、WPのもとに表2に示す8D1から8D4までの4つのサブワーキンググループ(SWG)を設置し、99件の寄与文書(Doc.8D/353-451:このうち、日本からの寄与文書11件)について審議を行い、新勧告案2件、暫定新勧告案11件、改訂勧告案1件、新報告案1件、作業文書5件、リエゾン文書6件、CPMテキスト案3件、その他の文書2件の合計31件の出力文書(TEMP Doc.)を作成した。

表1 日本からの出席者(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属
芦澤 宏和	総務省 総合通信基盤局電波部 衛星移動通信課 国際係長
岸 洋司	(株)KDDI研究所 主任研究員
木村 佳史	(株)KDDIネットワーク&ソリューションズ MSAT本部 MSAT技術部 次長
小暮 聡	(独)宇宙航空研究開発機構 宇宙利用推進本部 測位衛星システム室 主任開発員
小坂 克彦	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
長谷部 行生	国土交通省 航空局 管制保安部 保安企画課 航空衛星室 航空管制技術調査官
鈴木 祥生	(財)航空保安無線システム協会 衛星技術部 調査役
前田 裕昭	NEC東芝スペースシステム(株) 測位システム開発室
水池 健	KDDI(株) 技術開発本部 技術戦略部長
三留 隆宏	新衛星ビジネス(株) 周波数調整室 部長代理
宮崎 秀則	(財)航空保安無線システム協会 衛星技術部 部長代理

表2 WP8Dの審議体制

グループ	担務内容	議 長
WP8D	移動衛星業務	水池（日）
SWG 8D1	MSSシステム概念、技術特性、性能目標	小坂（日）
DG 8D1A	安全業務と災害救難活動	Mr. B.E. Turhan（英）
DG 8D1B	MSSハンドブックの補遺	木村（日）
DG 8D1C	勧告ITU-R M.1480関連	小坂（日）
SWG-8D2	IMT-2000 衛星コンポーネント及び MSS 間の共用	Mr. S. Harding(英)
DG-8D2A	WRC-07 議題 1.17	Mr. P. Deedman(英)
SWG 8D3	FS、MS、BS及び宇宙科学との共用/全般	Mr. D. Weinreich(米)
DG 8D3A	WRC-07議題1.7	Mr. P. Deedman(英)
DG 8D3B	WRC-07議題1.6 -民間航空通信の近代化	Ms. A. Allison(米)
SWG-8D4	無線航行衛星業務及びフィーダリンク	Mr. C. Hofer(米)
DG-8D4A	無線航行衛星業務	Mr. T. Hayden(三菱)
DG-8D4B	RNSS 間周波数調整方法	Mr. D. Jansky(米)

2 審議の内容

2.1 MSSシステム概念、技術特性、性能目標(SWG-8D1)

SWG 8D1 では、小坂氏(日本)が議長を担当し、移動衛星業務(MSS)システム概念、技術特性及び性能目標に関連する案件について、18 件の入力文書を審議し、1 件の新勧告草案(PDNR)、3 件のリエゾン文書(LS)、2 件の作業文書(WD)、および MSS ハンドブックの補遺の合計 8 件の出力文書が作成された。この内、2 件のリエゾン文書送付と MSS ハンドブックの補遺が承認された。また、新勧告草案と 2 件の作業文書については議長報告に添付することが承認された。

本 SWG では、安全業務と災害救難活動に関しては DG 8D1A、MSS ハンドブックの補遺に関しては DG 8D1B、勧告 ITU-R M.1480 に関しては DG 8D1C をそれぞれ設置して審議された。その他については SWG 8D1 にて直接審議された。

2.1.1 安全業務と災害救難活動(DG 8D1A)

DG 8D1A では、Turhan 氏(英)が議長を担当し、災害救難活動と早期警報に関する入寮文書 6 件を審議し、新勧告草案に向けた作業文書 1 件と、WP 8D における災害救難活動に関する検討状況を知らせる連絡文書 2 件が作成された。

入力文書： Annex 19 to 8D/353(Chairman, WP 8D), 8D/367(WP 8B), 8D/381(WP 8F),
8D/422(USA), 8D/424(UK), 8D/448(WP 8F)

出力文書：8D/TEMP/267(LS), 8D/TEMP/270(WD to PDNR), 8D/TEMP/273(LS)

〔結論〕

災害救難活動に有効な移動衛星通信システムとして、米国からの HIBLEO-2、HIBLEO-4 に関する情報、および英国からのインマルサットシステムに関する情報をとりまとめ、新勧告草案に向けた作業文書を出力すると共に、WP 8Dにおける検討状況に関して、WP 8F への連絡文書が作成された。一方、WP 8B に対して、衛星による自動識別システム(Automatic Identification System:AIS)の探知に関して、次回 WP 8D 会合において検討することを通知する連絡文書が作成された。

〔主な議論〕

災害救難活動と早期警戒における移動衛星業務システムの適用については、ITU-R理事よりITU-R各SG議長宛レターに応じる形で、2006年2月の第19回WP 8D会合より検討が開始された。第19回会合では米国からの寄与文書を元に、新勧告草案に向けた作業文書が作成されていた(Annex 19 to 8D/353)。8D/422は米国からの寄与文書であり、第19回会合の出力文書(Annex 19 to 8D/353)の構成を一部見直すと共に、HIBLEO-2とあわせてHIBLEO-4システムの技術特性について情報提供するものである。一方、8D/424は英国からの寄与文書であり、災害救難活動に適用する上でのインマルサットシステムの技術特性に関する情報を提供するものである。本会合では、これらの文書を取りまとめた形で新勧告草案に向けた作業文書が改訂され、議長報告に添付されることとなった。

8D/381、および8D/448は、WP 8Fにおける災害救難活動におけるIMTの適用に関する検討状況について情報提供する連絡文書であった。これに対して、WP 8Dにおける検討状況をWP 8Fに通知する連絡文書が作成された。

WP 8Bでは、船舶の識別と追跡のための自動識別システム(AIS)の探知に関する研究を進めており、連絡文書8D/367において、衛星によるAIS探知に関するWP 8Bでの検討状況を通知すると共に、WP 8Dからのコメントを求めている。今会合においては、検討時間が不足していたこと、また本件に関して他に寄与文書がなかったことから、次回会合において検討を進めることとし、WP 8Bに対してその旨通知する連絡文書が作成された。

2.1.2 MSS ハンドブックの補遺(DG 8D1B)

DG 8D1B では、木村氏(日本)が議長を担当し、MSS ハンドブックの補遺に関して、2 件の入力文書が審議され、MSS ハンドブックの補遺を出力文書として作成した。

入力文書：Annex14 to 8D/274(Chairman, WP 8D), 8D/409(J)

出力文書：8D/TEMP/272(Supplements of MSS Handbook)

〔結論〕

MSS ハンドブックの補遺について WP 8D として承認した。また、MSS ハンドブック補遺の発行に関して、SG8 会合に報告されることとなった。

〔主な議論〕

MSSハンドブックの補遺については、2005年9月の第18回WP 8D会合において、SG8文書見直しの結果改訂された4つの報告を元にテンプレート文書が作成されていた(Annex 14 to 8D/274)。2006年2月の第19回WP 8D会合では各報告書を元に補遺1～4が作成され、ITU-Rの作業用電子掲示板(JIVE)に掲載されていた。本会合では、日本からの寄与文書8D/409で提案された補遺1の修正を含む文書全体を承認し、MSSハンドブック補遺を出版することがWP 8Dで承認された。また、これによりSG8文書の見直

し作業を全て完了したことをSG8に報告することとなった。

2.1.3 勧告 ITU-R M.1480 関連(DG 8D1C)

DG 8D1Cでは、小坂氏(日本)が議長を担当し、非静止移動衛星業務TDMAシステムに対する性能評価法に関して4件の入力文書を審議し、新勧告草案1件を出力した。

入力文書: 8D/388(Gayacom), 8D/421(USA), 8D/426(UK), 8D/439(Gayacom)

出力文書: 8D/TEMP/290(PDNR)

〔結論〕

非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能評価法に関して、新勧告草案1件を出力した。一方、当該システムに対する性能目標に関しては、次回会合において審議を継続すべく、寄与文書8D/439については次回会合に持ち越すこととした。

〔主な議論〕

勧告ITU-R M.1480の改訂と、これに必要となる非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能目標に関する検討については、第19回WP 8D会合において関係機関(英国/インマルサット、米国、Gayacom:イスラエルにおけるイリジウムサービス提供者)の間で意見の統一を見出すことができず、全ての検討内容をいったん白紙に戻し、作業文書を全て削除することとなっていた。本会合では、上記関係機関から4件の寄与文書があった。このうち、Gayacomからの8D/388については、第19回会合において入力された寄与文書8D/344に対してコメントを提供するものであったが、8D/344に関しては第19回会合においていったん議論を白紙に戻すことが合意されていたことから、今会合では改めて審議しないこととした。

8D/421は非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能評価法に関する新勧告案を提案する米国からの寄与文書である。本文書では、システム間干渉による性能劣化をリンクマージンの劣化として評価することを提案している。一方、8D/426は英国からの寄与文書であり、非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能評価のためのリンクマージンの定義と、リンクマージンを用いた具体的な性能評価例について提案するものである。このうち、前半のリンクマージンを用いて非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能評価を行う点について、米国寄与文書とマージンすることにより新勧告草案(PDNR)を作成することが合意された。本PDNRについては、内容に特段の問題がなければ次回WP 8D会合において新勧告案化を図ることがDG議長から確認された。

一方、リンクマージンを用いた非静止移動衛星業務TDMAシステムの性能目標値については、前項の英国寄与文書の後半部分と、Gayacomからの寄与文書8D/439にて提案されていたが、今会合では前項のPDNRの作成に注力することとし、8D/439の審議は次回会合に持ち越すこととなった。あわせて、英国寄与文書の後半部分については、これまでに議論されてきた内容の蒸し返しの部分が多いことから、これまでの議論の内容を踏まえて新たな寄与文書を作成することが求められた。

2.1.4 IP パケット伝送

移動衛星業務におけるIPパケット伝送に関して、議長報告書の添付を含む3件の入力文書をSWG 8D1にて直接審議し、新報告書案に向けた作業文書(WD)1件とWP 8A/8F宛の連絡文書(LS)1件が作成された。

入力文書: Annex 17 to 8D/353(Chairman, WP 8D), 8D/364(WP 8A), 8D/420(J).

出力文書: 8D/TEMP/268(WD to DNRep), 8D/TEMP/269 (LS)

〔結論〕

IP パケットアプリケーションを提供可能な移動衛星業務システムに関するシステム設計例と参照システムパラメータに関して情報提供する新報告書案について、第 19 回 WP 8D 会合の議長報告に添付された作業文書に日本寄与文書の内容を反映して更新すると共に、WP 8A/8F からの移動業務における IP パケット伝送に関する検討状況を知らせる連絡文書に対して、謝意を表すと共に WP 8D での検討状況を知らせる連絡文書を作成した。

〔主な議論〕

移動衛星業務におけるIPパケットデータ伝送に関しては、第19回WP 8D会合において、移動衛星業務におけるIP パケットアプリケーションの参照システムパラメータに関する新報告書案を作成することが合意され、その枠組みが議長報告に添付されていた(Annex 17 to 8D/353)。日本からの寄与文書8D/420では、新報告書において記載すべき項目として、衛星軌道情報、変復調方式や誤り訂正符号などの物理層の設計パラメータ、フレーム構成、フレームアクセス方式や再送制御などのリンク層の設計パラメータを含めることが提案された。また、ITU-R内の他のSG/WPでのIPパケット伝送に関する活動状況や、移動衛星業務におけるIPパケットデータ伝送に関して入手可能な情報について提供した。

本会合では、日本からの寄与文書を元に新報告書案に向けた作業文書が改訂され、新たな作業文書が作成された。

WP 8A/8Fでは、移動業務におけるIPパケット伝送の技術特性に関する研究を始めており、その状況を連絡文書8D/364として紹介された。そこで、本連絡文書に対して謝意を表すると共に、WP 8DにおけるIPパケット伝送に関する検討状況を通知する連絡文書が作成された。

2.1.5 ソフトウェア定義無線(Software Defined Radio: SDR)

ソフトウェア定義無線に関して、議長報告書に添付された文書を含む 5 件の入力文書を SWG 8D1 にて直接審議した。これまで議長報告に添付されていた移動衛星業務におけるソフトウェア定義無線に関する報告書に向けた作業文書についてはいったん削除することとした。

入力文書: Annex 18 to 8D/353(Chairman, WP 8D), 8D/357(WP 8A), 8D/365(WP 8A),
8D/446(WP 8F) and 8D/447(WP 8F)

出力文書: なし

〔結論〕

ソフトウェア定義無線の移動衛星業務における使用に関する新報告書へ向けた作業文書(Annex 18 to 8D/353)をいったん削除し、SG8 内におけるソフトウェア定義無線に関する新報告書の主管である WP 8A から提示された目次案に適合する形での寄与文書を 2007 年 6 月の第 22 回 WP 8D 会合に入力することが要請された。

〔主な議論〕

WP 8Dでは、第18回会合より移動衛星業務におけるソフトウェア定義無線の利用に関する報告書案を作成していた(Annex 18 to 8D/353)。一方、SG8内におけるソフトウェア定義無線関連の報告書については、WP8Aが主管することで合意されており、連絡文書8D/357において、その章構成が指示されている。WP 8Fは連絡文書8D/447により、WP 8Aが提示した章構成に同意している。一方、これまでWP 8Dにおいて検討されてきた新報告書案(Annex 18 to 8D/353)の内容は、移動衛星業務に特化した内容というよりも、一般的なソフトウェア定義無線に関する情報を提供するものであり、WP 8Aから指示された章構成にはフィットしないことが、今会合において確認されたことから、これまでの新報告書案に向けた作業文書

をいったん削除することが合意された。次回WP 8D会合(2007年6月)に向けて、WP 8Aから指示された章構成に適合する寄与文書の入力が必要とされた。

WP 8Aからの連絡文書8D/365は、移動業務における認知無線システム(Cognitive Radio System)に関して新研究課題を検討していることについて注意喚起するものである。WP 8Fは連絡文書8D/446において、認知無線システムに関する研究についてWP 8Aが主導することに同意することを通知していた。これらの認知無線システムに関する連絡文書についてはSWG 8D1内にて認識された。

2.1.6 その他

WRC-07 議題 1.19 の CPM 文書案と、放送衛星業務受信アンテナ特性の研究課題に関して、それぞれ 1 件ずつの入力文書を SWG 8D1 にて直接審議した。

入力文書: 8D/360(BR Secretariat), 8D/368(BR Study Group Department)

出力文書: 無し

〔結論〕

WRC-07 議題 1.19 の CPM 文書案と、放送衛星業務受信アンテナ特性の研究課題に関して、それぞれ Note された。

2.2 IMT-2000衛星コンポーネント、MSS間の共用及びフィーダリンク(SWG-8D2)

SWG8D2 は、Mr. Harding (英)が議長を務め、IMT-2000 衛星部分及び MSS 間の周波数共用、フィーダリンクに関する 8 件の寄与文書および第 19 回 WP 8D 会合の議長報告添付文書 3 件を検討した。その結果、フィーダリンクに関する 1 件の新勧告案、1 件の新報告案、1 件の CPM テキスト案、合計 3 件の出力文書を作成した。

このうち、MSS フィーダリンクの不要発射に関する入力文書は Drafting Group (DG)を設置して検討された。ただし、IMT-2000 衛星部分に関する検討は 2006 年 6 月に開催された第 20 回会合において審議を行ったため、本会合での審議事項はほとんどなかった。

2.2.1 新勧告案ITU-R M.[MSS-SHAR-1.4 GHz]

入力文書: 8D/353(第 19 回会合議長報告) Annex2

出力文書: 8D/TEMP/263+Cor.1

〔結論〕

本件は、1 390-1 392 MHz 帯 (地球から宇宙)と 1 430-1 432 MHz 帯 (宇宙から地球)で運用をする MSS フィーダリンクからの地上における受信機(固定業務、移動業務、無線標定業務)の保護に関する勧告について議論を行った。本件に係る特段の入力文書がなかったため、第 19 回会合の議長報告に添付された新勧告草案に基づきサブワーキング会合にて修正点を確認した結果、非静止衛星 MSS ネットワークのパラメータに関する表の修正のみを行い、承認された。本出力文書は SG8 会合へ送られた。

〔主な議論〕

勧告とする場合、翻訳するための費用が必要となるため勧告案のままとするか報告書案とするかで議論となった。本勧告案は共用条件を勧告する文書であり重要であることからサブワーキンググループでは勧告案とすることで意見の一致を見たが、全体会合で勧告案とすることに反対意見が出たときの代替案として、勧告案(2 ページ)と報告書案(13 ページ)に分割し、勧告案が報告書案を参照する携帯とする案も

同時に用意を行った。

全体会合では、特段、勧告案とすることに反対がなかったため、勧告案とした。

2.2.2 新報告書案ITU-R M.[MSS-UE-1.4 GHz]

入力文書：8D/353(第19回会合議長報告) Annex3

出力文書：8D/TEMP/271

〔結論〕

本件は、1 390-1 392 MHz 帯 (地球から宇宙)と1 430-1 432 MHz 帯 (宇宙から地球)で運用をする MSS フィーダリンクの不要発射レベルに関する報告書案について議論を行った。第19回会合では、新勧告草案として議長報告に添付されていたが、サブワーキンググループにおいて報告書案とすることで合意されたため、勧告草案を報告書案に変更するために Drafting Group(議長:Mr. Otter)により検討を行った。内容の変更は行わず、文書の体裁を勧告から報告書へ変更したのみであったことから、本案にて承認された。本出力文書は SG8 会合へ送られた。

〔主な議論〕

本件も前項の勧告案と共に勧告案とするか報告書案とするかで議論となった。ページ数が多い(25ページ)こと、同様の勧告(ITU-R M.1747 と M.1748)が既に勧告として発行されている等の理由から報告書案とする事で合意された。

参考)

勧告 ITU-R 1747: 1 390-1 392 MHz 帯(地球から宇宙)および 1 430-1 432 MHz 帯(宇宙から地球)で運用する MSS フィーダリンクの不要発射から 1 400 1 427 MHz 帯で運用する EESS の保護

勧告 ITU-R M.1748: 390-1 392 MHz 帯(地球から宇宙)および 1 430-1 432 MHz 帯(宇宙から地球)で運用する MSS フィーダリンクの不要発射から 1 400 1 427 MHz 帯の電波天文業務の保護

2.2.3 CPMテキスト案 Agenda item 1.17

入力文書：8D/353(第19回会合議長報告) Annex13、8D/358(WMO)、8D/385(WP 9D)、8D/392(WP 7D)、8D/438(WP 7C)、8D/356(WP 8B)

出力文書：8D/TEMP/264

〔結論〕

本件に係る入力文書としては、WMO(World Meteorological Organisation:世界気象機関)からの WRC-07 に向けた WMO の立場を表明した文書とリエゾン文書があった。リエゾン文書については、WP 8D の案(8D/353 Annex13)に合意するとの内容であった。一方、WMO の文書では、将来 1 400-1 427 MHz 帯において EESS(Earth-exploration satellite service:地球探査衛星業務)にて利用する予定があるとのことで、FSS の 2 次割当ては承認しないとの立場が表明されているが、WP 8D ではノートするにとどめた。第19回会合の議長報告に添付された新勧告草案に基づきサブワーキング会合にて修正点を確認した結果、編集上の修正を行ったのみで承認された。本出力文書は、CPM ラポータへ送付されるとともに議長報告書に添付される。

〔主な議論〕

特段の議論はなかった。

2.2.4 その他の文書(リエゾン文書)

入力文書: 8D/361(WP 4A), 8D/386(BR Secretariat), 8D/390(WP 6S), 8D/381(WP 8F),
8D/448(WP 8F)

出力文書: なし

上記に示す干渉調整および IMT に係るリエゾン文書を受領しノートした。

2.3 固定、移動、放送及び宇宙研究業務との共用／全般 (SWG 8D3)

Sub-Working Group 8D3 では、Mr. Weinreich (USA)が議長を担当し、民間航空通信システムの問題 (WRC-07 議題 1.6 関連) 及び 1668-1668.4 MHz における移動衛星業務と宇宙研究(受動)業務並びに 1668.4-1675 MHz における移動衛星業務と移動業務との共用の検討(WRC-07 議題 1.7 関連)について、前回会合の議長報告への付属文書を含む 23 件の入力文書を審議し、7 件の出力文書を作成した。

SWG は 2 つの DG を設立し、WRC-07 議題 1.7 関連の文書を DG 8D3A において、WRC-07 議題 1.6 関連の民間航空通信システムについての文書を DG 8D3B においてそれぞれ審議した。その他の案件は SWG 8D3 にて直接審議された。

2.3.1 1668-1675 MHz 帯での MSS と MS/SRS との共用 (WRC-07 議題 1.7) (DG 8D3A)

DG 8D3A は、Mr. Deedman (G)が議長を担当し、WRC-07 議題 1.7 (1668-1668.4 MHz 帯における宇宙研究(受動)業務、1668.4-1675 MHz 帯における移動業務との共用に関する 13 件の入力文書を審議し、WRC-07 議題 1.7 に関する CPM 文書案、新勧告案、新報告案に向けての作業文書各 1 件を出力文書として作成した。また、議題 1.7 に関する通信作業班 (Correspondence Group: CG)を継続することとし所掌事項修正案を作成した。

入力文書: 8D/353 付属書 15, 20, 23(WP 8D 議長: 第 19 回会合議長報告), 8D/391(WP 7D),
8D/400(RUS), 8D/402(RUS), 8D/423(USA), 8D/425(G), 8D/427(G), 8D/429(G),
8D/436(CG A.I. 1.7 座長), 8D/437(UAE), 8D/440(F)

出力文書: 8D/TEMP/283(CPM 報告書案), 8D/TEMP/284(DNR), 8D/TEMP/287(DNR に向けた作業文書), 8D/TEMP/291(ToR)

〔結論〕

WRC-07 議題 1.7 に関して、1668-1668.4MHz 帯における宇宙研究(受動)業務との共用に関する新報告案に向けた作業文書及び 1668.4-1675 MHz 帯における移動業務との共用に関する新勧告案が出力文書として作成、承認された。また、議題 1.7 に関する CG は所掌事項を修正してこれを継続させることになった。

〔主な議論〕

(1) 1668-1668.4 MHz 帯における宇宙研究(受動)業務との共用

宇宙研究(受動)業務との共用に関しては、前回会合の議長報告に添付されていた新勧告に向けた作業文書(Annex 23 to 8D/353)を入力文書(8D/391, 8D/402, 8D/429, 8D/436)に基づき修正し、こ

れを新報告案に向けた作業文書として更新(8D/TEMP/287)した。この作業文書は今回会合の議長報告に添付し、次回会合にて更に検討が進められることとなった。

なお、議題 1.7 に関する CG は携帯型 MES 端末に関する検討を更に進めるために所掌事項を修正して継続させることとなった。(8D/TEMP/291)

(2) 1668.4-1675 MHz 帯における移動業務との共用

移動業務との共用に関しては、前回 WP 8D 会合議長報告の添付の新勧告に向けた作業文書 (Annex 20 to 8D/353) が G の寄与文書(8D/427)に基づき修正され、1668.4-1675 MHz 帯における移動業務と移動衛星業務との共用に関する新勧告草案として承認された。(8D/TEMP/284)

(2) CPM 報告書

前回作成した CPM 報告書暫定案(Annex 15 to 8D/353)は、本件に関する上記勧告、報告案の検討結果と各国からの修正提案(8D/400, 8D/423, 8D/425, 8D/437, 8D/440)に基づき修正され、CPM 報告書案として承認された。(8D/TEMP/283)

2.3.2 民間航空通信システム (WRC-07 議題 1.6) (DG 8D3B)

DG 8D3B は、Ms. Allison (USA)が議長を担当し、WRC-07 議題 1.6、決議 415 に基づく民間航空通信システムの近代化に関する 6 件の入力文書を審議し、CPM 報告書案 1 件を出力文書として作成した。

入力文書: 8D/353 付属書 16(WP 8D 議長: 第 19 回会合議長報告), 8D/358 (IMO), 8D/389 (ICAO), 8D/412 (J), 8D/418 (USA), 8D/431 (CAN)

出力文書: 8D/TEMP/293(CPM 報告書案)

〔結論〕

WRC-07 議題 1.6(民間航空通信システムの近代化)に関する CPM 報告書草案が作成された。空対地間通信に関する 10/11/12 GHz 帯 AMSS の二次分配問題は、北米がこれを取り下げたために関連する記述の大部分が削除された。日本の提案により AMS(R)S 関連の記述も一部修正されたが問題点の記述の追加は見送られ、上記 10/11/12 GHz 帯の問題に合わせて決議 415 に基づく CNS/ATM で使用する衛星通信用周波数に対する規則手続きの修正は全く必要ないとされ、WRC-03 でアフリカが提案し作成された決議 415 は事実上骨抜き形となった。

〔主な議論〕

本議題については、衛星による ICAO の CNS/ATM のための民間航空通信システムの近代化に関し、地対地通信に対する VSAT の適用問題に加えて、空対地通信のための AMSS ダウンリンク二次割当について、推進国(USA、AUS など)と、この件は決議 415 から逸脱していると反対している国(SYA、IRN)とが激しく対立し、また G からは現在の R.R.の枠組みで AMS(R)S 周波数需要は満たせるという事実と合わない記述が追加されていた。

ICAO の寄与文書は、AMS(R)S 周波数の長期安定的使用の問題を WRC-10 の議題とするための WRC-07 の議題 7.2(決議 803 第 2.3 項)に対する理解と協力を要請するものであったが、IMO の寄与文書とともに情報扱いとされた。

CAN と USA の提案は 10/11/12 GHz 帯 AMSS の二次分配は非安全通信の問題であり議題 1.6 に含まれないとのアラブグループなどからの批判に応じて関連する記述の大部分を削除するもので、USA の提案にはその他の不要な記述を削除すること、CAN の提案には語句表現の修正を含んでいた。

討議の結果、(1) AMSS の記述は AMS(R)S と同程度の記述を残して全面的に削除することが合意さ

れ、(2) AMS(R)S 関連の記述も Background 部分の多くの記述は冗長不要であるとして削除された。また、UAE 等から AMS(R)S への周波数割り当て不足の問題は一般的でなく一部の通信網に問題があっても全体として十分需要を満たしているとの意見があり、DG 出席者の中で日本以外にこのような記述を支持する主管庁がなかったためにこのような記述の追加は受け入れられなかった。大型反射鏡の記述についても冗長であり ITU-R 内部での検討でもないとの日本の提案が採用され削除された。

決議 222 に基づく即時優先接続の検討結果等の記述追加は議題 1.6 に基づくものではないとして日本の提案は支持されなかった。

SWG 8D3 では DG の提案に対し SYA から多数の語句修正提案があった。また、UAE が Background の 12 GHz AMSS に関する記述は不要であると指摘したが支持されなかった。

日本は決議 222 に関わる新報告 M.2073 の要旨を追加するよう再提案したが、特に CAN がこの報告の結論には納得できないとして強く反対、UAE と D も CAN を支持したために現状のままとされた。

全体会議では SWG の提案が一部語句の編集的修正の後承認された。(8D/TEMP/293)

なお、SYA はアラブグループを代表し、「SYA, UAE, ARS はこの文書案は航空安全通信の要件が十分考慮されていないので反対する」との注記を付すよう要求した。

2.3.3 SWG 8D3 で直接審議された案件

ITU-R 勧告 M.1583 の見直し及び WP 1B への連絡文書草案に関する 2 件の作業文書並びに 8 件の連絡文書を審議した。

入力文書: 8D/353 付属書 21 と 22(WP8D 議長: 第 19 回会合議長報告), 8D/354(ABU), 8D/355(WP 6J), 8D/359(WP 4A), 8D/363(Rev.1)(WP 8A), 8D/366(WP 8B), 8D/369(BR SGD), 8D/383(WP 9D), 8D/393(WP 7D)

出力文書: 8D/TEMP/265(DRR), 8D/TEMP/292(WP 1B への連絡文書)

〔結論〕

SWG 8D3 は、その全体会議で 10 件の入力文書を検討し、ITU-R 勧告 M.1583 の改訂草案(Doc. 8D/TEMP/265)及び国際的な周波数監視の枠組みの改善に関わる WP 1B への連絡文書の 2 件の出力文書を作成した。

〔主な議論〕

(1) 国際的な周波数規制枠組みの改善

Doc. 8D/353 付属書 21 は、国際的な周波数監視の枠組みの改善に関わる WP 1B への連絡文書草案の作業文書であった。この文書をもとに WP 1B に向けての連絡文書(8D/TEMP/292)が作成承認された。

(2) ITU-R 勧告 M.1583 の改訂草案

Doc. 8D/353 付属書 22 は、ITU-R 勧告 M.1583 の改訂草案のための作業文書であった。この文書をもとに ITU-R 勧告 M.1583 の改訂草案(Doc. 8D/TEMP/265)が作成承認された。

(3) その他の入力文書

下記の入力文書が検討され、それぞれ SWG 8D3 において留意された。

Doc. 8D/354: WRC-07 議題 1.21 に関する意見を提供しているアジア太平洋放送連合から情報文書。

Doc. 8D/355: Electronic News Gathering に関する WP 6J からの連絡文書。

Doc. 8D/359: ITU-R 勧告 S.1586 の改訂草案に関する WP 4A からの連絡文書。

Doc. 8D/363(Rev.1): WP 8A からの WP 6J の連絡文書に対する意見を述べた 連絡文書。

Doc. 8D/366: 16 GHz以上の帯域を使用する航空移動テレメトリとの共用に関するWP 8Bからの連絡文書。この文書はWP 8Bは機器の検討から16 GHzを超える帯域の使用は非実用的であり、共用は期待出来ないことが判明したことを示している。

Doc. 8D/369: SG 1からの宇宙電波監視に対処している新しい研究問題に関する情報文書。

Doc. 8D/383: 部分指向性アンテナに関するITU-R 勧告F.1336の改訂に関する情報を提供したWP 9Dからの連絡文書。

Doc. 8D/393: ITU-R 勧告 S.1586に関するWP 7Dからの連絡文書。

(4) 研究問題

ITU-R 研究問題 201-1/8及び211-2/8は精査の上維持された。

2.4 RNSS(SWG-8D4)

SWG 8D4 では、Hofer 氏 (米国)が議長を担当し、RNSS に関する事項の審議をした。

RNSS 勧告の体系を、表 2.4-1 から 2.4-3 に示す。表 2.4-1 及び 2.4-2 の RNSS 特性勧告の作成作業では、(M.[RNSS_ORG]を除き)Annex 毎に各 RNSS システムの特性をまとめることが主な作業である。

これらの表にある RNSS 特性勧告や周波数調整方法の勧告の審議を行ったが、いずれも完成度がDNR には満たないとして、PDNR のままとなった。本来、表 2.4-1 の勧告は、今回会合での DNR 化を目指していたが、まだ入力が不十分で、各 Annex 中の特性に TBD が多く、DNR 化できず PDNR のままとなったものである。

プレナリーにて、これらの RNSS 勧告全てを 2007 年 6 月の WP8D 会合で DNR 化できるように各主官庁に寄与を求めることが議長から要請された。

表 2. 4－1 RNSS 関連勧告の体系(1/3)

	周波数帯		
	1164-1215MHz	1215-1300MHz	1559-1610MHz
勧告全体構成	M.[RNSS_ORG](表 2.4-1、2.4-2 及び 2.4-3 中の勧告全体の構成を示す勧告)		
受信地球局特性	M.[CHAR-RX3]	M.[1088_NEW]	M.[1477_NEW]
送信衛星特性	M.[1317_NEW]		
衛星搭載受信機特性	M.[1479_NEW]		

注: 表 2.4-1 中の勧告はパッケージとして取り扱われ、2007 年 6 月の WP8D 会合後の SG8 に同時に提出するべく活動している。但し、M.[1479_NEW]については、2006 年 9 月の WP8D 会合時の完成度によりパッケージから外すことも有り得る。

表 2. 4－2 RNSS 関連勧告の体系(2/3)

	周波数帯	
	5000-5010MHz	5010-5030MHz
アップリンク特性 (送信地球局及び受信衛星特性)	M.[E-S Tx+Rx]	N/A
ダウンリンク特性 (送信衛星局及び受信地球局)	N/A	M.[S-E Rx+Tx]

表 2. 4－3 RNSS 関連勧告の体系(3/3)

	周波数帯
--	------

	周波数帯			
	1164-1215MHz	1215-1300MHz	1559-1610MHz	5010-5030MHz
干渉モデル	M.[1318_NEW]			
RNSS 間干渉調整方法	M.[RNSS_COORD_METHOD] (適用周波数帯は厳密に定義されていない。現状は 1164-1215MHz, 1215-1300MHz 及び 1559-1610MHz 帯における干渉評価方法のみが示されている。)			

(1) SC (Special Committee) へのリエゾン

入力文書: 8D/353 Annex 25 (前回議長報告)

出力文書 8D/TEMP/278

前回会合時に、WRC-07 議題 1.12 関連として、RR 脚注 5.329A 及び 5.328B の改訂提案が作成された。前回会合時に受領した SC-WP からリエゾンにて、WRC-03 にて RNSS 帯域 (宇宙から地球) に対して、9.12、9.12A 及び 9.13 の調整ルールが導入されたが、同一帯域の RNSS (宇宙から宇宙) の取扱が不明確であったため、明確化するよう追記が行われた提案が示されたが、5.328B の改訂箇所 9.7 が含まれていないため、5.328B の改訂案に 9.7 を含めることを検討し、SC への 5.328B に関する改訂の提案 (9.7 を含める提案) をするリエゾン案を作成していたものである。SC 会合は 2006 年 12 月であるため、前回 WP8D 会合からの SC への送付はせず、今回 WP8D 会合まで持ち越しとしていたもの。

特に変更提案がなかったため、前回議長報告のままの内容で SC へリエゾン送付することとなった。

(2) SDR (Software Defined Radio: ソフトウェア無線)

入力文書: 8D/357(8A)、446(8F)、447(8F)

出力文書: なし

8D/357は、WP8Aで作成されたSDRに関する統合レポート案について、関連WPへの周知及びコメント要請を行うもの。本統合レポート案は、WP8Aで作成されたSDRに関するレポート案 [LMS.SDR]とWP8Fで作成された[IMT.SDR]を統合し、アマチュア衛星の記述の追加並びに海上移動、航空移動システム、移動衛星システム及び無線航法衛星システムの章の追加等が行われている。

8D/446はWP8FからWP8Aへの情報文書である。WP8Fがコグニティブ無線に関する新研究課題案を提案している。他のシステムとの共用における必要性を含め、コグニティブ無線の使用はIMTシステムに有益であるとしている。コグニティブ無線は全ての無線受信機にとっても有用である可能性を持つことか等から、WP8Fはこの課題についてWP8Aとの協力を提案するとしている。

8D/447 WP8FからWP8Aへの情報文書である。WP8Fが、WP8Aが作成したSDRのレポート案について検討し、IMTの概観について合意すると連絡している。また、WP8Fはレポートの最終化までの手続についても同意するとしている。WP8Fは、サービスとアプリケーションに関する部分について、アップデートを続けることを要請すると連絡している。

SDR については SWG8D1 にて対応しているとのことで、SWG8D4 では特に議論されず、また WP8F から WP8A へのリエゾンは WP8D へ情報として送付されているのみであるので、いずれもノートされるに留まった。

(3) その他

入力文書: 8D/359(WP4A)、393(WP7D)

出力文書: なし

8D/359は、WP7Dと8DからのITU-R勧告S.1586の改訂に関するリエゾンに対するWP4Aからの回答である。WP7Dと8Dからの提案を踏まえた勧告S.1586の改訂案を送付している。

8D/393 は、上記 WP4A からのリエゾンに対する WP7D の回答である。WP7D は、勧告 ITU-R S.1586 について、エディトリアルな修正を加えた上で合意したとしている。

WP8Dとしては、特に対処は不要のためノートするに留めることとした。

2.4.1 RNSS特性勧告関連事項 (DG 8D-4a)

DG 8D-4a は、Hayden 氏（三菱電機）が議長を担当し、RNSS 関連について、28 件の入力文書を審議し、9 件の新勧告草案の修正、1 件の作業文書及び 1 件のリエゾン文書を作成した。

入力文書: 8D/353(前回議長報告), 370(WP8B), 394(RUS), 395(RUS), 396(RUS), 397(RUS), 398(RUS), 399(USA), 401(USA), 403(USA), 404(USA), 405(J), 406(USA), 407(J), 411(J), 413(USA), 414(J), 415(USA), 416(J), 417(J), 428(UK), 432(CHN), 433(CHN), 434(CHN), 435(CHN), 442(F), 443(F), 444(F), 445(F)

出力文書 : 8D/TEMP/274, 275, 276, 277, 279Rev.1, 280Rev.1, 281, 285, 286, 288Rev.1, 289Rev.1

(1) RNSS特性勧告(入力: 8D/353 Annex 12及び27、出力TEMP/277、286)

研究課題 236/8 に基づき、RNSS 関係勧告の改訂及び必要な勧告の新規作成の作業が行われている。勧告改訂に関しては、改訂箇所の変更履歴を残すと複雑になるため、SG8 に文書をあげるまでは出力文書に変更履歴は残さず、新勧告案の形で審議していくことが合意されている。

前回議長報告 8D/353 の Annex 27 にこれら RNSS 勧告の全体像が表にまとめられており、今回合会の結果を反映して、TEMP/286(RNSS 勧告の構成に関する作業文書)として出力された。

TEMP/286 の表1中の6つの PDNR は少なくとも 2007 年 6 月の WP8D にて DNR 化するように努めることがこの TEMP/286 中で確認された。また、TEMP/286 には、PDNR 毎に、特に主官庁に入力を促したい箇所を記してある。

また、8D/353 の Annex12 には、RNSS 勧告の構成示す勧告として、PDNR M.[RNSS_ORG]がまとめられており、今回合会の結果を反映して TEMP/277 として出力した。TEMP/277(PDNR M.[RNSS_ORG])には、各 RNSS 特性勧告の各 Annex に含められる PNSS システムパラメータの説明表がつけられているが、会合中の議論により、この説明表の訂正が行われた。

(a) PDNR M.[1317_NEW](RNSS 衛星送信特性)(入力: 8D/353(Annex10), 395, 417, 428, 432, 出力: 8D/TEMP/289R1)

日本、ロシア、英国及び中国がそれぞれ、QZSS(準天頂衛星)、GLONASS、Inmarsat(EGNOS) 及び COMPASS の衛星送信機特性を述べている Annex の改訂を提案した。PDNR として出力された。

(b) PDNR M.[CHAR-RX3](1164-1215MHz 帯の RNSS 受信地球局特性)(入力: 8D/353(Annex 9), 398, 416, 435, 443, 出力: 8D/TEMP/281)

日本、ロシア、フランス及び中国がそれぞれ、準天頂衛星、GLONASS、Galileo 及び COMPASS の受信機特性の改訂を提案した。GPS(今回入力なし)の特性にはまだ値が TBD のパラメータが含まれている。また、パルス干渉を保護できるレベルの検討が必要としているが、TBD のままになっている。PDNR として出力された。

(c) PDNR M.[1088_NEW](1215-1300MHz 帯の RNSS 受信地球局特性)(入力: 8D/353(Annex 5), 394, 414, 434, 444 出力: 8D/TEMP/275)

日本、ロシア、フランス及び中国がそれぞれ、準天頂衛星、GLONASS、Galileo 及び COMPASS の受信機特性の改訂を提案した。GPS(今回入力なし)と Galileo の特性にはまだ値が TBD のパ

ラメータが含まれている。PDNR として出力された。

- (d) PDNR M.[1477_NEW](1559-1610MHz 帯の RNSS 受信地球局特性)(入力:8D/353(Annex 6), 396, 411, 433, 442 出力:8D/TEMP/280R1)

日本、ロシア、フランス及び中国がそれぞれ、準天頂衛星、GLONASS、Galileo 及び COMPASS の受信機特性の改訂を提案した。GPS(今回入力なし)の特性にはまだ値が TBD のパラメータが含まれている。PDNR として出力された。

- (e) PDNR M.[1479_NEW](衛星間通信を行う RNSS 特性)(入力:8D/353(Annex 8), 397, 399, 445 出力:8D/TEMP/288R1)

米国、ロシア及びフランスが、GPS、GLONASS 及び Galileo の受信機特性の改訂を提案した。Galileo の特性にはまだ値が TBD のパラメータが含まれている。これは、宇宙局(スペースシャトルや衛星等)搭載の RNSS 受信機特有の条件の検討(例えば、最小受信電力となるときのアンテナ仰角)が未だ十分でないことによる。PDNR として出力された。

- (f) PDNR M.[E-S Tx+Rx](5000-5010MHz 帯の RNSS 送信地球局特性及び衛星受信特性)(入力:8D/353(Annex 11), 401, 405, 出力:8D/TEMP/274)

日本及び米国が、QZSS 及び GPS の 5GHz 帯の RNSS 計画の入力を行った。QZSS はフィーダーリンクでの使用計画があるとし、パラメータや特性等は次回会合にて入力するとして今回はプレイスホルダーのみの提案であった。GPS はフィーダーリンクのシステム特性のアップデート提案であった。編集上の訂正の後、PDNR として出力された。

- (g) PDNR M.[S-E Rx+Tx](5010-5030MHz 帯の RNSS 受信地球局特性)(入力:8D/353(Annex 7), 403, 407 出力:8D/TEMP/279R1)

日本及び米国が、QZSS 及び GPS の 5GHz 帯の RNSS 計画の入力を行った。QZSS はフィーダーリンクでの使用計画があるとし、パラメータや特性等は次回会合にて入力するとして今回はプレイスホルダーのみの提案であった。GPS はフィーダーリンクのシステム特性のアップデートと、サービスリンクの計画(PNT(Position, Navigation and Timing)回線のノミナル特性の提示)を述べる Annex の追加提案を行った。編集上の訂正の後、PDNR として出力された。

- (h) PDNR M.[1318_NEW](RNSS 以外の干渉原から RNSS への干渉評価モデル)(入力:8D/274(Annex 2), 406 出力:8D/TEMP/285)

米国からの入力により、干渉評価モデルの見直しが行われた。これまで、一般的な干渉評価モデルの位置づけであったが、米国提案を基に、タイトルに「RNSS 以外の干渉原から RNSS への干渉評価モデル」と明確に入れることとした。これまでの ITU-R Rec. M.1318 の干渉評価モデルは 1559-1610MHz 帯と 5010-5030MHz 帯で適用することとし、Annex1 に含めた。1164-1215MHz 帯および 1215-1300MHz 帯は干渉源がパルス入力となるため、パルス入力に対する新たな干渉評価モデルの検討が必要として、Annex2 にプレイスホルダーを設け、次回会合へ入力を促すこととした。

- (i) 5GHz 帯 AM(R)S との共用検討(入力:8D/370, 404, 413, 415 出力:8D/TEMP/276)

2006 年 3 月の WP8B にて、WRC-07 議題 1.6 にて RNSS 分配のある 5000-5030MHz 帯へ AM(R)S の新規分配を行う提案が ICAO からなされ、RNSS との両立性検討のための情報提供及びこの ICAO 提案に対するコメントを求めるリエゾン(8D/370)が WP8B から送付された。

米国からのリエゾン案(8D/404)をベースに WP8B へのリエゾン返信(TEMP/276)が作成された。リエゾン返信には、TEMP274 と 279Rev1 が、WP8D で作成中の 5GHz 帯 RNSS 特性の PDNR として添付された。審議の過程で、「QZSS の特性は作成中であり、2007 年 6 月の WP8D にて提示される予定」との文が入れられた。米国 AM(R)S 関係者から「AM(R)S との両立性検討議題 1.6 では AM(R)S に対して RNSS を優位とする方向なので両立性となっている)のためには、RNSS が干渉をどの程度許容できるのかが特性の中で示されることが重要。現在の特性には、C/No のみが干渉許容基準だが、例えば、パルス干渉についてはどうなのか？GPS は L5 では DME からのパルス干渉を許容しているはず」とのコメントがあった。この後、日本から、「AM(R)S からの干渉を考慮した 5GHz 帯の特性を提示する必要があるのか」と疑問を示し、米国から「[1318_NEW]にてパルス干渉が考慮されることになっている」、仏から「まだ AM(R)S の分配はなされていない」とのコメントが出たため、AM(R)S を前提とした特性提示は現段階では必要ないとの結論になった。また、WRC-07 議題 1.6 にて AM(R)S へ新規分配がなされる場合には、AM(R)S に対して RNSS へ優位を与え、RNSS に有害な干渉が与えられないようにするべきとの WP8D の見解もリエゾンに含めることとなった。

米国寄与文書 8D/413 と 8D/415 は、それぞれ、5GHz 帯における AM(R)S と RNSS 間の両立性検討、及び 5GHz 帯の RNSS の航空アプリケーションにおける利用可能性の検討を示している。それぞれ、WP8B に入力された寄与文書と同じであり、議論は WP8B にて行われるため、これらの文書はノートするのみとした。

2.4.2 RNSS間周波数調整方法関連(DG 8D-4b)

DG 8D-4b では、Jansky 氏(米国)が議長を担当し、RNSS 間周波数調整方法について、4 件の入力文書を審議し、1 件の出力文書(PDNR M. [RNSS COORD METHOD])を作成した。

議論となった点は、前回会合について追加された Annex3 の周波数調整に関する質問()と、干渉評価クライテリアとしての C/No 劣化量の追加についてであった。

Annex3 については、米国(日本が支持)とフランス(独と露が支持)の間で、これらの質問を含めるか含めないかについて意見が対立したが、妥協が図られ、個々の質問に対する回答が追加された。

仏の提案による C/No 劣化量の干渉評価クライテリアへの追加は、[]付で追加され、次回会合にて再度議論することになった。C/No 劣化量 0.25dB (T/T=0.6%に相当)を詳細な調整が必要か否かを評価するトリガーとする提案であったが、米国と日本は C/No(注:C/No+I と等価)のみで干渉評価は十分であるとして、この仏提案に反対したが、妥協の後、0.25dB の値については周波数調整状況毎に異なることがあるとの記述にし、[]付で追加し、再度議論することとした。

入力文書 : 8D/408(USA), 410(USA), 419(J), 441(F)

出力文書 : 8D/TEMP/266Rev2

(1) 干渉評価方法

これまでは、PDNR M. [RNSS COORD METHOD]では、C/No のみが干渉評価クライテリアとなっていた。これは、熱雑音、RNSS 以外の干渉源による雑音、及び周波数を共用する全ての RNSS からの干渉を考慮した C/No(注:この意味で C/No+I と等価)を用いてクライテリアと比較して干渉を評価するものである。(注:この方法は、計算に用いるパラメータが多い一方で、全干渉量を考慮することができ、最大干渉量の影響を考慮したシステム性能が明確に把握できるという利点がある。)

対して、フランスから C/No 劣化量を干渉評価クライテリアに含める提案がなされた。C/No 劣化量 0.25dB (T/T=0.6%に相当:雑音には熱雑音のみを含め、調整相手となる RNSS からの干渉によりどれだけ C/No が劣化したかを評価する)を詳細な調整が必要か否かを評価するトリガーとする提案であり、Galileo を推進する仏と独が強く主張を行った。(注:この方法は、計算に用いるパラメータが少ない一方で、個々の RNSS からの干渉の影響がわかるのみで全システム性能への影響がわからないとい

う欠点がある。これは、RNSS は GSO FSS 等とは異なり主な干渉源とそうでない干渉源との間の差が小さいためである。)米国と日本は、RR 上のトリガーは周波数重複だけであり、調整に必要なクライテリアは C/No だけで十分として反対した。

議論の結果、C/No 劣化量の値等については、周波数重複状況、同一周波数内の RNSS システム数及びスペクトラム形状等により異なることのノートと共に[]付で追加することとした。

また、ショートコードの定義について議論となり、次回会合までに明確な定義の検討を各主官庁に求められることになった。

(2) 周波数調整に関する質問

前回会合におけるロシアからの提案により、Annex3 周波数調整方法に関する質問が含まれていた。質問の内容は、全 RNSS からの干渉を考慮する場合、ITU ファイリングのどの RNSS を考慮すればよいのか？RNSS 以外からの干渉源はどのように見積もればよいのか？等である。

米国は、8D/410 にて、これら質問に対する回答を提供し、Annex3 全体を削除する提案(8D/408)をした。(その実は、周波数調整ではあえて暗黙の了解にしてあることを ITU-R 勧告に表ざたにしたいという意図があると考えられる。)

一方、フランスは、質問に対する回答を提供し、FAQ として Annex3 を残すことを提案した。

議論において、Annex3 のみ ITU-R Report にすることも案として挙げたが、フランスが譲らず、米国の回答とフランスの回答を合わせて回答を追加し、RNSS 間周波数調整のためのガイダンスとして Annex3 を残すこととした。

回答の作成において最も議論となったのは、マルチラテラル調整の必要性についてであった。米国や日本は、RR9 条にはバイラテラルの規則しかないため、マルチラテラルの記述は不要としたのに対し、仏や独は、マルチラテラルの必要性を may の表現を用いて残すことを主張した。結果として、「RR9 条 II 節において周波数調整が2つ以上の RNSS システムを含めるものがある場合は、バイラテラルに加えてマルチラテラルも有益かもしれない」との記述を含めることとした。

(3) 干渉評価クライテリア

各RNSSシステムの干渉評価クライテリア(C/Noの値等)をAnnexとして勧告中に含めるかどうかについて議論となった。米国や日本は勧告には入れずバイラテラルで情報を交換すればよいと主張し、仏や独は勧告に入れておけば新しいRNSSシステム検討の際の周波数調整の見通しの参考になるとして、勧告に入れることを主張した。

3 今後の予定

WP8D会合は、スイス国ジュネーブ市において、以下のスケジュールで開催される予定。

・2007年6月14日～22日： WRC-07議題に係る勧告案等の審議

表 3 日本入力文書の審議結果一覧

文書番号 Doc.8D/	題 目	審議結果	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
373	Proposed streamlining of the satellite part of the draft CPM text pertaining to WRC-07 Agenda item 1.4	(前回会合で審議済)	—
405	Proposal for the modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[E-S TX+RX] - Characteristics of transmitting Earth stations and receiving space stations in the radionavigation-satellite service (Earth-to-space) operating in the band 5 000-5 010 MHz	Annex3 に準天頂衛星のプレイスホルダー。	274
407	Proposal for the modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [S-E RX+TX] - Characteristics and protection criteria for receiving Earth stations and transmitting space stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 5 010-5 030 MHz	Annex3 に準天頂衛星のプレイスホルダー。	279Rev.1
409	Proposed draft supplements of the MSS Handbook	提案に従って、MSSハンドブックの補遺が承認された。	272
411	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) in the band 1 559-1 610 MHz	提案に従って、編集上の修正が行われた。	280Rev.1
412	Proposed Modifications to Annex 16 to WP 8D Chairman's Report - Preliminary draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	提案により、CPM 報告案 1/1.6/4.2.2.1 項 (Studies...) の大型反射鏡の記述の削除、その他の記述の小修正は採択されたが、AMS(R)S 周波数の問題点の記述と Rep. M2073の要旨追加は支持されなかった。	293
414	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service in the band 1 215-1 300 MHz	提案に従って、編集上の修正が行われた。	275
416	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	提案に従って、編集上の修正が行われた。	281
417	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] - Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations operating in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-	提案に従って、編集上の修正が行われた。	289Rev.1

	space) in the band 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz		
419	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS COORD METHOD] - A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	提案に従って、編集上の修正が行われた。	266Rev2
420	Reference system design examples and parameters for IP packet applications in the Mobile Satellite Service	新報告書案に向けた作業文書が更新された。	268

表 4 WP8D 入力文書一覧

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
353	Chairman, WP 8B	Report of the nineteenth meeting of Working Party 8D		
353 Ann 2	Chairman, WP 8B	PDNR ITU-R M.[MSS-SHAR-1.4 GHz] – Protection of the fixed, mobile and radiolocation services from MSS feeder links that may operate in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	8D2	263, 263C1
353 Ann 3	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MSS-UE-1.4 GHz] – Level of unwanted emissions of MSS feeder links operating in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	8D2	271
353 Ann 4	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS COORD METHOD] – A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	8D4	266R2
353 Ann 5	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 1 215-1 300 MHz	8D4	275
353 Ann 6	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) operating in the band 1 559-1 610 MHz	8D4	280R1
353 Ann 7	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[S-E RX+TX] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations and transmitting space stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 5 010-5 030 MHz	8D4	279R1
353 Ann 8	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1479_NEW] – Characteristics, performance requirements and protection criteria for receiving stations of the radionavigation-satellite service (space-to-space) in the frequency bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	8D4	288R1
353 Ann 9	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	8D4	281
353 Ann10	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] – Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations operating in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-space) operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz	8D4	289R1
353 Ann11	Chairman, WP 8B	PDNR ITU-R M.[E-S TX+RX] – Characteristics of transmitting earth stations and receiving space stations in the radionavigation-satellite service (Earth-to-space) operating in the band 5 000-5 010 MHz	8D4	274
353 Ann12	Chairman, WP 8B	PDNR ITU-R M.[RNSS_ORG] – Guidance on the organization, application and terminology for ITU-R	8D4	277

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		Recommendations providing technical characteristics and protection criteria for radionavigation-satellite service systems		
353 Ann13	Chairman, WP 8B	Draft CPM text on Agenda item 1.17 – (Chapter 3 of the CPM Report)	8D2	264
353 Ann14	Chairman, WP 8B	Draft CPM text on Agenda item 1.4	—	—
353 Ann15	Chairman, WP 8B	Proposed revisions to draft text for the CPM Report on WRC-07 Agenda item 1.7	8D3	283, 284, 287, 291
353 Ann16	Chairman, WP 8B	Preliminary draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	8D3	293
353 Ann17	Chairman, WP 8B	Working document towards ITU-R draft new Report – Reference system parameters for IP packet applications in the mobile satellite service	8D1	268, 269
353 Ann18	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report – The use of software defined radio in mobile-satellite services	8D1	—
353 Ann19	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS] – Use of systems in the mobile-satellite service in the event of natural disasters and similar emergencies for relief operations	8D1	267, 270, 273
353 Ann20	Chairman, WP 8B	Revisions to working document towards a draft new Recommendation ITU-R M.[MS-MSS-1.6GHz] – Sharing between the mobile service and the mobile-satellite service in the band 1 668.4-1 675 MHz	8D3	284
353 Ann21	Chairman, WP 8B	Preliminary draft liaison statement from WP 8D to WP 1B – Improving the international spectrum regulatory framework	8D3	292
353 Ann22	Chairman, WP 8B	Working document towards a revision of Recommendation ITU-R M.1583 – Interference calculations between non-geostationary mobile-satellite service or radionavigation-satellite service systems and radio astronomy telescope sites	8D3	265
353 Ann23	Chairman, WP 8B	Revisions to working document towards a draft new Recommendation – Interference calculations to assess sharing between the GSO MSS and space research (passive) service in the band 1 668-1 668.4 MHz	8D3	287
353 Ann24	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT-SAT-SPEC) – Traffic forecasts and spectrum requirements for the satellite component of IMT-2000 and beyond IMT-2000 for the period 2010 to 2020	8D2	—
353 Ann25	Chairman, WP 8B	Liaison statement to the Special Committee	8D4	278
353 Ann26	Chairman, WP 8B	Working document toward a preliminary draft new Report – The use of software defined radio in radionavigation satellite services	8D4	—
353 Ann27	Chairman, WP 8B	Working document – Organization of ITU-R Recommendations providing technical characteristics, protection criteria and coordination methods for the radionavigation-satellite service	8D4	286
353 Ann28	Chairman, WP 8B	Revisions to the workplan for studies related to satellite component of IMT-2000 issues of WRC-07 Agenda item	—	—

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		1.4		
353 Ann28	Chairman, WP 8B	Consolidation of Liaison statements	—	—
353 Ann28	Chairman, WP 8B	List of output documents	—	—
354	ABU	ABU Views on WRC-07 Agenda item 1.21	8D3	—
355	WP 6J	Liaison statement to WPs 4B, 6E, 7C, 7D, 8A, 8D, 8F, 9B, 9D, JTG 6-8-9 and ITU-T SG 9 - Spectrum usage and operational characteristics of terrestrial electronic news gathering systems (ENG), television outside broadcast (TVOB) and electronic field production (EFP)	8D3	—
356	WP 8B	Liaison statement to WP 8D - Compatibility between feeder links of non-geostationary mobile-satellite service systems and radiolocation systems in the bands around 1.4 GHz	8D2	264
357	WP 8A	Liaison statement to WPs 8B, 8D and 8F - Development of a consolidated report on software defined radio	8D1 8D4	—
358	WMO	Preliminary WMO position on World Radiocommunication Conference 2007 agenda	8D2 8D3	264, 293
359	WP 4A	LS to WP's 7D and 8D - Revision of Recommendation ITU-R S.1586	8D3 8D4	—
360	BR Secretariat	Proposed revisions to draft CPM text for WRC-07 agenda item 1.19	8D1	—
361	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 6S, 8D and Working Party 7B for information - Advanced publication information on non-geostationary satellite systems not subject to coordination under Section II of Article 9	8D2	—
362	WP 4A	Liaison statement to Working Parties 8F, 6E, 8A, 8B and 8D - Frequency-related matters for IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 agenda item 1.4	—	—
363	WP 8A	Liaison statement - Result of the study under Recommendation 723 (WRC-03)	8D3	—
364	WP 8A	Liaison statement to WP 4B and WP 8D (Copy to WP 8F for information) - On the development of a PDNR ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational requirements for access technologies to support IP applications over mobile systems"	8D1	268, 269
365	N/A	Liaison statement to WPs 8B, 8D and 8F - The study of cognitive radio systems in the mobile services	8D1	—
366	WP 8B	Liaison statement to Working Parties 7B, 7C, 7D and 8D - Additional information regarding sharing studies in bands between 16 and 30 GHz for aeronautical mobile telemetry applications	8D3	—
367	WP 8D	Liaison statement to Working Parties 8A, 8D and 3K, the International Maritime Organization (IMO), International Association of Maritime Aids to Navigation and Lighthouse Authorities (IALA), and Comité International Radio-Maritime (CIRM)	8D1	267, 270, 273
368	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 6 Question to be brought to the attention of Working Parties 4A, 7B, 7C, 7D, 8D and 9D	8D1	—

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
369	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 1 Question to be brought to the attention of Working Parties 3M, 4A, 6S, 7B, 7C and 8D	8D3	—
370	WP 8B	Liaison statement to WP 8D - Compatibility studies between aeronautical mobile (R) and radionavigation satellite services in the bands 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz	8D4	276
371	WP 8F	Liaison statement from Working Party 8F - Satellite matters related to WRC-07 agenda item 1.4	—	—
372	Chairman, WP 8D	Workplan for the twentieth meeting of Working Party 8D	—	—
373	Japan	Proposed streamlining of the satellite part of the draft CPM text pertaining to WRC-07 Agenda item 1.4	—	—
374	UK	Proposed revisions to draft text for the CPM Report on WRC-07 Agenda item 1.4	—	—
375	Coordi. of Corresp. Grp. on sat. aspects AI 1.4	Proposed modifications to preliminary draft new Report M.IMT-SAT-SPEC based on comments received from members of the Correspondence Group	—	—
376	Coord. of Corresp. Grp. on sat. aspcts AI 1.4	Activities report and conclusions on spectrum assessment	—	—
377	France	Some thoughts on the role of satellite in future mobile systems	—	—
378	France	Proposed revisions to the draft CPM text	—	—
379	BR Study Group Department	List of documents issued	—	—
380	Director, BR	Final List of Participants - Geneva, 28-29 June 2006	—	—
381	WP 8F	Liaison statement to BDT SG 2 Q.18/2 & Working Parties 7C, 8A, 8D and 9B - Use of IMT systems in case of natural disasters	8D1, 8D2	267, 270, 273
382	BR Study Group Department	This document has been withdrawn	—	—
383	WP 9D	Liaison statement to WP's 1A, 1B, 4A, 4-9S, 6E, 6M, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D and 8F and TG 1/9, and to JTG 6-8-9 - Revision of Recommendation ITU-R F.1336	8D3	—
384	Chairman, WP 8D	Chairman's report - Meeting 28-29 June 2006	—	—
385	WP 9D	Liaison statement to WP 8D - Protection of fixed service receivers from mobile-satellite service feeder links (space-to-Earth) operating in the band 1 430-1 432 MHz	8D2	264
386	BR Secretariat	Proposed modification to Appendix 4 of the Radio Regulations	8D2	—
387	Chairman, WP 8D	Workplan for the twenty-first meeting of Working Party 8D	—	—
388	Gayacom	Working document in the framework of the studies on Recommendation ITU-R M.1480 - Comments on the	8D1	290

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		proposals in Doc. 8D/344		
389	ICAO	Long-term spectrum availability and protection for the AMS(R)S in 1.6/1.5 GHz bands	8D3	293
390	WP 6S	Liaison statement to the Special Committee, and to Working Parties 4A, 7B and 8D for information - Advanced publication information on non-geostationary satellite systems not subject to coordination under Section II of Article 9	8D2	—
391	WP 7D	Liaison statement to Working Party 8D - Sharing between the MSS and SRS (passive) services in the band 1 668-1 668.4 MHz	8D3	287
392	WP 7D	Liaison statement - CPM text sections related to compatibility between non-GSO MSS feeder links in frequencies near 1 400 MHz and the radio astronomy service in the band 1 400-1 427 MHz	8D2	264
393	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 4A and 8D - Revision of Recommendation ITU-R S.1586	8D3 8D4	—
394	Russian Federation	Proposals for modification of the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service in the band 1 215-1 300 MHz	8D4	275
395	Russian Federation	Proposals for modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] - Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-space) operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	8D4	289R1
396	Russian Federation	Proposals for modification of the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) operating in the band 1 559-1 610 MHz	8D4	280R1
397	Russian Federation	Proposals for modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1479_NEW] - Characteristics, performance requirements and protection criteria for receiving stations of the radionavigation-satellite service (space-to-space) in the frequency bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	8D4	288R1
398	Russian Federation	Proposals for modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	8D4	281
399	USA	PDNR ITU-R M.[1479_New] - Characteristics, performance requirements and protection criteria for receiving stations of the radionavigation-satellite service (space-to-space) in the frequency bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	8D4	288R1
400	Russian	Proposed revisions to draft text for the CPM Report on	8D3	283

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
	Federation	WRC-07 agenda item 1.7		
401	USA	PDNR ITU-R M.[E-S TX+RX] - Nominal characteristics of transmitting earth stations and receiving space stations in the radionavigation-satellite service (Earth-to-space) operating in the band 5 000-5 010 MHz	8D4	274
402	Russian Federation	Calculation of interference to spaceborne receivers of the Space Research Service (passive) from MES (E-s) in the frequency band 1 668-1 668.4 MHz	8D3	287
403	USA	PDNR ITU-R M.[S-E RX+TX] - Nominal characteristics and protection criteria for receiving earth stations and transmitting space stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 5 010-5 030 MHz	8D4	279R1
404	USA	Draft liaison statement to WP 8B - Compatibility studies between aeronautical mobile R and radionavigation-satellite services in the bands 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz	8D4	276
405	Japan	Proposal for the modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[E-S TX+RX] - Characteristics of transmitting Earth stations and receiving space stations in the radionavigation-satellite service (Earth-to-space) operating in the band 5 000-5 010 MHz	8D4	274
406	USA	PDNR ITU-R M.[1318_NEW] - Interference evaluation model for the radionavigation-satellite service systems and networks in the 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz bands	8D4	285
407	Japan	Proposal for the modification of preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [S-E RX+TX] - Characteristics and protection criteria for receiving Earth stations and transmitting space stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 5 010-5 030 MHz	8D4	279R1
408	USA	PDNR ITU-R M.[RNSS Coord Method] - A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	8D4	266R2
409	Japan	Proposed draft supplements of the MSS Handbook	8D1	272
410	USA	Working document on Questions in Annex 3 of the Chairman's Report - Coordination methodology for RNSS inter-system interference	8D4	266R2
411	Japan	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) in the band 1 559-1 610 MHz	8D4	280R1
412	Japan	Proposed Modifications to Annex 16 to WP 8D Chairman's Report - Preliminary draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	8D3	293
413	USA	Working document towards a PDNReport - Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation-satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz	8D4	276

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		band		
414	Japan	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service in the band 1 215-1 300 MHz	8D4	275
415	USA	Potential technical issues with aviation use of RNSS service links in the 5 GHz band	8D4	276
416	Japan	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	8D4	281
417	Japan	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] - Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations operating in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-space) in the band 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz	8D4	289R1
418	USA	Draft modification of Annex 16 to WP 8D Chairman's Report - Preliminary draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.6	8D3	293
419	Japan	Proposal for draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS COORD METHOD] - A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	8D4	266R2
420	Japan	Reference system design examples and parameters for IP packet applications in the Mobile Satellite Service	8D1	268, 269
421	USA	PDNR [non-GSO (TDMA) MSS-1 613.8 to 1 626.5 MHz] - Methodology for evaluating performance of non-GSO MSS TDMA systems in the 1 613.8 to 1 626.5 MHz band	8D1	290
422	USA	Revision of the working document towards a PDNR ITU-R M.[MOBDIS] - Use of systems in the mobile-satellite service for relief operations in the event of disasters and similar emergencies and for early warning	8D1	267, 270, 273
423	USA	Proposed revisions to draft text for the CPM Report on WRC-07 Agenda item 1.7 - Annex 15 to WP 8D Chairman's Report, Document 8D/353	8D3	283
424	UK	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS] - Use of systems in the mobile-satellite service in the event of natural disasters and similar emergencies for early warning and disaster relief operations	8D1	267, 270, 273
425	UK	Proposed revisions to draft text for the CPM report on WRC-07 Agenda item 1.7 (Annex 15 to Doc. 8D/353)	8D3	283
426	UK	Elements of text for PDNR on criteria for performance and allowable degradation to performance of non-GSO MSS systems in the 1.6 GHz band	8D1	290
427	UK	Proposed revisions to working document towards a draft new Recommendation M.[MS-MSS-1.6GHz]	8D3	284
428	UK	Proposed revisions to PDNR ITU-R M.[1317_NEW]	8D4	289R1
429	UK	Proposed revisions to working document towards a draft	8D3	287

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		new Recommendation (Annex 23 to 8D/353) - Draft new Recommendation ITU-R M.[MSS-SRS-1.6GHz] - Sharing between mobile Earth stations and systems in the space research (passive) service in the band 1 668-1 668.4 MHz		
430	UK	This document has been withdrawn	—	—
431	Canada	Proposal on preliminary draft CPM text for WRC-07 Agenda Item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	8D3	293
432	China	Proposals for a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] - Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations operating in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-space) in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz	8D4	289R1
433	China	Proposals for a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 559-1 610 MHz	8D4	280R1
434	China	Proposals for a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 215-1 300 MHz	8D4	275
435	China	Proposals for a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR_RX3] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	8D4	281
436	Coordinator of Correspond. Group of WRC-07 AI 1.7	Report of the computer simulation results in relation to WRC-07 Agenda Item 1.7	8D3	287
437	United Arab Emirates	Proposed revisions to draft text for the CPM report on WRC-07 Agenda Item 1.7	8D3	283
438	WP 7C	Liaison statement to WP 8D - CPM text sections related to compatibility between non-GSO MSS feeder links in frequencies near 1 400 MHz and EESS (passive) in the band 1 400-1 427 MHz	8D2	264
439	Gayacom	Protection from interference of non-GSO, TDMA-based, MSS systems, operating in the 1 613.8 to 1 626.5 MHz band	8D1	290
440	France	Proposed revisions to draft text for the CPM report on WRC-07 Agenda Item 1.7	8D3	283
441	France	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS COORD METHOD]	8D4	266R2
442	France	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-	8D4	280R1

文書番号 Doc.8D/	提出元	題 目	担当 SWG	出力文書 Doc.8D/ TEMP/
		satellite service (space-to-Earth) operating in the band 1 559-1 610 MHz		
443	France	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] - Characteristics and protection criteria for receiving Earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	8D4	281
444	France	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] - Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 1 215-1 300 MHz	8D4	275
445	France	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1479_NEW]	8D4	288R1
446	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on Cognitive Radio systems	8D1 8D4	—
447	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 8A on software defined radio	8D1 8D4	—
448	WP 8F	Liaison statement to ITU-D SG2 Q.18/2 & ITU-R Working Parties 7C, 8A, 8D and 9B - Use of IMT systems in case of natural disasters	8D1, 8D2	267, 270, 273
449	WP 8D Liaison Rapporteur to WP 8F	Summary of the August meeting of Working Party 8F - Satellite matters related to WRC-07 Agenda item 1.4	—	—
450	BR Study Group Department	List of documents issued	—	—
451	Director, BR	Final List of Participants - Working Party 8D (Geneva, 11-15 September 2006)	—	—

表 5 WP8D 出力文書一覧

文書番号 Doc.8D/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8D/	処理
263	Preliminary draft new Recommendation ITU R M.[MSS SHAR 1.4 GHz] – Protection of the fixed, mobile and radiolocation services from MSS feeder links that may operate in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	353 Ann2	DNRとして承認 SG8に送付 (8/166)
263C1	Preliminary draft new Recommendation ITU R M.[MSS SHAR 1.4 GHz] – Protection of the fixed, mobile and radiolocation services from MSS feeder links that may operate in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	353 Ann2	TEMP/263参照
264	Draft CPM Text on Agenda item 1.17 – (Chapter 3 of the CPM Report)	353 Ann13, 358, 385, 392, 438, 356	CPMテキスト案として 承認 議長報告に添付 (Annex 17)
265	Working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R M.1583	353 Ann22	DRRとして承認 SG8に送付 (8/164)
266R2	PDNR ITU-R M.[RNSS COORD METHOD] – A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	408, 410, 419, 441	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 2)
267	Liaison statement to ITU-R Working Party 8B – Satellite detection of AIS	367	WP8Bへのリエゾン として承認 (8B/568)
268	Working document towards draft new Report ITU-R M.[IP-MSS] – Reference system parameters for IP packet applications in the mobile-satellite service	353 Ann17, 420	WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 13)
269	Liaison statement to Working Parties 8A and 8F (copy to Working Party 4B) – IP related study activity for mobile satellite service in Working Party 8D	364	WP4A、8A及び8Fへの リエゾンとして承認 (4B/121、8A/476、 8F/1063)
270	Revision of the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS] – Use of systems in the mobile-satellite service for relief operations in the event of disasters and similar emergencies and for early warning	353 Ann19, 422	WP8Fへのリエゾン として承認 (8F/1062) WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 14)
271	Draft new Report ITU-R M.[MSS-UE-1.4 GHz] – Level of unwanted emissions of MSS feeder links operating in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	353 Ann3	DNRとして承認 SG8に送付 (8/163)
272	Proposed draft supplements of the MSS Handbook	274 Ann14, 409	承認
273	Liaison statement to ITU-R Working Party 8F – Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS]	381, 448	WP8Fへのリエゾン として承認 (8F/1062)
274	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[E-S	353 Ann11,	PDNRとして承認

文書番号 Doc.8D/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8D/	処理
	TX+RX] – Nominal characteristics of transmitting Earth stations and receiving space stations in the radionavigation-satellite service (Earth-to-space) operating in the band 5 000-5 010 MHz	401, 405	WP8Bへのリエゾンとして承認 (8B/569) 議長報告に添付 (Annex 3)
275	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1088_NEW] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 1 215-1 300 MHz	353 Ann5, 394, 414, 434, 444	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 4)
276	Draft liaison statement to WP 8B – Compatibility studies between aeronautical mobile (R) and radionavigation satellite services in the bands 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz	370, 404, 413, 415	WP8Bへのリエゾンとして承認 (8B/569)
277	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS_ORG] – Guidance on the organization, application and terminology for ITU-R Recommendations providing technical characteristics and protection criteria for radionavigation-satellite service systems	353 Ann12	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 5)
278	Draft liaison statement to the Special Committee	353 Ann25	SCへのリエゾンとして承認 (SC/15)
279R1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[S-E RX+TX] – Nominal characteristics and protection criteria for receiving Earth stations and transmitting space stations of the radionavigation-satellite service operating in the band 5 010-5 030 MHz	353 Ann7, 403, 407	WP8Bへのリエゾンとして承認 (8B/569) PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 6)
280R1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1477_NEW] – Characteristics and protection criteria for receiving earth stations of the radionavigation-satellite services (space-to-Earth) operating in the band 1 559-1 610 MHz	353 Ann6, 396, 411, 433, 442	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 7)
281	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[CHAR-RX3] – Characteristics and protection criteria for receiving Earth stations in the radionavigation-satellite service operating in the band 1 164-1 215 MHz	353 Ann9, 398, 416, 435, 443	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 8)
282	Draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	—	TEMP/293参照
283R1	Revisions to draft text for the CPM Report on WRC-07 Agenda item 1.7	353 Ann15, 400, 423, 425, 437, 440	CPMテキスト案として承認 議長報告に添付 (Annex 18)
284	Draft new Recommendation ITU-R M.[MS-MSS-1.6 GHz] – Sharing between the mobile service and the mobile-satellite service in the band 1 668.4-1 675 MHz	353 Ann20, 427	DNRとして承認 SG8に送付 (8/165)
285	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1318_NEW] – Evaluation model for interference from radio sources other than in the radionavigation-satellite service to the radionavigation-satellite service systems	274 Ann2	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 9)

文書番号 Doc.8D/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8D/	処理
	and networks in the 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz bands		
286	Working document – Organization of ITU-R Recommendations providing technical characteristics, protection criteria and coordination methods for the radionavigation-satellite service	353 Ann27	WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 15)
287	Revisions to working document towards a draft new ITU-R Report M.[MSS-SRS-1.6 GHz] – Interference calculations to assess sharing between the GSO MSS and space research (passive) service in the band 1 668-1 668.4 MHz	353 Ann23, 391, 402, 429, 436	WDとして承認 議長報告に添付 (Annex 16)
288R1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1479_NEW] – Characteristics, performance requirements and protection criteria for receiving stations of the radionavigation-satellite service (space-to-space) in the frequency bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz	353 Ann8, 397, 399, 445	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 10)
289R1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[1317_NEW] – Description of RNSS systems and networks and technical characteristics of transmitting space stations in RNSS systems and networks (space-to-Earth and space-to-space) operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, and 1 559-1 610 MHz	353 Ann10, 395, 417, 428, 432	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 11)
290	Preliminary draft new Recommendation [NON-GSO (TDMA) MSS-1 613.8 to 1 626.5 MHz] – Performance objective and methodology for evaluating performance of non-GSO MSS TDMA systems in the 1 613.8 to 1 626.5 MHz band	388, 421, 426, 439	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 12)
291	Draft terms of reference for a Correspondence Group sharing studies between the MSS and SRS (passive) in the band 1 668-1 668.4 MHz	—	WP8Dへのリエゾン として承認 (8D/452)
292	Draft liaison statement from Working Party 8D to Working Party 1B – Improving the international spectrum regulatory framework	353 Ann21	WP1Bへのリエゾン として承認 (1B/108)
293	Draft CPM text for WRC-07 Agenda item 1.6 (Resolution 415 (WRC-03))	353 Ann16, 358, 389, 412, 418, 431	CPMテキスト案として 承認 議長報告に添付 (Annex 19)

ITU-R SG8 会合報告書

1 I T U - R S G 8

I T U - R S G 8 はすべての移動業務、無線測位および標定業務、アマチュア業務及びこれら業務に関連する衛星業務を所掌している。

1.1 会議の概要

S G 8 会合は、2006 年 9 月 20 日(水)から 21 日(木)までの 2 日間、スイス国ジュネーブ市の I T U 本部において開催された。

本会議には 29 カ国の主管庁、1 つの国際機関及び認められた私企業等から 63 名が参加した。日本からは表 1 に示す 9 名が出席した。

議長は C. VAN DIEPENBEEK (蘭)であり、副議長は J. COSTA (加、WP8A 議長)、D. DRAZENOVICH (米)、T. EWERS (独、WP8B 議長)、水池 健氏(日本、WP8D 議長)、J. NASSER (アラブ首長国連邦)、V. STRELETS (露)である。

今回会合においては、参考資料 1 に示すように、46 件の寄与文書について審議を行い、勧告案については、表 2 に示すように 4 件を採択し、11 件が郵便による採択・承認同時手続きに、1 件が通常の郵便による採択・承認の手続きに、1 件が WP へ差し戻しとなった。

また、表 3 に示すように 2 件の新研究課題案及び 4 件の研究課題改訂案が採択されるとともに、1 件の決議案が RA へ送られることになり、10 件の新報告案及び 1 件の報告改訂案が承認された。

この S G 8 会合では、S G 8 議長から要請があり、公式議事録を作成するラポータを我が国が務めた(担当は、K D D I 中村氏)。

なお、勧告文書の採択・承認手続きの手順については、参考資料 2 のとおり。

表1 S G 8 会合出席者一覧

氏 名	所 属
住吉 宏一	総務省 総合通信基盤局電波部移動通信課 システム開発係長
小坂 克彦	社団法人電波産業会 研究開発本部 次長
白石 基	社団法人電波産業会 研究開発本部 主任研究員
水池 健	K D D I (株) 技術戦略部 部長 (WP 8 D 議長、S G 8 副議長)
木村 佳史	(株)K D D I ネットワーク&ソリューションズ M S A T 本部 M S A T 技術部 次長
中村 元	(株)K D D I 研究所 グループリーダー
上村 治	(株)ウィルコム 電波企画部 課長
新 博行	(株)N T T ドコモ 電波部電波企画担当課長
中山 稔啓	(株)フジテレビジョン 技術局技術開発室企画開発部 主任

表 2 SG8 会合での勧告の採択状況

提出元 WP	郵便による承認手続き		郵便による採択・承認の同時手続き		通常の郵便による採択及び承認手続き		WP へ 差し戻し 改訂
	新	改訂	新	改訂	新	改訂	
WP8A	1	1	2	0	1	0	0
WP8B	1	1	2	4	0	1	0
WP8D	0	0	2	0	0	0	1
WP8F	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	6	4	1	0	1
	4		10		2		1

表 3 SG8 会合での課題、報告、決議の採択・承認状況

提出元 WP	採択された課題案 (郵便による承認)		採択を保留された課題案		承認された報告案		RA へ送付される決議案 新
	新	改訂	新	改訂	新	改訂	
WP8A	1	0	0	0	1	1	0
WP8B	1	0	0	1	5	0	0
WP8D	0	4	0	0	2	0	0
WP8F	0	0	0	0	2	0	1
合計	2	4	1	0	10	1	1
	6		1		11		1

2 審議の内容

2. 1 WP8A (IMT-2000 を除く陸上移動通信) 関連

(1) 勧告

WP8A からは 4 件の新勧告案と 1 件の勧告改訂案を提出した。

以下の 1 件の勧告改訂案と 1 件の新勧告案が採択 (Adoption) され、いずれも一部修正の後に承認 (Approval) 手続きを行うことが合意された。

① (勧告 M.1042 の改訂案) Draft revision of Recommendation ITU-R M.1042 - Disaster communications in the amateur and amateur-satellite services

【入力文書:8/139】

<主な変更点>

- ・ 2 頁目: recommends の「communications」を「radio communications」に変更
- ・ 2 頁目: considering について数箇所のエディトリアル修正

② (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/LMS.CHAR.HF] - Technical and operational characteristics of land mobile MF/HF systems

【入力文書:8/141】

<主な変更点>

- ・ P4 Table1のSystem a,b,c⇒Group a,b,cに変更

以下の 1 件の新勧告案については、シリアの要求により、PSAA（郵便による採択・承認の同時手続き）ではなく通常の承認手続きとすることになった（Adoption の後 Approval by consultation）。

③ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] - Technical and operational characteristics of conventional and trunked land mobile systems operating in the mobile service allocations below 869 MHz to be used in sharing studies

【入力文書:8/168】

＜主な変更点＞

- ・ タイトル内のbelow 960 MHz⇒below 869 MHzに変更
- ・ 1 頁目：consideringについて“mobile”の追加など一部修正

また、以下の 2 件の新勧告案については、PSAA の手続きをとることとなった。

④ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB] -Vocabulary of terms for the land mobile service

【入力文書:8/154】

＜主な変更点＞

- ・ 脚注にCCVへの通知について記載

⑤ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA] -Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic application, in the mobile service operating below 6 GHz

【入力文書:8/167】

＜主な変更点＞

- ・ 4 頁目：recommendation の記載を変更、“are suitable “という記載を追加
- ・ 4 頁目：recommendation の記載の一部をnoteに移動

(2) 研究課題

新研究課題案 1 件が採択された。

(新研究課題案) Proposed draft new Question on cognitive radio

【入力文書:8/170】

シリアから、本課題は移動業務に特化し、周波数管理には立ち入るべきでないとの意見があり、一部文言が修正された。また、Cognitive radio の定義について脚注をつけて説明を追加することとなった。その他、幾つかのエディトリアルな削除修正し、採択された。今後、郵便による承認手続きに入る。

(3) 報告

新報告案 1 件と報告改訂案 1 件が承認された。

① (新報告案)Draft new Report ITU-R M.[AM-DISCO] – Role of the amateur and amateur-satellite services in support of disaster mitigation and relief

【入力文書:8/153】

特に議論なく承認された。また、ITU-Dの文書も引用していることから、ITU-Dへ情報として送付することとなった。

② (報告M.2014の改訂案) Draft revision of Report ITU-R M.2014 – Digital land mobile systems for dispatch traffic

【入力文書:8/174】

特に議論無く、承認された。

(4) 審議報告

Executive Report of the 18th and 19th meetings of Working Party 8A

【入力文書: 8/179(WP8A議長)】

WP8A 前々回会合及び前回会合における審議報告並びに勧告 ITU-R M.1451 の削除について報告があり、承認された。

2. 2 WP8B (GMDSS を含む海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

(1) 勧告

新勧告案 1 件及び勧告改訂案 1 件が採択され、郵便による承認手続きに入ることとなった。また、新勧告案 2 件及び勧告改訂案 4 件が郵便による採択・承認同時手続き (PSAA) に付すことが合意され、勧告改訂案 1 件が郵便による採択手続きののち承認手続きを行うこととなった。なお、IPR が問題となる勧告案は無かった。

① (新勧告案) Characteristics of and protection criteria for terrestrial radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 8 500-10 500 MHz

【入力文書:8/143 +Corr.1(WP8B)】

Noting d)とe)を削除し、Annex3のW-CDMAとcdma2000との干渉に関わる部分に関して文言を修正し採択。通常の承認手続きとされた。なお、シリアのステートメントが後から追加される予定。

② (勧告M.493-11の改訂案) Digital selective-calling system for use in the maritime mobile service, New Annexes 3 and 4

【入力文書:8/144 (WP8B)】

シリアよりRecommends 1, 2, 4の関係が不明確であるため、明確化を求める指摘があったが、WP8B議長、米国より、すでに明確であるとコメントし、カナダの提案により、recommends 4を取り除いて、notingに移すこととなった。また、Scopeが会期中に作成され、採択。通常の承認手続きとなった。

③ (勧告M.585-3の改訂案) Assignment and use of maritime mobile service identities

【入力文書:8/156 (WP8B)】

シリアより構成を明確化すべき旨のコメントにより、RRを参照しているNotingがRecognizingに変更され、notingのエディトリアルな修正ののち、PSAAの手続きとすることが合意された。

④ (新勧告案) Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service

【入力文書:8/161 (WP8B)】

シリアより、Recommends 1と2の違いが分かりにくいことの指摘があり、当該Recommendsを修正し、scopeが追加され、PSAAの手続きとすることが合意された。

⑤ (勧告M.1463の改訂案) Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 1 215-1 400 MHz

【入力文書:8/172 (WP8B)】

シリアの指摘によりConsidering d)の削除、Recommendsのエディトリアルな修正を行い、PSAAの手続きとすることが合意された。

⑥ (勧告M.1465の改訂案) Draft revision of Recommendation ITU-R M.1465 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 3 100-3 700 MHz

【入力文書:8/173 (WP8B)】

日本、スウェーデンの提案により削除されたConsidering i) (RR 5.433の記載)を残すこととなり、シリアの指摘により当該部分の文章の明確化のための修正を行った。また、シリアの指摘によりRecommendsに“should”を入れる修正を行った後、PSAAの手続きとすることが合意された。

⑦ (勧告M.824の改訂案) Draft Revision of Recommendation ITU-R M.824-2 - Technical parameters of radar beacons (racons)

【入力文書:8/175 (WP8B)】

considering a)について、シリアより実際にレーダビーコンが割当てられている9000MHzを対象とすべきとの指摘があったが、実際レーダビーコンが運用が行われている9300MHz以上を対象とすることが適当とのWP8B議長からのコメントがあり、変更は行わずPSAAの手続きとすることが合意された。

⑧ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[RAD 30-300 MHz] - Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz

【入力文書:8/177 (WP8B)】

アルメニアよりConsidering b)のRegionとCountryへの周波数の割当に関する表現を正確に記載すべき旨指摘があり、Considering b)とRecommendsを修正し、PSAAの手続きとすることとなった。また、本勧告案は固定業務に関する記載があるため、シリアの提案によりSG9に注意喚起することとなった。

⑨ (勧告M.1371の改訂案) Draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-2 -

Technical characteristics for a universal shipborne automatic identification system using time division multiple access in the VHF maritime mobile band

【入力文書:8/178 (WP8B)】

エディトリアルな修正の後、郵便による採択手続き、その後の承認手続きの通常の手続きとすることが合意された。なお、本勧告は約250ページにもなるため、紙ベースでの送付が困難である場合CD-ROMの使用なども検討することとした。

(2) 研究課題

新研究課題案1件が採択され、承認手続きへ入ることとなった。研究課題改訂案1件はシリアにより保留された。

- ①(新研究課題案) Technical and operational characteristics and spectrum requirements of high-frequency surface wave radar systems operating in the frequency range 3 to 50 MHz

【入力文書:8/169 (WP8B)】

シリアからの指摘により、タイトルから“and spectrum requirements”削除することとなった。また、Considering e)の文言の明確化のための修正後、カテゴリがS2の新研究課題として承認手続きに入ることを決定。

- ②(研究課題96-1/8の改訂案) Improved efficiency in the use of the band 156-174 MHz by maritime safety and port security stations in the maritime mobile service

【入力文書:8/171 (WP8B)】

移動衛星業務との関連からWP8Dへ情報を入れる旨のSG8議長の指摘及びそれに伴うScopeの変更に対し、シリアが移動衛星業務と本レポート案は関係が無いことを理由に、本件を保留した。期限内に反対の表明がない場合には、カテゴリS2の研究課題の改訂案として承認手続きに入ることが決定された。

(3) 報告

新報告案5件が承認された。

- ①(新報告案) Factors that mitigate interference from radiolocation and EESS/SRS (active) radars to maritime and aeronautical radionavigation radars in the 9.0-9.2 and 9.3-9.5 GHz bands and between EESS/SRS (active) radars and radiolocation radars in the 9.3-9.5 and 9.8-10.0 GHz bands

【入力文書:8/140 (WP8B)】

承認。ただし、アラブ諸国で9.8-10GHzは固定業務に1次分配されていることから、シリアがその旨を議事録に記載すべき旨指摘し、議事録に記載するステートメントをシリアから提出することとなった。

- ②(新報告案) Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band

【入力文書:8/159 (WP8B)】

特に議論無く承認。

③ (新報告案) Test results illustrating compatibility between representative radionavigation systems and radiolocation and EESS systems in the band 8.5-10 GHz

【入力文書:8/160 (WP8B)】

特に議論無く承認。

④ (新報告案) Proposed modifications of Appendix 17 (Frequencies and channelling arrangements in the high-frequency bands for the maritime mobile service) for a possible solution of agenda item 1.13 (Resolution 351) during WRC-03

【入力文書:8/162 (WP8B)】

エディトリアルな修正の後、承認。

⑤ (新報告案) Satellite detection of automatic identification system messages

【入力文書:8/176 (WP8B)】

エディトリアルな修正の後、承認。

(4) 審議報告

Executive report of the 18th and 19th meetings of Working Party 8B

【入力文書: 8/180 (WP8B議長)】

SG8 議長の指示により、特に文書の紹介は行われず、出力文書の審議において必要に応じ参照することとした。

2. 3 WP8D(移動衛星業務(アマチュア業務を除く)・無線測位衛星業務)関連

(1) 勧告

WRC-07 議題 1.17 と議題 1.7 に関連する新勧告案 2 件は、郵便による PSAA 手続きにかけられることとなった。また、勧告改訂案 1 件は、WP8D へ差し戻しとなり再度検討することが決定された。

① (新勧告案) ITU-R 勧告 M. [MS-MSS-1.6 GHz]: “Sharing between the mobile service and the mobile-satellite service in the band 1 668.4-1 675 MHz”
「1 668.4-1 675 MHz 帯の移動衛星業務と移動業務官の共用に関する新勧告案」

【入力文書:8/165 (WP8D)】

本勧告案は、シリアの指摘により Recognizing a) と b) を noting a), b) に変更し、Recommends の最後の項目を削除して、郵便による PSAA 手続きをとることとなった。

② (新勧告案) ITU-R 勧告 M. [MSS-SHAR-1.4 GHz]: “Protection of the fixed, mobile and radiolocation services from MSS feeder links that may operate in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)”
「1430-1432MHz帯(宇宙から地球)及び1390-1392MHz帯(地球から宇宙)の移動衛星業務フィーダリンクから固定業務、移動業務及び無線標定業務の保護に関する新勧告案」

【入力文書:8/166 (WP8D)】

本勧告案は、郵便によるPSAA手続きを適用することが合意された。ただし、シリアから本件に係るステートメントを本会合の議事録に掲載することが要求され、後に掲載されることとなった。

③（勧告M1583の改訂案） “Interference calculations between non-geostationary mobile-satellite service or radionavigation-satellite service systems and radio astronomy telescope sites” 「非静止衛星移動通信業務もしくは無線航行衛星業務と電波天文望遠鏡との干渉計算に関する勧告(M.1583)改訂案」

【入力文書:8/164 (WP8D)】

本勧告改訂案は、シリアからの反対によりWP8Dへ差し戻しとなった。シリアから本勧告改訂案に記載されているRR 22.5Cは「Hard Limit」を規定していることから反対があった。WP 8Dの議長より「Hard Limit」に関して参照しているのではなく、本文中に記載している計算式の出典を参照するために記載していることを説明したが、理解されなかった。議長からシリアに対して次回WP会合までに入力文書を提出することが求められ、WPで再度検討されることとなった。

(2) 研究課題

WP8Dによる既存文書のレビューの結果作成された4件の研究課題改訂案が採択され、郵便による承認手続きを適用することとなった。

①（研究課題ITU-R 109/8の改訂案） “Global Maritime Distress and Safety System requirements for mobile-satellite systems operating in the bands 1 530-1 544 MHz and 1 626.5-1 645.5 MHz” 「1 530-1 544 MHz及び1 626.5-1 645.5 MHz帯の移動衛星業務のための全世界海上遭難安全システムに関する研究課題(236/8)改訂案」

【入力文書:8/135 (WP8D)】

この研究課題改訂案は、WP8D で実施した既存文書のレビューの結果作成されたものであり、本案中に”Inmarsat”との記述があったが、民営化された一般商用会社の名前を記載するのは好ましくないとのガボンからのコメントから”Inmarsat”を削除し、採択された。郵便による承認手続きが適用される。

②（研究課題案 ITU-R 210/8の改訂案） “Technical characteristics for mobile earth stations operating with global non-geostationary-satellite systems in the mobile-satellite service in the band 1-3 GHz” 「1-3 GHz帯の移動衛星業務における非静止衛星により運用する移動地球局のための技術特性に関する研究課題(210/8)改訂案」

【入力文書:8/136 (WP8D)】

この研究課題改訂案は、WP8D で実施した既存文書のレビューの結果作成されたものであり、原案通り採択された。郵便による承認手続きが適用される。

③ （研究課題ITU-R 84-3/8の改訂案） “Use of non-geostationary-satellite orbits in mobile-satellite services” 「移動衛星業務における非静止衛星軌道の利用に関する研究課題(84-3/8)改訂案」

【入力文書:8/137（WP8D）】

この研究課題改訂案は、WP8D で実施した既存文書のレビューの結果作成されたものであり、エディトリアルな修正後採択された。郵便による承認手続きが適用される。

④ （研究課題案 ITU-R 87-3/8の改訂案） “Transmission characteristics for a mobile-satellite communication system” 「移動衛星通信システムの送信特性に関する研究課題(87-3/8)改訂案」

【入力文書:8/138（WP8D）】

この研究課題改訂案は、WP8D で実施した既存文書のレビューの結果作成されたものであり、エディトリアルな修正後採択された。郵便による承認手続きが適用される。

（３）報告

WRC-07議題1.4に関連する新報告案1件が承認された。また、WRC-07議題1.17に関連する新報告案1件も承認された。

① （新報告案）ITU-R報告M.[IMT-SAT-SPEC]：“Traffic forecasts and spectrum requirements for the satellite component of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 for the period 2010 to 2020” 「2010年から2020年の期間におけるIMT-2000とbeyond IMT-2000のトラフィック予測と所要スペクトラムに関する新報告案」

【入力文書:8/145 Rev.1（WP8D）】

本報告改訂案は、WRC-07 議題 1.4 のCPM報告書案に記載された衛星コンポーネントの将来の所要周波数帯域の算出根拠を詳細に取りまとめたものであり、6月のWP8D会合で完成された。エディトリアルな修正の後、承認された。ただし、シリアからアラブ諸国は衛星コンポーネントを重視していることから、本件に係るアラブ諸国のステートメントを本会合の議事録に掲載することが要求され、シリアからのステートメントを後で議事録に記載することとなった。

② （新報告案）ITU-R報告M.[MSS-UE-1.4GHz]：“Level of unwanted emissions of MSS feeder links operating in the bands 1 390-1 392 (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)” 「1 390-1 392MHz帯（地球から宇宙）の及び1 430-1 432 MHz帯（宇宙から地球）の移動衛星業務フィーダリンクの不要発射レベルに関する新報告案」

【入力文書:8/163（WP8D）】

本報告改訂案は、WRC-07議題1.17に対する検討の結果として、不要輻射に関わる技術的事項を取りまとめたものである。当初、新勧告草案として作成が進められたが、翻訳コスト削減のため、9月のWP8D会合で、新報告案とし

て最終化された。特に議論無く原案通り承認された。

(4) 審議報告・文書の削除の提案

EXECUTIVE REPORT OF THE TWENTY-FIRST MEETING OF WORKING PARTY 8D

【入力文書：8/155 (WP8D議長)】

WP8Dにおいて、MSS ハンドブック サプリメントが承認されたことに伴い、これに収録された4件の報告 ITU-R M.921-2, M.1179, M.764-2, M.1185 の削除が提案され、承認された。また、内容が古くなった報告 ITU-R M.1173 の削除も承認された。

2. 4 WP8F (IMT-2000 and Systems beyond IMT-2000) 関連

(1) 勧告

入力なし（ただし、(5) その他を参照のこと）。

(2) 報告

新報告案2件が承認され、発行されることとなった。

- ① (新報告案)「ITU-R 報告 M.[IMT.ESTIMATE] “Spectrum requirements for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced” (地上系 IMT の所要周波数帯域幅の推定値に関する報告)」

【入力文書:8/148(WP8F)、8/152 (米国)】

WP8Fで承認された新報告案(8/148)に対し、米国からの修正提案(8/152)の取り扱いが議論となった。米国提案のうち、所要スペクトラム(spectrum requirements)の語句に対して、“estimated”を適宜追加する修正については、各国とも同意の意見を示した。一方、新報告案の1章 Introduction において、「いくつかの国では、既存のRRの脚注によりIMT-2000に対して特定された帯域以上に、IMT-2000およびIMT-Advancedへの追加のスペクトラムが必要ではないかもしれない (Some countries may not have a need for additional spectrum for IMT-2000 and IMT-Advanced beyond that already identified for IMT-2000 by footnotes in the Radio Regulations.)」との1文を追加する提案に対しては、日本、仏、スウェーデン、フィンランド、韓国が、各主管庁の意見を技術検討のレポートに含めるべきではない、また、米国提案内容は既に8/148(WP8F)に示されている等の理由により、反対した。さらに、豪州も、米国の懸念は一部理解できるが、提案の表現を加えることには反対であるとの見解を提示した。

一方、米国からは、現在の新報告案の記述が、追加のスペクトラムが0でよいと考えている主管庁の意見を十分に反映できていないと主張し、ロシア、イラン、シリアが米国を支持した。以上の議論を踏まえて、米国より、既存の文章に以下の追加の修正を行う別の案が示された。

“It should be noted that this lower figure (1 280 MHz) is higher than the estimated requirements for some countries, which may need no additional spectrum.”

これに対し、追加のスペクトラムが0の主管庁の意見だけでなく、0ではないが少ないスペクトラムで十分で考えている主管庁の意見も入れるべきとの意見がシリアより出され、カナダが修正案として“less or”を付加することを提案し、さらに“estimated”ではなく、“anticipated”とすべきとの意見が出されて、以下の表現に修正された。

“It should be noted that this lower figure (1 280 MHz) is higher than the anticipated requirements for some countries, which may need less or no additional spectrum.”

これにより、米国を支持する反対派が合意するとともに、スウェーデンも支持を示し、大勢が合意を示し、承認された。

②(新報告案)「ITU-R 報告 M.[IMT.CANDI] “Technical and operational information for identifying spectrum for the terrestrial component of future development of IMT-2000 and IMT-Advanced” (地上系 IMT の周波数特定のための技術・運用情報に関する報告)」

【入力文書:8/149(WP8F)、8/150 (独、韓、フィンランド、仏、伊、日本、ノルウェー、英、スウェーデン)、8/151 (米国)】

本報告案は、SG8 会合前に開催された WP8F において、IMT への候補周波数に対する各国の主張(「この周波数は IMT には使用予定なし」、「IMT には使用不可」等の主観的な情報)を Appendix として添付することの可否について意見が分かれたため、その判断を SG8 に委ねる形で WP8F から提出が行われた(8/149)。本件に対し、日本、仏国、独国、韓国、フィンランド、伊、ノルウェー、英国、スウェーデンから本報告案への Appendix の添付に反対する寄与文書(8/150)と、米国から Appendix の添付の支持を行う寄与文書(8/151)が入力された。

8/150 の共同提案を行った各国は、各国の IMT の候補周波数に対する見解のレポートへの記載は、短期間で立場を変更する国があり無意味であること、記載内容の情報収集方法が不適切であり内容が不完全であること等から、Appendix を削除すべきと主張した。一方、米国は、各国の IMT の候補周波数帯に対する見解は有益な情報であるとして Appendix の添付を主張し、ロシア、イラン、シリア、豪州が支持を表明した。

WP8F 議長からは、本 Appendix を SG8 の報告文書等、別の場所に移動させる妥協案が示され、仏国、英国、ニュージーランド等が支持を表明したが、米国、イラン、シリア等が強硬に反対したため、本妥協案での合意は行われなかった。

続いてカナダより、本 Appendix の内容は変更の可能性があるため、ITU-R の Web ページに掲載し、Web ページの URL を Appendix に掲載する妥協案が示された。スウェーデン、仏、伊は Appendix に URL のみを載せ、レポートに Appendix は添付しないのであれば合意できるという見解を提示したが、米国、イラン、シリア等は現状の Appendix の記述を本報告案にも含めるべきである旨強く主張し、合意は得られなかった。

その後、オフラインで協議が行われ、スウェーデン、独は本報告案の廃止(差し戻し)もやむを得ないとの見解をした。これに対して、シリア、米国からは、本報告案は WRC-07 議題 1.4 の CPM テキスト案の IMT の候補周波数帯の参考文献として引用されており、本報告案が承認されなければ CPM

テキスト案の IMT の候補周波数の記述の根拠が無くなり、CPM テキストの記述への影響があるとの意見が示された。

最終的に WP8F 議長より、「本内容は参照のためのものであり、各国の主張はレポート承認時点での情報として、今後変更や追加、削除が有り得る」との前書きを加えるとともに、Appendix から Attachment に変更を行う修正案が示され、添付に反対をした日本、仏を含めて各国が本修正案を受け入れ、本報告案が承認された。

(3) 決議/決定

以下の新決議案について、決定案が適当とする主管庁がある旨を付記して採択され、新決議案として無線通信総会(RA-07)へ送付された。

・ 新決議案「ITU-R 決議案 M.[PRINCIPLES] “Principles for the process of development of IMT-Advanced” (IMT-Advanced の開発のプロセスの原則に関する ITU-R 決議案)」

【入力文書:8/157(WP8F)】

SG8 会合前の WP8F 会合において、本文書の形式は決議(Resolution)案ではなく決定(Decision)案が適当である旨イランが主張したため、その判断を SG8 に委ねることとして WP8F より提出が行われた(8/157)。

WP8F 議長から、決議案が適切な形式であると考えているとの意見が示され、SG 議長からは、決定案が適当と考えている主管庁の意見があることを注記し、決議案として RA-07 に提出することが提案された。これに対し、シリアからは、文書の内容には問題が無いように見えるが、イランから十分な説明が無く議論できないため、RAにおいて議論したいとの意見が示された。一方で、決議案とすることに対し、反対を表明する主管庁は無かった。

また、シリアからは、本文書の内容が決議第 50 の内容と整合性が取れているのかとの意見が示され、SG 議長が、WP8F 会合にて再度検討を行い、修正があれば改めて次回の SG8 会合に修正版を出すよう指示が出された。

以上の議論より、決定案が適当とする主管庁がある旨を付記して、決議案として採択し、RA-07 へ送付されることとなった。

(4) 審議報告

Executive Report from Working Party 8F

【入力文書:8/158(WP8F 議長)】

本文書には、WP8F から SG8 への入力文書、第 18, 19, 20 回 WP8F 会合の概要報告、今後の作業計画が記載されていたが、上記(2), (3)の新報告案、新決議案における審議の過程の説明で十分であるとし、特段の説明は行われなかった。

(5) その他

Review of the draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-2 as received from ITU-R Study Group 8

【入力文書：8/116(WP8F)】

SG8 より WP8F へ差し戻しになっている勧告改訂案 (ITU-R M. 1036-2 の改訂)

の審議状況として、本改訂に反対をしているシリアからの具体的な修正提案が WP8F に提出されていない旨の説明が、WP8F 議長より行われた。SG 議長からは、WP8F において関連する主管庁から入力文書を提出し、議論を行うべき旨が指摘され、引き続き WP8F において検討が継続されることとなった。

2. 5 その他

Assignment of questions to the Working Parties of Study Group 8

【入力文書：8/142(カナダ)】

研究課題の WP への割振りに関する重複した検討を避けるためのカナダからの意見であるが、シリアから、研究課題が確定後に決めるべきである旨の指摘があり、また、米国から本提案は研究課題の割振りの柔軟性を損なうものである旨の指摘があった。

本提案は SG の運営に関することであるとの SG 議長からの指摘により、SG マネージメントチームにおいて今後検討することとなった。

3 今後のスケジュール

SG8 会合 2007 年 6 月 25～26 日

※ SG8 関連 WP 会合

WP8F 会合 (IMT-2000 及び IMT-Advanced) 2007 年 1 月 17 日 ～ 1 月 25 日

WP8F 会合 (IMT-2000 及び IMT-Advanced) 2007 年 5 月 23 日 ～ 5 月 31 日

WP8A 会合 (IMT-2000 を除く陸上移動通信) 2007 年 6 月 12 日 ～ 6 月 20 日

WP8B 会合 (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)
2007 年 6 月 13 日 ～ 6 月 21 日

WP8D 会合 (移動衛星業務・無線測位衛星業務)
2007 年 6 月 14 日 ～ 6 月 22 日

上述の会合を含め、SG8 関連会合の予定は、参考資料 3 のとおりである。

参考資料1 SG 8 入力文書一覧表

番号	提出元	題 目	備考	結果
116	WP8F	Review of the draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-2 as received from ITU-R Study Group 8	勧告改訂案 (M.1036 -2 の状況報告)	WP8F にて 継続議論
135	WP8D	Draft revision of Question ITU-R 109/8 - Global Maritime Distress and Safety System requirements for mobile-satellite systems operating in the bands 1 530-1 544 MHz and 1 626.5-1 645.5 MHz	研究課題改 訂案	採択
136	WP8D	Draft revision of Question ITU-R 210/8 - Technical characteristics for mobile earth stations operating with global non-geostationary-satellite systems in the mobile-satellite service in the band 1-3 GHz	研究課題改 訂案	採択
137	WP8D	Draft revision of Question ITU-R 84-3/8 - Use of non-geostationary-satellite orbits in mobile-satellite services	研究課題改 訂案	採択
138	WP8D	Draft revision of Question ITU-R 87-3/8 - Transmission characteristics for a mobile-satellite communication system	研究課題改 訂案	採択
139	WP8A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1042 –Disaster communications in the amateur and amateur-satellite services	勧告改訂案	採択
140	WP8B	Draft new Report ITU-R M.[9GHz - MIT] - Factors that mitigate interference from radiolocation and EESS/SRS (active) radars to maritime and aeronautical radionavigation radars in the 9.0-9.2 and 9.3-9.5 GHz bands and between EESS/SRS (active) radars and radiolocation radars in the 9.3-9.5 and 9.8-10.0 GHz bands	新報告案	承認
141	WP8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/LMS.CHAR.HF] –Technical and operational characteristics of land mobile MF/HF systems	新勧告案	採択
142	カナダ	Assignment of questions to the Working Parties of Study Group 8	研究課題の W P への割振りに 関する意見	SG8 management team へ送付
143 +Cor r. 1	WP8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[8B.8-10 GHz] - Characteristics of and protection criteria for terrestrial radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 8 500-10 500 MHz	新勧告案	採択

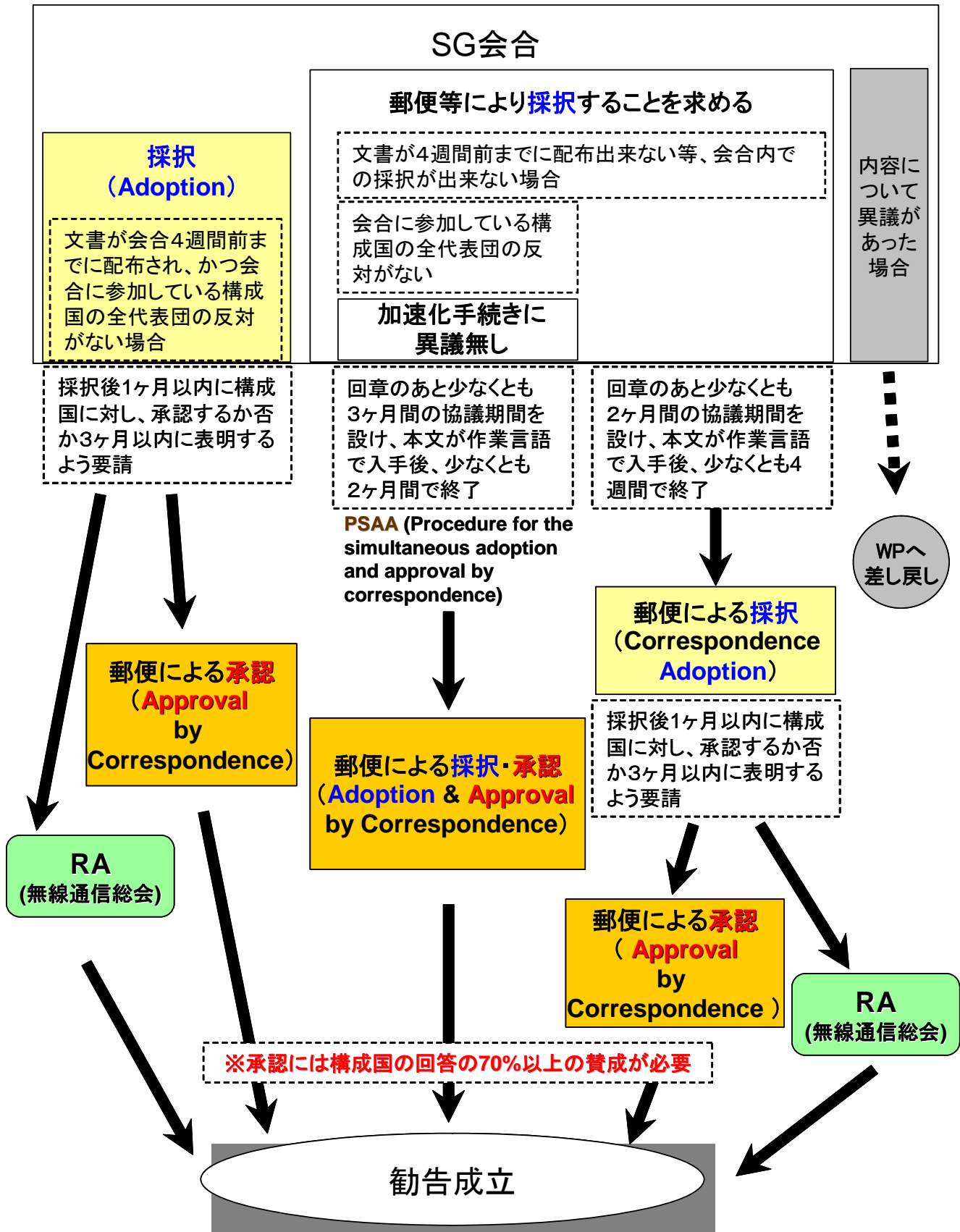
144	WP8B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.493-11 New Annexes 3 and 4	勧告改訂案-	採択
145 Rev. 1	WP8D	Draft new Report ITU-R M.[IMT-SAT-SPEC] - Traffic forecasts and spectrum requirements for the satellite component of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 for the period 2010 to 2020	新報告案	承認
146	WP8D 議長	Executive report of the twentieth meeting of Working Party 8D	議長報告	—
147	WP8D 議長	Executive report of the nineteenth meeting of Working Party 8D	議長報告	—
148	WP8F	Draft new Report ITU-R M.[IMT.ESTIMATE] - Spectrum requirements for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced	新報告案	修正後承認
149	WP8F	Draft new Report ITU-R M.[IMT.CANDI] - Technical and operational information for identifying spectrum for the terrestrial component of future development of IMT-2000 and IMT-Advanced	新報告案	修正後承認
150	独, 韓, フィンランド, 仏, 伊, 日, ノルウェー, 英, スウェーデン	Deletion of the Appendix of draft new Report ITU-R M.[IMT.CANDI]	新報告案 (Doc. 8/149) への意見	Doc. 8/149 へ一部意見を反映
151	米国	Comments to draft new Report ITU-R M.[IMT.CANDI]	新報告案 (Doc. 8/149) への意見	Doc. 8/149 へ一部意見を反映
152	米国	Comments on draft new Report ITU-R M.[IMT.ESTIMATE]	新報告案 (Doc. 8/148) への意見	Doc. 8/148 へ一部意見を反映
153	WP8A	Draft new Report ITU-R M.[AM-DISCO] – Role of the amateur and amateur-satellite services in support of disaster mitigation and relief	新報告案	承認
154	WP8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB] – Vocabulary of terms for the land mobile service	新勧告案	修正後 PSAA
155	WP8D 議長	Executive Report of the 21st meeting of WP 8D	議長報告	—
156	WP8B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.585-3 - Assignment and use of maritime mobile service identities	勧告改訂案-	修正後 PSAA
157	WP8F	[Draft new Resolution/Draft new Decision] ITU-R M.[PRINCIPLES] - Principles for the process of development of IMT-Advanced	新[決議/決定] 案	決定案が適当とする主管庁がある旨を付記し

				決議案として採択。RA-07 へ送付。
158	WP8F 議長	Executive report from Working Party 8F	議長報告	—
159	WP8B	Draft new Report ITU-R M.[HF-SHARING] - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	新報告案	承認
160	WP8B	Draft new Report - Test results illustrating compatibility between representative radionavigation systems and radiolocation and EESS systems in the band 8.5-10 GHz	新報告案	承認
161	WP8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[HF-DATA] - Characteristics of HF radio equipment for the exchange of digital data and electronic mail in the maritime mobile service	新勧告案	修正後 PSAA
162	WP8B	Draft new Report ITU-R M.[RES-351] - Proposed modifications of Appendix 17 (Frequencies and channelling arrangements in the high-frequency bands for the maritime mobile service) for a possible solution of agenda item 1.13 (Resolution 351) during WRC-03	新報告案	修正後承認
163	WP8D	Draft new Report ITU-R M.[MSS-UE-1.4 GHz] - Level of unwanted emissions of MSS feeder links operating in the bands 1 390-1 392 (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	新報告案	承認
164	WP8D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1583 - Interference calculations between non-geostationary mobile-satellite service or radionavigation-satellite service systems and radio astronomy telescope sites	勧告改訂案	WP へ差し戻し
165	WP8D	Draft new Recommendation ITU-R M.[MS-MSS-1.6 GHz] - Sharing between the mobile service and the mobile-satellite service in the band 1 668.4-1 675 MHz	新勧告案	修正後 PSAA
166	WP8D	Draft new Recommendation ITU-R M.[MSS-SHAR-1.4 GHz] - Protection of the fixed, mobile and radiolocation services from MSS feeder links that may operate in the bands 1 390-1 392 MHz (Earth-to-space) and 1 430-1 432 MHz (space-to-Earth)	新勧告案	PSAA

167	WP8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[8A/BWA] –Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic application, in the mobile service operating below 6 GHz	新勧告案	修正後 PSAA
168	WP8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] – Technical and operational characteristics of conventional and trunked land mobile systems operating in the mobile service allocations below 869 MHz to be used in sharing studies	新勧告案	通常の郵便 による採 択・承認手 続きへ
169	WP8B	Draft new Question ITU-R [RADAR 3-50 MHz]/8	新研究課題 案	承認手続き へ
170	WP8A	Proposed draft new Question on cognitive radio	新研究課題 案	承認手続き へ
171	WP8B	Draft revision of Question ITU-R 96-1/8 - Improved efficiency in the use of the band 156-174 MHz by maritime safety and port security stations in the maritime mobile service	研究課題改 訂案	保留
172	WP8B	Recommendation ITU-R M.1463 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 1 215-1 400 MHz	勧告改訂案	修正後 PSAA
173	WP8B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1465 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency band 3 100-3 700 MHz	勧告改訂案	修正後 PSAA
174	WP8A	Draft revision of Report ITU-R M.2014 – Digital land mobile systems for dispatch traffic	報告改訂案	承認
175	WP8B	Draft Revision of Recommendation ITU-R M.824-2 - Technical parameters of radar beacons (racons)	勧告改訂案	PSAA
176	WP8B	Draft new Report ITU-R M.[SAT_DET_AIS] - Satellite detection of automatic identification system messages	新報告案	修正後 承認
177	WP8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[RAD_30-300 MHz] - Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	新勧告案-	修正後 PSAA

178	WP8B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-2 - Technical characteristics for a universal shipborne automatic identification system using time division multiple access in the VHF maritime mobile band	勧告改訂案	通常の郵便による採択・承認手続きへ
179	WP8A 議長	Executive Report of the 18th and 19th meetings of Working Party 8A	議長報告	—
180	WP8B 議長	Executive report of the 18th and 19th meetings of Working Party 8B	議長報告	—

参考資料2 勧告文書の承認プロセス



参考資料3 SG8 関係会合の予定

GROUP	No.	START	STOP	PLACE
WP 8F	21	17-Jan-07	25-Jan-07	Cameroon
CPM07-2		19-Feb-07	2-Mar-07	Geneva, Switzerland
WP 8F	22	23-May-07	31-May-07	Japan
WP 8A	20	12-Jun-07	20-Jun-07	Geneva, Switzerland
WP 8B	20	13-Jun-07	21-Jun-07	Geneva, Switzerland
WP 8D	21	14-Jun-07	22-Jun-07	Geneva, Switzerland
SG 8	8	25-Jun-07	26-Jun-07	Geneva, Switzerland
RA-07		15-Oct-07	19-Oct-07	Geneva, Switzerland
WRC-07		22-Oct-07	16-Nov-07	Geneva, Switzerland

ITU-R SG8 WP8F 第21回会合報告書

第1． 1版

平成19年5月7日

日 本 代 表 団

ITU - R WP8F 第21回（カメルーン、ヤウンデ）会合報告書 目次

1. はじめに	1
2. 会議構成	2
3. 主要結果	2
3. 1 全体の主要結果	2
3. 2 各WG等の主要結果	3
(1)WG-SERV (2)WG-TECH (3)WG-SPEC (4)WG-DEV	
(5)SATCOORD-GROUP (6)AH-WORKPLAN (7)AH-Circular Letter (8)AH-Vocabulary	
4. 所感及び今後の課題	6
5. 各 WG 等における主要論議	6
5. 1 WG-SERVICE	6
5. 1. 1 SWG - IMT.SERV (Service Recommendation)	8
5. 1. 2 SWG COMMON TEXT(Service Recommendation)	9
5. 2 WG-TECH (TECHNOLOGY)	10
5. 2. 1 SWG M.1457 & Q.223	14
5. 2. 1. 1 DG IP-CHAR	16
5. 2. 1. 2 DG Roadmap M.1457	17
5. 2. 1. 3 DG-Circular Letter	18
5. 2. 2 SWG Radio Aspects	19
5. 3 WG-SPECTRUM	21
5. 3. 1 DG SPECTRUM CIRCULAR LETTER	24
5. 3. 2 SWG SHARING STUDIES	25
5. 3. 2. 1 DG SHARING (DVB)	27
5. 3. 2. 2 DG FSS / FS	30
5. 3. 2. 3 DG Radar	33
5. 3. 2. 4 DG SHARING2.5G(BWA)	36
5. 3. 2. 5 DG-MBWA	38
5. 3. 2. 6 DG SHARING (450MHz)	38
5. 4 WG-DEV (DEVELOPMENT IMT)	41
5. 5 SAT - COORD (SATELLITE COORDINATION) GROUP	42
5. 6 AH WORKPLAN	43
5. 7 AH-CIRCULAR LETTER	48
5. 8 AH VOCABULARY	50
6. Region 3 参加国非公式会合	51
7. 今後の予定等	52
7. 1 WP8F 及び関連会合の今後の開催予定	52
7. 2 次会合に向けての日本のアクション事項	52
7. 2. 1 WG-Service 関係	52
7. 2. 2 WG-Technology 関係	52

7. 2. 3	WG-Spectrum 関係	53
7. 2. 4	AH-CIRCULAR LETTER 関係	53
付属資料 1	参加国・機関と寄与文書数	54
付属資料 2	ITU-R WP8F 第 21 回会合日本代表団の構成	57
付属資料 3	日本寄書等の審議結果	58
	8F/1085 (日本寄書)、8F/1086 (日本寄書)、8F/1087 (日本寄書)、	
	8F/1088 (日本寄書)、8F/1089 (日本寄書)、8F/1090 (日本寄書)、	
	8F/1091 (日本寄書)、8F/1092 (日本寄書)、8F/1093 (日本寄書)、	
	8F/1103 (日本寄書)、	
付属資料 4	入力文書一覧	61
付属資料 5	出力文書一覧	68
付属資料 6	各 WG の当面のスケジュール	72

1. はじめに

IMT-2000 の高度化及びその後継システムを目指す "future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000" を所掌とする ITU-R SG8 WP8F(Working Party 8F) の第 21 回会合が、2007 年 1 月 17 日～1 月 25 日にカメルーン、ヤウンデにおいて開催されたので、その結果について報告する。

前回の、WP8F 第 20 回会合（2006 年 8 月 23 日～8 月 30 日に米国、デンバーにおいて開催）では、CPM テキストに関する入力締切り日（2006 年 9 月 15 日）及び SG8 会合（2006 年 9 月 20 日～21 日）の直前の会合ということもあり、CPM テキスト草案、候補周波数帯レポート草案(IMT.CANDI)及び IMT-Advanced の標準化及び協調に関する基本指針草案(General Principle)の承認を目指して議論が行われ、かつ、CPM テキストや候補周波数帯レポートにも影響を及ぼす候補周波数帯域の共用検討、IMT-Advanced のサービス要求条件に関する勧告草案(IMT.SERV)が重点的に議論された。結果として、CPM テキスト草案、候補周波数帯レポート草案(IMT.CANDI)及び IMT-Advanced の標準化及び協調に関する基本指針草案(General Principle)が承認され、レポート草案及び基本指針草案は、前々回会合で承認された所要周波数帯域幅推定レポート草案(IMT.ESTIMATE)とともに、昨年 9 月の SG8 にて審議されることとなった。（SG8 において、候補周波数帯レポート草案(IMT.CANDI)及び所要周波数帯域幅推定レポート草案(IMT.ESTIMATE)は内容を若干修正のうえ承認され、また、基本指針草案(General Principle)は、決定案が適当とする主管庁がある旨を付記して採択し、承認手続きのため、RA に送られることとなった。）また、前回会合において、IMT-Advanced の候補無線インタフェース技術提案に関するサーキュラーレターについて検討する AH が発足した。

今回の WP8F 第 21 回会合では、IMT-Advanced のサービス要求条件に関する勧告草案(IMT.SERV)、候補周波数帯における共用検討の詳細な勧告／レポート草案 (IMT.SHARING CANDI)、研究課題 Q.223-1/8 に基づく新レポート草案 (IP.CHAR)、勧告 M.1457 の新無線インタフェースに関する提案、IMT-Advanced の候補無線インタフェース技術提案に関するサーキュラーレターの内容等が重点的に議論された。研究課題 Q.223-1/8 に基づく新レポート草案 (IP.CHAR) は、本会合（WP8F）では承認され、内容確認のため WP8A に送付された。

なお、今会合の Closing Plenary において、次回 WP8F 第 22 回会合（2007 年 5 月 23 日～31 日）が日本（京都）で開催されることと、日本がホスト・オーガナイズする「IMT-Advanced に関するワークショップ」がその前日（5 月 22 日）に同会場にて開催されることが正式にアナウンスされた。

今回の会合には、39 ヶ国及び 23 機関から合計 240 名の参加（付属資料 1 参照）があり、そのうち、日本からは 24 名が参加した（付属資料 2 参照）。

入力文書は合計 127 件であり、そのうち日本から入力した寄書は 10 件であった（付属資料 3、4 参照）。また、前回会合からキャリアフォワードされた文章が 18 件あった。

本会合における出力文書（TEMP 文書）は合計 56 件であった（付属資料 5 参照）。

2. 会議構成

各 WG 等の担当項目と議長を表 1 に示す。

日本は各 WG、SWG、AH および DG に積極的に参加し、会議の進展に貢献した。

表 1 各 WG 等の担当項目と議長

Group	担当項目	議 長
WP8F	ITU-R WP8F 全体	S. BLUST (米)
WG DEV (DEVELOPING IMT)	途上国への適用	J. COMARGO (メキシコ)
WG SERV (SERVICES)	サービスとマーケット関連	K. J. WEE (韓)
SWG - IMT.SRVC	サービス勧告/レポートの作成	中村 元 (日)
SWG COMMON TEXT	公文序章の共通テキストの作成	C. COOK (加)
WG SPEC (SPECTRUM)	スペクトラム関連	F. SOARES (ブラジル)
DG SPECTRUM CIRCULAR LETTER	サーキュラーレター関連	L. WIEWEG (スウェーデン)
SWG - SHARING	周波数共用研究	A. JAMIESON (ニュージーランド)
DG - SHARING RADAR	レーダーとの共用検討： 2700-2900MHz/3400-3700MHz	小松 裕 (日)
DG - SHARING (FSS/FS)	固定衛星/固定系との共用検討： 3400-4200MHz/4400-4900MHz	J. P. MILLET (仏)
DG - SHARING (DVB)	デジタル放送との共用検討： 470-960MHz	F. MIGNERET (仏)
DG - SHARING (450MHz)	450MHz 帯の他業務との共用検討	(S. ZAHEER (米)) 議長代行 C. RUSH (米)
DG - SHARING (MBWA)	モバイル BWA との共用検討	J. WILSON (米)
WG TECH (TECHNOLOGY)	無線伝送技術関連	SUN LIXIN (中)
SWG - M.1457 & Q223	既存勧告の維持改定管理(無線伝送技術勧告と課題 Q223 対応)	一部議長代行 H. WANG (中)
DG UPDATE ROADMAP M.1457	既存の無線伝送技術関連	(N. MAGNANI (伊)) 議長代行 H. LÖWENSTEIN (独)
DG CIRCULAR LETTER M.1457	サーキュラーレター関連事項	G. KLEINDL (奥)
DG IP_CHAR	Q.223 対応 Repor M.[IP.CHAR]関連	H. WANG (中)
SWG - RADIO ASPECTS	無線関連技術	吉野 仁 (日)
SAT-COORD (SATELLITE COORDINATION)	WP8D(衛星)とのコデ イネーション	M. GRANT (米)
AH CIRCULAR LETTER	サーキュラーレターの作成	F. LALLEMAND (仏)
AH WORKPLAN	各 WG に跨る作業計画等調整	吉野 仁 (日)
AH TERMINOLOGY	用語関連	H. OHLSEN (スウェーデン)
		H. MENNENGA (独)

尚、SAT-COORD は今回開かれなかった。

3. 主要結果

3. 1 全体の主要結果

- ・ IMT-Advanced のサービス要求条件の新勧告草案 (IMT.SERV) の作業文書の改訂作業が推進された。
- ・ IMT-Advanced の出力文書共通の冒頭テキスト (Common Text) を検討する SWG を設置し作業文書が作成された。
- ・ 候補周波数帯における共用検討の詳細なレポート／勧告草案 (IMT.SHARING CANDI) については、各 DG で改訂作業を推進したが、合意に至らず、次回第 22 回会合での完成を目指すことになった。
- ・ 研究課題 Q.223-1/8 に基づく新レポート草案 (IP.CHAR) が完成・承認され、WP8A に送付された。

- ・ 勧告 M.1457 の新無線インタフェースとして IEEE から提案された技術を、Circular Letter 8/LCCE/95 及び 47 のプロセスで検討することが決定した。
- ・ 新無線インタフェースを評価するグループの作成を要請する Circular Letter を作成・発出するとともに、関連 Web Site の作成も承認された。
- ・ 無線インタフェースの要求条件を記載する技術レポート (IMT.TECH) に関する作業文書が作成された。
- ・ IMT-Advanced の評価に関する文書 (IMT.EVAL) を作成することで合意し、IMT.EVAL を検討するための SWG の設置及びその作業計画が承認された。
- ・ Ad-Hoc Circular Letter (AH-CL) において、Circular Letter の各 Annex の担当WGの確定と作成時期の決定を行い、関連 WG での作業が開始された。
- ・ CCV からの要請により、AH-Vocabulary を設置して WP8F で使用する専門用語に関する活動を開始した
- ・ 次回 WP8F 第 22 回会合が 5 月 23 日～31 日に京都国際会館で開催されることと日本がホスト・オーガナイズする「IMT-Advanced に関するワークショップ」が 5 月 22 日開催されることが正式にアナウンスされた。
- ・ AH-Workplan において、2008 年～2011 年の WP8F 開催スケジュールが決定した。

3. 2 各WG等の主要結果

(1) WG-SERV

- ・ サービス勧告 Draft New Recommendation ITU-R M.[IMT.SERV]の作業文書改訂と、IMT-Advanced 関連文書に共通する冒頭記述 “Common Text” の作成作業が進められた。
- ・ サービス勧告については、6 章の Recommends 部分に関する審議が主として行われ、各提案項目の具体的なテキストが作成された。日本寄与文書で提案したテキストの大半は、作業文書に反映された。懸案事項であった 6.4 節については、マーケットレポートで使用されたトラヒッククラスをサービスクラスとして規定し、それぞれに対して具体的なパラメータ値などを特定するという結論となった。
- ・ サービス勧告と並行して審議が行われた、Circular Letter の Annex 3 に関しては、議論が開始されたが具体的な項目は決定されなかった。
- ・ Common Text については、今会合から SWG が新設されて審議が行われ、ドラフトが作成された。特に議論となった Key features of IMT-Advanced の項目としてのデータレート目標値 (100Mbps/高速、1Gbps/低速) の記述については、最終的に () 付きで記述が行われることとなった。
- ・ Common Text と並行して審議が行われた、Circular Letter の Annex 1 に関しては、AH-CL で作成された Structure に記述する Annex 1 の outline が作成された。AH CL で議論された内容に加えて、resolution IMT.Principle に関する項目を Framework に加えることとなった。

(2) WG-TECH (Technology)

- ・ IMT-2000 の詳細無線インタフェース(RSPC)勧告 (Rec. ITU-R M.1457)については、第 7 版に向けた改訂に対して CDMA DS/MC/TDD の無線インタフェースから改訂概要の寄書入力が高なされたが、具体的な改定作業は次回会合に実施することとなった。
- ・ 又、第 8 版に向けた改訂に対して全ての無線インタフェースから改訂意思が示され、CDMA DS/MC/TDD 及び TDMA FDMA の無線インタフェースから入力された寄書内容を反映させ、Roadmap を改訂した。
- ・ IEEE 及び WiMAX Forum から入力された IMT-2000 陸上無線インタフェースに対する新規の無線インタフェース(IP-OFDMA)提案に関しては、9 カ国から歓迎の意思表示があり、Circular Letter 8/LCCE/95 及び 8/LCCE/47 記載の手順に従って評価作業を実施することとなった。
- ・ 評価に当たっては外部団体を含めた Evaluation Group による方法を採用し、提案受理及び Evaluation Group

作成を要請する Circular Letter を作成し発出した。Evaluation Group の ITU への登録は 3 月 2 日までが奨励され、評価レポートは次回会合の入力締め切り(5 月 16 日)以前の 5 月 8 日とすることが推奨された。尚、評価にあたっては中間会合の開催を検討しているとのコメントがあった。又、提案元には今回入力された自己評価結果の詳細説明資料を求める Liaison が発出された。

- ・ 新規無線インタフェースに関しては次回会合で評価が完了すれば勧告 ITU-R M.1457 第 7 版への盛り込み採否が決定する。
- ・ Question 223-1/8 については、今回 WP8F としての最終チェックを行い、Editorial な修正を加えた上、Report M.[IP CHAR]原案を完成した。尚、題目は米国からの提案によりその対象が従来の"mobile systems"から"land mobile systems"に変更されている。
- ・ 本 Report は今後 6 月に開催される WP8A にて最終 Editorial Check を実施し、6 月開催予定の SG8 に承認を求める予定である。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェース募集のための Circular Letter 関連の Document に関しては、今回 Technology 関連の要求条件を記載する M.[IMT.TECH]及び Evaluation Criteria を記載する M.[IMT.EVAL]の 2 つの Document を作成することに合意した。
- ・ M.[IMT.TECH]は完成を第 23 回会合とし、日本からの提案をベースに Working Document を作成した。又、M.[IMT.EVAL]は第 24 回会合完成予定とし、Channel Model も含めて提案してきた Ericsson 等欧州からの入力をベースに Working Document を作成した。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェース募集のための Circular Letter に関連したこれら作業の進捗状況は AH-CL に報告され、管理されている。
- ・ 尚、M.[IMT.EVAL]の作業は次回会合から新たに設けられた SWG-EVAL で行う事が決定し、この SWG Chair には中国の Hu Wang 氏が任命された。
- ・ SDR 及び Cognitive Radio に関しては WP1B から Question 作成を予定しているとの Liaison が届き、SG8 は Technology の研究を WP8A 主担当として行うこと、WP1B の提案に賛成すること等を記載した Liaison を返送した。
- ・ その他、ITU-T SG15 に ANTS に関する情報提供を行う Liaison を発出した。

(3) WG-SPEC (Spectrum)

① Sharing 関連作業文書について

(i) FSS 関連

日、仏、韓と、FSS 保護派(米、加、露、ロシア等)、衛星事業者間で、FSS 展開状況、FSS 地球局用国際調整、干渉軽減技術に関する記述等について意見が激しく対立。最終的に、作業文書のまま次回会合にキャリアワードされた(Temp/507)。また、FSS の長区間、短区間保護基準について、WP3M にリビジョン文書(Temp/485R2)を送付し、見解を求めることとした。

(ii) Radar 関連

3.4-3.7GHz 帯については、日米の検討結果を併記する形でまとめられ、レポートとして作成することが合意された(Temp/491R1)。伝播モデルの妥当性について意見が分かれ、WP3M&3K 及び WP8A にリビジョンを出すことになった(Temp/489R2)。2.7-2.9GHz 帯については、米、ロシア等が中心となって審議を行い、審議継続となった(Temp/490R1)。また、審議を継続するため、コロンビアフォーラムが作られることとなった(Temp/488R1)。

(iii) 450MHz 関連

前回会合での作業文書を基に議論が行われ、審議継続となった(Temp/500R1)。日本寄書については、審議の結果、作業文書への反映が承認され、また、当該項目の結論において、日本の状況を Note し、ITU-R の衛星データ

ベースに基づく調査を考慮した上で、共用検討は不要という結論に改訂した。

(iv) DVB 関連

前回会合での作業文書に基づき議論を行った。独、豪、イギリスが中心となって審議が進められたが、未だ作業文書全体の半分以上が未審議状態で、継続審議となった (Temp/510)。

(v) BWA 関連

Fixed/Nomadic は、今会合で作業完了予定だったが、前回会合の結果を詳細にレビューしたこともあり、作業が終わらず次回に先送りとなった (Temp/509)。Mobile については、前回会合での結果をレビューした程度に留まった。本件も、次回以降に継続審議となっている (Temp/499R1)。

② Circular Letter (Spectrum 関連) 作業文書について

AH-CL の決定に従い、Circular Letter の Spectrum 関連の文書を作成するための新たな DG SPEC CL が、WG SPEC 配下に設置された。本 DG の検討項目は、Circular Letter の Annex5 (Spectrum requirements) を作成すること、及び、Annex6 ～8 の Spectrum 関連テキストの作成である。今会合では、あまり深い議論を行わずに、各国寄書から関連するテキストを集め、次回以降に向けた作業文書の雛形が作成された。 (Temp/494)

(4) WG-DEV

- ・ ITU-T SG19 に対し、IMT-2000 ハンドブック第2版のために IMT-ESTIMATE のサマリーおよび他のハンドブック内容として適当な情報を、CPM および WRC-07 終了後に提供するとのリエゾンステートメントを発出した。
- ・ 発展途上国であるエジプト、グアテマラ、メキシコ、ブラジルがサポート入力をしているとの理由で、インテル（トルコ）が IP-OFDMA の採用をサポートする Internal Liaison を WG-DEV から WG-TECH へ出すべきと主張した。しかし既に IP-OFDMA 提案文書は WG-TECH に提出されていることを理由として不要と決定した。
- ・ 次回会合に向け、発展途上国の IMT に対する要求を入力するよう求められている。

(5) SATCOORD GROUP

今回 SAT-COORD GROOP として扱う、文書の入力、及び案件は無かったため、当該グループの会合は開催されなかった。

(6) AH WORKPLAN

サーキュラーレターのスケジュールを反映し、また、IMT.RADIO を盛り込んだ WRC-07 以降の IM-Advanced プロセスに対する詳細スケジュールが作成され、WP8F プレナリーでノートされた。

IMT-Advanced のワークショップを第 22 回 WP8F 京都会合の前日（5 月 22 日）に開催することとした。

(7) AH-CL (Circular Letter)

- ・ サーキュラーレターの作業スケジュールについては、韓国より実質的な作業項目を考えると、第 23 回会合では完成させることが不可能ではないかとの意見があったが、AH-Workplan においてスケジュールが議論され、その結果、韓国の指摘を考慮して第 23 回会合で予定通りサーキュラーレターを完成させ、第 24 回会合において、評価関連についての追補版(Addendum)を出すこととなった。サーキュラーレター全体の作業スケジュールの見直しに応じて、マイクロワークプランも更新された (Doc. 8F/TEMP/527)。
- ・ IMT-Advanced 無線インタフェース募集に関するサーキュラーレターの本体および各 Annex の作成を担当する

WG を確定した(Doc.8F/TEMP/474R3)。その結果、サーキュラレターの Annex の担当は下記の通りと決定した。

- ・ さらに、担当 WG がテキストを作成し、AH-CL へ供給する期日(Target date)についても合意され、評価(Evaluation)に関する一部のテキストを除いて、原則的に第 23 回 WP8F ジュネーブ会合の第 2 日目(火曜日)までに完了させることとなった(Doc.8F/TEMP/474R3)。
- ・ サーキュラレターの各 Annex に記述すべき内容の骨子を議論し、本文および各 Annex のアウトラインを作成した(Doc. 8F/TEMP/474R3, 514, 528, 522,523R1,524,525R1)。また、他の WG が所掌する Annex に関しては、記述すべき内容の骨子を作成して、その内容の精査およびアウトラインの作成を依頼した。(Doc. 8F/TEMP/494)

(8) AH VOCABULARY

CCV からの入力文書 8F/1164 について審議が行われ、WP8F 内の各 WG に対し用語定義の充実を要請する内部リエゾン文書が出された。次回会合において各 WG からの回答に基づき用語定義方針を確定することが課題である。

4. 所感及び今後の課題

- ・ 候補周波数帯における共用検討の作業文書（新レポートまたは新勧告草案）については、いくつかの課題で進展が見られ一時妥協することも模索したが、CPM 会合での議論再燃を懸念して、決着は京都会合に先送りされた。
- ・ 候補周波数帯の共用検討については、関連 WP に再度検討を依頼するためのリエゾン文書が発出された。次回京都会合で共用検討文書の最終化を図るためには、関連 WP からの適切なリエゾンバック必要であり、関連 WP において適切なリエゾンバック文書を検討するための活動が重要である。
- ・ 次回京都会合で候補周波数帯における共用検討文書の最終化を図るためには、会期中はでき得る限り迅速な対応が必要であるので、日本での会合の地の利を活かし、万全の体制で臨む必要がある。関係各社のより一層のご協力・ご支援をお願いしたい。
- ・ 勧告 M.1457 の新無線インタフェースの提案については、情報通信審議会移動業務委員会で決定された対処方針に沿って対応することができた。評価グループの設置等の今後の対応については、IMT-Advanced 部会標準化専門委員会で十分に議論した上で適切に対応する必要がある。
- ・ Ad-Hoc Circular Letter (AH-CL) の活動が本格化した最終化までのスケジュールがタイトなことから、今後とも継続的に寄与するとともに、AH-CL 議長をサポートする体制を確立する必要がある。

5. 各WG等における主要論議

5. 1 WG-Service

- (1) 議長： K.We (KOR)
- (2) 主要メンバー： Costa, Vinodrai (CAN)、Ehrlich, Chatterjee (USA)、韓、中(Wang)、Mustonen (VTT)、Wijting (Nokia)、独、UMTS フォーラム、Anneroth (Ericsson)、日本団（中村、坂本、吉野、広瀬、森脇、新井田）（約 60 名）
- (3) 入力文書： IMT.SERV 関連： 8F/1045 Att.4.2 (前会合議長報告)、1070(ITU-T SG16)、1071(ITU-T SG12)、1085(JPN)、1098(USA)、1128(CAN)、1141(CHN)、1151 & 1152(Siemens Network, Ericsson, France Telecom, Nokia)
Common Text 関連： Doc. 8F/804(JPN)、948(USA)、990(Intel UK)、992(Intel UK)、1074(GER)、

1090(GER, JPN)、1105(CAN)、1141(CHN)

その他 WG で扱う文書：8F/1070(ITU-T SG16)、1071(ITU-T SG12)

- (4) 出力文書：8F/TEMP/521 (WG-Service 議長報告),
8F/TEMP/516 (SWG-IMT.SERV 議長報告),
8F/TEMP/502 (SWG-Common Text 議長報告),
8F/TEMP/515 (サービス勧告 IMT.SERV- 作業文書),
8F/TEMP/501 (Common Text - 文案),
8F/TEMP/503 (ITU-T SG16 に対する Telemedicine に関するリエゾン)

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

本 WG は、IMT-2000 の高度化及び後継システムの Framework に関する勧告草案を第 9 回会合で承認されたことを受け、第 10 回会合から新たに設定されたものである。主な所掌は以下の通り。

- ・ WRC07 への準備作業として、マーケット予測を外部と調整しながら行う。
- ・ IMT の高度化並びに systems beyond IMT の想定サービスとアプリケーションの例を提示し、WP8F の活動全体を加速させる。

(5-2) 体制

第 17 回会合において、Market レポートが完成し、以降、IMT-2000 の高度化及び IMT-Advanced で提供されるサービスの要求条件を示す Service 勧告の作成作業を進めることとなり、SWG-Market から SWG-IMT.SERV に名称が変更された。また、第今会合において、IMT-Advanced 関連文書に共通する冒頭記述“Common Text”の文案が作成されることとなり、SWG - Common Text が設立された。

Group	Chairman	Topic
SWG-IMT.SERV	中村 元 (日)	Service Recommendation
SWG – Common Text	Ms. C. COOK (Canada)	Common Text

(5-3) 審議概要と主要結果

- ・ IMT2000 の高度化及び IMT-Advanced で提供されるサービスに関する検討を主目的とする WG-SERV の主要課題は、サービス勧告 IMT.SERV の作業文書改訂と IMT-Advanced 関連文書に共通する冒頭記述“Common Text”の作成作業、および関連する Circular Letter の文案作成であることが確認され、今会合から SWG – Common Text を作成されることとなった。
- ・ サービス勧告について、Draft New Recommendation ITU-R M.[IMT.SERV]の作業文書が改訂されたことと、Circular Letter Annex 3 の具体的な内容が作成されなかったことなどが報告された。
- ・ 次回会合までの間に、サービス勧告の検討を目的とした CG (SWG IMT.SERV 議長担当) を設立することとなり、米国がその所掌と期間について問いただした。SWG 議長より、所掌は 6.4 節の検討で、期間は次回会合開始の 1 ヶ月前までとされた。
- ・ Common Text については、関連する寄与文書の提案内容を反映してドラフトが作成されたことや、Circular Letter Annex 1 の outline が作成されたことなどが報告された。WG 議長より、次回会合での最終化に向けて、寄与文書の入力が求められた。
- ・ ITU-T SG16 から入力された Telemedicine に関するコメントの募集に対する返答について、議論を京都で行う必要があるため、今会合に入力された寄与文書(8F/478)を議長報告に添付することとなった。

(6) 今後の課題：

次回会合では、サービス勧告草案および IMT-Advanced 関連文書用の Common Text が、それぞれ最終化の予定

となっている。サービス勧告は、次回会合までの CG 活動および次回会合において、各項目の具体的な記述内容に対する審議が行われる予定となっている。勧告案全体として完成度の高い文書を、日本から提案する必要がある。Common Textについても、第 22 回での最終化の予定であるため、今会合で決められた方向性に従い文書の完成度を高めていく必要がある。

5. 1. 1 SWG - IMT.SERV (Service Recommendation)

(1) 議長：中村 (日)

(2) 主要メンバー：Chatterjee(米:Editor)、韓(Wee)、中(Wang)、加(Costa)、米(Ehrlich)、VTT(Mustonen)、Nokia(Carl)、独、UMTS フォーラム、Ericsson(Anneroth)、その他各国、森脇、広瀬、坂本、新井田(日本)、他(計約 15 名)

(3) 入力文書：Doc.8F/1045 Att4.2(前回会合議長報告)、8F/1085(JPN)、1098(USA)、1128(CAN)、8F/1070(ITU-T SG16)、1071(ITU-T SG12)、1103(JPN)、1141(CHN)、1151 & 1152(Siemens Network, Ericsson, France Telecom, Nokia)

(4) 出力文書：8F/TEMP/516 (SWG-IMT.SERV 議長報告)

8F/TEMP/515 (サービス勧告 IMT.SERV- 作業文書)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG は、第 18 回バンコク会合より IMT-Advanced のサービス勧告草案にフォーカスして検討することとなった。

第 20 回会合では、第 5 章までの文案が作成され、第 6 章については項目のみが決定していた。今会合では第 6 章の各項目の詳細な文章の作成と、懸念されていた 6.4 節の内容に関する詳細な議論を行うこととなっていた。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ IMT-Advanced のサービス要求条件の勧告草案 (PDNR IMT.SERV) を担当する SWG - IMT.SERV は、期間中 7 ピリオドの SWG 会合を開催し、IMT.SERV 勧告草案に関する作業文書を入力文書に基づいて改訂した。
- ・ 今会合では、サービス勧告の改訂に加えて、Circular Letter (以下 CL) Annex 3 の作成を行う必要があるため、審議の進め方についてまず議論が行われた。サービス勧告の内容を確定してから CL の議論を行うべきとするカナダや、並行して議論を行うことで双方の内容の整合性に問題が出ることを懸念する米国などの意見に対して、AH-CL 議長からは、今会合中に少なくとも CL Annex 3 に記述する項目だけは決定しなければ CL の最終化に間に合わないため、双方の内容を審議するべきとの意見があった。最終的に、CL Annex 3 はサービス勧告に記述された文章から作成するというので、CL Annex 3 に対する変更を入力した寄与文書もサービス勧告へ含めることとして、始めにサービス勧告について審議することとなった。
- ・ サービス勧告の審議では、まず議長より 8F/1128 (加)、8F/1085 (日)、8F/1098 (米) の修正提案を考慮したセクションごとの修正案概要が説明され、ベースライン文書作成の方針が議論された。第 1～5 章は日米加ともに簡略化を提案しているため、それぞれの修正提案を反映することとした。第 6 章については、米国は具体的な提案が無く、カナダと日本の改訂方針に多少の違いがあったため、原則は第 20 回会合で決定した章構成に則ることとし、詳細についてはベースライン文書が作成された後に審議することとなった。
- ・ 上記の方針に則り議長が作成したベースライン文書を元に、詳細な審議が行われた。第 1～5 章については、大きな議論は無く了承された。ベースライン文書の第 6 章は、前回会合で合意された項目は削除せず、新規に追加を提案された項目については、追加の可否を含めて検討を行った。
- ・ 6.1 節は、Number Portability など Service Description としてふさわしくないとされたものを幾つか別の章へ移し、中国が提案した E-Health や E-Education などを新規項目として含めることとなった。また、E911 など特定の国でしか普及していない記述については、削除した。

- ・ 6.2 節は、他節から幾つかの項目が追加された。
- ・ 6.3 節は、Average Bit Rate と Layer 2 Throughput（ノキアらの新規提案項目）との整合性について議論が行われた。Average Bit Rate の記述内容は一般的でないとする日本に対してノキアが理解を示し、Throughput という新規項目を作成し、Average Bit Rate と共に項目の削除も含めて次回会合で検討をすることとなった。
- ・ 6.4 節については、まず日本から、本勧告の Scope に基づき、High level requirements for Service に必要な Service Classification を記述すべきとの意見を出した。議長は、CL の Annex 3 を作成する意味から、LCCE/47 を参考にすべきとして、ハイレベルなサービスの要求条件を 6.1～6.3 節に記載された項目で規定する提案を行った。これらの提案を元に、Service Classification の判断基準について、これまでに WP8F で作成された、LCCE/47 と Market Report の二つの Classification を比較して議論が進められた。議論の末、Traffic Class と Service Type により規定される、Market Report で使用されているクラスを利用するという結論となった。更に、クラス数ができるだけ少ないほうが良いという意見が各国から出されたため、Traffic Class (Conversational / Streaming / Interactive / background)のみを利用し、それぞれの項目に対してパラメータなどの数値を記述することとなった。また、それぞれのクラスへのサービスの割り当てについても、次回京都会合で議論することとなった。
- ・ 第 6 章については、幾つかの節を含んでいるため、各節の説明をする文章を米国が作成することとなり、次回会合までに入力することとなった。
- ・ 6.4 節の内容を次回会合までに更に具体化するため、CG 活動を行うことが提案され、了承された。
- ・ CL Annex 3 については、まず何を書くべきかというポリシーについて議論が行われた。議長より、Service Capability のみを記述するか、あるいは Service Requirement も含めるかの 2 つの View が存在することが示され、審議が進められた。Service Enabler の項目を Requirement として Annex 3 に反映させるべきとするフィンランドや、8F/1155 の提案内容も含めるべきとするドイツ、Annex 3 はサービス勧告とコンシステンシーを持つ必要があるが、サービス勧告以外（例えば IMT.TECH など）も考慮すべきとする米国など、各参加メンバーが異なる View を持っており議論が収束しなかった。このため、CL の Annex 3 のドラフト文書は今回作成されず、議長レポートに現在のステータスとすべてのマテリアルを記述し、次回京都会合で議論を継続することになった。

(6) 今後の課題：

サービス勧告は、第 22 回会合での最終化を目指して、CG 活動が行われることとなった。議長国である日本の積極的な活動が期待されている。作業文書の改訂では、1 章～5 章についての文章の完成度を高め、さらに 6 章において、本文書が勧告する内容が明確化されるような文章案を入力する必要がある。

5. 1. 2 SWG COMMON TEXT(Service Recommendation)

- (1) 議長：C. Cook（加）
- (2) 主要メンバー：Mr. Kyu-Jin WEE (Chairman WG-SERV)、EHRlich(米)、MENNENGA(独)、PRINS(豪)、URYGA(仏)、中、加、英、他各国、中村、坂本、他全約 18 名
- (3) 入力文書：Doc. 8F/1045 Att4.3(前回会合議長報告)、8F/1074 (Australia)、1090 (Japan, Germany)、1105 (Canada)、1152 (Siemens Networks, Ericsson, Nokia Corp.)、carried forward Doc. 8F/990 (Intel (UK)), 992 (Intel (UK)), 993 (Canada)、997 (Canada)
- (4) 出力文書：8F/TEMP/502 (SWG-COMMON TEXT 議長報告)
8F/TEMP/501 (COMMON TEXT 作業文書)
- (5) 審議概要：
 - (5-1) 所掌と経緯

- ・ 第 20 回会合では日本の提案文書(Doc.8F/804)をベースに Common Text の初期文案を提示した。同寄与文書は今 21 回会合にキャリーフォワードされ、かつ第 20 回会合においてドイツの支持を受け、文案作成のベースとなっていた (8F/1045 Att4.3)。
- ・ 今 21 回会合にて SWG が新設され (議長 Ms.Cook、カナダ)、Common Text の作成と CL の Annex 1 のテキスト作成を行うこととして審議が進められた。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 議長である Ms.Cook より本 SWG のミッションは Common Text のドラフティングおよびサーキュラーレターの ANNEX1 作成であることの説明があり、今回は Common Text に専念し、CL ANNEX1 は次回会合で行うとの提案があり参加者より了承された。
 - ・ 日独寄与文書(8F/1090)と加寄与文書(8F/1105)をベースにしてドラフティング作業が開始された。第 1 パラグラフにおいて日本が提案していた” that go beyond the future enhancements of IMT-2000” は、” the future enhancements of” を使わないとのことで削除となった。Packet core network の意味するもの、telecommunication の意味で若干の議論があったが、第 2 パラグラフについても Canada 案と日本案をベースに文章が作成された。
 - ・ Key features of IMT-Advanced の項目として、データレート目標値が議論となった。独(MENNENGA)/仏(URYGA)/日が提案した (100Mbps/高速、1Gbps/低速) を明記するか否かで、豪(PRINS)提案の妥協案を元に以下の文言になった。
 - ・ enhanced peak user data rate to support new services and applications such as multimedia (in the order of 100Mbit/s for high and 1Gbit/s for low mobility)
 - ・ 合意された Common text は、SWG の temp document として WG SERV と AH CL の議長へ報告され、特に Internal liaison の作成は行われなかった。
 - ・ サーキュラーレター ANNEX1 概要は、AH-CL からの要請により、AH-CL で作成の Structure に記述する ANNEX1 の outline を作成した。内容は、AH CL で議論された内容をそのまま承認となった。日本寄書 8F/1103 の原案に加えて中国寄書 8F/1141 の resolution IMT.Principle に関する項目を Framework に加えることを了承し以下の 4 項目となった。
- (1)Introduction、(2)User Trend、(3)Framework of IMT-Advanced、(4)Relationship of IMT-2000 and IMT-Advanced
- ・ 今回で作成された COMMON TEXT 文案は 8F/TEMP/501 として次回会合に持ち越され、次回会合で最終化に向けた審議が行われる。

(6) 今後の課題：

COMMON TEXT 文案は、英語の表現論の引き金にならない程度で必要に応じ Editorial な修正やデータレートの具体的な目標値が削除されない対処をする必要がある。また、第 22 回会合のみでサーキュラーレター ANNEX1 の審議を終了させなければならないため、AH CL に適した文書案を次回会合へ提案する必要がある。

5. 2 WG-TECH (Technology)

- (1) 議長：Lixin Sun (中国) (Opening Plenary Acting Chair：Hu Wang (中国))
- (2) 主要メンバー：森、佐藤(孝)、石田、白石、吉野、古川、新、中村、新井田、菅田、小松、古賀、吉井、外山、森脇、佐藤(一)、三浦、本多、林、坂本、三浦、庄納、広瀬、堤、石川、eAccess、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、豪、Finland、NZ、ロシア、IEEE、WiMAX Forum 他全 240 名程度
- (3) 入力文書
 - (3-1) RSPC 勧告 M.1457 Update

8F/1059 (ETSI), 8F/1069 (ATIS), 8F/1094 (BR/TIA TR45.5), 8F/1117,1118,1119 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB),

(3-2) IP-OFDMA

8F/1065,1121 (IEEE), 8F/1072 (独), 8F/1075, 1079r1 (WiMAX Forum),8F/1082 (イスラエル), 8F/1099(米), 8F/1107 (カナダ), 8F/1116(英), 8F/1120 (ブラジル), 8F/1126 (グアテマラ), 8F/1127 (Cingular), 8F/1130 (メキシコ), 8F/1139 (中国), 8F/1150 (Intel,Motorola)

(3-3) IMT.TECH & IMT.EVAL

8F/1076 (NZ), 8F/1086,1088 (日本), 8F/1100 (米),8F/1124 (スウェーデン), 8F/1129 (カナダ), 8F/1140,1141,1143,1144,1145,1146 (中国), 8F/1148,1149,1152 (Ericsson, Nokia, Siemens), 8F/1151 (Ericsson, Nokia, Siemens, France Telecom), 8F/1155 (Lucent, Huawei, Nokia, Siemens, Samsung)

(3-4) Question 223 (IP.CHAR)

8F/1043(WP4B), 8F/1051(BR/OMA), 8F/1052(WP8A), 8F/1063(WP8D), 8F/1064 (IEEE), 8F/1113 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB)

(3-5) その他

8F/1055 (WP8A : SDR 関連), 8F/1058 (WP1B : SDR & Cognitive Radio 関連)、8F/1054 (WP8A : ANTS 関連), 8F/1060,1061 (ITU-T SG15 : ANTS 関連), 8F/1161 (カメルーン : 情報提供), 8F/1084 (仏 : Parameter 関連)

- (4) 出 力 文 書 : 8F/TEMP/479r4 (IP.CHAR に関する WP8A 及び外部団体への Liaison),
8F/TEMP/480 (ANTS に関する ITU-T SG15 への Liaison),
8F/TEMP/481r1 (SDR と Cognitive Radio に関する WP1B への Liaison),
8F/TEMP/484r3 (IP-OFDMA に関する Circular Letter),
8F/TEMP/486 (M.1457 の改訂 Roadmap),
8F/TEMP/495 (勧告/Report M.[IMT.EVAL]に向けた Working Document),
8F/TEMP/496 (勧告/Report M.[IMT.TECH]に向けた Working Document),
8F/TEMP/497 (SWG Radio Aspects Meeting Report),
8F/TEMP/504r1 (IEEE 及び WiMAX Forum に対する Liaison),
8F/TEMP/505 (IP-OFDMA に関する Web の情報),
8F/TEMP/506r1 (SWG M.1457 Meeting Report),
8F/TEMP/520 (WG-TECH 議長報告)

(5) 審 議 概 要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 WG は、IMT-2000 の無線インタフェースに関する技術仕様の改訂、IMT-Advanced の無線技術、及び Question 223 に関する移動体システムにおける IP Application の検討を所掌としている。

本会合の検討課題は、Question 223 の IP Applications Over Mobile Systems に対応した Report に向けた作業文書の WP8F としての完成及び承認、新規無線インタフェース候補の検討を含む RSPC 勧告 M.1457 の改訂作業及び IMT-Advanced の無線インタフェースの提案招聘のための Circular Letter に関わる Technology 関連文書である Report M.[IMT.TECH]、及び勧告/Report M.[IMT.EVAL]の検討であった。

(5-2) 体制

下記の 2 つの SWG、及び SWG 配下の DG という体制で審議を行った。

Group	Chairman	Topic
SWG M.1457/Q.223	Mr. Uwe Lowenstein (独) (Acting SWG Chair)	既存勧告の改訂 (今回はRSPC勧告M.1457)、及びQuestion 223に関する討議
DG-IP CHAR	吉野 (日本)	PDN Report M.[IP CHAR]に関する討議
DG-Roadmap	Mr. Günter Kleindl (奥)	勧告M.1457のRoadmap改訂
DG-CL	Mr. Hu Wang (中国)	勧告M.1457への新規無線インタフェース提案 (IP-OFDMA)関連のCircular Letterに関する討議
SWG Radio Aspects	Mr. Marc Grant (米国)	IMT-Advancedの無線関連勧告作成に向けた今後の検討方法討議

(5-3) 審議概要と主要結果

- 1) RSPC 勧告 M.1457 Update: 勧告 M.1457 の第 7 版に向けた改訂については、TDMA SC 以外の 4 つの陸上移動無線インタフェース部から Roadmap の入力があり、これを反映させた改訂 Roadmap を SWG M1457 & Q223 配下の DG-Roadmap で作成し Chairman's Report に添付した。又、第 8 版改訂に向けては 5 つ全ての既存陸上無線インタフェース部から入力意思の表明があり、第 23 回会合に向けた改訂作業を行うこととなった。尚、第 7 版改訂に向けての既存陸上無線インタフェース部からの入力は全て次回会合に Carry Forward され、次回の入力を待って勧告 M.1457 の改訂原案を作成する事と成った。
- 2) IP-OFDMA: IEEE 及び WiMAX Forum から 6 つ目の IMT-2000 陸上無線インタフェース候補として IP-OFDMA が提案された。本提案には独、イスラエル、米、加、英、伯、グアテマラ、墨から歓迎及び 2 回の会合で評価を行う事を求める寄書があり、中国寄書を含め全ての国が 8/LCCE/95 及び 8/LCCE/47 で定められた Procedure での評価を行うことを提案した。又カナダは Evaluation Group を作成したとの報告を行い、Cingular からの寄書提案も含め、本新規無線インタフェース提案の評価を行うための SWG M1457 & Q223 配下の DG-CL で Circular Letter 及び提案内容を掲示する Web 原案を作成した。Evaluation Group は ITU メンバだけでなく外部団体も参加できることとし、ITU への登録は 3 月 2 日までにを行うことが奨励された。ARIB 等の外部団体は ITU へ Evaluation Group として登録することにより評価結果を入力出来る。又、評価結果の提出に関しては次回会合の入力締め切りが 5 月 16 日であるが、他の Evaluation Group がその内容を把握することが容易なように 5 月 8 日までに入力することも奨励された。尚、提案元より 3 月中旬に Workshop 開催の提案があり、Sector Member からは Evaluation に関しての中間会合の開催を計画しているとの発言も有った。又、提案元である IEEE 及び WiMAX Forum には入力された評価結果(Requirements and Objective Template)の項目の評価資料の入力を要請する Liaison が発出された。本提案は次回で評価が完結すれば勧告 M.1457 への盛り込み可否が決定する。
- 3) IMT-Advanced の無線インタフェース関連文書に関するについての討議を行った。
今会合ではカナダより、Report M.[IMT.TECH]を IMT-Advanced の無線インタフェースの要求条件を記述する文書とし、提案を募る Circular Letter の Annex 4 に添付する提案、日本からは要求条件と Evaluation Criteria を合わせた文書とする提案、中国、スウェーデンからは新たに Evaluation Criteria の文書を作成する提案があり、それに基づいて討議を行った。結局 IMT-Advanced の無線インタフェースの要求条件文書を M.[IMT.TECH]及び Evaluation Criteria 文書 M.[IMT.EVAL]として別個作成することとし、M.[IMT.TECH]側は日本が Acting Editor として日本寄書をベースとし中国提案等を盛り込んで Working Document 化し、M.[IMT.EVAL]側は Channel Model を含めて提案して来た Ericsson 他の寄書をベースとして Working Document を作成した。これらの文書は IMT-Advanced の無線インタフェース提案募集のための Circular

Letter の Annex 4 及び Annex 7 の Technology 関連部に対応するものとなる。但し今回の会合では Circular Letter の Annex 6 の Technology 関連部となる提案 Template がどちらの文書に含まれるのかは結論が出なかった。尚、WG-TECH Closing Plenary において Evaluation 関連(M.[IMT.EVAL]作成を含む)を討議する新規 SWG として SWG EVAL が創設され、その Chair には Wang 氏(中国)が就任した。

- 4) Question 223-1/8("IP applications over mobile systems")については、WP8A から検討結果、IEEE,3GPP から現状の内容で完成させることへの同意、WP4A,WP8D から各々の活動内容の紹介及び OMA から提案入力があり、SWG M1457 & Q223 配下の DG-IP CHAR で討議を行った。WP8A の検討結果を Review し、3GPP2 からの入力を記述した Appendix 4 に Editorial な修正を加え内容を完成した。本文書は WG-TECH の Closing Plenary で米国の衛星関係者から題名に関して"Mobile Systems"から "Land Mobile Systems"に変更するように提案があり、修正された。又 WP8A 及び外部団体に対する Liaison に本文書を添付して発出した。本文書は WP8F では承認され、6 月の WP8A において再度 Editorial Check を実施後 SG8 に承認を求めることとなる。
- 5) Cognitive Radio、SDR 関連: WP1B から SDR 及び Cognitive Radio Systems に関して Question を作成予定であるとの Liaison が入力された。Draft Question には Regulation 関連も研究課題として記載されているため、日本とカナダで検討し、SG8 では技術的な研究を WP8A 主体で行い、WP8F は IMT 関連の入力を行うこと、WP1B の Question 作成案に賛成すること、及び Regulation 関連では IMT-2000 には Global Circulation 勧告が作成されていること等を回答する Liaison Back を作成し、発出した。
- 6) その他: ITU-T SG15 への ANTS に関する Liaison を発出した。
- 7) SG8 に承認を求める文書。
なし (Report M.[IP CHAR]は WP8A での Editorial Check 後 SG8 に送られる)
- 8) Carry forward documents: 今会合では、下記文書を次回会合へ Carry forward することにした。

8F/1059	(M.1457 改訂関連)、
8F/1065	(IP-OFDMA 関連)、
8F/1069	(M.1457 改訂関連)、
8F/1075	(IP-OFDMA 関連)、
8F/1076	(IMT.[TECH]、IMT.[EVAL]関連)、
8F/1079r1	(IP-OFDMA 関連)、
8F/1094	(M.1457 改訂関連)、
8F/1117	(M.1457 改訂関連)、
8F/1118	(M.1457 改訂関連)、
8F/1129	(IMT.[TECH]、IMT.[EVAL]関連)、
8F/1155	(IMT.[TECH]、IMT.[EVAL]関連)、
8F/TEMP/479r3	(M.[IP CHAR]関連 Liaison)
8F/TEMP/486	(M.1457 Roadmap)
8F/TEMP/495	(M.[IMT.EVAL] Working Document)
8F/TEMP/496	(M.[IMT.TECH] Working Document)
8F/TEMP/505	(IP-OFDMA に関する Web 関連)
- 9) Bookshelf に入れた Document。
無し

5. 2. 1 SWG M.1457 & Q.223

(1) 議長 : Uwe Lowenstein (独) (Acting Chair)

(2) 主要メンバー : 森、佐藤(孝)、石田、白石、吉野、古川、中村、新井田、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、庄納、広瀬、堤、石川、eAccess、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、豪、Finland、NZ、ロシア、ETSI,IEEE, WiMAX Forum 他全 200 名程度

(3) 入力文書 : 8F/1043 (WP4B : IP CHAR 関連の WP4B の活動内容紹介),
8F/1051 (BR/OMA : IP CHAR への提案),
8F/1052 (WP8A : IP CHAR 関連の WP8A の検討結果報告),
8F/1059 (ETSI : Roadmap 及び M.1457 第 8 版改訂に対する TDMA FDMA の改訂意思表明),
8F/1063 (WP8D : IP CHAR 関連の WP8D の活動内容紹介),
8F/1064 (IEEE : IP CHAR の内容合意),
8F/1065 (IEEE : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案)
8F/1069 (ATIS : M.1457 第 8 版改訂に対する TDMA SC の改訂意思表明)
8F/1072 (独 : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1075 (WiMAX Forum : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案)
8F/1079r1 (WiMAX Forum : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案)
8F/1082 (イスラエル : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1094 (BR/TIA TR45.5 : Roadmap、Section 5.2.1 改定案及び M.1457 第 8 版改訂に対する TDMA FDMA の改訂意思表明)
8F/1099 (米 : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1107 (カナダ : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎と Evaluation Group 作成報告)
8F/1113 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : IP CHAR の内容合意)
8F/1116 (英 : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1117 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : M.1457 第 7 版改訂に対する CDMA DS 及び CDMA TDD の改訂内容概要)
8F/1118 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : M.1457 第 8 版改訂に対する CDMA DS 及び CDMA TDD の改訂意思表明)
8F/1119 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : M.1457 Roadmap),
8F/1120 (ブラジル : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1121 (IEEE : IEEE の IPR Policy 報告)
8F/1126 (グアテマラ : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1127 (Cingular : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)関連 Circular Letter)
8F/1130 (メキシコ : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する歓迎)
8F/1139 (中国 : IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)の Evaluation 方法)
8F/1150 (Intel, Motorola : Circuit Voice 関連)

(4) 出力文書 : 8F/TEMP/478r3 (Report M.[IP.CHAR]に向けた Working Document),
8F/TEMP/479r4 (IP.CHAR に関する WP8A 及び外部団体への Liaison),
8F/TEMP/484r3 (IP-OFDMA に関する Circular Letter),
8F/TEMP/486 (M.1457 の改訂 Roadmap),
8F/TEMP/504r1 (IEEE 及び WiMAX Forum に対する Liaison),

8F/TEMP/505 (IP-OFDMAに関する Web の情報),

8F/TEMP/506r1 (SWG M.1457 Meeting Report),

(5) 審 議 概 要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は、WG-TECH 管轄既存勧告の改訂と維持、及び TECHNOLOGY に関する他部門との連携、及び Question に対する検討である。既存勧告とは、M.1457 (IMT-2000 詳細無線インタフェース仕様)、M.1079 (QoS 要求条件)、および M.1580/M.1581 (基地局／端末の不要輻射規定)であり、今回合会では M.1457 改訂に関する論議、及び Question 223 に関する検討が実施された。

(5-2) 審議概要と主要結果

M.1457 の既存無線インタフェースに関しては、8F/1059 により ETSI より Section 5.5 (TDMA FDMA)に関する Roadmap の Update 案と第 8 版に向けての改訂意思が、8F/1069 により ATIS から Section 5.4 (TDMA SC)の第 8 版に向けての改訂意思、8F/1094 により 3GPP2 から Section 5.2 (CDMA MC)に関する Roadmap、第 7 版に向けての Section 5.2.1 改定案及び第 8 版に向けての改訂意思が、8F/1117,1118 及び 1119 により 3GPP から Section 5.1 (CDMA DS)及び Section 5.3 (CDMA TDD) に関する Roadmap、第 7 版に向けての変更概要及び第 8 版に向けての改訂意思が示された。これにより第 23 回合会に向けて全ての陸上無線インタフェースが第 8 版改訂を行う事となった。又、第 7 版改訂の原案については次回合会での入力を持って作成することとし、今回合会では Roadmap の改訂のみを Drafting Group で行うことに決定した。DG は ETSI の Günter Kleindl 氏の Chairing で行われ、TDMA SC を除く各無線インタフェースからの入力を基に更新し、TEMP/486 として纏めた。本 Roadmap は Chairman's Report に添付され、次回合会に Carry Forward される。

M.1457 の新規無線インタフェースに関しては、8F/1065 により IEEE、8F/1075 及び 1079r1 により WiMAX Forum から IP-OFDMA という名称で 802.16 方式が提案され、又それに付随して 8F/1121 により IEEE から IEEE の IPR Policy が ITU-R Resolution に準拠している旨の報告があった。本提案には 8F/1072(独)、8F/1082(イスラエル)、8F/1099(米)、8F/1116(英)、8F/1120(伯)、8F/1126(グアテマラ)、8F/1130(墨)から歓迎及び 2 回の合会で評価を行う事を求める寄書が、8F/1107 によりカナダから歓迎及び Evaluation Group を立ち上げたとの報告が、又口頭で仏が次回合会に歓迎の寄書入力を行うとのコメントがあった。本提案に対しては、8F/1139(中国)を含めて全て 8/LCCE/95 及び 8/LCCE/47 の手順に従って評価を進めることを推奨しており、両 Circular Letter の Procedure の確認から開始した。

又、評価に向けて Cingular が 8F/1127 にて Circular Letter を発出することを提案し、新規無線インタフェースに関する提案を受理したこと、及び外部団体を含め Evaluation の実施を要請する Circular Letter を Drafting Group を設けて討議した。本 DG は中国の Hu Wang 氏の Chairing で実施され、Evaluation Group の ITU への登録は 3 月 2 日までを奨励すること、評価 Report は次回合会入力締め切り(5 月 16 日)以前の 5 月 8 日までを推奨すること、及び ITU メンバ以外の Evaluation Group のために Web Site を設ける事等が決定した。又、提案元より 3 月中旬に Workshop 開催の提案があり、Sector Member からは中間合会についてこれを計画しているとの発言があった。

尚、文書の記載において、無線インタフェースの名称、及び新 Section とすることは未だ決定ではないとの意見が DG、SWG、WP8F Plenary において中国及び Qualcomm から表明されたが、第 6 の無線インタフェースとなるかは評価 Step が全て完了した時点で決定するとの認識の下に、6 つめの無線インタフェース提案という文言及び入力元が提案した"IP-OFDMA"の名称を使用して文書は作成することで合意した。本 Circular Letter は TEMP/484r2 として承認され、発出される。又 Web に関する情報は TEMP/505 として作成し、本文書は Chairmans' Report に添付して Carry Forward される。尚、本無線インタフェースの提案は次回で評価が完結すれば勧告

M.1457 への盛り込み可否が決定する。

又新規無線インタフェース提案に関連して Intel, Motorola より 8F/1150 において Circuit Voice の扱いは機能、QoS 等の条件を充たせば回線交換網上で実現する事は必須ではない旨の入力があった。本寄書に関しては紹介のみで特に討議は行われなかった。

IP applications over mobile systems に関する Question 223 1/8 に関しては、今回会合で WP8F としては Report M.[IP CHAR]を完成する予定になっており、8F/1052 で WP8A からの Review 結果入力、8F/1064 で IEEE、8F/1113 で 3GPP から現在の内容に満足しておりこのまま完成することを支持する入力、8F/1051 で BR 経由 OMA から内容追加の提案があった。又その他に WP4A 及び WP8D から各々の WP の研究内容を紹介する入力寄書があった。

Report M.[IP CHAR]に関しては Drafting Group を設けて討議することとなり、Chair には Editor である吉野氏を選ばれた。DG では各寄書に対する検討 Review 及び Working Document の Review を行い Appendix 4 の Editorial Error (参照している 3GPP2 Spec が重複)を修正して Document を 8F/478r3 に完成させた。本 PDN Report の名称は、米国からの提案により” Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems”と”land”の記載が追加されている。本文書は WP8F Plenary では承認され、TEMP/479r4 で作成した Liaison に添付されて WP8A 及び外部団体に送付される。6 月の WP8A 会合で再 Editorial Check を実施し承認の後、SG8 に諮られる予定で有る。

(6) 今後の課題：

勧告 M.1457 の第 7 版改訂に関しては、ARIB/TTC は CDMA DS/MC/TDD の Stakeholder SDO として内容チェック及び必要書類を期日までに提出する必要がある。

IP-OFDMA に関しては国内の Evaluation Group に関して、その是否、体制、作業方法・スケジュール等を早期に決定する必要がある。

5. 2. 1. 1 DG IP-CHAR

(1) 議長：吉野 仁 (日)

(2) 主要メンバー：Kleindl (奥)、Zhang、Wang (中国)、石川全 5 名

(3) 入力文書：8F/1043 (WP4B : IP CHAR 関連の WP4B の活動内容紹介),
8F/1051 (BR/OMA : IP CHAR への提案),
8F/1052 (WP8A : IP CHAR 関連の WP8A の検討結果報告),
8F/1063 (WP8D : IP CHAR 関連の WP8D の活動内容紹介),
8F/1064 (IEEE : IP CHAR の内容合意),
8F/1113 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : IP CHAR の内容合意)

(4) 出力文書：8F/TEMP/478r3 (Report M.[IP.CHAR]に向けた Working Document),
8F/TEMP/479r4 (IP.CHAR に関する WP8A 及び外部団体への Liaison),

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG の所掌は、Report M.[IP CHAR]の WP8F としての完成文書作成と共同開発を行っている WP8A 及び外部団体に向けた Liaison の作成である。

(5-2) 審議概要と主要結果

前回会合及びその後開催された WP8A で検討された Working Document (8F/1052 添付文書)に対しては、IEEE (8F/1064)及び 3GPP (8F/1113)から本内容に対して合意し、このまま完成させることを求める入力があった。

又、WP4B (8F/1043)及び WP8D (8F/1063)からは各々の Working Party における関連作業の報告がなされた。
BR 経由で入力された OMA 寄書(8F/1051)は関連する OMA 仕様の番号情報を連絡したものであり、本寄書の扱いについてまず討議を行った。

結論として、3GPP と OMA は密接に連絡を取りながら仕様開発を行っており、提案された OMA 仕様の内容は 3GPP から従来提案された内容が包含しているとの認識となり、記載の追加・変更は実施しないこととなった。

最後に Working Document の Editorial Check を文書全体に実施し、3GPP2 からの入力を掲載した Appendix 4 中の Spec 一覧に Spec 名の重複が発見されたため、一方を削除した。その他変更が必要な箇所は無く、前記 Editorial な変更を盛り込んで TEMP/478r3 として最終文書化した。

尚、本 Document は 6 月の WP8A で最終 Editorial Check を実施後 SG8 に諮られるため、Preliminary の記載をどう扱うかについては DG Chair が事務局に問い合わせる事となった。

尚、本文書を添付して WP8A 及び外部団体に送付するための Liaison を作成し、TEMP/479r4 とした。ここでも SG8 に対して求める行為の表現として Approval か Adoption かが不明であるため、これも DG Chair が事務局に確認することとなった。

上記 2 つの TEMP 文書は SWG、WG 及び Plenary に諮られ、Editorial な変更を加えた上承認された。WP8F における本 Report 及び Question 223 1/8 に関する作業は今会合で完了した。

5. 2. 1. 2 DG Roadmap M.1457

(1) 議長：Günter Kleindl (奥)

(2) 主要メンバー：Peter Nurse (米)、3GPP、石川全 4 名

(3) 入力文書：8F/999 Att.6 (第 19 回会合報告),
8F/1059 (ETSI : Roadmap 及び M.1457 第 8 版改訂に対する TDMA FDMA の改訂意思表明),
8F/1094 (BR/TIA TR45.5 : Roadmap、Section 5.2.1 改定案及び M.1457 第 8 版改訂に対する TDMA FDMA の改訂意思表明)
8F/1119 (Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola, Nokia, Siemens, TILAB : M.1457 Roadmap)

(4) 出力文書：8F/TEMP/486 (M.1457 の改訂 Roadmap)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG の所掌は、勧告 ITU-R M.1457 の各無線インタフェースに関する今後の開発 Roadmap の更新である。

(5-2) 審議概要と主要結果

前回会合で Roadmap が更新されなかったため、第 19 回会合報告に添付されたもの(8F/899 Att. 6)をベースとして変更作業を実施した。

CDMA DS/MC/TDD 及び TDMA FDMA の各インタフェースから入力された Roadmap の変更提案を反映させ、一つの文書として纏めたものを入力寄書の提案と差異がないかを確認し、TEMP/486 として完成させた。

本 Roadmap は SWG 及び WG にて報告され、第 21 回会合報告に添付される形で次回会合に Carry Forward される。

(6) 今後の課題：

次回会合においても Roadmap の更新を求める入力寄書があった場合には同様に作業を実施する。

5. 2. 1. 3 DG—Circular Letter

(1) 議長：Hu Wang (中)

(2) 主要メンバー：森、佐藤(孝)、石田、白石、吉野、古川、中村、新井田、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、庄納、広瀬、堤、石川、eAccess、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、豪、Finland、NZ、ロシア、ETSI, IEEE, WiMAX Forum 他全 200 名程度

(3) 入力文書：8F/1065 (IEEE：IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案),
8F/1075 (WiMAX Forum：IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案),
8F/1079r1 (WiMAX Forum：IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)に関する提案),
8F/1127 (Cingular：IMT-2000 新規陸上無線インタフェース(IP-OFDMA)関連 Circular Letter)

(4) 出力文書：8F/TEMP/473r2 (Circular Letter 8/LCCE/95 及び 8/LCCE/47 の理解のための文書),
8F/TEMP/484r3 (IP-OFDMA に関する Circular Letter),
8F/TEMP/505 (IP-OFDMA に関する Web の情報)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG の所掌は、IMT-2000 陸上無線インタフェースへの新規提案に関する今後の作業の一環としてその受理の報告と Evaluation Group の作成要請を外部団体を含め連絡する Circular Letter の作成である。

(5-2) 審議概要と主要結果

まず、SWG M1457 & Q223 の Acting Chair より新規無線インタフェースの追加を含む M.1457 の改訂方法を記述した Circular Letter 8/LCCE/95 及び 8/LCCE/47 の内容を抜粋した資料(TEMP/473)が提示された。本資料は本来討議のみに使用する用途であるが会議場における Dropbox が上手く機能しないため、便宜的に TEMP 文書としての作成となった。

まず、本文書の用途の確認から行われ、従来の Circular Letter の手順を抜粋したものでありこれらを置き換える目的では無い事が確認され、その旨が記載された。

提案の取り扱いに関して、中国が 8/LCCE/95 の記載を引用して新規 Section として検討するのか従来 Section との統合を検討するのかから討議を始めるべきであるとの主張を行い、“determination / direction towards the enhancements of existing IMT-2000 RTT (can be concluded further the process)” の記載が追加された。

Circular Letter 記載の手順の確認の後、Cingular からの寄書(8F/1127)を基として DG Chair が新規無線インタフェース提案の受理の報告と Evaluation Group の作成要請を記載した Circular Letter 案を作成し、内容の討議を行った。

まず、送付対象として Administration、ITU-R の Sector Member, SG8 の Association Member と同時に ITU メンバ以外の外部団体も含むことが確認された。

次に Evaluation Group の ITU への登録について議論となり、これは外部団体が評価結果を ITU に入力するためには必須の規定であるが、この期限についてこれが ITU メンバに対しても必須か否かが討議された。結論として WP8F としては Evaluation Group として登録を行っていない ITU メンバが次回会合に評価結果を寄書入力した場合にこれを議論の対象から除外出来ないことから Evaluation Group の登録は 3 月 2 日までに行うことが奨励されるという扱いとなった。

又、評価結果の提出に関しては次回会合の入力期限以前に期限を設けることが提案されたが、これも上記と同様な理由から 5 月 8 日までに入力することを推奨するとの扱いとなった。

尚、外部団体からは今回の提案入力を含む ITU の Document 類を見ることが出来ないため、本提案の Evaluation 用として特別な Web Site を設ける事に合意し、8/LCCE/95,8/LCCE/47 の両 Circular Letter、提案入力である寄書 8F/1065,1075 及び 1079r1 とカナダが作成した Evaluation Group の情報入力寄書 8F/1107 を掲載することとなった。本 Web の内容は TEMP/505 として纏められている。

Circular Letter の骨格が決まった時点で各々の記述の検討を行い、前述の TEMP/473 に関する扱いが再度討議となった。中国はこれを Circular Letter に添付することを主張。これは前述の"determination / direction towards the enhancements of existing IMT-2000 RTT (can be concluded further the process)" の記載があることが理由であり、これに対しては基となっている Circular Letter 以外の Document を添付することは混乱を招き、又当該記載は TEMP/473 の基と成っている 8/LCCE/95 から抜き出してきたものであるため不要であるとの結論となった。

又、5 月 8 日に推奨されるものは評価レポートのみか新規無線インタフェース提案に関する寄与文書全てか、名称として提案された"IP-OFDMA"を使用する事の是非、meeting "x"、"x+1"の記載の是非等も記述の検討時に議論となったが、結論として 5 月 8 日の対象となるものは評価レポートのみ、"IP-OFDMA"の名称は Footnote 付きで使用、meeting "x"等の表現は 8/LCCE/95 に記載されているため使用すると結論となった。

尚、中間会合の可能性についても記載され、Evaluation Group は提案元よりが言及した 3 月中旬の Workshop 以外に Evaluation に関する中間会合の Host をすることも併せて検討して欲しいとの記載も追加された。

本 Circular Letter 案は SWG\WG 及び Plenary での修正を経て TEMP/484r3 として承認され、BR から発出される。

(6) 今後の課題：

本 DG の所掌は完了したため、今後の作業は無い。

5. 2. 2 SWG Radio Aspects

(1) 議長：Marc Grant(米)

(2) 主要メンバー：森、吉野、吉井、中村、庄納、菅田、森脇、坂本石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、イタリア、フランス、スウェーデン、Finland、NZ 他全 40 名程度

(3) 入力文書：8F/1076 (NZ：無線インタフェースの要求条件),
8F/1086 (日本：M.[IMT.TECH]の作業文書案),
8F/1088 (日本：M.[IMT.TECH]の Micro Workplan),
8F/1100 (米国：無線インタフェースの要求条件),
8F/1124 (スウェーデン：M.[IMT.TECH]の Micro Workplan),
8F/1129 (カナダ：無線インタフェースの要求条件),
8F/1140 (中国：無線インタフェースの要求条件),
8F/1141 (中国：無線インタフェースの要求条件),
8F/1143 (中国：Evaluation Criteria に関する提案),
8F/1144 (中国：無線インタフェースの要求条件),
8F/1145 (中国：M.[IMT.TECH]の Text 案),
8F/1146 (中国：MIMO),
8F/1148 (Ericsson, Nokia, Siemens：MIMO)
8F/1149 (Ericsson, Nokia, Siemens：Channel Model)
8F/1151 (Ericsson, Nokia, Siemens, FT：無線インタフェースの要求条件)
8F/1152 (Ericsson, Nokia, Siemens：無線インタフェースの要求条件)
8F/1155 (Lucent, Huawei, Nokia, Siemens, Samsung：無線インタフェースの要求条件),

8F/1084 (仏: Parameters)

- (4) 出力文書: 8F/TEMP/495 (勧告/Report M.[IMT.EVAL]に向けた Working Document)
8F/TEMP/496 (勧告/Report M.[IMT.TECH]に向けた Working Document)
8F/TEMP/497 (SWG Radio Aspects Meeting Report),

(5) 審議概要:

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG は、無線関連のレポートおよび勧告の作成を所掌として設立された。対象となるのは、レポート草案 M.[IMT.TECH]、勧告草案 M.[IMT.RADIO]、勧告草案 M.[IMT.GCS]である。今回合合ではレポート草案 M.[IMT.TECH] 及び新規 Document に関する議論が行われた。

(5-2) 審議概要と主要結果

前回合合で IMT-Advanced の無線インタフェース提案募集のための Circular Letter に関連する Document を最優先で作成することが合意され、AH-CL から WG-TECH に割り振られた項目は Annex 4 (Technology 関連の要求条件)、Annex 6 (提案ガイドライン及び Template) の Technology 関連部、Annex 7 (Evaluation Criteria 及び Test Model) の Technology 関連部及び Annex 8(関連 ITU Document) の Technology 部であることから、現状開発予定であるレポート M.[IMT.TECH]と当該 Circular Letter の関係を含め、その Scope 及びスケジュールから討議を開始した。

日本は現状開発予定である Document が M.[IMT.TECH]のみであるため、M.[IMT.TECH]を Annex 4、Annex 6 及び Annex 7 の全ての内容を包含することを提案、カナダは Annex 4 対応の文書、中国は Technology Enablers を記述し、Annex 4 の要求条件は Text のみの作成で可、Annex 7 の Evaluation は別 SWG を作成して行うとの意見、Ericsson 等欧州は Evaluation Criteria として M.[IMT.EVAL]を新規に作成することを提案した。

これらの文書は AH-CL 及び AH-Workplan と密接に関連するため、両 AH 合合での議論を反映させて討議した結果、M.[IMT.TECH]は Annex 4 に対応する要求条件を中心に記述する文書、Annex 7 に対しては新規文書として M.[IMT.EVAL]を作成することが決定した。

これに伴い M.[IMT.TECH]の Micro Workplan の修正を行い、第 23 回合合を完成時期とすること、要求条件を記述するものであるため外部団体からの入力を要請しないこと等日本の提案が反映されたが、中国は Technology Enabler の記述を Scope に入れる事を主張し、暫定的にその記載も現状の Micro Workplan には残っている。

M.[IMT.TECH]の Working Document は日本からの入力寄書 8F/1086 をベースに中国、カナダ、米国等が Annex 4 用に Text 入力してきたものを反映させ、日本が Acting Editor として TEMP/496 に纏め次回合合に Carry Forward した。本 Working Document は中国が入力した個々の Technology Enabler に関する説明文書を Appendices にまわし、本文は要求条件のみを記載することで各国と調整し合意した。今回合合では要求条件の内容に関する深い議論にまで入れなかったため本来は無線インタフェースの要求条件にそぐわない Network Topology 等の記載も含まれ、又条件として数値を提案して来たカナダ寄書(8F/1155)等は次回合合まで Carry Forward されている。

Evaluation Criteria に関しては、Micro Workplan を作成し、完成時期を第 24 回合合と設定した。又 Scope 等は欧州、日本からの提案をマージした形で作成した。M.[IMT.EVAL]の Working Document は勧告 ITU-R M.1225 の形式を踏襲し、Channel Model/Test Model を含め提案してきた Ericsson 等欧州の入力を基に作成することが提案され、日本提案も M.1225 の形式をベースとしていること及び具体的な Channel Model/Test Model 等を今回提案していないことからこの方針に同意した。Working Document は TEMP/495 として作成され、次回合合に Carry Forward された。

尚、上記の作業状況を纏めると同時に寄与文書から関連 ITU 文書(Annex 8)を抜き出し、AH-CL への報告を日本が作成した。この報告は AH-CL の出力文書 TEMP/474r3 に反映されている。

この他 WG-SPEC 側に入力された仏の IMT-Advanced の Parameter に関する寄書 8F/1084 については、Sharing Study のみに使用することを目的としておりこの値に IMT-Advanced の無線インタフェース候補が縛られるもの

ではないとの内容であったため、WG-SPEC SWG-Sharing 側担当者と打合せの上 SWG にて当該 Parameter を Sharing Study に使用しても問題は無いとの認識を日本から表明し SWG では反対無く承認された。

(6) 今後の課題：

M.[IMT.TECH]に関しては次回更に深く要求条件が討議されると共に、数値目標も討議されることが想定される。日本からも再度要求条件に関する寄書を入力する必要がある。

M.[IMT.EVAL]に関しては、欧州が Channel Model を含め提案しているため、日本からこの分野で入力できる提案があるかも含め、入力を検討する。

又、Annex 6 をどちらの文書に含めるべきかについて国内で認識を合わせる必要がある。

5. 3 WG-SPECTRUM

(1) 議長：F.Soares(伯)

(2) 主要メンバー：英、仏、独、フィンランド、ルクセンブルグ、露、米、加、伯、中、韓、豪、ニュージーランド、エリクソン、アルコム、インテル、WiMAX Forum、アルカテル-セント、インテルサット、インマルサット、アジアサット、森、佐藤(孝)、石田、小松、菅田、佐藤(一)、古賀、三浦、外山、本多、森脇、吉野、新、古川 全 150 名程度

(3) 入力文書：Doc.8F/

①PL：1053(WP8A), 1073(WiMAX-F), 1078(チャイナモバイル), 1084(仏), 1108(UAE), 1152(シーモス等), 1162(カメルーン), 1163(North American Broadcasters Association;NABA)

②SDG SPEC CL：1103(日本), 1124(スウェーデン), 1141(チャイナモバイル), 1152(シーモス等)

③SWG Sharing：

- 450M：1066(WP8B), 1093(日), 1111(WP8B), 1114(加), 1133(450Association), 1138(ルセントアルカテル等)
- DVB：1056(WP8A), 1077(豪), 1115(加), 1153(フランステレコム、エリクソン)
- Radar(2.7GHz)：1068(WP8B), 1097(米), 1156, 1158(エリクソン)
- Radar(3.4GHz)：1057(WP3K,3M), 1067(WP8B), 1087(日), 1095, 1096(米), 1110(WP8B)
- FSS/FS：1048(WP4A), 1089, 1091, 1092(日), 1102(米), 1109, 1112(インテルサット), 1123(仏), 1125(加), 1135, 1137(韓), 1142(アジアサット), 1154(フィンランド等), 1163(NABA)
- BWA：1080(チャイナモバイル), 1081(MBWA-CG), 1104(加), 1131(インテル), 1132(BWA-CG), 1136(インテル)
- その他：1047(ITU BR), 1049(WP3M)

(4) 出力文書：Doc.8F/TEMP/

Doc.8F/temp/

485R2(WP3M への LS：FSS 共用検討における短期間伝播メカニズム)

487(WP3K への LS：2500-2690MHz 帯 BWA 関連共用検討に使用する伝播モデル)

488R1(2700-2900MHz 帯レーダー関連共用検討に関するコンセンサスフォーラム(CF)の ToR)

489R2(WP3M、3K、8A への LS：3400-3700MHz 帯におけるレーダー関連共用検討に用いる伝播モデル)

490R1(2700-2900MHz 帯レーダー関連共用検討 PDN Report/Recommendation に向けた作業文書)

491R1(3400-3700MHz 帯レーダー関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

493(DG SPEC CL 議長レポート)

494(CL の SPEC 関連部分(Annex5-8)のテキスト案)

498R1(2500-2690MHz 帯 MBWA 関連共用検討に関する CF の ToR)

499R1(2500-2690MHz 帯 MBWA 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

500R1(450MHz 帯共用検討 PDNR に向けた作業文書)

507(FSS 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)
 508R1(2500-2690MHz 帯 Fixed/Nomadic BWA 関連共用検討に関する CF の ToR)
 509(2500-2690MHz 帯 Fixed/Nomadic BWA 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)
 510(DVB 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)
 511R1(WP6E への LS : 470-806/862 MHz 帯における放送との共用検討への Invitation)
 512R1(SWG Sharing 議長レポート)
 519(WG SPEC 議長レポート)

(5) 審議概要:

(5-1) 所掌と経緯

本 WG は、IMT-2000、IMT-Advanced の周波数全般に関連する事項についての検討を行うことを所掌としている。本会合では、共用検討に関連する事項を SWG Sharing、Circular Letter の Spectrum 関連事項を新設した DG SPEC CL において検討した。

(5-2) 体制

SWG の構成は下記の通り。

GROUPS	CHAIRPERSON	TOPIC
SWG Sharing Studies	Dr. Jamieson (ニュージーランド)	共用検討
DG SPEC CL	Mr. Wiewec(エリクソン)	Circular LetterのSpectrum関連事項の検討

(5-3) 審議概要と主要結果

① Sharing 関連作業文書について

(i)FSS 関連

- 日、仏、韓と、FSS 保護派（米、加、露、ルンペンブルグ）、衛星事業者間で、FSS 展開状況、FSS 地球局用国際調整、干渉軽減技術に関する記述等について意見が激しく対立。最終的に、作業文書のまま次回会合にキャリアフォワードされた(Temp/507)。また、FSS の長区間、短区間保護基準について、WP3M にリゼン文書 (Temp/485R2) を送付し、見解を求めることとした。
- 日本から入力した 3 件の寄与文書に関しては、以下のような状況となっている。
 - 作業文書全体の改訂提案：序論、新たな共用検討結果は、作業文書に含まれた。
 - 場所率の概念を導入した IMT と FSS の共用検討：干渉軽減技術の章に取り込まれたが、審議が十分でないとして、[]付として含まれている。
 - FSS の長区間、短区間の保護基準の取り扱い：1 つの見解として作業文書に取り込まれたが、FSS の保護を主張する立場の見解とともに、[]付きのまま、両論併記されている。

(ii)Radar 関連

- 3.4-3.7GHz 帯については、日米の検討結果を併記する形でまとめられ、レポートとして作成することが合意された (Temp/491R1)。
- 日本の主張した伝播モデルの妥当性については同意を得られず、日本の検討結果に“本検討は WP3M&3K が適当とする P.452 を使用していない。幾つかの主管庁はこれを指示したが他の主官庁が異なる見解を持っている”との Note が付記され、再度、WP3M&3K 及び WP8A にリゼンを出すことになった (Temp/489R2)。
- また、日本は、米の離隔周波数検討に用いたレーダー保護基準の時間率 (0.001%) が、ITU で規定されたものでなく根拠がないと主張したが、米は“レーダーは人命に関わるので低い値が要求される、日本の 50%も根拠

がない”と主張し、それぞれの値について“数値の根拠について明らかにする必要がある。”との Note が追加された。

- 2.7-2.9GHz 帯については、米、イリクソ等が中心となって審議を行い、審議継続となった (Temp/490R1)。また、審議を継続するため、コレクティブ・フォーラムが作られることとなった (Temp/488R1)。

(iii)450MHz 関連

- 前回会合での作業文書を基に議論が行われ、審議継続となった (Temp/500R1)。IMT-2000 とレダー間の共用検討について補足および追記をした。WP8B へ確認を求めるため、次回京都会合でリエゾンを作成予定。
- 日本寄書については、審議の結果、作業文書への反映が承認され、また、当該項目の結論において、日本の状況を Note し、ITU-R の衛星データベースに基づく調査を考慮した上で、共用検討は不要という結論に改訂した。気象衛星の件は、国内問題として必要に応じて共用検討を行うことになる。

(iv)DVB 関連

- 前回会合での作業文書に基づき議論を行った。独、豪、イリクソが中心となって審議が進められたが、未だ作業文書全体の半分以上が未審議状態で、継続審議となった (Temp/510)。

(v)BWA 関連

- Fixed/Nomadic は、今会合で作業完了予定だったが、コレクティブ・フォーラムの結果が今会合への入力に正しく反映されていないというアルムからの意見により、前回会合の結果を詳細にレビューしたこともあり、作業が終わらず次回に先送りとなった (Temp/509)。
- Mobile については、前回会合での結果をレビューした程度に留まった。本件も、次回以降に継続審議となっている (Temp/499R1)。審議を進捗させるため、前回同様コレクティブ・フォーラム (CF) を設置することとなり、ToR が作成された (Temp/498R1)。

② Circular Letter(Spectrum 関連)作業文書について

- AH-CL の決定に従い、Circular Letter の Spectrum 関連の文書を作成するための新たな DG SPEC CL (議長 Mr. L.WIEWEG (イリクソ)) が、WG SPEC 配下に設置された。本 DG の検討項目は、Circular Letter の Annex5 (Spectrum requirements)を作成すること、及び、Annex6 ~8 の Spectrum 関連テキストの作成である。
- 今会合では、あまり深い議論を行わずに、各国寄書から関連するテキストを集め、次回以降に向けた作業文書の雛形を作成することとなった。日本寄書 Doc.8F/1103、及び 1141 (中国)、1152(シムス等)を基に審議が進められ、Annex5 の作業文書、Annex6~8 の Spectrum 関連テキストが作成された。
- 今会合で作成された作業文書は 8F/TEMP/494 として次回会合に持ち越される。本作業は、第 23 回 WP8F 会合の火曜日までに完了する予定となっている。

③Carried Forward 文書

- DG SPEC CL : Doc.8F/temp/494(CL の SPEC 関連部分(Annex5-8)のテキスト案)

- Sharing :

Doc.8F/temp/

490R1(2700-2900MHz 帯レダー関連共用検討 PDN Report/Reccomendation に向けた作業文書)

491R1(3400-3700MHz 帯レダー関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

499R1(2500-2690MHz 帯 MBWA 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

500R1(450MHz 帯共用検討 PDNR に向けた作業文書)

507(FSS 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

509(2500-2690MHz 帯 Fixed/Nomadic BWA 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

510(DVB 関連共用検討 PDN Report に向けた作業文書)

Doc.8F/1030(Telstra Corporation Ltd), 1102(米), 1109(インテルサット), 1110(WP8B), 1112(インテルサット), 1115(加),

(6) 今後の課題：

- ・ 共用検討については、次回会合で、新 Report 草案を完成させる必要があり、日本の候補帯域について適切な結論となるように、積極的に対応を行う必要がある。特に、FSS 及び Radar については、次回会合で、相反する 2 つの見解を適切に収めるための筋道を考慮し、新たな寄与文書を入力して引き続き積極的な対応を行なう必要がある。
- ・ Circular Letter については、Spectrum 関連事項について適切な内容となるよう積極的に寄与する必要がある。

5. 3. 1 DG SPECTRUM CIRCULAR LETTER

- (1) 議長：L.Wiewec(エリクソン)
- (2) 主要メンバー：米、仏、独、フィンランド、伯、中、石川、古川、全 15 名程度
- (3) 入力文書：Doc.8F/1103(日), 1124(スウェーデン), 1141(中), 1152(Siemens 等)
- (4) 出力文書：8F/TEMP/

493(DG SPEC CL 議長レポート)

494(CL の SPEC 関連部分(Annex5-8)のテキスト案)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、AH-CL の決定に従い、Circular Letter の Spectrum 関連の文書を作成するための DG として、WG SPEC 配下に設置された。本 DG の検討項目は、Circular Letter の Annex5 (Spectrum requirements)を作成すること、及び、Annex6 ～8 の Spectrum 関連テキストの作成である。

DG 議長は、Mr.L.Wiewec(エリクソン)が務めることとなった。

(5-2) 審議概要と主要結果

本 DG は、会期中に 2 回開催された。また、事前に寄書を入力した国と議長との間での非公式の意識あわせも行った。

非公式意識あわせでは、関連する寄書を入力した日本、中国、WINNER 関係者(フィンランド、ノキア等)で作業分担等を議論した。その結果、CL Annex5,6 については WINEER 寄書(Doc.8F/1152)をベースにして Nokia が、Annex7 については中国寄書(Doc.8F/1141)をベースに中国が、Annex8 については日本寄書(Doc.8F/1103)をベースに日本が、それぞれリーダーとしてたたき台を作成し、第 1 回 DG へ持ち寄ることとなった。

DG 会合では、最初に上記入力寄書の説明のほか、DG 議長からの素案ということで事前意識あわせの結果を各リーダーが説明してから議論を行った。主な議論としては、周波数割当に関連する詳細な背景情報(中国寄書から引用したテキスト、IMT.ESTIMATE や IMT.CANDI から引用されているもの。)を Annex5 に記載する必要性や、中国が自国寄書から引用した Evaluation に関するテキスト案が、Annex7 の内容にふさわしくないのではないか、等があった。

しかし、本 DG は、今会合で設立されたということもあり、今会合では、あまり深い議論を行わずに、完成度は低くても、次回 WP8F 会合に向けた作業文書の雛形を作成するということに注力するという事で合意し、最終的に、Annex5 の作業文書、Annex6～8 の Spectrum 関連テキストが作成された。今会合で作成された作業文書は 8F/TEMP/494 として次回会合に持ち越される。本作業は、第 23 回 WP8F 会合の火曜日までに完了する予定となっている。

5. 3. 2 SWG SHARING STUDIES

(1) 議長 : A. Jamieson(NZ)

(2) 主要メンバー : 米、英、仏、豪、独、露、加、伯、中、韓、Luxenburg、PanAmSat、Inmarsat、Ericsson、Intel、Qualcomm、ArrayComm、WiMAX Forum、森、佐藤(孝)、佐藤(一)、石田、古川、新、吉野、三浦、外山、吉井、菅田、古賀、本多、林、白石 全 90 名程度

(3) 入力文書 :

- CFG 報告 : 8F/1132 (BWA-CG)、1081(MBWA-CG)
- SWG-Sharing : 8F/1047(BR/SG9), 1049(WP3M), 1053(WP8A), 1073(WiMAXF), 1084(Fra)
- BWA : 8F/1045 (Att. 5.10), 967(Fra, etc), 1013(Ericsson, etc), 1073(WiMAXF), 1080(China Mobile), 1104(Can), 1131(Intel), 1132(BWA-CG)
- DVB : 8F/1045(Att. 5.8), 1056(WP8A), 1077(Aus), 1115(Can), 1153(FT, Ericsson), 1159(NDR, ZDF), 1160(Ericsson)
- FSS/FS : 8F/1045(Att. 5.7), 1048(WP4A), 1084(Fra), 1089, 1091, 1092(J), 1102(USA), 1109, 1112(Intel), 1123(Fra), 1125(Can), 1135, 1137(Kor), 1142(AsiaSat), 1154(Fin, Swe, Ger, Fra), 1163(NABA)
- MBWA : 8F/1045(Att.5.11), 914(WiMAXF), 1009(Samsung), 1053(WP8A), 1081(MBWA-CG), 1136(Intel)
- Radar : 8F/1045(Att. 5.4, 5.5), 1057(WP3K,3M), 1067,1068, 1110(WP8B), 1087(J), 1095, 1096, 1097(USA), 1156, 1158(Ericsson)
- 450MHz : 8F/1045(Att. 5.9), 1066(WP8B), 1093(J), 1111(WP8B), 1114(Can), 1133(450Association), 1138(Lucent, etc)
- Other : 1030(Telstra)

(4) 出力文書 : SWG 議長報告 : 8F/TEMP/512R1

共用検討出力文書 :

- 8F/TEMP/490R1 (2700-2900MHz 帯における Radar との共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/491R1 (3400-3700MHz 帯における Radar との共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/499R1 (2500-2690MHz 帯における MBWA との共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/500R1 (450MHz 帯における共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/507 (3400-4200MHz 帯, 4500-4800MHz 帯における FSS との共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/509 (2500-2690MHz 帯における BWA との共用検討作業文書)
- 8F/TEMP/510 (1GHz 帯未満における DVB との共用検討作業文書)

リエゾン文書 :

- 8F/TEMP/485R2 (WP3M への FSS 共用検討の短期間伝播メカニズムに関するリエゾン)
- 8F/TEMP/487 (WP3K への 2.5GHz 帯 BWA 共用検討の伝搬モデルに関するリエゾン)
- 8F/TEMP/489R1 (WP3K,3M,8A への 3400MHz 帯レーダーの伝播モデルに関するリエゾン)
- 8F/TEMP/511R1 (WP6E への DVB Methodology の共同作業に関するリエゾン)

CF 活動の所掌 (ToR) :

- 8F/TEMP/488R1 (2700MHz 帯 レーダー共用検討に関する CF 活動の所掌)
- 8F/TEMP/498R1 (2.5GHz 帯 MBWA 共用検討に関する CF 活動の所掌)
- 8F/TEMP/508R1 (2.5GHz 帯 BWA 共用検討に関する CF 活動の所掌)

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG は、周波数共用に関する事項を主要議題として第 12 回会合で設置された。前会合までに、IMT-Advanced 候補周波数帯における共用検討として DVB（1GHz 未満の周波数）、FSS/FS（3400-4200MHz 帯及び 4500-4800MHz 帯）、レーダー（2700-2900MHz 帯及び 3400-3700MHz 帯）、450-470MHz 帯に関する Drafting Group が設立され、それぞれ PDN[Recommendation/Report]に向けた作業文書を作成し、暫定的な結果を共用検討サマリーとしてまとめ、結果として Draft CPM Report に反映された。

また、2.5GHz 帯の固定系 BWA システムの Drafting Group のほか、新たに移動系 BWA システムについても共用検討を行うことが合意され、今会合までに 2 つの Correspondence group(forum)で活動が行われた。

本会合では、移動系 BWA を含む 6 つの Drafting Group を設置して検討が進められた。

(5-2) 審議概要と主要結果

第 1 回 SWG 会合において、6 つの DG(Drafting Group)の設立が承認され、詳細な議論はそれぞれの DG で行われることになった。各 DG の議長は以下の通りである。

Drafting Group 名	議長	所属
DG Sharing FSS/FS	J.P. Millet (継続)	FRA (Agence Nationale des Fréquences : 仏周波数庁)
DG Sharing Radar	小松 裕 (継続)	日本 (ソフトバンクモバイル)
DG Sharing DVB	F.Migneret (新規)	FRA (France Telecom, Orange)
DG Sharing 450MHz	C.Ruch (新規)	USA (Qualcomm)
DG Sharing BWA (2.5GHz)	R.Arefi (継続)	USA (Intel Corporation)
DG Sharing MBWA (2.5GHz)	J.Wilson (新規)	USA (ArrayComm)

第 1 回 SWG 会合（1 月 18 日木曜午前）では、CG 活動報告（BWA 及び MBWA）、入力文書の SWG 及び各 DG へのアサイン、SWG-Sharing にアサインされた入力文書のプレゼンの後、6 つの DG(Drafting Group)の設立が承認され、詳細な議論はそれぞれの DG で行われた。SWG-Sharing にアサインされた文書の扱いは以下の通り。

- ・ 8F/1047 (BR 経由、SG9) F.699-1 (アンテナパターン) の改訂の情報は、DG-BWA へ。
- ・ 8F/1049(3M) P.452 (伝播モデル) のスプレッドシートに関する情報は、各 DG でレビューするように。
- ・ 8F/1073(WiMAXF) M.2030 のエラーの件、昨日 WG-SPEC でプレゼン済み。今後リファインが必要。
- ・ 8F/1084(仏) I 仏は MT-Advanced パラメータを SWG レベルで承認するよう提案されたが、SWG 議長は困難と回答し、WG-TECH/SWG-RadioAspect に確認を求めることになった。日本より「TECH 側も初めて見るパラメータなので、直ちに適否を回答するのは困難ではないか。既に想定したパラメータで共用検討を進めており、時間がないので、そのまま使うことも有り得る。」とコメントした。
- ・ 8F/1053(8A) PDNR LMS.CHR.BWA が次回に完了する予定であるとの情報は Note された。
- ・ キャリッドフォワードされた 8F/1030(Telstar)の 2.5GHz 帯 BSS(s)に関するものは、WP8F の所掌でなく JTG6-8-9 の所掌だが JTG6-8-9 は既に終了しているとし、再度キャリッドフォワードするが、Telstar が適切なレビューを行うことが要請された。各 DG は、2 日目の 1 月 18 日木曜午後から、第 2 回 SWG 会合の 1 月 23 日火曜午後、第 3 回 SWG 会合の 1 月 24 日水曜午後まで、木、金、日、と連日精力的に開催された。今回も、DG 会合を平行に開催しない原則が適用され、早朝から夜遅くまで連続的に開催された。

第 2 回会合（1 月 23 日火曜午後）では、各 DG の進捗報告、外部へのリエゾン文書、次回会合までのコレスポネンシス・グループ活動の所掌文書について審議、承認した。各 DG の進捗報告では、DG-Radar は作業文書の更新を行い暫定勧告草案（2700MHz 帯）、暫定レポート草案（3400MHz 帯）が作成されたことが報告されたが、他の DG は翌日まで会合を継続すると報告した。また、DG-FSS から WP3M に対して Short term mechanism に関する 2 つの見解へのコメントを求めるリエゾン(8F/TEMP/485)、DG-Radar から WP3K,3M,8A に対する伝搬

モデルに対する日本の見解（WP3M&3K が P.452 を適当とし M.1652 を不適切とするリエゾンへの反論）にコメントを求め、WP8A に M.1652 における伝搬モデル（5GHz 帯のレーダーと WLAN の共用検討で用いられたもの）の 3GHz 帯での適用可能性へのコメントを求めるリエゾン（8F/TEMP/489）、DG-Radar における 2700-2900MHz 帯の共用検討のコレスポネンスグループ活動に関する所掌（ToR）文書（8F/TEMP/488）を承認した。

第 3 回会合（1 月 24 日水曜午後）では、各 DG の出力文書の確認、外部へのリエゾン文書及びコレスポネンス・フォーラムの所掌の承認、次回会合へのキャリーフォワードする入力文書の確認、次回会合への作業ガイドラインの説明が行われた。

各 DG の出力文書の文書番号とステータスを確認した。これらについて、中身の議論は SWG では一切行わず、議長報告に添付してキャリーフォワードされることだけが合意された。レーダーの出力文書について、日本より「未解決の事項が残っており、ステータスは PDNR より WD が適当」として両帯域とも Working Document に戻すことを提案し、Ericsson の支持があり、反対なく合意された。

- a. BWA 8F/TEMP/509 (PDNR)
- b. DVB 8F/TEMP/510(WD)
- c. FSS/FS 8F/TEMP/507(WD)
- d. MBWA 8F/TEMP/499(WD)
- e. Radar 8F/TEMP/490 ->R1 (2700-2900MHz, PDNR->WD)
8F/TEMP/491 ->R1(3400-3700MHz, PDNR->WD)
- f. 450 MHz 8F/TEMP/500(WD)

DG-DVB から WP6E に対する合同で共用検討 Methodology を作成しようとするリエゾン（8F/TEMP/511）は、SWG 議長より ITU の経済的理由などから合同作業への懸念、及び WP8F への参加を要請する表現の方が適当との見解が示され、表現を WP8F 議長らと相談して修正することを条件に承認した。また、次回会合までのコレスポネンス・グループ（CFG）の所掌として、CFG-BWA(8F/TEMP/508)及び CFG-MBWA(8F/TEMP/498)が承認された。

次回会合への作業ガイドラインとして、候補周波数帯の共用検討、2.5GHz 帯 FBWA 共用検討を完了させること、2.5GHz 帯 MBWA 共用検討を促進すること、現マイクロワークプランをキャリーオーバーし、新たな勧告を作成する等、さらなる共用検討が必要な場合はワークプランを改訂すること、DG を平行開催しない原則を適用すること、等が合意された。

(6) 今後の課題：

次回で候補周波数帯域における共用検討を完了させる必要があることから、日本の候補周波数帯を含む FSS/FS、レーダーの共用検討について、不利な表現が残らないように、適切に対処する必要がある。

また、伝搬モデル、Short term criteria に関し、WP3K、3M、8A に発出したリエゾンに対しても、日本に不利なリエゾンバックが返されないよう、適切に対処する必要がある。

5. 3. 2. 1 DG SHARING (DVB)

- (1) 議長：Mr. F. Migneret (France; Orange)
- (2) 主要メンバー：豪、独 NDR、カナダ、米、仏、エリクソン
- (3) 入力文書：8F/1045(議長報告 Att.5.8),
1056(WP8A：リエゾン文書),
1077(豪州：デンバーでの作業文書への根拠等の追加提案),
1115(カナダ：689MHz 付近の DVB への IMT からの隣接帯域干渉に係る離隔距離算出方法につ

いて新勧告作成提案),

1153(FT, Ericsson : DVB と UMTS 間の共用検討シナリオの相補シナリオの提供),

1159(NDR and ZDF : 作業文書への数点のコメント),

1160 (Ericsson : 作業文書への修正提案)

(4) 出力文書 : TEMP/510 : IMT-2000 と地上デジタル放送 (DVB-T と DVB-H) 間の共用検討に関する PDNR へ向けた作業文書

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

1GHz 以下の DVB システムと IMT との共用検討を扱う。

(5-2) 審議概要と主要結果

入力された文書に基づき、デンバー会合で作成された作業文書を改訂した。ドイツの NDR、豪州、エリクソンが中心となって審議が進められた。入力寄与文書を審議し、その結果に応じて作業文書に適宜反映したが、未だ作業文書全体に未審議の項目、修正すべき箇所、更なる追加情報が必要な箇所等が散在している状態で、継続審議となった。

今回、シミュレーションにおける Limitation (限界) の項目が新設され、共用検討の評価において留意すべき点を示すことになったが、現実には、多くの Limitation の条件があるものの、各主管庁によって許容条件が異なることも評価に当たり留意すべき点として追記した。

文章構造について、Limitation の情報を全体の結論において考慮、分析の項は Limitation の後に置いた。

以下に作業文書の審議において、集約を得た、あるいは共通認識化されたテーマについて記す。

・カナダの寄与文書

「689MHz 付近の DVB への IMT からの隣接帯域干渉に係る離隔距離算出方法について新勧告作成提案 (カナダ)」の寄与文書 (1115) については、現時点の新提案に多くの参加者が懸念を表明し、Report の作成に注力すべきという意見が大勢を占め、現在の作業文書とは別扱いとし、将来の作業計画に含めることとした。

また、WP6E に LS を送付し、併行して作業することとした。

・伝搬に係る時間変数

独 NDR から、「1%の時間率の伝搬損失を個々の伝搬について考慮することは、場所によって異なることから保守的過ぎで、もっと使用可能なはず」と意見があり、エリクソンも「全ての基地局に対し、同時に1%の干渉をシミュレーションに使用することについて、悲観的だ」とし、「IMT システムの基地局から DVB-T への干渉に対する評価条件として厳しすぎる、実際の干渉はそんなに大きくない」として、「シミュレーション検討から完全に除くよう」提案があった。また、干渉について、「現実には基地局から DVB-T への伝搬路の相関により、より小さいものだ」とする見解も示した。このことから、1%時間率の伝搬損失は今後使用しない方向で作業文書が纏められる。

・Scope of applicability in Limitation (限界)

豪州が大セルの概念を基本的に維持することを希望し、議論の結果、次の内容で「Limitation(限界)」の項の中の Scope of applicability の項に記述されることになった。

「より大きい IMT セルサイズでのシミュレーション計算は、当該アプローチでの共用能力の論点をより明確化するのに使用されうであろう。しかし、より大きいセルの施行が困難な場合でも、共用の可能性はある。」

・ Variations in GE-06 Plans

ドイツ NDR からの GE-06 Plan に係る以下の情報を共有した。

DVB との共用検討では、相互に共存する GE-06 割当てにおいては、総合干渉電界強度が一定と仮定されている。しかし、GE-06 は干渉制限をベースに計画されたことから、例えばより高いレベルの不要信号強度が受信されることが許容される送信機の隣接でのように、干渉レベルを超えることが許容されている。

第二に主管庁は国内や2国間相互の合意の下で、少なくとも第三者に影響しない範囲で異なる送信を許容することを選択していいことになっている。GE-06 合意の出力を分析するとこのようなケースがたくさんある。

この問題は、DVB と IMT 間の共用検討で言及されていなく、IMT への干渉レベルを増加させ、周波数共用の実行性を制限する。

このことから、次の点に留意すべきであるとした。

- 各主管庁は、GE-06 Plan の定義パラメータ値として、標準値や参照網にある値とは異なる値を採用しているため、IMT-2000 と DVB の共用検討においてシミュレーションと実際の配置の間に差異がある。
- 昨年の RRC-06 期間中における共用分析は異なる規格を使用したため、フランス提案にある数値のように、その数値の性格は参考、あるいは参照した値であって、規格値ではない。主管庁が現実を考慮し、調整して数値を運用するのが適当。

・ フランスの入力文書部分シミュレーションの全面改訂

これまでの干渉検討では SEAMCAT2 を使用したが、SEAMCAT3 の方が WCDMA に係るパラメータがより適切に反映されており、フランス提案部分について、SEAMCAT3 を用いた干渉量の検討に全面的に差し替えることとした。この差し替えに当たり、ドイツ NDR から既に審議した内容に影響がないか質問があったが、フランスおよび議長から、NDR が示した懸念は無いと明言。

また、この改訂において次の点を考慮。

- 新版では DVB-T 受信側に八木アンテナを想定し、アンテナパターンも考慮。(利得が 10dBi 高くなる)
- 離隔距離の計算には、特に短い距離の場合は、ITU-R の P.1546 は適しないので秦モデルを使用。

<参考>SEAMCAT2 と SEAMCAT3 の差異

- SEAMCAT3 の変更点は、シミュレーションシナリオは co-located で同じだが、WCDMA 機能の追加、及び IMT ベクトラムマスク及び受信機ブロッキング特性を 3GPP 仕様に基づき修正。
- IMT uplink to DVB-T への干渉量が大きく異なる。移動局数密度が 10 端末/km²⇒50 端末/km² となり、6dB 雑音レベルが上昇。

・ WP6E への LS

WP6E に対し、DVB-T と IMT-2000 間の共用検討に係る勧告の共同作成を持ちかける LS を発出することにした。

(6) 今後の課題：

- ・ 未審議の項目、修正すべき箇所、更なる追加情報が必要な箇所等が、Editor's note として作業文書全体に散在しているため、その審議を最優先で行う必要がある。

5. 3. 2. 2 DG FSS / FS

- (1) 議長：Jean-Philippe Millet (仏)
- (2) 主要メンバー：米、英、露、加、仏、中、韓、ルクセンブルク、AsiaSat、Inmarsat、Intelsat、New Skies Satellite、Ericsson、Alcatel-Lucent、新、吉野、小松、菅田、外山、三浦 全 40 名程度
- (3) 入力文書：第 20 回会合議長報告：8F/1045 Att 5.7
具体的な共用検討等（リエゾン文書含む）：
8F/1048 (WP4A)、1084 (仏)、1089、1091、1092 (日)、1102 (米)、1109、1112 (Intelsat)、1123 (仏)、1125 (加)、1135、1137(韓)、1142 (Asiasat)、1154 (フィンランド、仏、独、スウェーデン)、1163 (NABA)
- (4) 出力文書：共用検討作業文書：
8F/TEMP/507 (FSS 関連検討 PDN Report に向けた作業文書)
リエゾン文書：
8F/TEMP/485R2 (WP3M へのリエゾン文書)
キャリーフォワード文書：
8F/1102 (米)、1109、1112 (Intelsat)、1125 (加)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG の議長は第 19、20 回会合に引き続き、Millet 氏(仏)が務めることとなった。本 DG の主な所掌は、3400-4200MHz 帯及び 4500-4800MHz 帯の FSS と IMT-Advanced の共用検討、及び前述の共用検討に関する PDN Report に向けた作業文書の作成である。

前回第 20 回会合では、①本共用検討に関する PDN Report に向けた作業文書の改訂作業、②WP4A へのリエゾン文書の送付、を中心に審議等が行われ、結果として PDN Report に向けた作業文書(8F/TEMP/432R2 = 8F/1045, Att.5.7)と、WP4A(8F/TEMP/431 = 4A/379)へのリエゾン文書の作成が行なわれた。

本会合では、各国の入力寄書の内容をベースとした、PDN Report に向けた作業文書の改訂作業、及び WP3M へのリエゾン文書の作成を中心に行った。

(5-2) 審議概要と主要結果

本 DG の会合としては、AH を含め計 20 ピリオド以上に渡り実施がされ、そのうち大部分は PDN Report に向けた作業文書の改訂のための作業、議論に充てられた。

(5-2-1) PDN Report に向けた作業文書の改訂について

作業文書のドラフティングには、主に日本、韓国、仏と FSS 保護派(米、加、露、ルクセンブルグ)、衛星事業者を中心とし、オフラインを含んだ議論、及び記述の修正等が実施された。

また、ベースラインドキュメントとしては、前回第 20 回会合にて作成された作業文書(8F/1045 Att.5.7)が使用された。

以下、各章の主な記載内容、および関連する議論やトピックスについて記す。

- 1 章 Introduction：PDNR IMT SHARING CANDI に対する本ドキュメントの位置づけ等を記載。

今回、議長からは、本共用検討の総括的な内容として、「本文書の大部分において 2 つの見解を持ったグループによる共通の見解が得られず、両論が併記されている」旨と、2 つの具体的な見解を記載することが提案された。しかしながら、現時点でこの内容にまとめてしまうのは時期尚早であるとして大半の参加者が反対し、「FSS の適切な保護に関するもの、IMT の配置の実現の可能性についての 2 つの面から見た見解が示されている」旨の内容に修正を行い、記載がされた。

- 2 章 Scope：IMT と FS の共用検討は対象外であることを記載。

- 3章 General Information about FSS : 各衛星事業者、及び WP4A からの入力寄書をベースに FSS の地球局の配置状況についての情報をマージしている。

今回、新たに衛星事業者を中心に衛星地球局の配置情報や、衛星地球局保護に関する検討内容が本章に追加される提案がなされたが、本章記載への妥当性や、分量の関係から、概要的な内容のみに絞り込み記載することとなった。図を中心とした関連する詳細内容等は Annex としてまとめることとなり、衛星事業者のデータをもととしたものを、Annex A にまとめた。また地形や地物データを考慮することにより、衛星地球局の保護エリアとしては、離隔距離を半径とした同心円状とするのではなく、各々のエリアの状況にて判断すべきことを示すため、前回の日本の検討結果を基にまとめた情報を Annex B として追加した。またここでは、TVRO を代表する受信専用局の情報の記載に関して、記載すべきという FSS 保護派の意見と、ITU-R の所掌外であるためにこれらの取扱いが適当ではなく、記載すべきでないという、日、仏、韓の意見が対立したが、結論は出ず、次回会合に持ち越されることとなった。

- 4章 Regulatory Situation : 3400-4200MHz、4500-4800MHz の各 Region における Status を記載 (参照元 Article 5 of RR)。

今回新たに、RR Appendix 7 に基づいた、FSS 地球局に関する coordination に関する検討結果について Asiasat から入力され、本章に追記する提案が行われた。Coordination については、韓国を中心に、本共用検討において扱われるべきものではないとの主張があり、議論は平行線となった。DG 議長の妥協案として、本文には簡単な記述、Annex には詳細検討結果を載せる案が示されたが合意が得られず、DG 議長の妥協案が[]付の記載として、結論は次回会合へ持ち越されることとなった。

- 5章 FSS のパラメータ : FSS の DL のパラメータや、保護基準、干渉配分などを記載。

今回、日本からは、「short-term interference criteria は限られた地域、条件のみで起こるものであり、共用検討の結果では Long-term interference criteria による計算を優先すべきであること、また short-term interference criteria による計算を行う場合は、地形データを考慮した、specific のものとすべきである」ことを主張する入力を行った。これに関連し、short-term interference criteria の節に、前述の主張のテキストを記載することとなったが、FSS 保護派の意見として、「あらゆる状況を考慮するためにも、short-term interference criteria による検討は必要である」との主張も強く、これら両論が併記されることとなった。これら各々の見解については、電波伝搬モデルを検討している WP3M へ見解を請うために LS を送ることとした。

- 6章 IMT-Advanced のパラメータ : In-band における IMT-Advanced の BTS と MS、及び Out-of-band におけるパラメータに分けて記載されている。

今回、新たに加から、Out-of-band のパラメータに関して、RR の Appendix 3 に基づいた評価結果の取り込みが加より提案され、その取り扱いが議論となった。結果としては、現状の 3GPP での検討をベースとしたパラメータとの併記となったが、3GPP 検討ベースのものの方が、より現実的であることから、こちらを合意された条件とすることとした。

- 7章 共用検討結果 : 本章では、各国からの共用検討結果(Inmarsat、仏、加、日、韓、米、WINNER、中、Asiasat)を一覧表として掲載し、合わせて干渉緩和技術についての記載を行っている。

- ・ 共用検討結果

IMT の BTS のアンテナ高及び tilt 角を変化させて行った検討結果をはじめ、韓国や加など、上記記載の大部分の国(組織)が新たな共用検討を実施、結果を入力しており、これらの検討結果は本章に含めることとした。

- ・ 干渉緩和技術

日本から、場所率の概念を導入した共用検討に基づき、本節への記載の提案を行ったが、「場所率」自体は干渉緩和技術として扱うの適当でないとの FSS 保護派の意見があり、議論は平行線となった。議論の加速の

ため、日本からは、本提案内容について、①シールド処理、②アンテナ仰角制御、および③場所率の3つの事項に分割し、①、②については、干渉緩和技術の節に取り込み、残りの③については新たに節を設け、そこに取り込む様、妥協案として提案を行ったが、結論は出なかった。

本節については、その他 MIMO に関わる干渉緩和技術や、任意のセクタの送信を停止し干渉緩和を行う技術についても、提案がされているが、各々議論が尽くされていないということから、前述の日本の提案内容を含んだ、干渉緩和技術に関する節全体に[]付けがなされ、次回の会合へ先送りされるかたちとなった。

- 8章 Sensitivity analysis : 感度解析について、IMT→FSS 地球局、FSS 宇宙局→IMT について記載。

前回まで、未記入であった本章に対して、新たに今回、日本の検討結果(IMT の BTS のアンテナ高、及び tilt 角を変化させて行った検討結果)と加の検討結果 (FSS 隣接 band における IMT スプリアス放射の影響) が作業文書に取り込まれたが、時間の関係もあり具体的な議論は行われなかった。次回京都会合にて、詳細な議論が行われると想定される。

- 9章 Conclusion: 本共用検討のサマリ、及びステータスを示すものであり、本内容は CPM Text の"1/1.4/4.2 Summary of technical and operational studies and relevant ITU-R Recommendation and Report"にも記載がされている。

今回合会においては、作業の進捗等に基づき本章のアップデートを行うテキストの提案が、日本をはじめ、米国などから行われた。具体的には、日、仏からは、干渉軽減技術に関する記述を追加する提案が行われた。一方、米、加、Intelsat からは、干渉軽減技術を含めない場合の離隔距離の記述を求める意見が出された。本章については、前回の合会にて時間をかけて精査を行ったうえでの文章で、また CPM text にも記載がされている内容であり、本記載内容を現段階にて変更すべきではないとする DG 議長の指針が示され、結果、今回は本章への変更を加えないこととした。

(5-2-2) リエゾン文書の送付について

DG-FSS では電波伝搬モデル、ITU-R 勧告 P.452-12 における、short-term interference criteria について、以下の対立する2つの見解があり、これら各々の見解について、WP3M の見解を請うために LS を送ることとした。

①short-term interference は限られた地域、条件のみで起こりうるものである。従って Long-term interference criteria による計算の方を優先すべきであり、また仮に short-term interference criteria による計算を行う場合は、地形を考慮した、specific のものとすべきである。

②short-term interference criteria と Long-term interference criteria では、離隔距離の算出結果が明らかに異なる。従って、あらゆる状況を考慮するために、これら両方の criteria による検討は必要である。また、elevated layer reflection / refraction を考慮する場合、これらは、地形データよりも空間の状況に、より関わりをもっている。従ってこの criteria を使うときは、smooth earth model を使用すべきである。

- ドラフト文書は Reed 氏(Intelsat、前 WP4A 議長)が作成し、これらのレビューを行なった。

- LS の内容としては、作業文書の記載をそのまま抜き出しており、主だった議論は無く内容は同意された。

-回答については次回の第 22 回会合までに送付を要請するものとなっている。

-本リエゾン文書に関するコンタクトパーソンは Reed 氏としている。

以上の審議、作業を通して、1 件の PDN Report に向けた作業文書改定版(8F/TEMP/507)と、WP3M へのリエゾン文書(8F/TEMP/485R2)を作成した。但し、上記 PDN Report に向けた作業文書については、[]付きの記載も多く、内容について議論が尽くされていないことを理由に、作業文書のままキャリーフォワードされることとなった。

(6) 今後の課題 :

PDN Rec / Report IMT.SHARING CANDI の次回 22 回会合(2007 年 5 月、日本)における完了に向けて、下記事項の対処を中心に適切に行っていく必要がある。

- 今回合会にて送出した short-term interference criteria に関するリエゾン文書に対する、WP3M からの返答に関する対処について。
- 日本の主張する場所率の概念を導入した共用検討や、干渉軽減技術に関する記述は、審議が十分でないとして、[]付きの記述となっているが、これらの[]を削除するための対処について。
- 本共用検討における TVRO などの受信専用局に関する保護等への記述に関して、記載の削除を念頭とし、共用検討について不利にならないような対処について。

5. 3. 2. 3 DG Radar

(1) 議長：小松 裕(日)

(2) 主要メンバー：米、英、加、豪、独、露、中、韓、Luxenburg、PanAmSat、Inmarsat、Ericsson、石田、佐藤
(一)、新、吉野、古賀、本多、三浦、外山 全 50 名程度

(3) 入力文書：- 共通：1084(Fra)
- 2700MHz 帯：8F/1045(Att. 5.4), 1097(USA), 1156, 1158(Ericsson)
- 3400MHz 帯：8F/1045(Att.5.5), 1087(J), 1095, 1096(USA),
- リエゾン：8F/1049(WP3M), 1057(WP3K,3M), 1067,1068,1110(WP8B)

(4) 出力文書：共用検討作業文書：

8F/TEMP/490R1 (2700-2900MHz 帯における Radar との共用検討作業文書)

8F/TEMP/491R1 (3400-3700MHz 帯における Radar との共用検討作業文書)

リエゾン文書：

8F/TEMP/489R1 (WP3K,3M,8A への 3400MHz 帯レーダーの伝播モデルに関するリエゾン)

CFG 活動の所掌 (ToR)：

8F/TEMP/488R1 (2700MHz 帯 レーダー共用検討に関する CFG 活動の所掌)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、SWG-Sharing 第 1 回会合で設立が合意され、DG 議長も引き続き小松（日本）が担当した。今会合における本 DG の目標は、2700-2900MHz 帯及び 3400-3700MHz 帯のレーダーと IMT-Advanced の共用検討に関する作業文書を改訂することとされ、実質作業は前回と同様 2700-2900MHz 帯と 3400-3700MHz 帯の 2 つの Small-Drafting-Group に分かれて行った。

本会合では、DG 会合を 4 回、Small-Drafting-Group を多数（3400-3700MHz 帯：4 回、2700-2900MHz 帯：2 回以上）開催し、共用検討作業文書の改訂作業、外部（WP3M、3K 及び WP8A）へのリエゾン文書、2700-2900MHz 帯のコレスポndenシスグループの所掌の作成を行った。

(5-2) 審議概要と主要結果

(5-2-1) 文書の構成、形式、ステータス

第 20 回デンバー会合で作成した作業文書（議長報告 8F/1045, Att5.4, 5.5）をベースライン文書としたが、2700-2900MHz 帯及び 3400-3700MHz 帯とも、Small-Drafting-Group での議論により、新たな構成で作成しなおすことになった。

2700-2900MHz 帯では、これまで米国及び Ericsson の検討内容を統合して一つの検討のような構成としていたが、今会合で米国及び Ericsson がそれぞれ新たな検討結果を入力したことにより、米国及び Ericsson の検討内容

を別々に列挙する構成とし、新たに編集しなおされた。文書の形式で勧告かレポートかは今会合でも結論が出ず、次回に決定することになった。

3400-3700MHz 帯では、日本提案（8F/1087）では日本の検討内容をメインボディに残して米国検討内容を APPENDIX に移動する提案を行ったものの、日本の使用した伝搬モデルや、レーダー保護基準時間率の根拠が明確でないこと、等の対立から、日米併記を前提に、メインボディと日本、米国、米国の離隔周波数の3つの検討結果及び干渉回避技術の詳細を ANNEX 1～4 とする構成に変更した。文書の形式は、日本の提案したレポートの形式に米国も合意し、レポートを前提に Part2（勧告の場合のテキスト案）の削除を行った。

今会合で改訂した文書のステータスは、DG レベルでは「未だ解決すべき事項が残っているが完成度が高まった」として両帯域とも PDNR レベルとすることで合意したが、SWG-SHARING 第3回最終会合で日本から「両帯域とも未解決の事項が残っており、PDNR ではなく Working Document が適当」として Working Document に戻すことを提案し、Ericsson の支持により、合意された。（日本の提案段階で SWG 議長は「Any support ?」と問いかけ、Ericsson が支持を表明した後には「Any objection ?」と問いかけ、反論がないことから Working Document に戻すことが合意されたが、一瞬ヒヤリとした。）

文書の形式に関して、オフラインで SWG 議長から「勧告かレポートにはこだわらない。ひとつだけ勧告でも構わない。要はコンセンサス。」とのコメントをもらっていた。

(5-2-2) 両帯域共通事項の議論

仏からの IMT-Advanced パラメータに関する入力文書(8F/1084)が当 DG にもアサインされ、DG-Radar 第1回会合でレビューし、DG 議長より「WG-TECH のコメントを待ち、できるだけ尊重するが、既に想定したパラメータで共用検討が進められているので、それらも尊重したい」と説明し、異議はなかった。

WP8B からの航空管制レーダー及び気象レーダーの感度マスク、アンテナパターンに関するリエゾン(8F/1110)は、日本から専門家によるレビューを行って東京会合でコメントするとした。米国からは、M.1652 のアンテナパターンでは干渉を過小評価するとのコメントがあった。

WP3M からの、伝搬モデル勧告 P.452 のスプレッドシートに関する情報提供(8F/1049)は、単に Note しただけ。

(5-2-3) 2700-2900MHz 帯の議論

当該帯域については、米国からの入力文書(8F/1097)と Ericsson から入力文書（8F/1156,1158）を DG-Radar 第1回会合でプレゼンの後、米国と Ericsson による Small-Drafting-Group により、作業文書の更新がオフラインで行われた。

更新された作業文書は DG-Radar 第4回会合に提出されたが、Ericsson の入力文書（8F/1158：新しい Mitigation 技術によるシミュレーション結果）の反映が完了していないとして、コレスポンデンス・グループを構成して作業を継続することが合意された。その所掌文書（ToR）は、SWG-SHARING 第3回最終会合に直接入力され、ベースとなる作業文書番号を追記する修正のみで承認された。（8F/899R1）

現作業文書では、勧告かレポートの決定が行われていないため、米国の提案に基づいて勧告の場合のテキスト（considering, noting, recognizing, recommends）が[] 付きで添付され、その recommends 部には「同一エリアでは運用できない（Annex 参照）」と記載されている。（8F/TEMP/490R1）

WP8B から、第20回デンバー会合における作業文書の内容に関するコメントがリエゾン（8F/1067）として入力されたが、古い検討内容に関するものであり、新たな検討はこれらを反映して行っていることから、リエゾンバックも含めて特段のアクションは必要ないと判断された。

(5-2-4) 3400-3700MHz 帯の議論

当該帯域については、日本からの入力文書（8F/1087）、米国からの入力文書（8F/1095,1096）を DG-Radar 第 1 回会合でプレゼンの後、日米を中心とする Small-Drafting-Group により、作業文書の更新がオフラインで行われた。Small-Drafting-Group では、主に伝搬モデルとレーダー保護基準（時間率）について日米が対立した。双方が容易に妥協しないことから、日米検討の併記の方向で構成が見直され、以下のようにメインボディと日米検討結果、干渉回避技術を ANNEX とする方向で編集することとした。

- 1 章 Introduction （8F/1087 の追加修正をそのまま反映）
- 2 章 Scope （8F/1087 の追加修正をそのまま反映）
- 3 章 Sharing Study （複数の検討があることを示し、詳細は Annex1, 2, 3 を参照する文章。Annex1,2,3 の伝搬モデル、保護基準の違いを表で表し、伝播モデルには WP3K.3M からのリエゾンで P.452 が適当、M.1652 は不適当との回答があること、保護基準には値に懸念があり根拠を明らかにすべき、との NOTE がある。）
- 4 章 Potential interference mitigation techniques (干渉回避技術の詳細は Annex4 を参照する文章。)
- 5 章 Conclusion （8F/1087 の追加修正を反映し、8F/1087 に米国のテキストを追加。「結果は異なる条件に基づく」との NOTE がある。）
- Annex1 日本の干渉検討 （8F/1087 より。過去の 8F/802、928 も適宜活用し日本がまとめた。）
- Annex2 米国の干渉検討（Range Separation、前回会合からの作業文書 8F/1045 Att 5.5 より米がまとめた。）
- Annex 3 米国の干渉検討（Frequency Separation、8F/1095 より米がまとめた。）
- Annex4 Mitigation 技術をまとめた表 （8F/1087 より引用し、幾つか現地で修正。米よりネガティブな表現の復活要求があったが、[] を付して継続検討とした。）

伝搬モデルに関しては、日本は「P.452-12 は Point-to-Point の最悪計算としては使えるかもしれないが、Point-to-Area の Aggregate 計算では干渉を過剰評価するため適さない、M.1652 の利用が妥当」と主張したが、WP3M&3K からのリエゾン(8F/1057)を根拠に「P.452-12 は NLOS を含めてきちんと評価できる、P.452-12 を使用すべき、M.1652 は適当でない。FSS では日本も P.452-12 を使用しており、何故同じにできないのか。」とする米国、P.452-12 を使用しない検討結果は参照しないと米を支持した露、と対立し、日本の主張は認められなかった。その結果、WP3M,3K,8A に日本の見解に対するコメント、5GHz 帯用に作成された M.1652 の 3GHz 帯への利用可能性を問い合わせるリエゾンを発行することになった。(8F/TEMP/489R2)

レーダー保護基準（時間率）に関しては、米国の新たな離隔周波数の検討（8F/1095）で用いられた基準値（0.001%）について、米国の「ITU-R 勧告等で示されたものではないが、レーダーは通常の無線通信システムと異なり安全・人命に関係しているため 0%であるというのが 8B の見解。本来は 0%としたいがソフトウェアの都合で設定可能な最低値とした」とする米国の主張に、日本は「0.001%という極めて低い値を使う正統な根拠がない。安全・人命は重要でも、すべてのものにバランスがあり、一瞬たりとも許容干渉量を超えてはならないというのは共用検討を全否定するものであり、受け入れられない。」と反発し、終始平行線であった。米は、ITU-R 基準がないことについて、「どうしてもそういうならば、基準がないから共用検討はできないということにしてみよう」とまで言い切った。日本団の議論の中で、レーダー専門家(WP8B)に、リエゾンで適切な値を問い合わせる案、関連する他 WP ともリエゾンをとりながら、適切な時間率を検討し、勧告を作成することの必要性を指摘する案も浮上したが、次回の WP8B 会合は WP8F 京都会合の後のため正式な回答が京都会合まで得られないこと、レーダー側はレーダー保護の立場で低い値を言うてくる可能性があること、これから勧告を作っている京都会合や WRC-07 に間に合わないことから、日本は WP8B へリエゾンは出さず、WP8F の中で解決するよう、0.001%の

根拠を明確にする NOTE を付すよう提案した。米国は、日本の 50%、米国の 20%にも根拠がないとし、同様の NOTE を他の基準値にも付すことで合意した。ただし、米国は、日本の 50%、米国の 20%に基づく計算結果は前回合意して CPM テキストに採用されている内容だが、必要なら 20%を 0.001%に直して計算しなおしてもよいとも発言した。干渉回避技術では、日本の提案した新しいテーブルと DFS の機能説明文が ANNEX 4 に採用された。Mitigation 技術 (DFS) の採用義務と Primary, Secondary の分配ステータスの関係についての日本の主張については米国も反論できなかったが、DFS の適用テーブル中の「N/A」の表現は不明確と主張し、「Not necessary」、「May be necessary」に変更した。また、米国は、Co-Primary や Co-Secondary の場合でレーダー側の対応が必要な場合でも、実際には IMT の電波のノイズライクな性質によりレーダー側は何もできない、少なくとも既存設備ではそうだと何度も主張した。また、新しいテーブル中のいくつかの干渉回避技術で、日本が削除した米国のネガティブな表現の復活要求があり、削除提案したものを簡単に受け入れることは出来ないと、[] を付して継続検討と跳ねつけた。日本が国内のワイヤレスブロードバンドの審議動向から引用したナロー化技術、スプリアス低減技術の説明は、当該帯域で使用しているレーダーには発振器やフィルタの特性から適用できないと削除を要求され、再度検討するとして[]を付して残した。

Small-Drafting-Group で更新された作業文書は DG-Radar 第 4 回会合に提出され、第 3 章のテーブルのタイトル及び NOTE、第 4 章のテキストの存続（結果的には[] 付与）、第 5 章の NOTE や[] の扱い、等を議論し、PDNR 化（タイトルの Working Document の削除）を行って SWG に提出する TEMP 文書とすることで合意した。

第 5 章 Conclusion には、日本の提案の提案した追加修正（8F/1087）がそのまま反映されたが、以下の Editor's Note と米国の隣接周波数の記述（2 行）が追加されている。（8F/TEMP491R1）

Conclusion 部のノート：

[Editors note: The results in this section are based on different parameters (see the Table 3-1), and will be reviewed in the next WP8F meeting, considering that some of the results are consistent with the contents of the Draft CPM report.]

Conclusion 部の米国の記述：

- The frequency separation vary between 14 and 71MHz depending on the radar type and IMT-Advanced transmit bandwidth (see Annex 3).

WP8B から、第 20 回デンバー会合における作業文書の内容（主に日本の検討内容）に関するコメントがリエゾン（8F/1068）として入力されたが、古い作業文書に関するものとして、リエゾンバックも含めて特段のアクションは必要ないと判断された。

(6) 今後の課題：

共用検討レポート(3400-3700MHz 帯)の第 22 会合での完成を目指し、日米で条件を完全に一致させるのは困難であるが、日本の検討結果、結論を適切に残すための検討を進める必要がある。

また、WP3M&3K8A に対し、日本の伝搬モデルに関する見解へのコメント、M.1652 の 3GHz 帯への適用可能性へのコメントを求めるリエゾンを発しているの、日本に不利なリエゾンバックが返されないよう、他国との連携も念頭に適切に対処する必要がある。

5. 3. 2. 4 DG SHARING 2.5G(BWA)

(1) 議長：Reza Arefi (Intel Corporation)

- (2) 主要メンバー：英、仏、独、米、中、韓、BT、Vodafone UK、ArrayComm、Ericsson、Qualcomm、ハチソン、Williams (WiMAX Forum)、吉井、佐藤(一)、全 25 名程度
- (3) 入力文書：8F/1045 (第 20 回会合 WP8F 議長報告) のアタッチメント 5.10 (コレスポネンスフォーラム結果を反映した、2.5GHz 帯共用検討の PDN Report の作業文書：Nomadic を含む BWA)
8F/1073 (WiMAX Forum：ITU-R レポート M.2030 のエラーを指摘)
8F/1080 (中国：伝搬シミュレーション結果)
8F/1104 (カナダ：PDN レポートの矛盾点の指摘)
8F/1131 (インテル：PDN レポートの第 2 章へのシミュレーション結果による修正提案)
8F/1132 (BWA 共用コレスポネンスフォーラム議長報告)
(キャリフォワード文書)
8F/967
8F/1013
(リエゾン)
8F/1053 (WP8A：PDN レポート ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA])
- (4) 出力文書：8F/TEMP/509 (2.5GHz 帯共用検討の PDN Report の作業文書：Nomadic を含む BWA)
8F/TEMP/487R1 (WP3K 宛ての伝搬モデルの適用性に関するリエゾン)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、IMT-2000 に分配されている 2.5GHz 帯におけるノマディックを含む固定系 BWA システムと IMT-2000 システムとの共用検討を行い、PDN レポートのドラフト作成を所掌としている。

特に、WiMAX フォーラムが WiMAX との周波数共用を行えるように寄書提案して作業が進められて来たもので、その作業文書は会合毎に WP8F 議長報告のアタッチメント 5.10 として添付されて来た。

今回で PDN レポートを完成する予定で、前回の第 20 回会合から今回の第 21 回会合の間に、コレスポネンスフォーラムを開催して審議促進を行って来た。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 今回の会合では、前回第 20 回会合（デンバー）の WP8F 議長報告（8F/1045）のアタッチメント 5.10 に、コレスポネンスフォーラムで審議された結果を盛り込んで、PDN レポート作業文書として審議を行うこととしていた。
- ・ 冒頭、クアルコム社から、コレスポネンスフォーラムの結果が(8F/1045)のアタッチメント 5.10 に正確に反映されていないと異議を唱えた。議長も認めて、改めて確認する作業から始め、コレスポネンスフォーラムの最終結果と照らし合わせる作業が、延々と行われた。或る参加者からは時間浪費の作業で効率が悪過ぎるとのコメントが行れた。
- ・ また、元々の WiMAX フォーラムの周波数共用の技術的検討が FCC のスペクトラムマスクを使用して検討していた。しかし、当初、エリクソン等から、ITU-R で扱うには ITU-R 勧告 M.2030 等を使用するべきであると反論し、改めてそれらが引用されて来た。ところが、今回、M.2030 にエラーが有ることが Doc.8F/1073 で指摘され、判明した。この扱いが議論されたが、WiMAX フォーラムのコメントでは、それ程多くは参照していないので問題は少ないとコメントし、この関連事項の結果は、[]付きとした。
 - SWG Sharing 議長からは、いずれにしろ、M.2030 の改訂が必要であり、次回にでも作業を進めたいとコメントが行われた。遣るとすれば、この DG ではなく WG-SPEC として新たなグループを設ける等して作業を行うこととなるとコメントが述べられた。

- ・ WP3K へのリエゾンの審議が行われた。単に、情報提供であるとされた。WP3M にも写しを送ることとした。
- ・ 次回第 22 回 WP8F 会合との会期間に、また、コレスポネンスフォーラムを開くこととし、ToR を決めた。

(5-3) 審議結果

- ・ 次回会合で承認できる程度に安定化したと SWG 議長から WG-SPEC にステータスの報告があった。
- ・ コレスポネンスフォーラムを開くこととした。

(5-4) 今後の課題

次回で最終化され承認が予定されている。ITU-R 勧告 M.2030 の改訂が行われるが、その影響及びコレスポネンスフォーラムの動向を注視する。

5. 3. 2. 5 DG-MBWA

- (1) 議長： Joanne WILSON (米： ArrayComm)
- (2) 主要メンバー： 米、中、韓、独、E-Plus、ArrayComm、Ericsson、Qualcomm、Intel、ハチソン 3G、WiMAX Forum、佐藤(一)、吉井、全 10 名程度
- (3) 入力文書： 8F/1045 (Chairman's Report – Att. 5.11),
1053 (WP8A), 1081 (MBWA CF Chairman), 1136 (Intel)
Carry forward documents 8F/914 (Samsung), 1009 (WiMAX Forum)
- (4) 出力文書： 8F/TEMP/498Rev1 2.5GHz 帯における MBWA と IMT-2000 システムの共用検討 CF の ToR
8F/TEMP/499Rev1 2.5GHz 帯における MBWA と IMT-2000 システムの共用検討の作業文書
- (5) 審議概要：
 - (5-1) 所掌と経緯

第 20 会合において MBWA の取扱いが合意され、第 20 回会合後から第 21 回会合前まで CG (Correspondence Group)/CF (Correspondence Forum)が開かれた。

(5-2) 審議概要と主要結果

CF の結果の作業文書 (8F/1081) にコメントの追加や修正などがあった。主なコメントの内容は下記である。

- システムの特性は、M.2039 を元にすべきであり、必要であれば、検討を改訂すべきである。
- 8F/1136 に基づいて、HC-SDMA と CDMA-DS 間の相対位置のオフセットを追加する。
- その他、シミュレーションパラメータに関する細かな修正があった。

引き続き、MBWA の CF が 21 回会合後から 22 回会合前まで開かれることとなった。

(6) 今後の課題

MBWA については、そのシステムの定義が WP8A に依存することから、WP8F 対応の活動としては、WP8A の動向を注意しつつ静観とし情報の収集に当り、拙速な結論が導かれないように適宜対処する。

5. 3. 2. 6 DG SHARING (450MHz)

- (1) 議長： Mr. Charles M. Rush (米)
- (2) 主要メンバー： カナダ、米、豪、独、仏、中
- (3) 入力文書： 8F/1045 Att. 5.9 (議長報告)、1066(WP 8B), 1093(日本), 1111(WP 8B), 1114(カナダ),
1133 (International 450 Association), 1138(Lucent Technologies Inc., Huawei)

(4) 出力文書：TEMP/500R1（450-470MHz 帯における無線業務と IMT システム間の共用検討に係る PDNR へ向けた作業文書）

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

450-470MHz 帯における無線業務と IMT システム間の共用検討に係る PDNR へ向けた作業文書を準備する。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 技術的特徴を示す IMT CDMA450 という名称を今後使用することとした。
- ・ 450-470MHz 帯に IMT CDMA450 システムを導入すべく、デンバーでの作業文書をベースに入力文書に基づく改訂を行い、審議継続となった。
- ・ IMT（IMT-2000 CDMA-MC）とレーダー（地上設置対象追跡レーダー、船舶搭載監視レーダー、航空機搭載監視レーダー、位置報告システム[PLRS]、Wind profiler）間の共用検討について、補足および追記をした。
この共用検討の結果については、WP8B での確認が必要だが、WP8B 会合が京都会合後のため、リエゾンが京都会合で出される。
- ・ 衛星システムの項において、衛星からの地上回線と IMT CDMA450 との共用検討について、デンバー会合の作業文書においては、当該共用検討は不要としていたが、日本では、当該周波数帯域において気象衛星のダウンリンク回線が運用中であることから、作業文書の改訂提案を入力し、審議の結果、日本提案の作業文書への反映が承認され、当該項の結論で、日本の状況をノートし、ITU-R の衛星データベースに基づく調査をも考慮した上で、共用検討は不要という結論に改訂した。

以下に入力寄与文書毎の結果を記す。

1) WP8B からのリエゾン 2 件（1066、1111）

Wind Profile Radar に関する情報、及び 8F での共用検討に係るコメントをリエゾンバックしてきたもの。

- ・ 情報提供に対するお礼のリエゾンバックを送付する。
- ・ 提供情報には多くの表と複数の計算式があり、それを用いた検討結果を 8B にチェックしてもらう必要がある。
- ・ 隣接帯域干渉なのでガードバンドの議論となり、そんなに大きな問題とならない可能性が高い。

2) 450-470MHz 帯における IMT と無線業務（日本の気象衛星）間の共用検討に係る PDN 勧告/報告へ向けた作業文書の改訂提案（日本：8F/1093）

- ・ 検討中のシステムをこの帯域へ割当てるとに当たり、共用検討を行うか否かがポイント。
- ・ 日本の寄与文書を参考に作業文書を改訂し、日本のケースを考慮した一文を該当する項の共用検討の結果に追記することになった。

具体的には以下の通り。

- ① 4.9.2 項において日本が提案した文の削除箇所の内、冒頭部分については、事実を述べているので削除不要とした。日本の寄与文書で提案したその他の部分については、そのまま反映された。

（削除不要箇所）

the ITU-R Space Networks Systems Database (<http://www.itu.int/sns/>) was queried. Of the countries listed in Footnote 5.290, only Japan and Russia had listings in the Space Networks Systems.

- ② 日本の気象衛星の諸元表の取扱い

当該表の取扱いについて、「もし、共用検討を行う場合に使用する情報で、参考情報である。」とし、作業文書に盛り込まなかった。この議論の過程で、当該気象衛星については、日本でのみ使用されていることが DG 議長から紹介され、参加者も同意。この諸元を使用して共用検討を行うとしても、日本に IMT CDMA450 を導入する場合には、日本での検討に使用すればよく、国内 matter としての対応になる。

③ 4.9.3 項 conclusion

会合において、日本が提案した conclusion の文案(*) を審議し、特にコメントなく、了承された。

- * :
- ・ 日本の気象衛星が 450-470MHz で自然災害警報システムとして運用中で、今後も継続して運用する。
 - ・ RR Appendix5、各国主管庁への調査、TU-R の SNS データベース、日本の状況を考慮し、当該共用検討は不要。

3) 当該周波数帯域における Trunked Land Mobile と IMT 間の共用検討に関する修正提案 (カナダ ; 1114)

- ・ 作業文書では CDMA-MC の場合の共用検討をしているが、他の IMT 技術についての検討もすべきとした。

4) 450-470MHz 帯域の既存ネットワーク情報 (International 450 Association ; 1133)

- ・ 議長が、この寄与文書の内容は各周波数帯でどのような既存業務が使用されているか纏めたグループで対応すべきとし、SWG Sharing に当該寄与文書を返し、WG Spectrum で当該帯域の使用状況を纏める担当 DG で取り扱うべきとした。

5) 作業文書の更新提案 (Lucent Technologies Inc., Huawei Technologies Co.Ltd., Nortel Networks (USA), Qualcomm 共同 ; 1138)

- ・ IMT (IMT-2000 CDMA-MC) とレーダー (地上設置対象追跡レーダー、船舶搭載監視レーダー、航空機搭載監視レーダー、位置報告システム[PLRS]、Wind profiler) 間の共用検討について、補足および追記。

与干渉局と被干渉局間の離隔距離について新計算方法を追記し、計算値を全面的に見直した。DG は、この検討結果が適正であるか WP8B に確認してもらう必要があるとし、同時にレーダーに関する情報の提供を求める必要があるとした。そこで、WP 8 B にリエゾン文書を発出することとした。

WP8B 会合は WP 8 F の京都会合後に開催され、更に、その後に SG8 会合が予定されている。

結論としては、今回は LS を提出せず、次回京都会合で提出することとした。

この場合に次の手続を想定している。

- ① WP 8 B で内容が了承されれば、問題なく、PDNRep として SG8 へ提出
- ② WP 8 B でコメントが入った場合、WP8F 議長に連絡が入り SWG 議長、DG 議長にも伝わる。
そこで内容の修正を行い、SG8 へ提出。

参考： 会合の中で、RCG (Radio Coordination Group) 会合を活用 (SG8B 関係者が必ず参加より) する案もあったが、RCG 自体、開催されたとしても 1 日間の期間しかなく、また開催される保証は何もないことから、リスクのある RDG の活用はしないことに決めたとのこと。

(6) 今後の課題

今回、レーダーと IMT CDMA450 の間の共用検討について、見直しおよび追加があり、その内容の確認を WP8B で行う必要がある。その結果に応じて、適宜対応が必要となる。

5. 4 WG-DEV (Development IMT)

(1) 議長： Javier Camargo Fernandez (墨)

(2) 主要メンバー： 米、独、カナダ、トルコ、ロシア、ブラジル、カメルーン、モザンビーク、吉井、佐藤(一)、古賀 (18 人)

(3) 入力文書： 8F/1046(ITU-T SG-19), 8F/1050(ITU-D Question 18-1/2), 8F/1062(WP8D), 8F/1161(Cameroon), 8F/1162(Cameroon)

(4) 出力文書： 8F/TEMP/475 (Liaison Statement to ITU-D Question 18-1/2), 8F/TEMP/476(Liaison Statement to WP8D), 8F/TEMP/477(Liaison Statement to ITU-T SG19) 8F/TEMP/483(議長レポート)

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

WG DEV は発展途上国の立場から IMT-2000 及びそれ以降のシステム及びサービスについて審議するのが所掌である。

(5-2) 審議概要と結果：

1) 8F/1046 審議

- ・ ITU-T SG19 は前会合において IMT-2000 ハンドブック第 2 版に向けたベースライン文書を採択したことを伝え、その第 4 章 “IMT-2000 Spectrum” に Draft New Report ITU-R M.[IMT.ESTIMATE] の Brief Summary を入れるとして、WP8F にその作成を依頼してきた。
- ・ ロシアなどが IMT.ESTIMATE が最終承認された後に提供すべきとしたので、「来る CPM および WRC-07 の後に必要な情報を提供する」とのリエゾンバックを作成し、承認した (8F/TEMP/477)。
- ・ このリエゾンバックについては WP8F Closing Plenary でカナダなどからのコメントがあり、Spectrum だけでなく WP8F で扱う他の関連情報についても提供すると修正された。

2) 8F/1050 審議

- ・ I ITU-D Question 18-1/2 のラポータから、WP8F の入力した自然災害時における IMT-2000 使用についての情報への感謝が表明された。
- ・ 発展途上国での IMT-2000 実現方法や、効率的でコストエフェクティブな実現の鍵、さらに Beyond IMT-2000 についての情報提供を求めている。
- ・ このリエゾンについて特に意見は出なかったが、寄せられた情報にノートし今後関連情報を提供するとのリエゾンバックを作成し、承認した(8F/TEMP/475)。

3) 8F/1062 審議

- ・ 自然災害時の IMT 使用に関する WP8F からのリエゾンステートメントを見た WP8D が、自然災害救助活動への移動衛星通信使用についての PDNR ITU-R M.[MOBDIS]を作成しているとの関連情報を提供してきた。
- ・ 情報提供に感謝し、引き続きの協力を要請するリエゾンバックを作成し、承認した (8F/TEMP/476)。

4) 8F/1070 審議

- ・ ITU-T SG16 からの Question 28/16 ” Multimedia framework for e-health applications” に関して情報を提供し、関連する情報の提供を求めるリエゾンである。特に、意見はなかった。

5) 8F/1161, 8F/1162 審議

- ・ カメルーン政府によるカメルーン全土の情報通信技術 (ICT) 利用状況調査に関する情報提供、およびカメルーンの通信事情や計画 (特に移動通信での 470-600MHz 帯の使用) についての情報提供である。特に意

見はなかった。

6) IP-OFDMA サポート

- ・ インテル（トルコ）が IP-OFDMA の M.1457 への採用は重要であるし、発展途上国であるエジプト、グアテマラ、メキシコ、ブラジルがサポートしているので WG-DEV として IP-OFDMA サポートの Internal Liaison を WG TECH へ出すべきと主張した。
- ・ Blust WP8F 議長は発展途上国への意味をエジプト、グアテマラ、メキシコ、ブラジルの入力から抽出するよう求めた。また発展途上国の立場から、IMT に関する 3 ページくらいのレポートを作ってみてはどうかとした。
- ・ IP-OFDMA だけでなくほかの無線技術についても言及すべきとか、候補周波数帯についても言及すべきなどの意見も出た。
- ・ ルーセントは入力文書なしの議論は危険であり、最低限 DropBox に提案が出されるべきとした。
- ・ 長い議論が続き、議長は結局 IP-OFDMA 提案文書は既に WG-TECH に提出されているのだから改めて WG-DEV から Internal Liaison を出す必要はないとした。
- ・ しかし、WP8F 議長の提案と関連して、また WG-DEV 議長の従来からの主張に基づいて、WG-DEV 議長は次会合に向け、発展途上国の IMT に関する Needs についての入力を求めると表明した。

7) モザンビーク代表の新システム提案

- ・ 入力文書なしで、モザンビークの Torre do Vale 氏による新システムの提案が行われた。モバイル端末でユーザーとインタフェースし、ネットワークとしては構築コストが安いからの理由で PSTN を使用し、音声およびマルチメディア通信サービスを提供する。
- ・ PSTN のほうがコストが安いというのは疑問との指摘や、この提案で WG-DEV に何を求めているのかとの質問が出たが、今回は非公式提案であり、できれば次回正式入力するというので、それ以上の議論にはならなかった。

8) WG-DEV 議長の新システム提案

- ・ 議長が入力文書なしで新システムの提案を行った。（WP8F Closing Plenary に提出された議長レポートには Draft が添付されていた。）モバイルと衛星システムを組み合わせ、災害の早期警報や遠隔教育、遠隔医療サービスを行うという。
- ・ 次回には正式に入力文書を出したいとしていること、発展途上国の必要に基づいた提案のとりあえずのサンプルと考えてくれということで、特に議論は行われなかった。

(6) 今後の課題：

今回も発展途上国の Needs を汲み上げ、WP8F 活動により発展途上国に貢献したいとの議長の熱意が強く感じられたが、まだ道筋が見えてこない。

5. 5 SAT - COORD (SATELLITE COORDINATION) GROUP

今回の WP8F 会合では、下記 (5-1)、(5-2)項に記載した理由により、SAT-COORD グループとしての会合は開催されなかった。

(1) 議長：現状不在

(2) 主要メンバー：無会合につき参加者無し

（参考 WP8F 第 18 回会合の参加メンバー：フランス、米国、中国、ドイツ、佐藤（一）、古賀、佐藤、吉井、林、三浦 他、合計約 10 名）

- (3) 入 力 文 書：無し
- (4) 出 力 文 書：無し
- (5) 審 議 概 要：

(5-1) 所掌と経緯

SAT-COORD グループは、WP8F の検討事項に関する、IMT-2000 の衛星コンポーネントについて、コーディネーションを行なうことを所掌としている。

- ①第 19 回 WP8F ビアリッツ会合(2006 年 5 月)以降、WP8F における WP8D とのコーディネーション、案件については、直接、関連する WG が取り扱っている状況にある。
- ②第 18 回会合においては、前議長の Lallemand 氏が、第 19 回会合から所要の事情にて議長職を継続できなくなるとして、次回会合開催までに SAT-COORD グループ議長の候補を出すように参加者への要請があった。候補者の条件としては、衛星コンポーネントのスペシャリストであること、かつ、WP8D との協力関係を円滑に進められる事が求められている。

(5-2) 審議概要と主要結果

SAT-COORD グループの活動に関連する案件の入力寄書、及び活動予定は特段なく、本会期を通じての会合は開催されなかった。

(6) 今後の課題：

- ・ 特に課題はない。

5. 6 AH WORKPLAN

- (1) 議 長：Hakan OHLSEN（スウェーデン）
- (2) 主要メンバー：S.Blust（WP8F 議長）、KJ.Wee（WG-SERV 議長）、S.Lixin（WG-TECH 議長）、M.Grant（SWG-Radio Aspect 議長）、Peter .Nurse、J.Ragsdale（米）、WG-SERV 議長、ET.Lim、J.Y.Song（韓）、J.Costa、V.Vinodrai（加）、P.Ojannen（フィンランド）、H.Mennenga（独）、S.Green（UK）、森、佐藤、石田、吉野、石川、中村、佐藤(一)、全約 50 名
- (3) 入 力 文 書：
 - ① 最新化検討資料
 - Doc. 8F/1045：（前回第 20 回デンバー会合の WP8F 議長報告）の第 2 章
 - ② IMT-Advanced プロセスの詳細スケジュール関係
 - Doc. 8F/1101(米)： サーキュラーレターの作業の進行
 - Doc. 8F/1134(韓)： サーキュラーレター開発のステップアップアプローチ
 - Doc. 8F/1157(エリクソン)： 2008-2009 年期間の WP8F 作業の詳細スケジュール
 - ③ ワークショップ関係
 - Doc. 8F/1106（加）： WP8F ワークショップのプログラム提案
 - Doc. 8F/997（加）： キャリドフォワード文書（上記 Doc. 8F/1106 に盛り込まれており、実際には扱わず）
 - Doc. 8F/1167（Region3 Rapporteur）： WP8F へのレポート
- (4) 出 力 文 書：8F/TEMP/518（AH WORKPLAN の会合報告）
8F/TEMP/517（WP8F 議長報告 第 2 章「体制と作業計画」の最新化版）
- (5) 審 議 概 要：

(5-1) 所掌と経緯

中長期的作業計画に従って活動する必要があるとされた経緯から、毎会合ごとに Living Document として各作業グループ間の相互に関連ある作業計画等の調整作業を行うこと、また、WP8F 全体のワークプランを最新化する作業を行っており、結果を WP8F 議長報告の第 2 章として添付している。

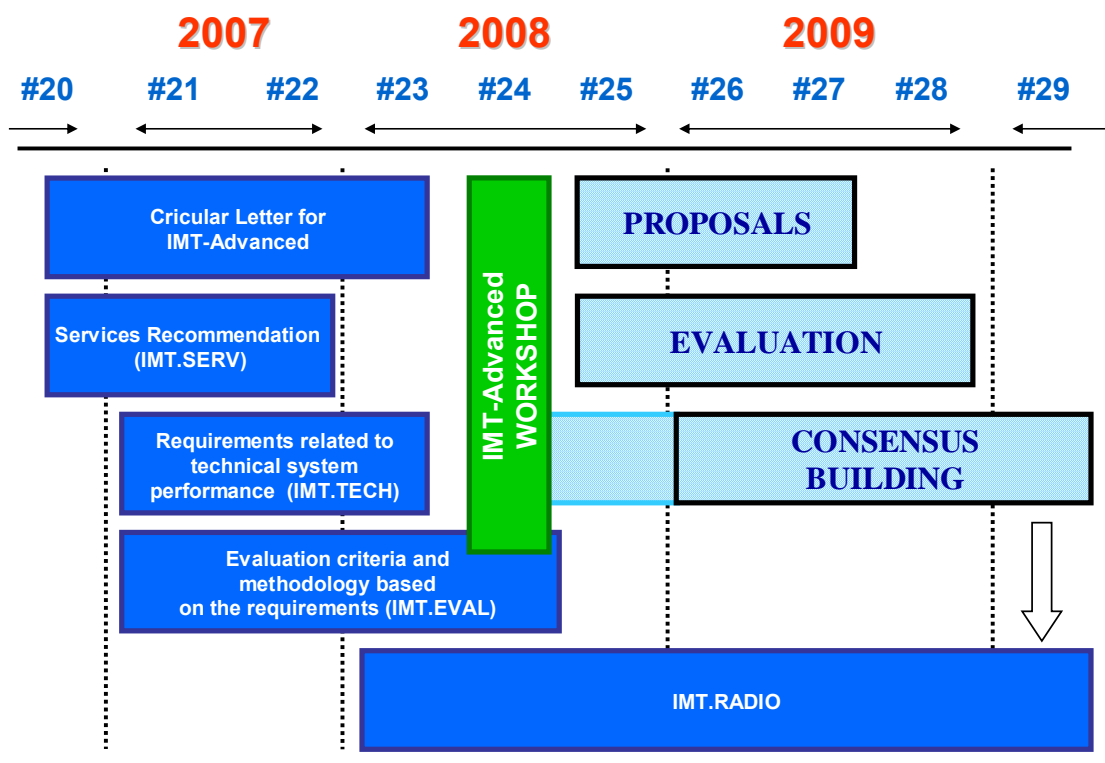
(5-2) 審議経過

- ・ IM-Advanced のプロセスと詳細スケジュールの検討が行われた。
- ・ 日本の提案を基に、IMT.Advanced のワークショップ開催の検討が行われた。
- ・ WP8F 第 20 回デンバー会合の議長報告 (Doc.8F/1045-E) の第 2 章を淡々と最新化する作業が行われた。

(i) IMT.Advanced のプロセスと詳細スケジュール：

① 全体的な予備的議論：

- ・ 入力 8F/1101(米)、8F/1134(韓)および 8F/1157(エリクソン)とアドホック・サーキュラーレターの結果を反映したタタキ台を議長が作成し審議を行った。
- ・ 結論としては下図で了承された。



- ・ 主要な質疑や議論としては次のようであった。
 - サーキュラーレター（LCC）は第 23 回会合で完成させる。ただし、評価関係は WRC-07 の結果を受けたスペクトラム関係があるために第 24 回で完成させることとしたと議長の説明が行われた。
 - 議長から、コンセンサス形成が重要であるとの米国主張により、従来案から 2 会合分始める時期を前倒ししたこと、また、この件は既に WWRF でも検討して来たことであるとの説明が行われた。

特に、反論はなかった。

- 関連して、ワークショップはコンセンサス形成の一連のものかとの質問があったが、別問題であると議長は回答した。
- 議長から、サーキュラーレターのグループが考えることであるとしながら、サーキュラーレターを2度出すことになるかも知れないとコメントが行われた。特に、意見は無かった。
- 韓国から、コンセンサス形成は重要であるので、第29回まで1回伸ばす提案があり、採用された。
- 米国から、評価を始めてから、コンセンサス形成まで#25-#29と5回あるが、短縮できないかとの提案があったが、特に、支持は無かった。また、韓国からは、Proposalを#27回まで1回伸ばす提案があり、採用された。

② 詳細化に向けた課題や議論

- ・ 議長が、WP8F議長報告の第2章に対する第1回目の議論の結果を整理し、提示した。
- ・ その議長報告のAtt2.12「Preliminary overall time schedule for the IMT-Advanced process」では、WRCが2010に開催されるのではないかとS.Green（英国）がビアリッツ会合で提示していたが、今回は、議長が2011年になったとも聞いたことから、それを後ろへずらしたと説明があった。
- ・ 今回、新たにサーキュラーレターに関連した事項を、Schedule for development of Circular Letter for IMT-Advanced and IMT.RADIO(text to be added to the process following on #25 in Circular letter annex 2 and/or 6)と題して追加した。
 - アドホック・サーキュラーレター（AH-CL）のスケジュールが反映されていないとの質問があり、議長は、AH-CLのスケジュールはAH-CLのマイクロワークプランで見ることが出来る。このAH WorkplanではDeliverablesに関する工程を対象として記している。しかし、必要なら検討する答えた。
 - カナダから、3GPP等の関連機関にスケジュールを開示すべきこと、また、UKからは、第25回会合以降についてのスケジュールは説明するテキストが必要であるとの提案があった。
 - 外部機関へのスケジュール公開については、3GPPのような旧勢力と新たに出てくる勢力に機会均等であるべきであるとのコメントもあった。
 - 第25回以降のスケジュールについては、次会合で寄書を募ってAH-CLが詳細を纏めることになっていることから、このワークプランでは暫定とするべきであると意見があり、議長は、Draft scheduleとするとした。
 - 韓国から、候補技術の公募は第25、第26ならびに第27回会合で行えるように見えるとの質問があり、議長は京都会合で決めたいとの意向を示した。
 - IMT.GCSは、2010年末に第1版が出る予定であるが、以降の版はどうなるのかとの質問があり、議長からは、新たなpotential submissionや変更に対応すると思われると説明があった。これも、次会合への入力提案によるとした。
- ・ 韓国サムソンから、IMT.RADIOとIMT.GCSの差は何であるかとの質問があった。議長は、IMT.RADIOはコンセンサス形成に使用されるもので、Key Characteristicのようなものであり、IMT.GCSは規格であるM.1457と同じものと理解していると説明があった。

(ii) WP8F議長報告第2章の最新化

- ・ ATT2.2「High-level scopes for Working Party 8F working and ad-hoc groups」の表に、AH-CLとAH-VOCAR（用語）が追加された。
- ・ ATT2.5「Chairmen of Working Groups and Drafting Groups」も上記と同様の削除を追加が行われた。
- ・ ATT2.6「Meeting schedule」では、第23回WP8F会合はジュネーブで2008-1/28～2/1までの連続5

日間の会合と決まったので追記した。第 24 回会合は欧州(スウェーデンが候補)に於いて 2008 年 6 月 11 日～18 日にかけて、また、第 25 回会合はアジア(中国または韓国が候補)に於いて 2008 年 10 月 8 日～15 日にかけて開催されることになった。その他、それ以降の WP8F 会合のスケジュールでは第 34 回会合まで日程のみが追記され、開催地は TBD(To be defined)とされた。

- ・ ATT2.8「Agreed overall deliverables/workplan of WP 8F until #23」では、特に SWG-Sharing 議長から、今回で 2.5GHz 帯の共用検討は終わらず、次回へ繰り越すと説明があった。
 - 従来は第 22 回会合で IMT.TECH を最終化すると予定していたが、23 回会合へ延期された。
- ・ Att2.9: 大工程表は今回更新されていない。理由として、WRC-07 以降に向けたサーキュラーレターおよび関連 WG での作業スケジュールが複雑であり、これらを反映して修正を行いたい。現状は、Att2.12 と Att2.13 に詳しく示されていると議長から説明が合った。
 - また、議長は、次回京都会合へ全体スケジュールの提案があれば入力求めた。
- ・ Att2.10「WRC-07 関連の主要な成果物」は議長案通り、一応削除した。
- ・ Att2.11「“Micro workplans” for individual deliverables」では、IP-CHAR は削除し、新たに、IMT.EVAL を追加した。

(iii) ワークショップ

- ・ 日本から、5 月 22 日の一日間で開催したいとの表明があった。
- ・ WRC-07 のみをテーマとせず、アジアや環太平洋の諸国からの参加も見込んだ内容とすること等のコメントがあったが、ニュージーランドからは、APT 向けの説明は 1 月の APG でやったので、ITU 共通のビューを発表するべきとの意見があった。
- ・ アジア以外の各国にも、Evaluation グループを準備することや、3G の標準化機関等のコミュニケーションも取れることなどが重要との意見が出ていた。
- ・ 議長は、日本から出す要請もあった。
- ・ 日本から、プログラム案が提出され、了承された。今後、ワークショップのアレンジメントや詳細は日本が WP8F の協力を得て検討することとされた。

(5-3) 審議結果

WRC-07 以降の IMT.Advanced の標準化プロセスとスケジュールの詳細の検討が行われ、WP8F としてノートした。また、ワークショップを京都会合の前日に開催することと、そのプログラム案が了承された。更に、ワークプランの最新化が行われた。

(5-4) 今後の課題

WRC-07 に向けた準備作業を円滑に進捗させるために、関連作業の進捗管理に注意を払う必要がある。

また、WRC-07 以降の IMT.GCS に向けたプロセスと詳細なスケジュールを作成する件は、一応 WP8F としてノートされたが、今後のアドホック・サーキュラーレターの結果を反映する必要もあり、依然として筋目を確保するために、安定化に向けた対応が必要である。

Attachment 2.9

Potential new deliverables [Note: to be updated in WP8F#22 according to Att. 2.12 & 2.13]

This provides a pictorial view of the selected deliverables and other texts (CPM, etc.) to be developed in WP 8F, also shown in table 2.7. This assumes specific WRC decisions (see previous sections).

		2003		2004		2005		2006			2007		2008	2009	2010	>2010	
CPM/WRC meeting		●WRC									▲CPM WRC●						
SG 8 meeting			▲			▲		▲			▲	▲	▲				
WP 8F meeting No.		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			
Services/market aspects (SERV)		Service View					Services										
		Market															
		Naming					Naming										
Spectrum (SPEC)					CPM Text												
		Candidate Spectrum															
		Mitigate															
		Comp		Sharing													
		UWB															
		M.1036 Rev 2															
		Methodology															
		Estimate															
Migrate (MIGRATE)		Texts															
Developing (DEV)				Handbook update (if required)													
Technology (TECH)		SDR															
		Radio aspects							Radio Technologies								
		M.1079 Rev2															
		M.1580/1															
		Trends															
Enhancements to IMT-2000		Annual revisions to M.1457 and, if necessary, revisions to other Recommendations on IMT-2000															
New radio interface(s) for systems beyond													IMT-RADIO and subsequent revisions, if necessary				
													IMT-GCS and subsequent revisions				
Complementary work to be performed outside ITU	IMT-2000 and enhancement	Development of detailed specifications for enhancements of IMT-2000													Radio interface development process		
	Systems beyond IMT-2000	Research on new technologies															Development of detailed specifications/standards

Key:

WRC-07 related deliverables

Recommendations

Reports/Circulars etc.

5. 7 AH-CIRCULAR LETTER

(1) 議長：吉野 仁(日)

(2) 主要メンバー：英、仏、独、フィンランド、露、米、加、伯、中、韓、豪、ニュージーランド、エリクソン、アルコム、インテル、WiMAX Forum、ルースセント、森、佐藤(孝)、石田、白石、林、佐藤(一)、中村、古川、本多、森脇、石川 全 140 名程度

(3) 入力文書：Doc.8F/

8F/736(WP8F & AH-Workplan 議長), 920(豪), 968(米), 976(中), 990(英インテル), 992(英インテル), 993(加), 997(加), 1045(WP8F 議長), 1076(ニュージーランド), 1083(IEEE), 1088(J), 1100(米), 1101(米), 1103(日), 1124(スウェーデン), 1129(加), 1134(韓), 1140(中), 1141(中), 1143(中), 1145(中), 1151(シーメンス、エリクソン、フランステレコム、ノキア), 1152(シーメンス、エリクソン、ノキア), 1155(ルースセント、ファウエイ、ノキア、シーメンス、サムソン), 1157(エリクソン)

(4) 出力文書：Doc.8F/TEMP/

474R3(サーキュラレターの構成)

514(サーキュラレター本体のテキスト案作業文書)

522(サーキュラレターAnnex 6(提案ガイドラインとテンプレート)のテキスト案作業文書)

523(サーキュラレターAnnex 7(評価基準とその方法)のテキスト案作業文書)

524R1(サーキュラレターAnnex 8(関連ITU-R 勧告、レポート、その他)のテキスト案作業文書)

525R1(サーキュラレターAnnex 9(IPR ポリシー)のテキスト案作業文書)

526R1(AH-CL 議長レポート)

527(サーキュラレターマイクロワークプラン)

528(サーキュラレターAnnex 2(提案と評価プロセス、コンセンサス形成)のテキスト案作業文書)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 AdHoc は、IMT-Advanced 無線インタフェース提案募集に関するサーキュラレターを作成する目的で設立され、サーキュラレター作成について WP8F 内の関連 WG との調整、テキストの作成、最終的なテキストの精査を所掌とする。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・サーキュラレターの作業スケジュールについては、韓国より実質的な作業項目を考えると、第 23 回会合では完成させることが不可能ではないかとの意見があったが、AH-Workplan においてスケジュールが議論され、その結果、韓国の指摘を考慮して第 23 回会合で予定通りサーキュラレターを完成させ、第 24 回会合において、評価関連についての追補版(Addendum)を出すこととなった。サーキュラレター全体の作業スケジュールの見直しに応じて、マイクロワークプランも更新された(Doc. 8F/TEMP/527)。
- ・IMT-Advanced 無線インタフェース募集に関するサーキュラレターの本体および各 Annex の作成を担当する WG を確定した(Doc.8F/TEMP/474R3)。その結果、サーキュラレターの Annex の担当は下記の通りと決定した。

Annex 1: WG-SPEC (SWG-CommonText:議長 C.Cook 氏(カナダ))、

Annex 2: AH-Workplan (議長 H.Ohlsen 氏(スウェーデン))と AH-CL(吉野(日))、

Annex 3: WG-SRV (SWG-Service(議長中村氏(日)))、

Annex 4: WG-TECH (SWG-RadioAspects(議長 Grant 氏(米)))、

Annex 5: WG-SPEC (DG-CL-Spec(議長 Wieweg 氏(スウェーデン))),
 Annex 6: AH-CL (吉野 (日)), 但し、テキスト原案は WG-SPEC, WG-SRV, WG-TECH が供給
 Annex 7: AH-CL (吉野(日)), 但し、テキスト原案は WG-SPEC, WG-SRV, WG-TECH が供給、
 Annex 8: AH-CL (吉野(日)), 但し、テキスト原案は WG-SPEC, WG-SRV, WG-TECH が供給、
 Annex 9: AH-CL (吉野(日))

- ・ さらに、担当 WG がテキストを作成し、AH-CL へ供給する期日(Target date)についても合意され、評価 (Evaluation)に関する一部のテキストを除いて、原則的に第 23 回 WP8F ジュネーブ会合の第 2 日目(火曜日)までに完了させることとなった(Doc.8F/TEMP/474R3)。
- ・ サーキュラターの各 Annex に記述すべき内容の骨子を議論し、本文および各 Annex のアウトラインを作成した(Doc. 8F/TEMP/474R3)。また、他の WG が所掌する Annex に関しては、記述すべき内容の骨子を作成して、その内容の精査およびアウトラインの作成を依頼した。
- ・ サーキュラターの本体については、日本寄書を含む各国の提案を反映させてテキストの作成を行った。内容については、暫定的に IMT の定義、IMT 周波数に関する記述、IMT に関して WP8F での取り組み状況、サーキュラターの目的、無線インタフェース提案のプロセス、評価方法、提案募集期日などについて記述することとなった。テキストについては、他のWGでの今後の議論を反映させるとともに次回会合での寄書入力を待つこととした、(Doc.8F/TEMP/514)。
- ・ Annex 1 (IMT-Advanced 背景) については、WG-SERV が所掌することとなり、現在作成中の common text を基に、ユーザ動向、IMT-Advanced のフレームワーク、IMT-2000 と IMT-Advanced の関係などについて記述することとなった。具体的なテキスト作成作業は Common text の作成終了後に行うこととなり、第 22 回京都合会でおこなうこととなった。
- ・ Annex 2 (提案・評価およびコンセンサス形成プロセス)については、AH-Workplan より提供された IMT-Advanced 標準化のスケジュール概要と、2007-2009 の詳細スケジュールの図を組み込み、日本およびカナダからの提案テキストを盛り込んで、次回会合に具体的テキストの精査を行うこととなった (Doc.8F/TEMP/528)
- ・ Annex 3 (サービス要求条件)については、WG-SERV が所掌することとなり、現在 WG-SERV で作成中のサービス勧告草案 M.[IMT.SERV]の完成後、関連テキストを抽出することとなった。今会合中のテキストおよびアウトラインの作成は行われなかった。
- ・ Annex 4 (技術要求条件)については、WG-TECH の所掌となり、現在 WG-TECH で作成中の作業文書 M.[IMT.TECH]の中から該当する項目を抜粋することとなった。
- ・ Annex 5 (周波数関連要求条件)については、WG-SPEC 内に新 D G が設立され、作業テキストが作成された (Doc.8F/TEMP/494)。作業テキストは、周波数帯とそれらの展開シナリオ、特定された周波数帯の使用における特別な考慮事項について記述することとした。テキスト自体の精査は次回会合で行うこととした。(Doc.8F/TEMP/494)。また、Annex 5 については、WG-SPEC が所掌しており、次会合への提案寄書は WG-SPEC 内で検討されることが確認されている(AH-CL は内容について当面議論しない。)。
- ・ Annex 6 (提案ガイドラインとテンプレート)については、まず、IMT-2000 のときのサーキュラター (8/LCCE/47)などを参考に作成することで合意し Editor's Note として記述された。また、テンプレートについては、WG-SPEC より供給された周波数関連の特性能力の表を組み入れた。また、サービス、技術については、テンプレートを記述するプレースホルダを作成した。(Doc.8F/TEMP/522)
- ・ Annex 7 (評価関連)については、WG-TECH より供給された評価作業文書 M.[IMT.EVAL]の章構成を参考に、章構成を作成し、さらに、WG-SPEC より供給されたテキストを組み込んだ。テキストおよび章構成の精査は次回会合で行う予定である。(Doc. 8F/TEMP/ 523)
- ・ Annex 8 (ITU-R 関連勧告レポートその他)については、WG-SPEC, WG-SERV, WG-TECH から提供された勧

告、レポートのリストを取り込み、さらに、米国が IMT 名称に関する決議案 M.[IMT.NAME]と標準化の原則に関する決議案[IMT.PRINCIPLE]を追記することを提案し承認された。(Doc.8F/TEMP/5234R1)

- ・ Annex 9 (IPR ポリシー)については、米国の提案が採用され、ITU-R 決議 1-4 とその詳細である CA/148 を参照することで合意された(Doc.8F/TEMP/525)
- ・ 今回合会で作成された出力文書は 8F/TEMP/526R1 を除き全て次回合会にキャリーフォワードされた。

(6) 今後の課題

- ・ スケジュール通りに第 23 回合会でサーキュラレターが完成できるように、積極的にテキストの修正、追加提案を行う必要がある。
- ・ 提案・評価プロセスおよびコンセンサス形成の方法について、日本の基本的な考え方を整理し、テキストの形で提案する必要がある。
- ・ サービス要求条件については、WG-SERV で議論した後、AH-CL で議論されるので、まず、WG-SERV での勧告草案 M.[IMT.SERV]作成の過程で、どの項目をサーキュラレターに記述すべきか検討する必要がある。
- ・ 無線要求条件については、WG-TECH で議論した後、AH-CL で議論されるので、WG-TECH での要求条件に関する作業文書 M.[IMT.TECH]および評価に関する作業文書 M.[IMT.EVAL]作成への積極的な寄書提案を行い、また、AH-CL に残すべき項目の検討も必要である。
- ・ また、スペクトラム関連の要求条件についても、何をサーキュラレターに記述するかを検討し、積極的に提案する必要がある。WRC-07 の結果待ちであるが、現時点でも不適切な内容が記述されないように、適宜、修正提案を行う。
- ・ 要求条件の整理をしたのち、テンプレートの構成方法や、詳細の提案方法について基本的な考え方を整理し、提案を行う。

5. 8 AH VOCABULARY

(1) 議長： Horst Mennenga (独)

(2) 主要メンバー： 米、露、広瀬 (4 人)

(3) 入力文書： 8F/1164(CCV)

(4) 出力文書： 8F/TEMP/492r1 (Internal Liaison Statement to All Other Working Groups of Working Party 8F)
8F/TEMP/513 (議長レポート)

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

Opening Plenary において、入力文書 8F/1164 について、ドイツより、IMT-2000 と IMT-Advanced の定義について決定をして、CCV に対してその結果を送付すべきとの意見が出された。議長より、本合会で必要なものを抽出して、次回合会でリエゾンを作成するとの提案が出され、了承された。

(5-2) 審議概要と結果

- ・ 議長より入力文書(8F/1164)の内容説明が行われた。要旨は；
 - ①ITU の WEB サイトに terminology database が作成、運用されている。ITU-T と比較して ITU-R の用語登録が非常に少ない。
 - ②現在の ITU-R のすべての勧告および報告について用語を 2007 年中にリストアップすることを要請。
 - ③新規勧告および報告においては用語定義の項目を設けることを奨励。
- ・ 審議の結果、以下の内容を要請する内部リエゾン文書が出された。

①現在有効な ITU-R 勧告 22 件、報告 13 件を示し、WP8F 内各 WG が、次回京都合会中に、どれに責任があるかを特定し、特定された勧告、報告をチェックし M.1224 に含まれていない用語を AH-VOC に回答すること。

②新規作成される勧告、報告においては用語定義の項目を設けること。

議長レポート(8F/TEMP/513)において Terminology に関する項目を含んで居ない勧告/Report は Reject することが提案されていたため、Closing Plenary において Qualcomm からこの要請は行過ぎではないかというコメントが出たが、議長代行(WEE 氏)より AH-VOC の強い要請と受け止め、今後作成する勧告/Report には Terminology に関する記載を含めることを強く推奨するとの発言があった。

(6) 今後の課題

次回京都合会において、各 WG からの回答に基づき、WP8F における用語定義方針を確定するとともに、CCV に対するリエゾン文書を作成することが課題である。

6. Region 3 参加国非公式会合

(1) 議長：石田(日)

(2) 主要メンバー：J. Lewis (フランクフルト)、H. Prins (豪)、L. Baozhen (中)、J. Singh (印)、K.J.Wee (韓)、A. Jamieson (NZ)、森、佐藤、白石(日)他

(3) 審議概要：

本会議で議論したい 8F 関連事項を挙げてもらい、挙げられた事項に関して議論する形で進められた。議論の内容は以下のとおりである。

a) 京都合会における Workshop について

韓国の Wee より、Region3 各国の参加者が増えると考えられる京都合会における Workshop のあり方について議論したいとの提案があり、議論が行われた。議論の集約としては、以下のとおりである。

- 開催地の利を活かし、特に APT 各国に有益なものとなるようにすべき。そのためにも、日本が Organizer となり WP8F がサポートする形が望ましい。
- Workshop の内容は、APT 各国が今後 WRC-07 への対応を検討する上で有益なものとするべき。WRC に向けた各国の主張を戦わせるべきではない。また、WRC 後を展望した内容も望ましい。
- Workshop への参加は、ITU-R 関係者だけでなく一般にも Open とすべきである。

b) IEEE からの提案の評価について

- ニュージーランドは、今後評価グループを設立することを決定している。
- 日中韓は、評価グループの設立に関しては今後議論される。

c) 候補周波数帯(3.4-4.2GHz)について

インドが、同国では 3.1-3.5GHz 帯はレーダで、3.4-4.2GHz 帯も種々のサービスで使用しており、この周波数帯の特定には反対の立場であるが、各国の意見を聞かせて欲しいと要請。APG での議論の状況が紹介されるとともに、各国から以下の発言があった。

- 韓国では、レーダとの共用に関しては大きな懸念はない。また、FSS に関しても若干の懸念がある程度。FSS との共用に関しては、DTH(Direct to Home) とそれ以外を分けて考えるべきである。
- オーストラリアの本周波数帯に関するスタンスは、まだ Open。周波数共用の検討結果を待っている状況である。約 5 万の DTH があるが、これは受信専用であり国内的に保護されておらず、国の決定に影響を与えることはない。
- 中国では本周波数帯は現状 FSS で広く使われており、重要な周波数帯と考えている。また、CCSAI において、

FSSとの周波数共用を検討しており、この結果を次回のAPGに入力したいと考えている。

d) 候補周波数帯(2.3-2.4GHz)に関して

オーストラリアより、APGで2.3-2.4GHz帯に関して明確に反対を表明しているのは日本だけであり、日本の考えを聞かせて欲しいとの発言があった。これに対して日本より、本周波数帯はIMT以外の移動業務で重要と回答した。

7. 今後の予定等

7. 1 WP8F 及び関連会合の今後の開催予定

WP8F 及び関連の会合の今後の予定は以下のとおりである。

[WP8F の開催予定]

・ WP8F 第 22 回会合	日本	2007.5.23	—	2007.5.31
・ WP8F 第 23 回会合	ジュネーブ	2008.1.28	—	2008.2.1
・ WP8F 第 24 回会合	欧州（スウェーデン?）	2008.6.11	—	2008.6.18
・ WP8F 第 25 回会合	アジア（中国又は韓国?）	2008.10.8	—	2008.10.15

[関連する会合の開催予定]

RAG	スイス（ジュネーブ）	2007.1.24	—	2007.1.26
CPM-07-02	スイス（ジュネーブ）	2007.2.19	—	2007.3.2
WP3M	スイス（ジュネーブ）	2007.4.16	—	2007.4.25
SG3	スイス（ジュネーブ）	2007.4.26	—	2007.4.27
WP3K	スイス（ジュネーブ）	2007.4.17	—	2007.4.25
WP1B	スイス（ジュネーブ）	2007.6.11	—	2007.6.15
WP8A	スイス（ジュネーブ）	2007.6.12	—	2007.6.20
SG8	スイス（ジュネーブ）	2007.6.25	—	2007.6.26
RA-07	スイス（ジュネーブ）	2007.10.15	—	2007.10.19
WRC-07	スイス（ジュネーブ）	2007.10.22	—	2007.11.16
CPM10-01	スイス（ジュネーブ）	2007.11.19	—	2007.11.21

7. 2 次会合に向けての日本のアクション事項

7. 2. 1 WG-Service 関係

- ・ IMT.SERV については、次回会合までの間に行われる 6.4 節の検討を目的とした CG 活動（SWG IMT.SERV 議長担当）に対して、日本より提案文書の入力し、審議を促進する必要がある。
- ・ IMT.SERV は次回教と会合にて最終化の予定であるため、完成度の高い改訂案を作成する必要がある。
- ・ Common Text については、次回会合での最終化に向けて内容の精査を行い、必要に応じて改訂案を入力する。
- ・ Circular Letter に関連する事項については、SWG-SERV が関連する Annex 1 に対する改訂案や、Annex 3 の構成案などを入力する必要がある。

7. 2. 2 WG-Technology 関係

- ・ IP-OFDMA に関しては Evaluation に参画する事が必要であるため、国内での進め方を決定し、評価を実施する事が必要である。
- ・ M.[IMT.TECH]については、要求条件(評価項目)に関する更なる検討を行い、次回再度入力する必要がある。

- ・ M.[IMT.EVAL]に関しては Channel Model/Test Model において日本から提案可能かの検討も含め、次回入力を予定する。
- ・ 勧告 M.1457 Revision 7 に向けた改訂に関しては、次回で改訂案完成予定であるため、CDMA DS/MC/TDD の Stakeholder SDO である ARIB/TTC はその改訂提案内容のチェックを行うと共に、必要な文書を期限までに提出する必要がある。
- ・ 勧告 M.1457 Revision 8 に向けた改訂に関しては、次回 CDMA DS/MC/TDD に関する入力となされる場合には Stakeholder SDO である ARIB/TTC はチェックを行う必要がある。

7. 2. 3 WG-Spectrum 関係

- ・ 共用検討については、次回会合で、新 Report 草案を完成させる必要があり、日本の候補帯域について適切な結論となるように、積極的に対応を行う必要がある。特に、FSS 及び Radar については、次回会合で、相反する 2 つの見解を適切に収めるための筋道を考慮し、新たな寄与文書を入力して引き続き積極的な対応を行なう必要がある。
- ・ Circular Letter については、Spectrum 関連事項について適切な内容となるよう積極的に寄与する必要がある。

7. 2. 4 AH-CIRCULAR LETTER 関係

- ・ サーキュラレター本体については、積極的にテキストの修正、追加提案を行う。
- ・ サービス要求条件については、WG-SERV で議論した後、AH-CL で議論されるので、まず、WG-SERV での勧告草案[IMT.SRV]作成の過程で、どの項目をサーキュラレターに記述すべきか検討し提案する（サービス関係と連携）。
- ・ 無線要求条件については、WG-TECH で議論した後、AH-CL で議論されるので、WG-TECH での要求条件に関する作業文書[IMT.TECH]および評価に関する作業文書[IMT.EVAL]作成への積極的な寄与提案を行い、また、AH-CL に残すべき項目の検討も必要である。
- ・ また、スペクトラム関連の要求条件についても、何をサーキュラレターに記述するかを検討し、積極的に提案する必要がある。WRC-07 の結果待ちであるが、現時点でも不適切な内容が記述されないように、適宜、修正提案を行う。
- ・ 提案・評価プロセス、コンセンサス形成について、考え方を整理し、提案を行う。

付属資料 1 参加国・機関と寄与文書数

参加国・機関	参加者数	寄与文書数
ドイツ	9	3(再掲 1)
アンゴラ	2	
オーストラリア	2	2
オーストリア	1	
ブラジル	3	1
ブルネイ	1	
カメルーン	35	2
カナダ	8	7
中央アフリカ	1	
中国	14	7
韓国	16	3
コートジボアール	1	
UAE	2	3
アメリカ	24	8
ロシア	4	
フィンランド	5	1
フランス	10	3(再掲 1)
ガーナ	3	
インド	1	
イスラエル	1	1
イタリア	1	
日本	23	10(再掲 1)
ケニア	2	
ルクセンブルグ	1	
モーリタニア	1	
メキシコ	2	1
モザンビーク	1	
ナイジェリア	1	
ニュージーランド	1	1
英国	7	1
セネガル	1	
南アフリカ	3	
スウェーデン	2	2(再掲 1)
スイス	1	
タンザニア	1	
チャド	1	
チュニジア	2	
ザンビア	2	
ジンバブエ	2	
エジプト		1
グアテマラ		1
オマーン		1
小計	198	55

参加国・機関	参加者数	
02 Germany GmbH & Co. OHG	1(再掲1)	
Deutsche Telekom AG	1(再掲1)	
E-Plus Mobilfunk GmbH & Co. KG	1(再掲1)	
Norddeutscher Rundfunk (NDR)	1(再掲1)	1
Zweites Deutsches Fernsehen	1(再掲1)	1(再掲 1)
Telesat Canada	1(再掲1)	
Asia Satellite Telecommunications Co. Ltd.	1	1
China Mobile Communication Corporation	3	2
LG TeleCom Ltd	1	
Bouygues Telecom	1(再掲1)	
France Telecom	6(再掲 5)	2(再掲 1)
Telecom Italia SpA	1(再掲1)	4(再掲 4)
eAccess Ltd	2(再掲 1)	
KDDI Corporation	3(再掲 3)	
NTT DoCoMo Inc	3(再掲 3)	
Softbank Mobile Corp.	1(再掲1)	
SES ASTRA S.A	1(再掲1)	
SES NEW SKIES B.V.	1	
British Telecommunications PLC	2(再掲 2)	
Hutchison 3G UK Ltd(3)	1(再掲1)	
Inmarsat Ltd	1	
Siemens Networks GmbH & Co. KG	2(再掲 1)	8(再掲 6)
Nortel Networks(Canada)	1(再掲1)	
Nortel Networks(USA)		1
Huawei Technologies Co. Ltd	5	2(再掲 2)
ZTE Corporation	1	
Samsung Electronics Co. Ltd	2	1(再掲 1)
Cingular Wireless	1	1
Interl Corporation (USA)	5	3
Lucent Technologies Inc	1	6(再掲 4)
Qualcomm. Inc	4	1(再掲 1)
Nokia Corporation	2	9(再掲 9)
Alcatel S.A.	1(再掲1)	4
Fujitsu Limited	1(再掲1)	
Hitachi Ltd.	1(再掲1)	
Intel K.K(Japan)	1(再掲1)	
Matsushita Electric Industrial Co. Ltd	1(再掲1)	
Mitsubishi Electric Corporation	1(再掲1)	
NEC Corporation	1(再掲1)	
Panasonic Mobile Communication Co, Ltd	1(再掲1)	
Sharp Corporation	1(再掲1)	
Toshiba Corporation	1(再掲1)	
Intel Corporation(UK) Ltd	1(再掲1)	
Intelsat Global Sales and Marketing Ltd	1	2
Telefon AB-L.M. Ericsson (SWE)	6	10(再掲 4)
IEEE	1	3
UMTS Forum	1	
WiMAX Forum	5(再掲 2)	3

参加国・機関	参加者数	
ESTI	1(再掲1)	1
Research in Motion	1(再掲1)	
Telus Mobility	1(再掲1)	
International 450 Association	1	1
Alvarion Ltd	1(再掲1)	
Radiocommunication Bureau	1	
“BWA Sharing” Correspondence Group Chairman		1
“MBWA Sharing Correspondence Group Chairman”		1
Alliance for Telecommunications Industry Solutions		1
BR SG Department		1
Chair WP8F		1
CITEL Rapporteur		1
Coordination Comity for Vocabulary (CCV)		1
Director BR		4
ITU-T SG 19		1
ITU-T SG 12		1
ITU-T SG 16		1
ITU-T SG 15		1
Motorola Inc.		5(再掲5)
NABA		1
Rapporteur ITU-D Q.18-1/2		1
WP 1B		1
WP 3K		1
WP 3M		2(再掲1)
WP 4A		1
WP 4B		1
WP 8A		5
WP 8B		5
WP 8D		2
Region 2 special Rapporteur		1
CEPT Rapporteur		1
Region 3 Rapporteur		1
小計	42	71
総合計	240	126

付属資料2 ITU-R WP8F第21回会合日本代表団の構成

区 分	氏 名	会社名・団体名	所 属 ・ 役 職
団長	森 孝	総務省 総合通信基盤局	電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
副団長	佐藤 孝平	(社) 電波産業会	常務理事
構成員	坂本 光男	イー・アクセス(株)	eMobile 技術本部 無線技術部 副部長
構成員	庄納 崇	インテル(株)	研究開発本部 シニアリサーチャー
構成員	新 博行	(株)NTT ドコモ	電波部電波企画担当 課長
構成員	古川 憲志	(株)NTT ドコモ	研究開発企画部 担当部長
構成員	吉野 仁	(株)NTT ドコモ	ワイヤレス研究所 電波信号処理研究室 主幹研究員
構成員	中村 元	KDDI(株)	KDDI 研究所 ネットワーク設計グループ グループリーダー
構成員	新井田 統	KDDI(株)	KDDI 研究所 特別研究員プロジェクト 特別研究員
構成員	菅田 明則	KDDI(株)	技術渉外室 電波部 企画・制度グループ 次長
構成員	森脇 鉄朗	シャープ(株)	技術本部 先端通信技術研究所
構成員	小松 裕	ソフトバンクモバイル (株)	モバイルネットワーク本部 ネットワーク統括部 無線ネットワーク部 電波部 課長
構成員	広瀬 敏治	(株)東芝	技術・品質管理部 品質企画担当 参事
構成員	本多 美雄	日本エリクソン(株)	マーケティング／カスタマーソリューション本部 コアネットワーク技術 部長
構成員	古賀 敬一郎	日本電気(株)	キャリアネットワーク企画本部 エグゼクティブエキスパート
構成員	三浦 望	パナソニック モバイルコミュニケーションズ	技術渉外・情報管理グループ 技術渉外・標準化推進チーム 主事
構成員	外山 隆行	パナソニック モバイルコミュニケーションズ	技術部門 移動通信技術開発センター
構成員	石川 禎典	(株)日立製作所	Network Platform 事業推進室 主任技師
構成員	林 律雄	富士通(株)	モバイルシステム事業本部 標準化推進部
構成員	吉井 勇	松下電器産業(株)	次世代モバイル開発センター
構成員	佐藤 一美	三菱電機(株)	通信システム事業本部 標準化推進グループマネージャー
構成員	堤 竹彦	モトローラ(株)	ガバメント リレーションズ 統括
構成員	石田 良英	(社) 電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 担当部長
構成員	白石 基	(社) 電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 主任研究員

付属資料3 日本寄書等の審議結果

項 目	日本寄書等	内 容	結 果
WG-SERV	Doc. 8F/1085	サービス勧告 IMT.SERV の作業文書に対して、の第 22 回会合での最終化を念頭に、以下の点に留意しながら、具体的な文章の提案など作業文書の改訂を入力した。 ・記述レベルは M.816-1 を参考にする。 ・ITU-T を含む ITU 内のグループで検討された勧告／レポートを参照する。 ・マーケットレポートの内容を参照する。 ・現在の作業文書の Annex に入っている素材を元に、Recommendation の各パートの文章を作成する。	提案された内容は、他国からの同様な提案と合わせる形で、ほぼ反映された。特に ITU 内の他の勧告に関する詳細な情報は日本からのみ入力されており、全て反映された。また、他国から入力された文章の多くが、第 20 回会合で日本が入力した文章となっており、今会合も含めて IMT.SERV の作成に、日本は高い寄与を示している。
WG-TECH	Doc. 8F/1086	本寄与文書は、IMT-Advanced の無線インタフェース募集のための Circular Letter に関連する Technology 関連の新規 Report “IMT.TECH” の Working Document に対する提案である。具体的には、目次として IMT-Advanced の無線インタフェースに求められる技術的条件、評価を行う項目及び評価方法、及び目次に従った文書構成を提案している。	本提案をベースとして、中国提案等を盛り込み、日本が Acting Editor として M.[IMT.TECH]の Working Document を TEMP 文書として作成し、次回会合ではこれを元に討議を行う事となった。但し評価方法の項目は別文書として M.[IMT.EVAL]の作成が決定し Working Document も別個に作成された。
WG-SPEC	Doc.8F/1087	本寄与文書は、第 22 回会合での完成を目指す 3400-3700MHz 帯レーダーの共用検討について、WP3M&3K、WP8B からの伝搬モデルに関するリエゾンバックを考慮し、日本の用いた伝搬モデルの正当性を主張し、干渉回避技術、特に DFS 技術の詳細を説明し、周波数有効利用促進、WRC-07 における IMT-Advanced 周波数特定の議論促進の観点による Conclusion への追加、米国検討内容削除を含む作業文書の修正を提案するものである。	作業文書の構成を変更し、メインボディと、日本検討、米国検討、米国の新規の隣接周波数検討、干渉回避技術を ANNEX1～4 とする構成に変更され、日本提案は米国削除を除き、概ね作業文書に盛り込まれた。 しかし、日本の検討に「WP3M&3K の勧める伝搬モデルをいっていない」との NOTE、各検討のレーダー保護基準（50%、20%、0.001%）の根拠について、「根拠を明確にする必要がある」との NOTE、メインボディの干渉回避技術で、「多くの干渉回避技術がある」、「レーダーの干渉を下げる技術は IMT への干渉も下げる」の記述には[] が付けられた。
WG-TECH	Doc. 8F/1088	本寄与文書は、IMT-Advanced の無線インタフェース募集のための Circular Letter に関連する Technology 関連の新規 Report “IMT.TECH” の Scope、及び作業スケジュールを提案したものである。 本文書を IMT-Advanced の無線インタフェースに求められる技術的条件、評価を行う項目及び評価方法を記載することを提案し、従来の第 22 回から Circular Letter 発出時期である第 23 回会合までの完成にスケジュールを変更すること及び AH-CL、WG-SERV との関係も提案している。	本提案に基づき、Mociro-Workplan の変更は実施され、第 23 回会合での完成は合意した。 但し Scope においては、評価方法を別文書として作成するため、その部分は削除され、中国提案により Technology Enablers に関する記述も暫定的に残っている。

WG-SPEC	Doc. 8F/1089	<p>第 20 回 WP8F 会合において、IMT-Advanced と FSS の共用検討レポート草案に向けた作業文書の更新が行われたが、時間の制約から十分に Review が行われなかった。本寄与文書では、第 21 回 WP8F 会合での作業が円滑に進むように、作業文書の全体の改訂版の提案を行った。主な提案の骨子は下記の通り。</p> <p>(1) 序論の修正：候補周波数帯等に対する記述を適切に修正。</p> <p>(2) FSS の展開状況に対する修正：特定の国の状況を説明するのではなく、一般的な記述に留める修正。</p> <p>(3) FSS 地球局の保護基準である Shor-term, Long-term interference criteria の取り扱い (Doc. 8F/1092 参照)</p> <p>(4) 新たな評価結果の追加</p> <p>(5) 干渉軽減技術の追加 (Doc. 8F/1091 参照)</p> <p>(6) 結論の修正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 序論の修正、新たな評価結果の追加については、ほぼ提案通りの修正が認められた。 ・ FSS の展開状況の修正については、日本が提案した候補周波数帯レポート (ITU-R M.2079) の表を参照するだけの一般的な記述では不十分として、FSS 保護派 (米、露、加、ルクセンブルク、衛星事業者) からの強い反対を受けた。最終的に日本の表現とともに、FSS 保護派が入力した表現について、一部を作業文書本体、残りの大部分を Annex に記述することで合意した。 ・ 結論の修正は、審議の時間が十分に取れなかったこともあり、前回の作業文書からの修正は行われなかった。 <p>※ その他の修正は、下記 Doc. 8F/1091, 1092 の結果を参照。</p>
WG-SERV	Doc. 8F/1090	<p>第 20 回会合にてベースとなった 8F/805 への独との共同提案。</p> <p>本寄与文書では、Naming 決議が採択されたことを反映した new capabilities を指す記述の追加提案、key features の補足説明、また 8F/804(J) の代わりに本寄与文書を議論する提案を行っている。</p>	<p>8F/1105 (加) と本寄与文書の提案が重なっていないことから、両提案を混ぜ合わせる形で詳細審議され、common text に関する会合出力文となった。文章全体は、1 ページ未満でほぼ目標どおりの分量であり、日本提案もほぼ全て盛り込まれた。追加提案を募った上、次回会合で最終案策定終了予定。</p>
WG-SPEC	Doc. 8F/1091	<p>第 19, 20 回 WP8F 会合において、日本から提案を行った評価基準 (Interference Area Ratio) に基づく IMT-Advanced と FSS の共用検討について、WP 4A からのコメントに対する回答を行うとともに、追加の評価結果を示して、Interference Area Ratio の妥当性を論ずる。さらに、Interference Area Ratio を用いた評価結果を、IMT-Advanced と FSS の共用検討レポート草案に向けての作業文書の干渉軽減技術の章に含めることを提案した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本からは、Interference Area Ratio の評価を、干渉軽減技術の章に記載することを提案していたが、概念そのものは干渉軽減技術ではないとの反対が、加、米、衛星事業者らより出された。一方で、仏、韓からは、日本に対する支持が寄せられた。 ・ DG 議長の妥協案として、干渉軽減技術内の小節として、日本の提案が含まれることが示された。しかしながら、審議の時間が十分に取れなかったこともあり、現状は、干渉軽減技術の一節として、作業文書の中に [] 付きで挿入が行なわれることになった。 ・ なお、次回 WP 8F 京都会合までに、WP 4A が開催されないこともあり、改めて WP 4A にリエゾン文書を送出することは行われなかった。

WG-SPEC	Doc. 8F/1092	<p>第 20 回 WP8F 会合において議論となった、FSS 衛星地球局の保護基準である short-term interference criteria について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地形データを考慮した評価で用いるべき指標であること ・ 限られた地域、条件下で発生する干渉を考慮した指標であり、IMT-Advanced との共用検討において、long-term interference criteria に基づく結果を優先すべきことを主張し、上記の内容を IMT-Advanced と FSS の共用検討レポート草案に向けての作業文書に含めることを提案した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の主張をサポートする仏、韓と、不適切とする FSS 保護派（特に、米、衛星事業者）からの意見が対立した。 ・ DG 議長の妥協案として、両者の見解を並列に作業文書に記述することが示され、本件に関わる技術的な確認を WP 3M に行なうこととした。WP 3M の次回会合は本年 4 月であり、次回 WP 8F 京都会合に対して、WP 3M からリエゾン文書のフィードバックが行なわれ、再度議論となると想定される。
WG-SPEC	Doc. 8F/1093	<p>第 20 回会合に新設された DG 450MHz において作成された作業文書における IMT-450 と衛星回線の共用検討の項の内容に、「日本も含む全世界で当該共用検討は不要」というもので、日本で津波警報用の気象衛星システムが当該帯域において衛星⇒地上の回線を今後も使用していくという状況に不適切であった。そこで、日本の状況を説明し、作業文書における不適切部分を削除する改訂提案をするもの。</p>	<p>日本提案の通りに作業文書の該当部分が削除された。(ITU-R SNS データベース内容に係る事実部分の削除はコメントで削除せず) 更に、当該節の結論部分に、日本の状況をノートし、ITU-R の衛星データベースに基づく調査をも考慮した上で、共用検討は不要という結論を追記する改訂を行った。日本において気象衛星の件で共用検討が必要となった場合は、国内問題として共用検討を行うことになる。</p>
AH Circular Letter	Doc.8F/1103	<p>現在のサーキュラレター作業文書の章構成を精査し、今後必要となる作業項目とそれらの所掌 WG を提案する。提案は、第 20 回会合で作成された回章の章構成に関するテーブル (Attachment 7.2, Document 8F/1045) に対する追加修正として行う (Attachment 1 参照)。また、IMT-2000 のときの回章などを参考にし、具体的作業文書を提案し、回章全体について WP8F 内で共通の認識を持てるようにする。</p>	<p>作業項目は、アウトラインとして記述されることとなり、作業促進に貢献した。また、各 Annex を所掌する WG の提案は日本案が多くの Annex で採用された。サーキュラレターの章構成のテーブルは、日本提案やその他の寄書をもとに、更新された。</p>

付属資料 4 入力文書一覧 (1/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/736	WP 8F Workplan and process towards IMT-Advanced	WP 8F Chairman & WP 8F AH Workplan Chairman (carried forward)
8F/899 Att. 5.25	Chairman's report - Meeting in Biarritz 3 – 10 May 2006: Working document [towards a preliminary draft new Report] on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and mobile broadband wireless access (MBWA) systems in the same geographical area	Chairman, WP 8F (carried forward)
8F/914	Working document towards a preliminary draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and mobile broadband wireless access (MBWA) systems in the same geographical area	WiMax Forum (carried forward)
8F/920	Technology flexibility in spectrum identified for the future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000	Australia (carried forward)
8F/938	Proposed micro workplan for the development of a Circular letter on requirements for IMT-Advanced	Japan (carried forward)
8F/948	Timing of the development of 'common text' for IMT-Advanced	United States of America (carried forward)
8F/959	Proposed workplan for IMT-Advanced	Korea (carried forward)
8F/967	Proposed update of the working document Att. 5.2 to Doc. 8F/899	Finland, Sweden, Norway (carried forward)
8F/968	Input on general principles and objectives for IMT-Advanced	United States of America (carried forward)
8F/976	Proposed working method and workplan and structure towards Circular letter for IMT-Advanced process	China (People's Republic of) (carried forward)
8F/990	Clarification of IMT-Advanced definition and standardisation objectives	Intel Corporation (UK) Ltd (carried forward)
8F/992	IMT-Advanced clarifications	Intel Corporation (UK) Ltd (carried forward)
8F/993	Initiation of a periodic circular letter calling for candidate radio transmission technology (RTT) proposals for IMT-Advanced	Canada (carried forward)
8F/997	IMT Advanced timelines and workshop	Canada (carried forward)
8F/1000	New work item proposal for Radio Aspects SWG	Canada (carried forward)
8F/1009	Additional material for the sharing studies in the band 2500-2600 MHz between IMT-2000 and Mobile Broadband Wireless Access (MBWA) systems in the same geographical area	Samsung Electronics (carried forward)
8F/1013	Comments to and proposed improved structure and update of the working document Att. 5.24 of Doc. 8F/899	Ericsson, Nokia, Hutchinson3G (carried forward)
8F/1030	Methodology to assess the interference from broadcasting-satellite service (sound) into terrestrial IMT-2000 intending to use the band 2 630-2 655 MHz	Telstra Corporation Ltd (carried forward)
8F/1042	(Replaced by 8F/1046)	
8F/1043	Liaison statement on the development of a PDNR ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational requirements for access technologies to support IP applications over mobile systems"	WP 4B
8F/1044	Final list of participants - Working Party 8F (Denver, 23-30 August 2006)	Director, BR
8F/1045	Chairman's report - Meeting in Denver 23 – 30 August 2006	Chairman, WP 8F

付屬資料 4 入力文書一覽 (2/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1046	Liaison statement to Working Party 8F (Copy for information to ITU-D SG 2) - Development of the Handbook on deployment of IMT-2000 Systems	ITU-T SG 19
8F/1047	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 4A, 6E, 7C, 8A and 8F	BR Study Group Dpt
8F/1048	Liaison statement to WP 8F - Frequency-related matters for IMT-2000 and systems beyond IMT-2000 related to WRC-07 Agenda item 1.4	WP 4A
8F/1049	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	WP 3M
8F/1050	Liaison statement from ITU-D Question 18-1/2 to ITU-R WP 8F and 8D and ITU-T SG 19 on the draft work programme for Question 18-1/2	Rapporteur ITU-D Q.18-1/2
8F/1051	Response to Liaison from ITU-R WP 8F on "Key technical and operational requirements for access technologies to support IP applications over mobile systems"	Director BR
8F/1052	Liaison statement to relevant external organizations and ITU-T Study Groups 13 and 19 (copy to WP 4B, 8D and 8F) - On the development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems" in response to Question ITU-R 223-1/8	WP 8A
8F/1053	Liaison statement to Working Party 8F - Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR.BWA]	WP 8A
8F/1054	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (Copy for information to ITU-R WP 8F and WP 9B)	WP 8A
8F/1055	Liaison statement to Working Parties 8B and 8D - Copy to WP 8F - Development of a consolidated Report on software defined radio	WP 8A
8F/1056	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	WP 8A
8F/1057	Liaison statement to Working Party 8F on frequency related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Sharing studies between IMT-advanced systems and radars in the 2 700-2 900 MHz band and the 3 400-3 700 MHz band	WPS 3K and 3M
8F/1058	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	WP 1B
8F/1059	DECT-Information regarding the update of Recommendation ITU-R M.1457 (IMT.RSPC) to Rev. 7 and Rev. 8	ETSI
8F/1060	New versions of the Access Network Transport (ANT) standards overview and workplan	ITU-T SG 15
8F/1061	Reply to Liaison statement on the access network transport standardization (ANTS)	ITU-T SG 15
8F/1062	Liaison statement to WP 8F - Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS]	WP 8D
8F/1063	Liaison statement to Working Parties 8A and 8F (Copy to Working Party 4B) - IP-related study activity for the mobile-satellite service in Working Party 8D	WP 8D
8F/1064	Development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems"	IEEE
8F/1065	Proposed new IMT-2000 terrestrial radio interface intended for inclusion in Recommendation ITU-R M.1457	IEEE
8F/1066	Liaison statement to WP 8F - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	WP 8B

付属資料 4 入力文書一覧 (3/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1067	Liaison statement to WP 8F - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Sharing study between IMT-Advanced systems and radars in the 3 400-3 700 MHz band	WP 8B
8F/1068	Liaison statement to WP 8F - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	WP 8B
8F/1069	Initial submission of material for update of Section 5.4 of Recommendation ITU-R M.1457 to Revision 8	Alliance for Telecommunications Industry Solutions...
8F/1070	Liaison statement to TSAG, ITU SGs and eHSCG members on first version of the ITU-T Roadmap for Telemedicine	ITU-T SG 16
8F/1071	Liaison statement - Invitation to participate in GSC Task Force in support of Intelligent Transportation Systems (ITS)	ITU-T SG 12
8F/1072	View on how to handle the proposal in doc. 8F/1065	Germany (Federal Republic of)
8F/1073	Errors in propagation modelling in Report ITU-R M.2030	WiMAX Forum
8F/1074	Suggested elements for common text for IMT-Advanced	Australia
8F/1075	Benefits of adding IP-OFDMA as an IMT-2000 terrestrial radio interface	WiMAX Forum
8F/1076	Minimum technical requirements and evaluation criteria for IMT-Advanced radio interface technologies	New Zealand
8F/1077	Comments on "Working document towards a PDN Report on sharing studies between IMT-2000 and terrestrial digital broadcasting (DVB-T and DVB-H)"	Australia
8F/1078	Proposal of candidate frequency on Band 470 - 806 MHz	China Mobile Communications Corporation
8F/1079 (Rev.1)	Additional technical details supporting IP-OFDMA as an IMT-2000 terrestrial radio interface	WiMAX Forum
8F/1080	Discussion of simulation results to the working document towards sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access (BWA) systems	China Mobile Communications Corporation
8F/1081	Report on the activities of the "MBWA sharing" Correspondence Group since the 20th meeting of WP 8F	"MBWA Sharing Correspondence Group Chairman"
8F/1082	Considerations on adding IP-OFDMA as an IMT-2000 terrestrial radio interface	Israel (State of)
8F/1083	IEEE New project to develop a standard to meet the cellular layer requirements of IMT-Advanced	IEEE
8F/1084	IMT-Advanced parameters	France
8F/1085	Modification of the working Document towards a PDNR ITU-R M.[IMT.SERV]	Japan
8F/1086	Proposed contents towards preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.TECH] - Working document towards the report on Technology issues for IMT-ADVANCED interface(s)	Japan
8F/1087	Proposed modifications to the working Document towards a PDN[Recommendation/Report] on Sharing studies between IMT-Advanced and Radiolocation Services in the 3 400-3 700 MHz band	Japan
8F/1088	Proposed micro workplan towards Preliminary Draft New Report M.[IMT.TECH]	Japan
8F/1089	Proposed modifications to the working document towards a PDN Report on sharing studies between IMT-ADVANCED and th fixed-satellite service in the 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz bands	Japan
8F/1090	Proposed modifications on common text for WP 8F deliverables concerning IMT-Advanced	Germany (Federal Republic of), Japan

付属資料 4 入力文書一覧 (4/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1091	Further considerations on interference area ratio in sharing studies between IMT-Advanced and the fixed-satellite service in the 3 400-4 200 MHz and 4 500-4 800 MHz bands	Japan
8F/1092	Comments on short-term interference criteria in sharing studies between IMT-Advanced and fixed-satellite service in the 3 400-4 200 MHz and 4 500-4 800 MHz bands	Japan
8F/1093	Proposed modifications to the working Document towards a PDN Recommendation/Report on sharing studies between Radiocommunication services and IMT-2000 and IMT-Advanced systems operating in the 450-470 MHz band	Japan
8F/1094	CMDA MC update information for Recommendation ITU-R M.1457-7 and ITU-R M.1457-8	Director BR
8F/1095	Preliminary draft new Recommendation - Adjacent channel compatibility between the radiolocation service and IMT-ADVANCED systems operating in 3 400-3 700 MHz band	USA
8F/1096	Additional conclusions concerning radiolocation and IMT in the 3 400-3 700 MHz band based on sharing studies and operational considerations of radars for use in ongoing WP 8F sharing studies	USA
8F/1097	Preliminary draft new Recommendation on the compatibility of airport surveillance radars and meteorological radar with IMT systems within the 2 700-2 900 MHz band	USA
8F/1098	Comments on working document towards PDNR IMT.SERV	USA
8F/1099	Views on IEEE IP-OFDMA terrestrial candidate RTT submission to Recommendation ITU-R M.1457	USA
8F/1100	Progression of the work on PDNR IMT.TECH	USA
8F/1101	Progression of the work on proposed Circular Letter	USA
8F/1102	Working document towards a PDNR on sharing studies between IMT-ADVANCED and the fixed satellite service in the 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz bands	USA
8F/1103	Proposed work items and working document towards a circular letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies	Japan
8F/1104	Working document towards preliminary draft new Report on sharing between IMT-2000 and fixed BWA systems including nomadic applications in the 2 500-2 690 MHz band	Canada
8F/1105	Common text for IMT-Advanced	Canada
8F/1106	Proposed programme for the WP 8F workshop	Canada
8F/1107	Canadian Evaluation Group (CEG) - Evaluation of IP-OFDMA	Canada
8F/1108	Consideration of 3 400-4 200 MHz as a candidate Band for use by systems beyond IMT-2000	United Arab Emirates
8F/1109	Potential interference from IMT-Advanced* Systems to 4 GHz FSS Earth stations in Europe	Intelsat Global Sales and Marketing, Ltd.
8F/1110	Liaison statement to WP 8F - Selectivity masks and antenna diagrams of aeronautical radionavigation and meteorological radars for frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	WP 8B
8F/1111	Liaison statement to WP 8F - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Consideration of the band 450-470 MHz	WP 8B
8F/1112	Consideration of the 3 400-4 200 MHz as a candidate band for use by IMT-Advanced systems	Intelsat Global Sales and Marketing, Ltd.

付属資料 4 入力文書一覧 (5/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1113	On the development of PDN Report ITU-R M.[IP CHAR]	Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola Inc., Nokia, Siemens, Telecom Italia
8F/1114	Proposed amendment to working document towards a PDNR on sharing studies between radiocommunication services and IMT systems operating in the 450-470 MHz band	Canada
8F/1115	Proposed PDNR - A methodology to determine separation distance in the case of adjacent band interference of IMT systems into System A (ATSC) television service operating in the range of 470 to 806 MHz	Canada
8F/1116	Comments on the proposal for a new IMT-2000 terrestrial radio interface	UK
8F/1117	Update submission for IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD toward Revision 7 of Recommendation ITU-R M.1457	Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola Inc., Nokia, Siemens, Telecom Italia
8F/1118	Initial submission of updated material on IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD toward Revision 8 of Recommendation ITU-R M.1457	Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola Inc., Nokia, Siemens, Telecom Italia
8F/1119	Updated information on the roadmap for IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD	Alcatel, Lucent, Ericsson, Motorola Inc., Nokia, Siemens, Telecom Italia
8F/1120	Views on extension of Recommendation ITU-R M.1457	Brazil (Federative Republic of)
8F/1121	Statement from IEEE relating to patents regarding the IEEE 802.16 standard	Director BR
8F/1122	Update on CITELE activities	CITELE Rapporteur
8F/1123	Impact of FSS networks on IMT-Advanced systems in the Bands 3 400 - 4 200 MHz and 4 500-4 800 MHz	France
8F/1124	Proposal for circular letter structure and related inputs	Sweden
8F/1125	Compatibility analysis between FSS and IMT-Advanced operations in the band 3 400-4 200 MHz	Canada
8F/1126	Views related with proposal in Doc. 8F/1065	Guatemala (Republic of)
8F/1127	Facilitating the consideration of IEEE "IP-OFDMA" terrestrial candidate RTT submission to Rec. ITU-R M.1457	Cingular Wireless
8F/1128	Proposed amendments to working document towards PDNR M.[IMT.SERV]	Canada
8F/1129	The requirements for IMT-Advanced	Canada
8F/1130	Views on inclusion of a new radio interface to Recommendation ITU-R M.1457	Mexico
8F/1131	Working Document towards a preliminary draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access (BWA) systems including nomadic applications in the same geographical area	Intel Corporation
8F/1132	Report on the activities of the "fixed/nomadic BWA sharing" Correspondence Group since the 20th meeting of WP 8F	"BWA Sharing" Correspondence Group Chairman
8F/1133	Update on usage of 450-470 MHz band	International 450 Association
8F/1134	Step approach for the development of Circular Letter	Korea (Republic of)
8F/1135	Update sharing study between IMT-Advanced and fixed satellite service	Korea (Republic of)

付属資料 4 入力文書一覧 (6/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1136	Working document towards a preliminary draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and mobile broadband wireless access (MBWA) systems in the same geographical area	Intel Corporation
8F/1137	Review of some satellite deployment characteristics in the band 3 400-4 200 MHz advised by WP 4A related to WRC-07 Agenda item 1.4	Korea (Republic of)
8F/1138	Proposed updates to the working document towards a PDNR on sharing studies between radiocommunication services and IMT-2000 and IMT-Advanced systems operating in the 450-470 MHz band	Lucent Technologies Inc., Huawei Technologies Co.Ltd., Nortel Networks (USA), Qualcomm
8F/1139	View on inclusion of new RTT into IMT-2000	China (People's Republic of)
8F/1140	Proposed technical requirement towards Circular Letter for IMT-Advanced process	China (People's Republic of)
8F/1141	Proposed structure and text of Circular Letter for IMT-Advanced process	China (People's Republic of)
8F/1142	Protection of FSS Earth stations in accordance with Appendix 7 of the Radio Regulations	AsiaSat
8F/1143	Suggestion to develop evaluation method and criteria of IMT-Advanced	China (People's Republic of)
8F/1144	Considerations on technical requirements for IMT-Advanced	China (People's Republic of)
8F/1145	Proposed content and scope of preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.TECH]	China (People's Republic of)
8F/1146	Proposal for the coming work on IMT.TECH to analyze and estimate the capability of IMT-Advanced by multi-input multi-output technology	China (People's Republic of)
8F/1147	Views on extension of Recommendation ITU-R M.1457	Egypt (Arab Republic of)
8F/1148	Proposed MIMO channel model approach for evaluation of air interface proposals for IMT-Advanced	Ericsson, Nokia Corporation and Siemens Networks
8F/1149	Proposed MIMO channel model parameters for evaluation of air interface proposals for IMT-Advanced	Ericsson, Nokia Corporation and Siemens Networks
8F/1150	Circuit-Switched voice	Intel Corporation, Motorola
8F/1151	Minimum capabilities and test environments for IMT-Advanced derived from IMT-2000 minimum capabilities and test environments	Siemens Networks, Ericsson, France Telecom...
8F/1152	New minimum capabilities for IMT-Advanced	Siemens Networks, Ericsson and Nokia Corporation
8F/1153	Further compatibility study between DVB-T and UMTS operating in 470-862 MHz	France Telecom, Ericsson
8F/1154	Sharing studies between FSS and IMT-Advanced systems in the bands 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz	Finland, France, Germany, Sweden
8F/1155	Requirements for IMT-Advanced	Lucent Technologies, Huawei Technologies Co. Ltd, Nokia Corporation, Samsung Electronics Co. Ltd, Siemens Networks GmbH & Co. KG

付属資料 4 入力文書一覧 (7/7)

Doc.	TITLE	Source
8F/1156	Suggested modifications to Attachment 5.4 of Document 8F/1045 - "Working document towards a PDN [Recommendation/Report] on sharing studies between IMT-Advanced and aeronautical radionavigation radars and meteorological in the 2 700-2 900 MHz band"	Ericsson
8F/1157	Detailed schedule for WP 8F work in the time period 2008-2009	Ericsson
8F/1158	New simulation results related to Attachment 5.4 of Doc. 8F/1045 "Working document towards a PDN [Recommendation/Report] on sharing studies between IMT-Advanced and aeronautical radionavigation radars and meteorological in the 2 700-2 900 band"	Ericsson
8F/1159	Some comments on "Working document towards a PDN Report on sharing studies between IMT-2000 and terrestrial digital broadcasting (DVB-T and DVB-H)"	Norddeutscher Rundfunk (NDR) and Zweites Deutsches Fernsehen (ZDF)
8F/1160	Sharing studies between IMT-2000 and Terrestrial Digital Broadcasting	Ericsson
8F/1161	Usage of TIC in Cameroon	Cameroon (Republic of)
8F/1162	Spectrum for IMT-2000, its evolution and IMT-Advanced	Cameroon (Republic of)
8F/1163	Consideration of 3 400-4 200 MHz as a candidate band for use by IMT-Advanced	NABA
8F/1164	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties – Terminology database	Coordination Comity for Vocabulary (CCV)
8F/1165	Update on IMT-2000 activities in region two	Region 2 special Rapporteur
8F/1166	Report on CEPT activities	CEPT Rapporteur
8F/1167	Activities related to IMT-2000 and IMT-Advanced in Region 3	Region 3 Rapporteur
8F/1168	Support for the identification of 450-470 MHz band for the future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000	Oman (Sultanate of)

付属資料5 出力文書一覧 (1/4)

Document number	Title	Source	Status
473R2	Process according to LCCE/47 and 95	SWG M.1457 & Q223	1, ㄦ, e
474R3	Structure of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH Circular Letter	1, ㄱ, f
475	Draft liaison statement to ITU-D Question 18-1/2 – The draft work Programme for Question 18-1/2	WP 8F	1, ㄱ, a
476	Draft liaison statement to Working Party 8D – Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS], Use of systems in the mobile-satellite service for relief operations in the event of disasters and similar emergencies and early warning	WP 8F	1, ㄱ, a (same as 482)
477	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 19 – Development of the handbook on deployment of IMT-2000 systems	WP 8F	2, ㄱ, a
478R2	Joint WP8A/WP 8F Preliminary Draft New Report ITU-R M.[IP CHAR] - Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems	WP 8F	2, ㄱ, a
479R3	Draft Liaison Statement to Relevant External Organizations and Working Party 8A (Copy to Working Parties 4B and 8D) - On the preliminary draft new Report ITU-R M.[IP CHAR] “Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems” in response to Question ITU-R 223-1/8	WP 8F	1, ㄱ, f
480	Draft Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (Copy for information to ITU-R WP 8A and WP 9B)	WG Technology (MAHAGOANTSL)	1, ㄱ, a
481R1	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of Software Defined Radio and Cognitive Radio systems in Working Party 1B (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D)	WG Technology (MAHGSDRCRS)	1, ㄱ, a
482	Liaison statement to Working Party 8D - Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MOBDIS], Use of systems in the mobile-satellite service for relief operations in the event of disasters and similar emergencies and early warning	WP 8F	(see 476)
483	Meeting Report	Chairman, WG Developing	1, ㄦ, d
484R2	Draft Circular Letter on proposal for a sixth radio interface - To Administrations of Member States of the ITU, Radiocommunication Sector Members and Associates of Study Group 8 participating in the work of Radiocommunication Working Party 8F, and to Other Organizations	Drafting Group M.1457 Circular Letter	2, ㄱ, a
485R2	Draft liaison statement to Working Party 3M – Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 – Agenda item 1.4	SWG-Sharing/DS-FSS	1, ㄱ, a
486	Roadmap for current work relevant to future updates of Recommendation ITU-R M.1457	Technology SWG “M.1457 & Q.223”	1, ㄦ, f
487	Draft Liaison Statement to Working Party 3K – Use of propagation models in WP 8F sharing studies between IMT-2000 and other Broadband Wireless Access systems in the 2 500-2 690 MHz band	WG Spectrum	1, ㄱ, a

付属資料5 出力文書一覧 (2/4)

Document number	Title	Source	Status
488R1	Draft terms of reference of correspondence forum on the compatibility of airport surveillance radars and meteorological radar with IMT systems within the 2 700 – 2 900 MHz band	SWG Sharing/DG Sharing Radar	1, 18, b
489R2	Draft Liaison Statement to Working Party 3M, 3K, and 8A – Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4, Sharing study between IMT-Advanced systems and radars in the 3 400-3 700 MHz band	WP 8F	1, 19, a
490R1	Working document towards a Preliminary Draft New [Recommendation/Report] on the compatibility of airport surveillance radars and meteorological radar with IMT systems within the 2 700 – 2 900 MHz band	WP 8F	1, 19, f
491R1	Working document towards a Preliminary Draft New Report on sharing studies between IMT-Advanced and Radiolocation services in the 3 400 – 3 700 MHz bands	SWG Sharing/DG Sharing Radar	1, 19, f
492R1	Internal liaison statement to all other WGs of WP 8F	Ad-Hoc WG Vocabulary	1, 18, f
493	Meeting Report	Chairman, Drafting Group Circular Letter Spectrum Requirements	1, 18, d
494	Draft text of the main body and the structure of the Annexes of the circular letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced on spectrum related requirements and other related issues	DG Spectrum Circular Letter	1, 19, f
495	Draft guidelines for evaluation of radio transmission technologies for IMT-Advanced	WG Technology/SWG Radio Aspect	1, 19, f
496	Draft [Report on] requirements related to technical system performance for IMT-Advanced radio interface(s) [IMT.TECH]	WG Technology/SWG Radio Aspect	1, 19, f
497	Meeting Report	Chairman, SWG Radio Aspects	1, 18, d
498R1	Terms of Reference for “MBWA Sharing” Correspondence Forum	DG Sharing	1, 18, b
499R1	Working document towards a preliminary draft new report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and mobile broadband wireless access (MBWA) systems in the same geographical area	DG Sharing	1, 19, f
500R1	Working document towards a PDNR on sharing studies between radiocommunication services and IMT systems operating in the 450-470 MHz band	DG Sharing (450 MHz)	1, 19, f
501	Working document towards the development of Common text for IMT-Advanced	SWG Common text	1, 19, f
502	Meeting Report Services SWG common text	Chairman, SWG Common text	1, 18, d
503	Liaison statement to ITU-T Study Group 16 on first version of the ITU-T roadmap for telemedicine	WP 8F	1, 19, f

付属資料5 出力文書一覧 (3/4)

Document number	Title	Source	Status
504R1	Liaison statement from ITU-R Working Party 8F to IEEE and WiMAX Forum - Acknowledgement of the receipt of the submission of a proposal for the 6th IMT-2000 terrestrial radio interface and request for clarification on outstanding issues	Sub-Working Group M.1457 & Q223	1, □, a
505	Proposed sixth terrestrial radio interface for IMT-2000 in Recommendation ITU-R M.1457	ITU-R Working Party 8F website	1, ㄥ, f
506R1	Meeting Report	Chairman, Technology SWG "M.1457 & Q.223"	1, ㄥ, d
507	Working document towards a PDN Report on sharing studies between IMT-Advanced and the fixed satellite service in the 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz	DG Sharing (FSS/FS)	1, ㄥ, f
508R1	Terms of Reference of Correspondence Forum for sharing between IMT-2000 and Fixed/Nomadic BWA systems in the 2 500-2 690 MHz	DG Sharing	1, ㄥ, b
509	Working document towards a preliminary draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access (BWA) systems including nomadic applications in the same geographical area	WP 8F	1, ㄥ, f
510	Working document towards a PDN Report on sharing studies between IMT-2000 and terrestrial digital broadcasting	DG sharing (DVB)	1, ㄥ, f
511R1	Draft liaison statement to WP 6E (Copy to WP 8A for Information) – Invitation to discuss the procedure for joint participation in the development of a methodology for sharing studies between IMT and broadcasting services in bands 470-806/862 MHz	WP 8F	2, □, a
512R1	Chairman's report of Sub-working group sharing	Working Group Spectrum (Sub-Working Group Sharing)	1, ㄥ, d
513	Ad hoc Working Vocabulary Meeting Report	WP 8F	1, ㄥ, d
514	Draft text for the main body of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH Circular Letter	1, □, f
515	Working document towards a PDNR IMT.SERV – Framework for Services delivered by IMT	SWG Services IMT.SERV	1, ㄥ, f
516	Meeting Report	Chairman, SWG IMT.SERV	1, ㄥ, d
517	ITU-R WP 8F Structure and Workplan	AH Workplan	1, ㄥ, c
518	Meeting Report of Ad Hoc Workplan	AH Workplan	1, ㄥ, d
519	Meeting Report	Chairman, WG Spectrum	1, ㄥ, d
520	Meeting Report	Chairman, Technology WG	1, ㄥ, d
521	Chairman's Report	Chairman, Services/Market Aspect Working Group	1, ㄥ, b

付属資料5 出力文書一覧 (4/4)

Document number	Title	Source	Status
522	Draft text for Annex 6 of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, □, f
523	Draft text for Annex 7 of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, □, f
524R1	Draft text for Annex 8 of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, □, f
525R1	Draft text for Annex 9 of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, □, f
526	AH-Circular Letter Chairman's Report	AH-Circular Letter	2, ハ, d
527	Micro workplan for draft Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, ハ, f
528	Draft text for Annex 2 of the Circular Letter on an invitation to propose candidate radio interface technologies for IMT-Advanced	AH-Circular Letter	1, □, f

* 分類

1 : 無修正 2 : Editorial change 有

イ : 勧告案、報告案、ハンドブック ロ : リエゾン文書、サーキュラーレター ハ : internal 文書

ニ : Question、Resolution、CPM レポート案

注 1)

a : WP8F として承認 b : WP8F として合意

c : WP8F としてノート

d : WP8F PL 審議対象外 e : WP8F として削除

f : キャリーオーバー

注1) ●: 作業文書の作成 △ ▲: 準備等 ○: 勧告草案の承認 (WP8F) ◎: 勧告案の採択又は報告案の承認 (SG8) ◎: 勧告として成立

